令和７年度(2025 年度)つくば市民意識調査

報　告　書

令和７年 12 月
つくば市

目　　次

Ⅰ　調査の概要

1　調査の目的……2
2　調査期間……2
3　調査対象……2
4　調査方法……2
5　回収状況……2
6　年齢別・地区別回収状況……2

Ⅱ　集計結果

集計結果の概要……4

1　あなたご自身のことについて（回答者の属性）……9
（1）　性別……9
（2）　年齢……10
（3）　世帯構成……11
（4）　世帯に含む人……12
（5）　職業……13
（6）　住まいの状況……14
（7）　居住地区……15

2　現在の住環境について……16
（1）　問1　居住年数……16
（2）　問2　つくば市以外の居住経験……19
（3）　問3　定住意向……22
（4）　問4　住み心地……25
（5）　問5　住みやすいと感じる理由……28
（6）　問6　住みにくいと感じる理由……32
（7）　問7　知人へのおすすめ度……36
（8）　問8　景観……38
（9）　問9　景観の評価……41
(10)　問10　つくば市への愛着……43

3　つくば市の現状やまちづくりへの取組について……46
（1）　問11　日常生活の満足度……46
（2）　問12　不満と感じる項目とその理由……56
（3）　問13　自分らしく、自分のやりたいことができるまちか……61
（4）　問14　市外の友人に紹介したい（自慢したい）つくば市の魅力……63
（5）　問15　市政に市民が参加できる環境……70
（6）　問16　市政に対する意見を市に伝える方法……73
（7）　問17　市政に市民の声が生かされているか……76
（8）　問18　休日のおでかけ場所……79
（9）　問19　「筑波山地域ジオパーク」取組内容の認知度……82
(10)　問20　「筑波山地域ジオパーク」取組内容の情報源……84
(11)　問21　「筑波山地域ジオパーク」の参加したい取組……86

(12)　問 22　地域福祉推進のための必要な取組 …… 88
(13)　問 23　地域における助け合い活動、活発化のための必要な取組 …… 90

4　少子高齢化への取組について …… 92
（1）　問 24　子育て環境 …… 92
（2）　問 25　子育て環境として充実・不足しているもの …… 95
（3）　問 26　高齢者の生活環境 …… 102
（4）　問 27　高齢者の生活環境として充実・不足しているもの …… 105
（5）　問 28　地域包括支援センターの取組の認知状況 …… 112

5　防災対策・防犯活動について …… 115
（1）　問 29　防災対策 …… 115
（2）　問 30　防犯活動への参加 …… 118
（3）　問 31　防犯活動に参加しない理由 …… 121
（4）　問 32　防犯対策の実践 …… 124

6　交通環境について …… 127
（1）　問 33　日常利用する交通手段 …… 127
（2）　問 34　歩行者と自転車と自動車の共生 …… 130
（3）　問 35　望ましい交通環境 …… 132

7　運動習慣について …… 135
（1）　問 36　運動やスポーツする頻度 …… 135
（2）　問 37　スポーツの観戦・応援 …… 138
（3）　問 38　スポーツイベントへの参加 …… 141
（4）　問 39　「公共スポーツ施設」環境の充実度 …… 142

8　つくば駅周辺地区の活性化について …… 145
（1）　問 40　つくばセンター地区を訪れる頻度 …… 145
（2）　問 41　つくばセンター地区を訪れる目的 …… 148
（3）　問 42　つくばセンター地区の活性化に必要な取組 …… 151

9　科学のまちについて …… 153
（1）　問 43　「科学のまち」であることの恩恵 …… 153
（2）　問 44　「科学のまち」であることの恩恵の内容 …… 156
（3）　問 45　最先端な製品・サービスが暮らしの中で活かされているか …… 159
（4）　問 46　モバイル機器の保有状況 …… 162

10　国際都市つくばについて …… 164
（1）　問 47　国際都市として強化すべき取組内容 …… 164
（2）　問 48　多様な国籍の人が集まっているまちに住んでいる良さ …… 167

11　ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）について …… 169
（1）　問 49　ＳＤＧｓの認知度 …… 169
（2）　問 50　ＳＤＧｓや持続可能都市に関することで関心が高いもの …… 171

12　幸福度について …… 173
（1）　問 51　幸福度 …… 173
（2）　問 52　幸福感を判断する際に重視すること …… 176

（3） 問53　日ごろ感じている不安や困りごと …… 179

13　自由意見 …… 183

Ⅲ　調査票 …… 186

Ⅰ　調査の概要

1　調査の目的

本調査は、つくば市の現状やまちづくりの取組に対する満足度、及び市が進める主要な施策に対する市民の意見などを把握することを目的として実施した。

本調査の結果は、今後の施策形成と市政運営の基礎資料として活用する。

2　調査期間

令和７年（2025 年）８月 6 日～令和７年（2025 年）８月 31 日

3　調査対象

住民基本台帳に記載された 18 歳以上の男女 3,000 人を、層化無作為抽出法により抽出。

4　調査方法

郵送配布・回収（※希望者は web 回答も可）

5　回収状況

発送数：3,000 通　（3,000 通）

回収数：1,375 通　（1,447 通）

回収率：45.8%（48.2%）

※（　）内は令和５年度（2023 年度）の回収状況

6　年齢別・地区別回収状況

地区	地区別回答数	10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75 歳以上	無回答
年齢別回答数	1375	33	99	207	269	284	108	109	109	125	32
筑波地区	87	1	2	7	7	14	12	16	9	12	7
大穂地区	83	2	5	9	16	16	10	6	13	5	1
豊里地区	82	4	2	9	11	16	3	10	9	12	6
谷田部地区	167	5	10	19	31	41	8	15	17	21	0
桜地区	128	5	13	12	13	25	10	10	15	23	2
茎崎地区	126	1	2	8	17	25	11	9	20	25	8
研究学園地区	402	11	41	59	83	89	39	33	23	18	6
TX 沿線開発地区	298	4	24	84	90	58	15	10	2	9	2
不明	2										

Ⅱ　集計結果

報告書の見方（凡例）

（1）集計結果の%は、小数点第２位を四捨五入し、第１位までの表記としている。したがって、合計が 100%に満たないまたは 100%を超える場合がある。

（2）回答者数は、回答者全員が答えるべき設問については有効回答数となり、条件付き設問（例：「問１で１に○をした方のみお聞きします」という設問）については、その設問に答えるべき該当者の数となっている。

（3）複数回答の設問は、集計結果の合計が 100%を超えることがある。

（4）無回答には、無効回答（選んだ選択肢の判別が困難なもの、択一回答の設問で複数の選択肢を選んでいるものなど）が含まれる。

（5）n は、各設問における回答者数である。

集計結果の概要

1　あなたご自身について

各属性の上位2位までは次の通り

属性	1位		2位	
性別	「女性」	54.4%	「男性」	42.7%
年齢	「50歳代」	20.7%	「40歳代」	19.6%
世帯構成	「親子」	49.2%	「夫婦のみ」	25.7%
世帯に含む人	「小中学生」	20.5%	「65～74歳の方」	19.1%
職業	「会社員・公務員」	42.4%	「パート・アルバイトなど」	15.7%
住まい状況	「一戸建(持ち家)」	65.2%	「集合住宅(賃貸)」	17.5%
居住地区	「研究学園地区」	29.2%	「TX沿線開発地区」	21.7%

2　現在の住環境について

(1)居住歴・市外居住経験

つくば市での居住歴は「30年以上」が37.9%で最も多く、「10年以上20年未満」が21.4%となっている。地区別にみると、居住歴が20年未満である割合は、ＴＸ沿線開発地区で80%、研究学園地区で50%を超えている。一方、研究学園地区とＴＸ沿線開発地区以外の地区では、居住歴が20年以上の割合が高く、いずれも60%を超える。

市外居住経験については、「ある」が1,165人(84.7%)、「ない」が166人(12.1%)と「ある」が多くなっている。地区別にみると、研究学園地区、ＴＸ沿線開発地区では、「ある」の割合が90%を超えている。

(2)定住意向・住み心地

つくば市の定住意向は、「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合が85%以上となっている。

つくば市の住み心地については、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合が8割半ばとなっている。(図1)いずれの地区別、年齢別、住まい別でも「住みやすい/どちらかといえば住みやすい」が70%を超えている。

住みやすいと感じる主な理由は、「日常生活が便利」が59.1%で最も多く、「豊かな自然」が54.3%となっている。一方、住みにくいと感じる主な理由は、「交通の便が悪い」が71.9%で最も多く、「日常生活が不便」が55.4%となっている。

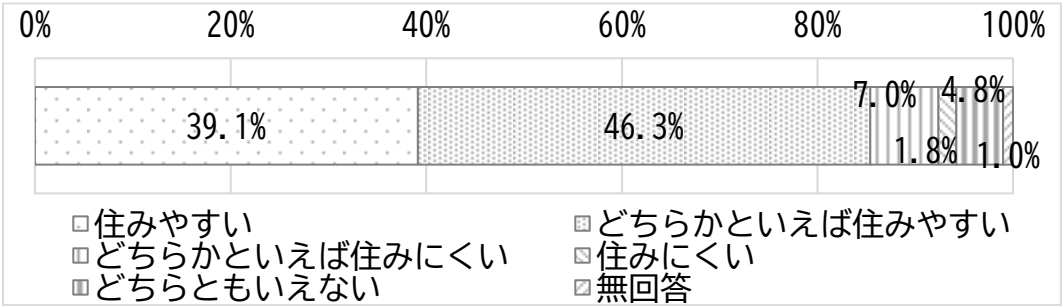


図1　つくば市の住み心地

(3)移住を検討する友人へのおすすめ度

おすすめ度の平均は10点満点中6.69点である。8点が23.1%と最も多く、次いで5点が21.3%となっている。年齢が上がるにつれて、おすすめ度が低下する傾向はあるものの、50歳代以下では7点以上の割合が半数を占めている

(4)景観

つくば市の景観については、「優れている」と「どちらかといえば優れている」を合わせた割合が 7 割半ばとなっている。(図２)

優れていると感じる景観としては、「筑波山・宝篋山」が 55.6%で最も多く、「電線・電柱が地中化されている風景」が 31.6%と続いている。

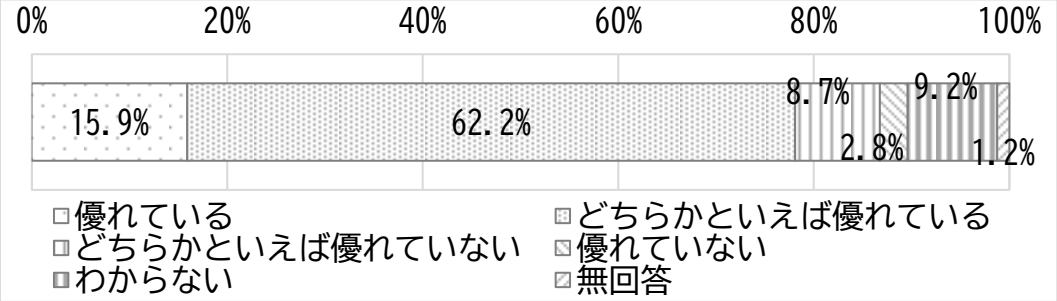


図２　つくば市の景観

(5)市への愛着

つくば市への愛着については、「愛着がある」と「どちらかといえば愛着がある」を合わせた割合が 8 割超となっている。定住意向別にみると、「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」では「愛着がある/どちらかといえば愛着がある」の割合が 80%を超えている。一方、「どちらかといえば住み続けたくない」「住み続けたくない」では「どちらかといえば愛着がない/愛着がない」の割合が 50%以上となっている。

3　つくば市の現状やまちづくりへの取組について

(1)現在の満足度

「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合をみると、「病院・診療所などの医療機関」は 75.6%で最も多く、次いで「住宅環境」が 72.7%となっている。一方、「不満」と「どちらかといえば不満」では、「公共交通」は 52.1%と最も多く、次いで「道路整備」47.1%となっている。

(2)やりたいことができるまち

つくば市がやりたいことができるまちであるかについては、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が 5 割半ばである。

年齢別にみると、すべての年齢で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が 40%を超えており、特に 20 代は 70%を超えている。

(3)紹介したいところ・自慢したいところ

紹介したいつくば市の魅力については、「科学(研究学園都市、研究機関の見学施設など)」が 37.1%で最も多く、「自然(筑波山、宝篋山、牛久沼など)」が 31.2%、「つくばエクスプレス」が 30.6%と続いている。

(4)市政

市政に市民が参加できる環境が整っているかについては、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が約 3 割である。

また、市政に対する意見を市に伝えたことがあるかについては、「市に伝えたい意見がない」が 32.9%で最も多く、「市が実施したアンケートの回答」が 25.3%、「区会・自治会を経由した意見表明」が 8.2%で続いている。

さらに、市政に市民の声が生かされているかについては、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合が約 3 割である。

(5)休日の外出

「つくば市内（車で５分以上）」が過半数となっており、「家の近所（車で５分未満）」を含めると、65%を超える。

(6)筑波山地域ジオパーク

取組内容について「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」との回答が約半数を占めており、年齢が若いほど「全く知らない」との回答割合が増える傾向にある。取組内容を知っている人は、70%が「広報紙、新聞、パンフレットなど」によって情報を得ている。ジオパークの取組について、「体験イベント」に参加したい人が約 30%となっている。

(7) 地域福祉

地域福祉を推進するために必要な取組について、「支援を必要とする人に支援が行き届く仕組みづくり」が過半数を占めている。また、地域における助け合い・支え合いを推進するために必要な取組としては「近隣の住民同士の日常の付き合い」が 46.5%で最も多い。

4　少子高齢化への取組について

(1) 子育て環境

安心して子どもを生み育てられる環境が整っていると思うかについては、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が約 6 割となっている。

子育ての環境について充実していると思うものについては、「子育て世帯への経済的支援」が 30%超で最も多く、不足していると思うものは「産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000」が約 25%で最も多い。

(2) 高齢者の生活環境

高齢者が安心して住み続けられる環境が整っているかについては、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が約 3 割となっている。

高齢者の生活環境について充実していると思うものについては、「クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業＃7119」が 2 割半ばで最も多く、不足していると思うものは「日常生活支援(移動・送迎、買い物等)」が 3 割半ばで最も多い。

(3) 地域包括支援センター

地域包括支援センターの取組の認知状況について、「全く知らない」が 4 割半ば、「高齢者の生活や介護等の困り事相談」が 2 割半ばとなっている。年齢別にみると、50 歳代以下では「全く知らない」が最も多い。

5　防災対策・防犯活動について

防災対策として実施しているものは、「３日分以上の食料・飲料水の備蓄」が 50.5%で最も多く、「断水時に備えた携帯トイレの備蓄」が 33.7%、「住まいの耐震（免震）構造」が 32.7%で続いている。

防犯活動への参加については、「参加していない」が 88.0%で最も多くなっている。参加しない理由として、「組織があるかわからない」が 44.1%で最も多く、次いで「時間がない」が 19.6%、「わからない」が 11.9%で続いている。(図３)

防犯対策としては、「センサーライト、防犯カメラ、カメラ付きインターフォン」を設置するとの回答が約６割となっている。

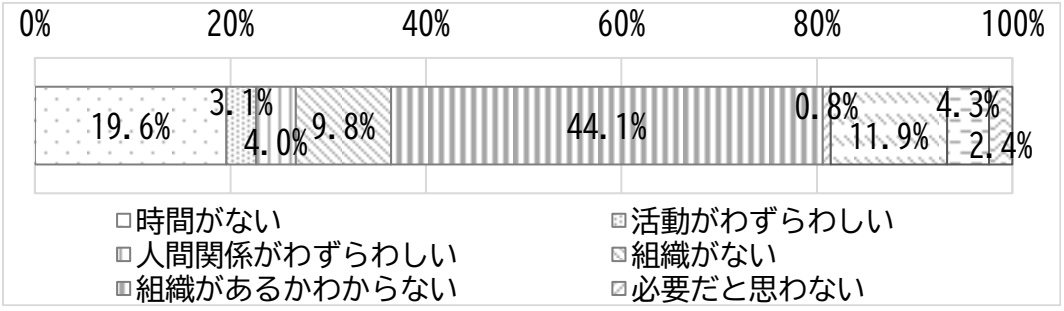


図３　防犯活動に参加しない理由

6　交通環境について

(1) 日常利用する交通手段

日常利用する交通手段は、「自家用車」が 88.8%で最も多く、「鉄道」が 31.6%と続いている。

(2) 歩行者と自転車と自動車の共生

歩行者と自転車と自動車が共に安全で快適に通行できているかについては、「どちらかといえばできていない」と「できていない」を合わせた割合が 5 割半ばになっている。地区別にみると大穂地区、豊里地区、谷田部地区、茎崎地区では「どちらかといえばできていない」と「できていない」の合計割合が 60%を超えている。

(3)望ましい交通環境

つくば市の望ましい交通環境については、「公共交通が便利で、自動車がなくても生活できるまち」が 53.8%で最も多く、「自動車がスムーズに走行できるまち」が 20.6%、「自転車を安心・便利に利用できるまち」が 12.3%と続いている。（図４）年齢別にみると、20 歳代を除き、全ての年齢で「公共交通が便利で、自動車がなくても生活できるまち」の割合が最も多い。一方、20 歳代は、「自動車がスムーズに走行できるまち」の割合が最も多い。

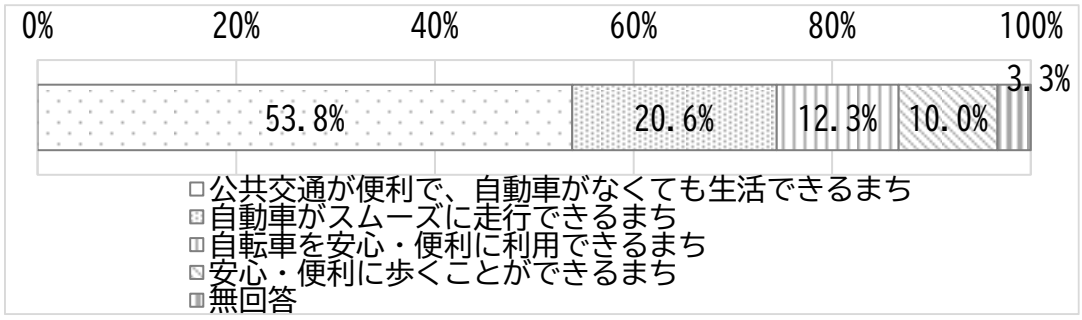


図４　望ましい交通環境

7　運動習慣について

この一年間の運動やスポーツの頻度については、週に 1 日以上の割合が 6 割超となっている。年齢別にみると、75 歳以上では週に 3 日以上の割合が 40%を超えている。一方、週に 3 日以上の割合が最も低いのは 30 歳代の 20.2%である。

8　つくば駅周辺地区の活性化について

(1)つくばセンター地区(つくば駅周辺)への来訪頻度

つくばセンター地区(つくば駅周辺)に訪れる頻度については、「年数回程度」が 28.6%で最も多く、「月１、２回程度」が 28.5%で続いている。

つくばセンターを訪れる主な目的は「日常の用事」が 45.0%で最も多く、「移動・乗り換え」が 20.4%。「娯楽」が 14.4%となっている。過年度と比較すると、年々「日常の用事」が減少し、「娯楽」と「移動・乗り換え」の割合が増加している。

(2)つくばセンター地区の活性化に必要な取組

にぎわいのあるつくばセンター地区にするために必要な取組については、「商業施設の誘致」が 46.8%で最も多く、「駐車場の拡充」が 34.4%、「公共交通でのアクセスの向上」が 30.2%、「オープンカフェや朝市の設置」が 29.7%で続いている。

9　科学のまちについて

(1)「科学のまち」による恩恵

「科学のまち」であることの恩恵を感じるかについては、「あまりない」と「ない」を合わせた割合が約 5 割となっている。（図５）

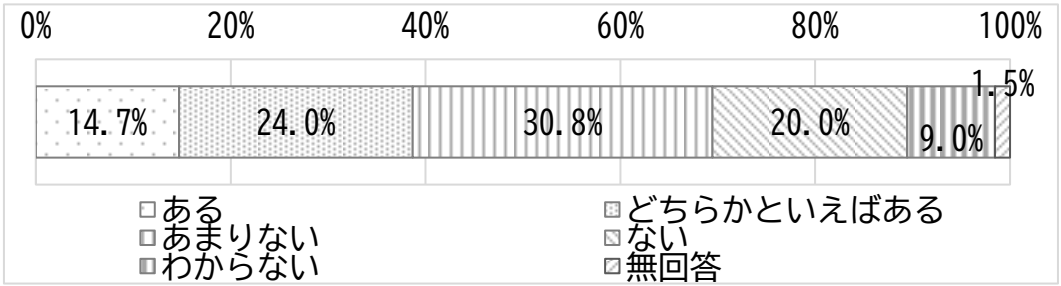


図５　「科学のまち」による恩恵

(2)科学のまちの恩恵の内容

「科学のまち」であることの恩恵の内容については、「研究機関等のイベントに参加でき、様々な体験ができること」が 40.2%で最も多く、「数多くの研究機関が集積し、まちの賑わいにつながること」が 38.0%、「学校等で科学教育の機会が提供されること」が 30.5%と続く。

10　国際都市つくばについて

つくば市が国際都市として取り組むべきことについては、「学校での国際理解教育」が 29.8%で最も多く、「世界に向けたつくば市の魅力の発信」が 25.7%、「案内表示・施設窓口での多言語対応」が 21.2%で続いている。

世界中から多様な国籍の人が集まっているまちに住んでいる良さについて、「感じていない/どちらかといえば感じていない」が 5 割半ばとなっており、前回調査よりもネガティブな回答が増加している。

11　ＳＤＧｓ※(持続可能な開発目標)について

(1)ＳＤＧｓの認知度

ＳＤＧｓに関する認知度については、「少し知っている」が 47.3%で最も多く、「名前だけは知っている」が 21.7%、「よく知っている」が 20.2%と続いている。年齢が高くなるにつれて「よく知っている/少し知っている」が減少する傾向がある。10 歳代から 50 歳代では「よく知っている/少し知っている」の割合が 70%を超えており、10 歳代では 87.9%と最も多くなっている。

(2)ＳＤＧｓや持続可能都市に関することで関心が高いもの

ＳＤＧｓや持続可能都市に関することで、関心が高いものは、「食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負荷の低減」が 50.6%で最も多く、次いで「地産地消の推進による地元農業の推進と環境負荷の低減」が 44.6%、「子どもを中心とした貧困の解消」が 34.5%となっている。

※ ＳＤＧｓとは

Sustainable Development Goals の略。2015 年の国連サミットで採択された 2030 年までに達成するための「持続可能な開発目標」です。持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。つくば市は、ＳＤＧｓの理念を「持続可能都市ヴィジョン」として反映し、取組を進めています。

12　幸福度について

(1)幸福度

幸福度については、10 点中、平均 7.13 点となっている。「8 点」が 23.1%で最も多く、次いで「7 点」が 20.0%、「5 点」が 14.0%、「9 点」が 11.9%と続いている。

幸福度を判断する際に特に重視することについては、「健康状況」が 75.3%で最も多く、「家計の状況」が 44.8%、次いで「家族関係」が 43.9%となっている。年齢別にみると、10 歳代では「精神的ゆとり」が最も多い一方、20 歳代以上では「健康状況」が最も多い。

(2)心配ごとや困っていること

496 人から回答がなされた。それらを分析したところ、「① 高齢者や障害者等の生活環境について」、「②交通インフラについて」、「③育児・教育環境について」、「④地域における生活環境について」、「⑤土地や住宅 について」、「⑥防犯・防災について」、「⑦外国人について」、「⑧市政全般について」及び「⑨その他」に分類できた。

１　あなたご自身のことについて（回答者の属性）

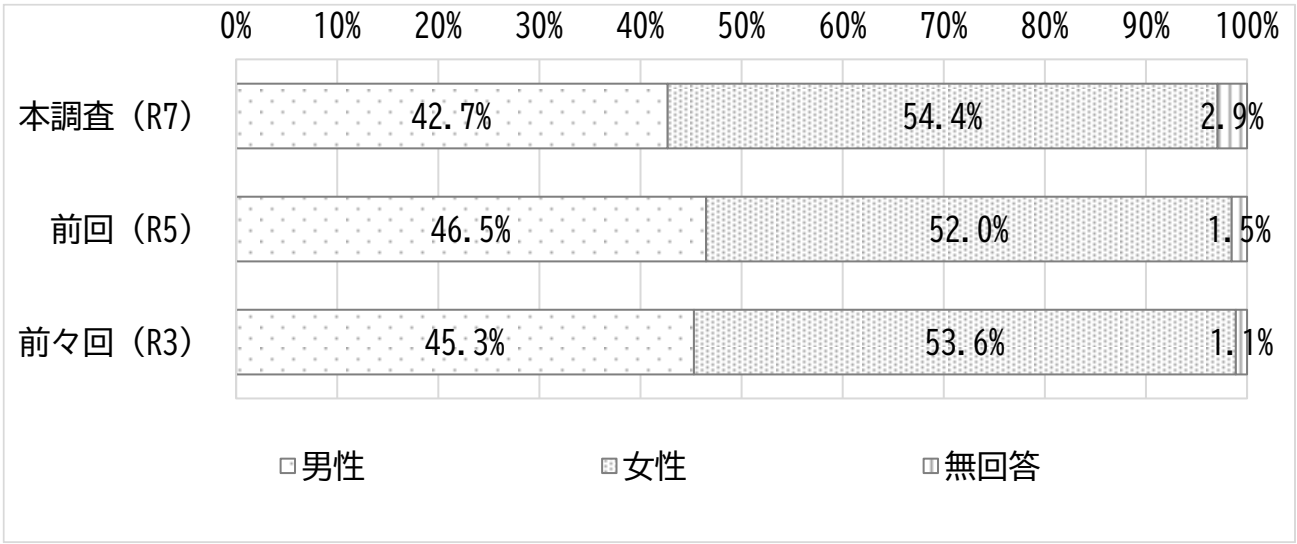
1 あなたの性別を教えてください。いずれにもあてはまらないと考える場合は○印をつけなくても差し支えありません。　＜○は１つ＞

① 全体集計の結果

・性別は、「男性」は 587 人(42.7%)、「女性」は 748 人(54.4%)と「女性」がやや多くなっている。

性別	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
男性	587	42.7%	46.5%	45.3%
女性	748	54.4%	52.0%	53.6%
無回答	40	2.9%	1.5%	1.1%
全体	1,375	100.0%	100.0%	100.0%

＜過年度調査との比較＞



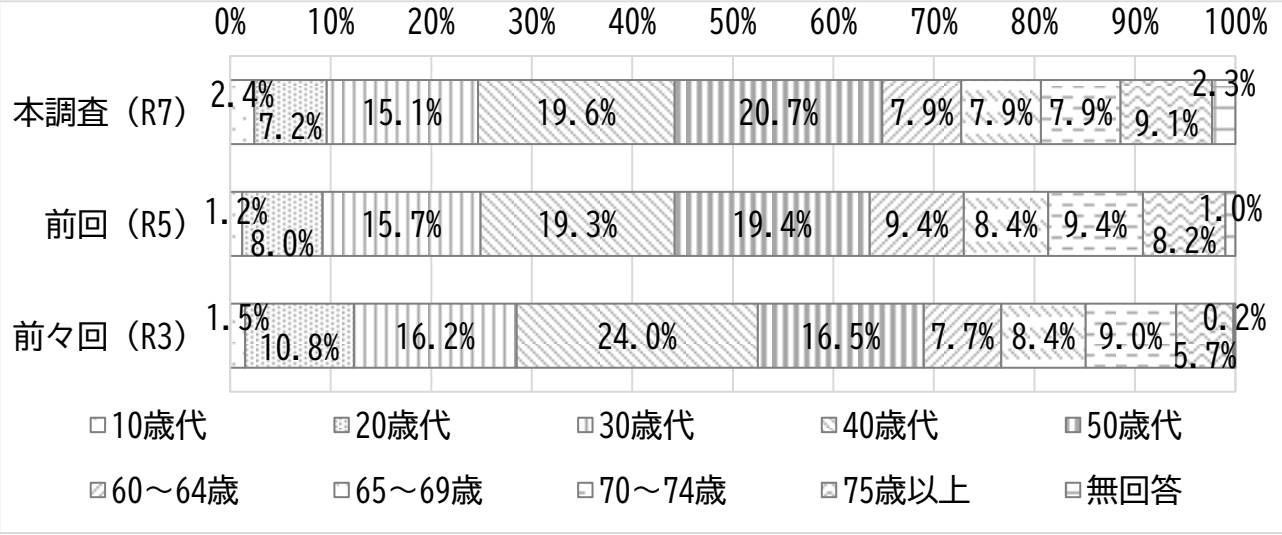
2　あなたの年齢を教えてください。　＜○は１つ＞

①　全体集計の結果

・年齢は、「50 歳代」が 284 人(20.7%)で最も多く、「40 歳代」が 269 人(19.6%)、「30 歳代」が 207 人(15.1%)、「75 歳以上」が 125 人(9.1%)で続いている。

年齢	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
10歳代	33	2.4%	1.2%	1.5%
20歳代	99	7.2%	8.0%	10.8%
30歳代	207	15.1%	15.7%	16.2%
40歳代	269	19.6%	19.3%	24.0%
50歳代	284	20.7%	19.4%	16.5%
60～64歳	108	7.9%	9.4%	7.7%
65～69歳	109	7.9%	8.4%	8.4%
70～74歳	109	7.9%	9.4%	9.0%
75歳以上	125	9.1%	8.2%	5.7%
無回答	32	2.3%	1.0%	0.2%
全体	1,375	100.0%	100.0%	100.0%

＜過年度調査との比較＞



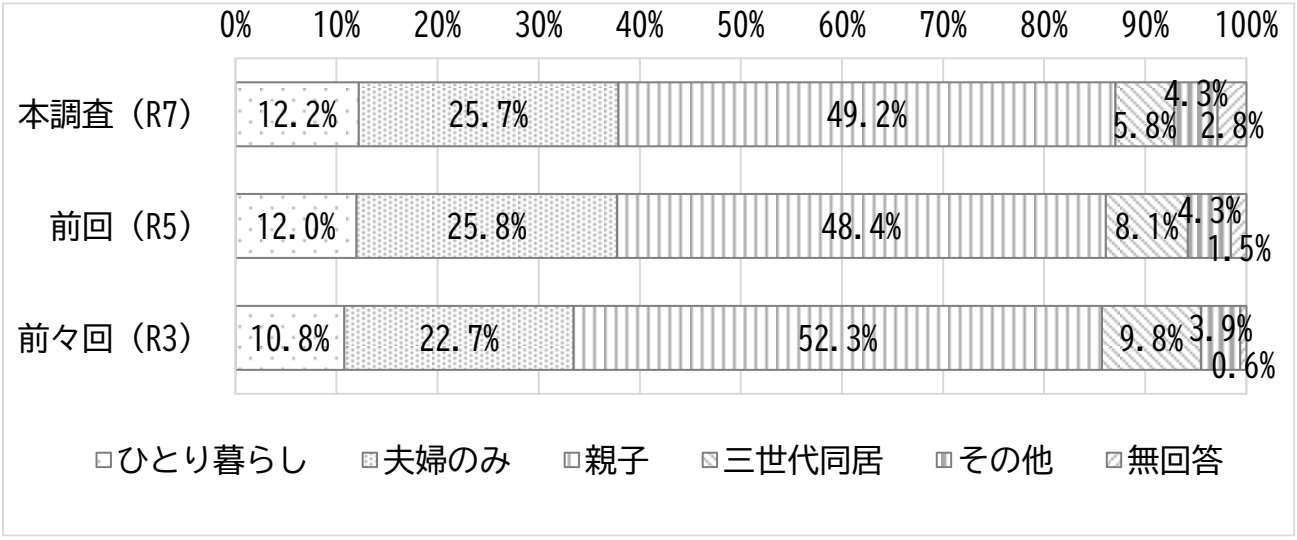
3　あなたの世帯構成を教えてください。　＜○は１つ＞

①　全体集計の結果

・世帯構成は、「親子」が 676 人(49.2%)で最も多く、「夫婦のみ」が 353 人(25.7%)、「ひとり暮らし」が 168 人(12.2%)、「三世代同居」が 80 人(5.8%)で続いている。

世帯構成	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
ひとり暮らし	168	12.2%	12.0%	10.8%
夫婦のみ	353	25.7%	25.8%	22.7%
親子	676	49.2%	48.4%	52.3%
三世代同居	80	5.8%	8.1%	9.8%
その他	59	4.3%	4.3%	3.9%
無回答	39	2.8%	1.5%	0.6%
全体	1,375	100.0%	100.0%	100.0%

＜過年度調査との比較＞



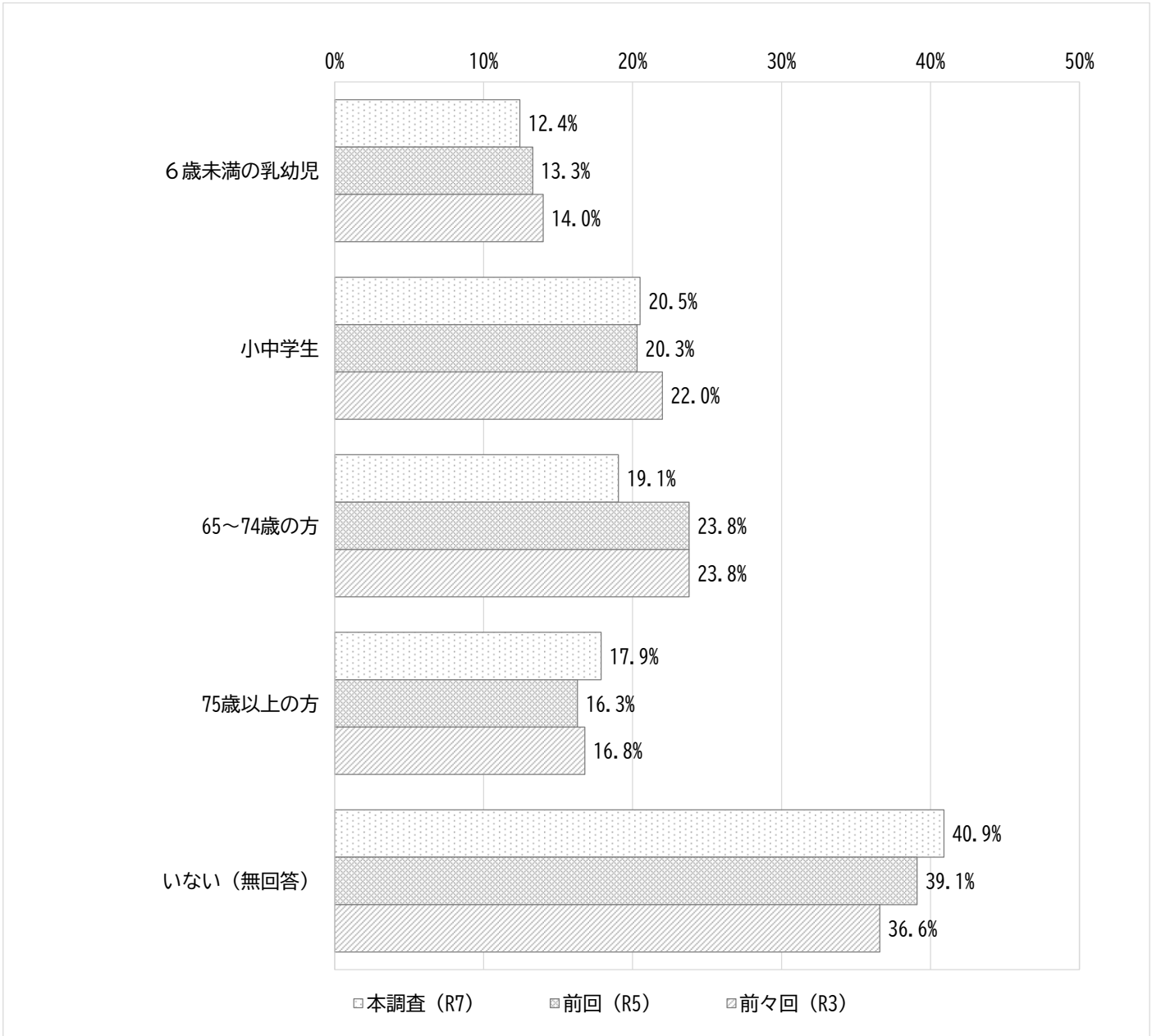
4　あなたの世帯（あなた自身も含めて）には、次に当てはまる方はいますか。　＜○は当てはまるものすべて＞

①　全体集計の結果

・世帯に含む人としては、「小中学生」が 282 人(20.5%)で最も多く、「65～74 歳の方」が 262 人(19.1%)、「75 歳以上の方」が 246 人(17.9%)、「6 歳未満の乳幼児」が 171 人(12.4%)で続いている。

世帯	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
６歳未満の乳幼児	171	12.4%	13.3%	14.0%
小中学生	282	20.5%	20.3%	22.0%
65～74歳の方	262	19.1%	23.8%	23.8%
75歳以上の方	246	17.9%	16.3%	16.8%
いない（無回答）	562	40.9%	39.1%	36.6%
全体（有効回答数）	1,375			

＜過年度調査との比較＞



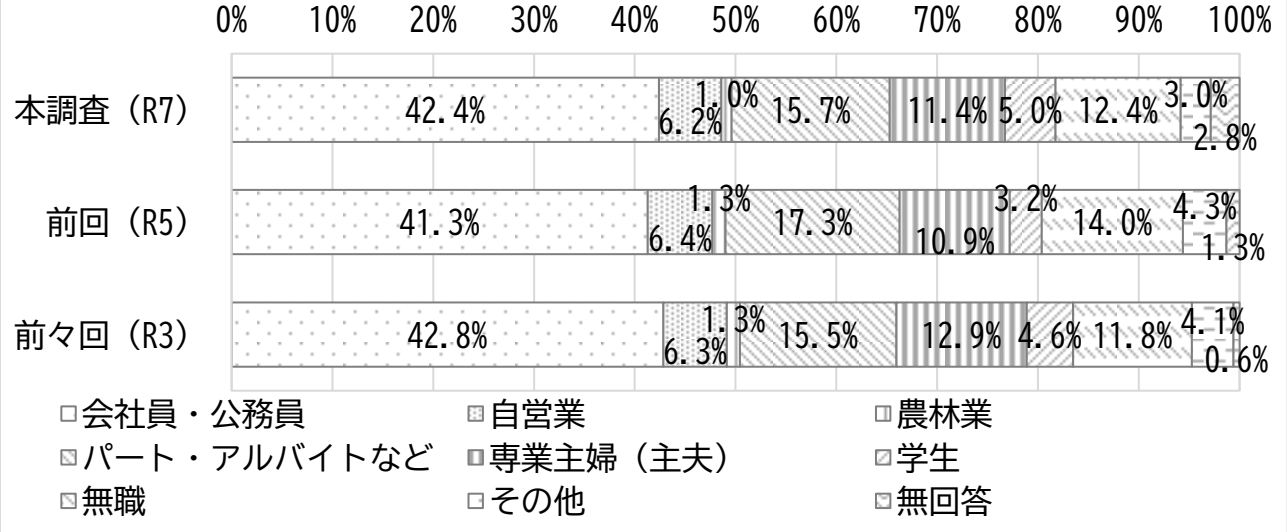
5　あなたの職業（兼業の方は主たる職業）を教えてください。　＜○は１つ＞

①　全体集計の結果

・職業は、「会社員・公務員」が 583 人(42.4%)で最も多く、「パート・アルバイトなど」が 216 人(15.7%)、「無職」が 171 人(12.4%)、「専業主婦（主夫)」が 157 人(11.4%)で続いている。

職業	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
会社員・公務員	583	42.4%	41.3%	42.8%
自営業	85	6.2%	6.4%	6.3%
農林業	14	1.0%	1.3%	1.3%
パート・アルバイトなど	216	15.7%	17.3%	15.5%
専業主婦（主夫）	157	11.4%	10.9%	12.9%
学生	69	5.0%	3.2%	4.6%
無職	171	12.4%	14.0%	11.8%
その他	41	3.0%	4.3%	4.1%
無回答	39	2.8%	1.3%	0.6%
全体	1,375	100.0%	100.0%	100.0%

＜過年度調査との比較＞



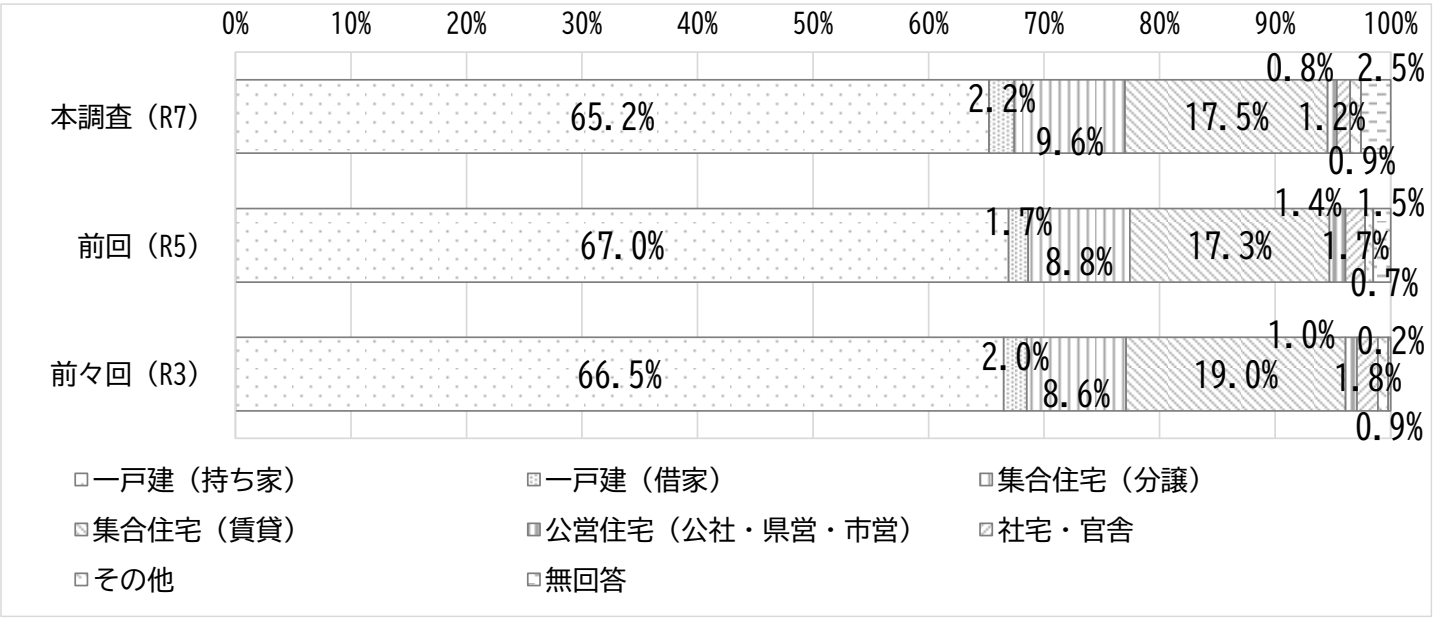
6 あなたの現在のお住まいを教えてください。　＜○は１つ＞

① 全体集計の結果

・住まいは、「一戸建（持ち家）」が 897 人(65.2%)で最も多く、「集合住宅（賃貸）」が 241 人(17.5%)、「集合住宅（分譲）」が 132 人(9.6%)、「一戸建（借家）」が 30 人(2.2%)で続いている。

住まい	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
一戸建（持ち家）	897	65.2%	67.0%	66.5%
一戸建（借家）	30	2.2%	1.7%	2.0%
集合住宅（分譲）	132	9.6%	8.8%	8.6%
集合住宅（賃貸）	241	17.5%	17.3%	19.0%
公営住宅（公社・県営・市営）	11	0.8%	1.4%	1.0%
社宅・官舎	16	1.2%	1.7%	1.8%
その他	13	0.9%	0.7%	0.9%
無回答	35	2.5%	1.5%	0.2%
全体	1,375	100.0%	100.0%	100.0%

＜過年度調査との比較＞



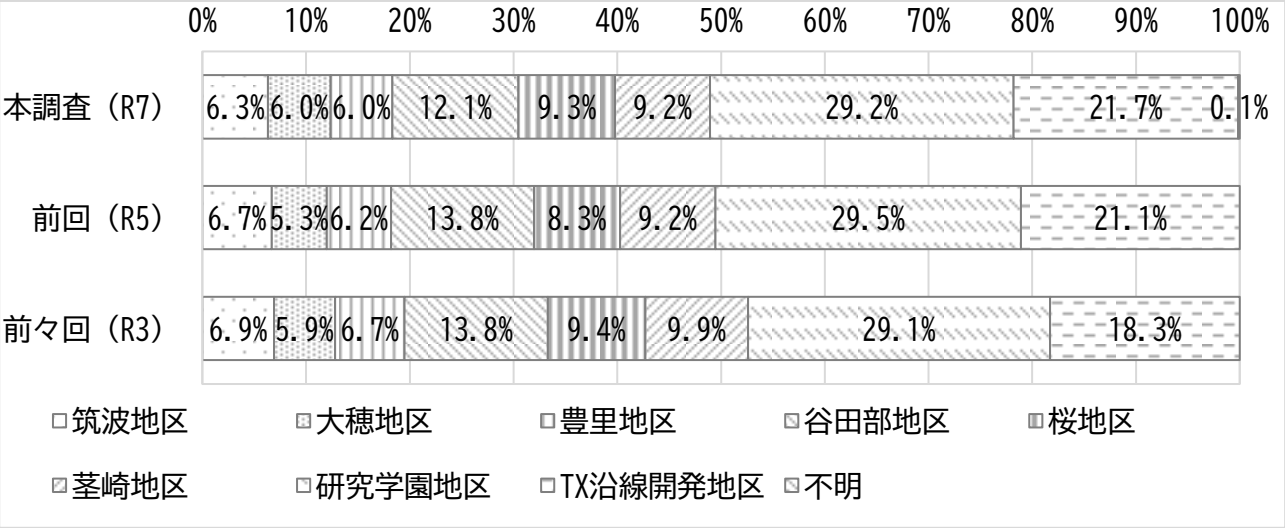
7　居住地区

①　全体集計の結果

・「研究学園地区」が 29.2%で最も多く、「ＴＸ沿線開発地区」が 21.7%、「谷田部地区」が 12.1%、「桜地区」が 9.3%で続いている。

居住地区	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
筑波地区	87	6.3%	6.7%	6.9%
大穂地区	83	6.0%	5.3%	5.9%
豊里地区	82	6.0%	6.2%	6.7%
谷田部地区	167	12.1%	13.8%	13.8%
桜地区	128	9.3%	8.3%	9.4%
茎崎地区	126	9.2%	9.2%	9.9%
研究学園地区	402	29.2%	29.5%	29.1%
TX沿線開発地区	298	21.7%	21.1%	18.3%
不明	2	0.1%	－	－
全体	1,375	100.0%	100.0%	100.0%

＜過年度調査との比較＞



―地区の分類について―

・研究学園地区とＴＸ沿線開発地区に分類した地域以外の地区については、合併前の旧町村単位で分類している。

・研究学園地区に分類した地域は次のとおり。

春日、東新井、二の宮、小野川、松代、観音台、東、稲荷前、高野台、天王台、天久保、吾妻、竹園、千現、並木、梅園、大穂、花畑、牧園、若葉

・ＴＸ沿線開発地区に分類した地域は次のとおり。

研究学園、学園南、学園の森、香取台、諏訪、陣場、みどりの中央、みどりの、みどりの南、みどりの東、かみかわ、高山、万博公園西、春風台、さくらの森、流星台

２　現在の住環境について

問１　あなたは、つくば市にお住まいになって何年ぐらいになりますか。
※合併前の旧市町村も含めてお答えください。　＜○は１つ＞

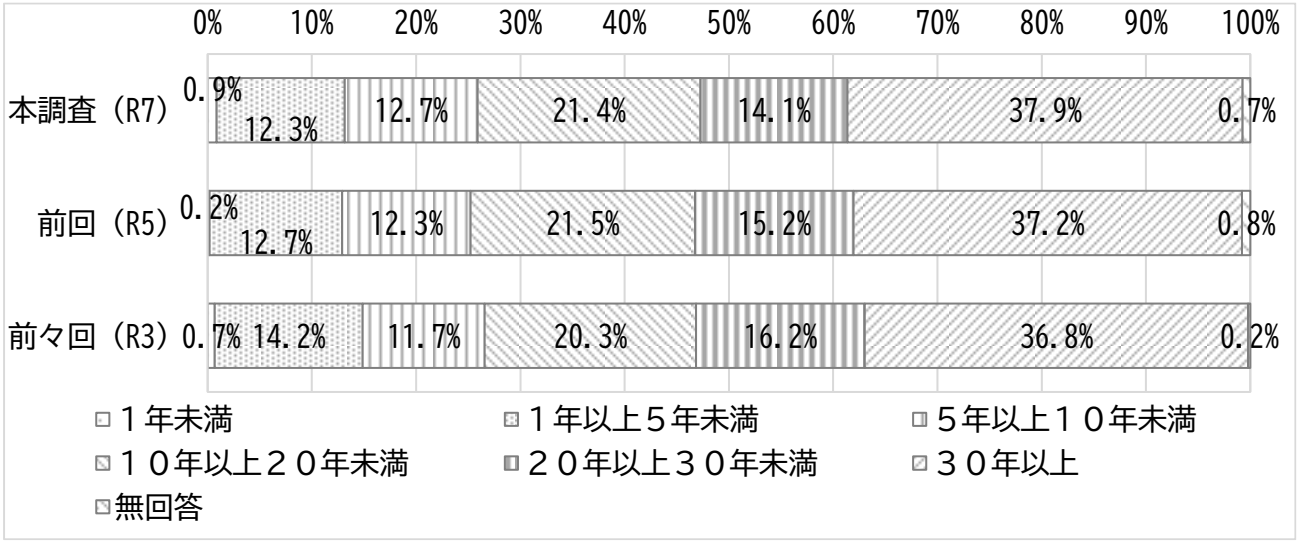
①　全体集計の結果

●居住歴「20 年以上」が 5 割

・居住歴は、「30 年以上」が 521 人(37.9%)で最も多く、「10 年以上 20 年未満」が 294 人(21.4%)、「20 年以上 30 年未満」が 194 人(14.1%)、「５年以上１０年未満」が 175 人(12.7%)で続いている。

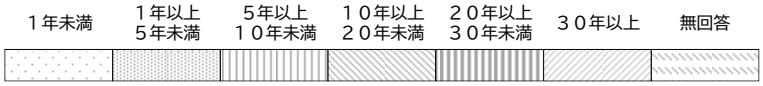
居住歴	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
１年未満	12	0.9%	0.2%	0.7%
１年以上５年未満	169	12.3%	12.7%	14.2%
５年以上１０年未満	175	12.7%	12.3%	11.7%
１０年以上２０年未満	294	21.4%	21.5%	20.3%
２０年以上３０年未満	194	14.1%	15.2%	16.2%
３０年以上	521	37.9%	37.2%	36.8%
無回答	10	0.7%	0.8%	0.2%
全体	1,375	100.0%	100.0%	100.0%

＜過年度調査との比較＞



問１　あなたは、つくば市にお住まいになって何年ぐらいになりますか。
※合併前の旧市町村も含めてお答えください。　　＜○は１つ＞

② クロス集計の結果



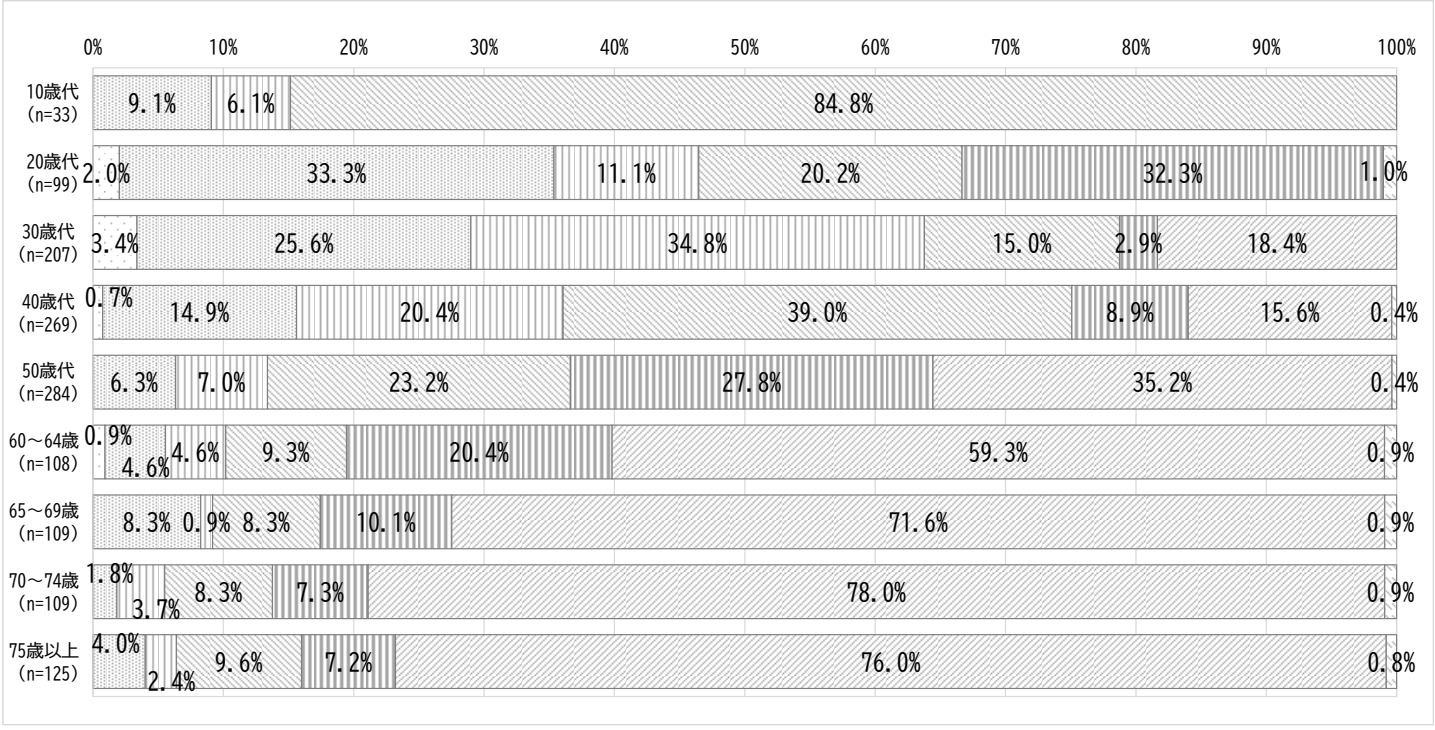
【地区別】

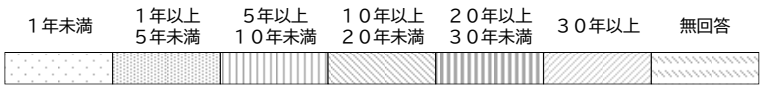
・居住歴が 20 年未満である割合は、ＴＸ沿線開発地区で 80%、研究学園地区で 50%を超えている。
・研究学園地区とＴＸ沿線開発地区以外の地区では、居住歴が 20 年以上の割合が高く、いずれも 60%を超えている。



【年齢別】

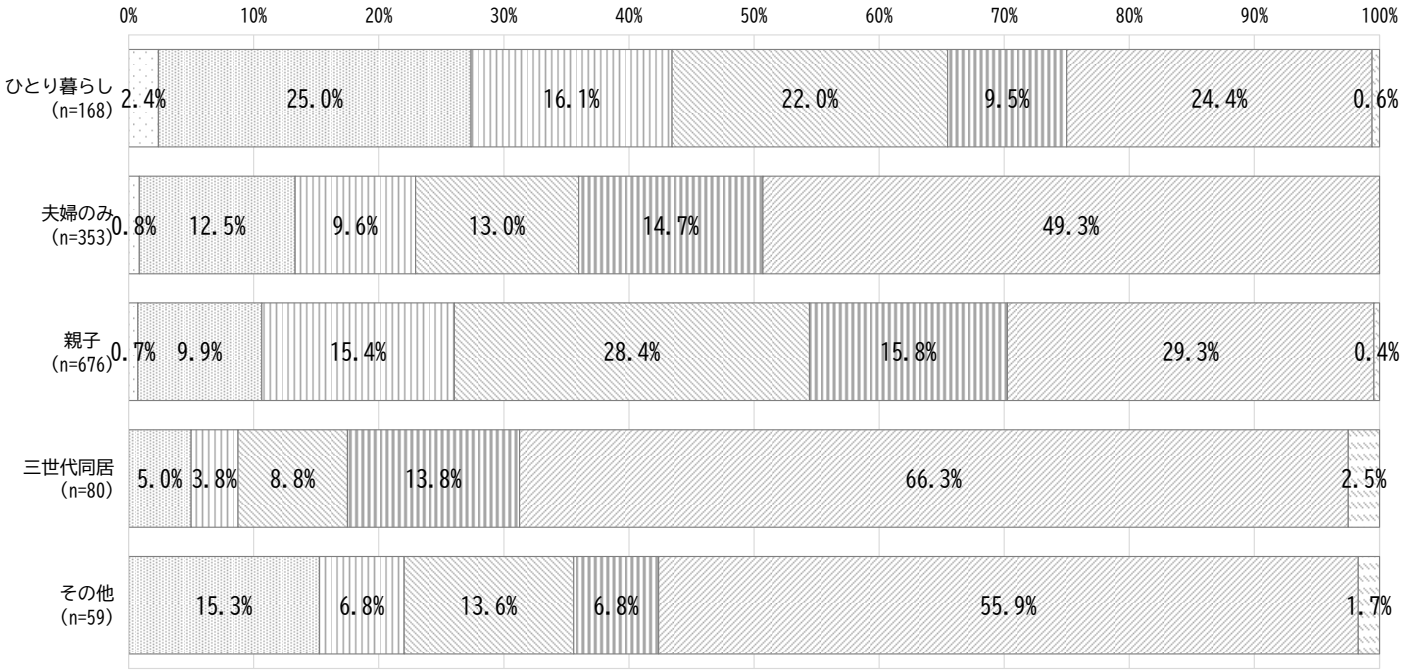
・30 歳代以降、年齢が高くなるにつれ、居住歴が 20 年未満の割合が低くなる傾向があり、50 歳代以降では、居住歴が 20 年以上の割合が過半数を占めている。





【世帯構成別】

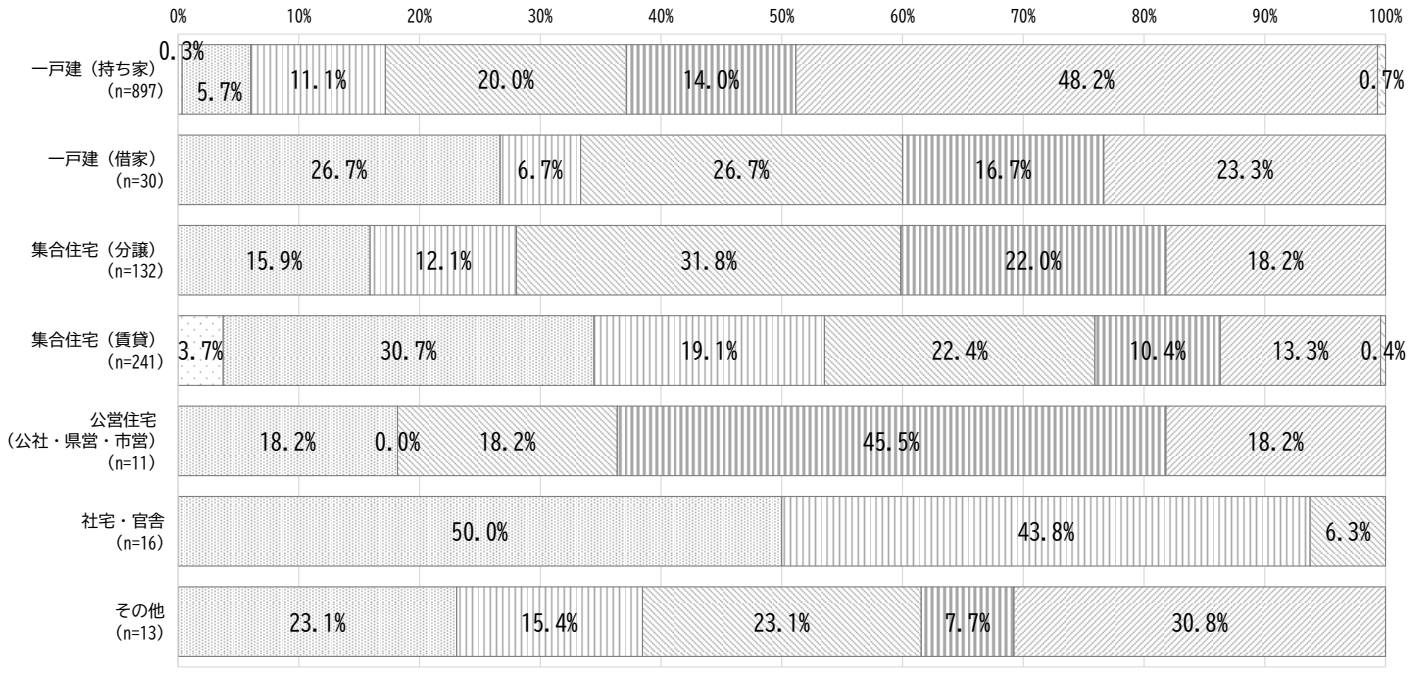
・居住歴が 20 年以上である割合は、三世代同居が 80.1%、夫婦のみで 64.0%となっている。



【住まい別】

・居住歴が 20 年以上である割合は、公営住宅（公社・県営・市営）が 63.7%となっている。

・社宅・官舎、集合住宅(賃貸)、一戸建（借家）では、「1 年以上 5 年未満」の割合が最も高くなっている。
なお、一戸建（借家）は同率で「10 年以上 20 年未満」の割合が高い。



問２　あなたは、つくば市以外に住んでいたことがありますか。　＜○は１つ＞

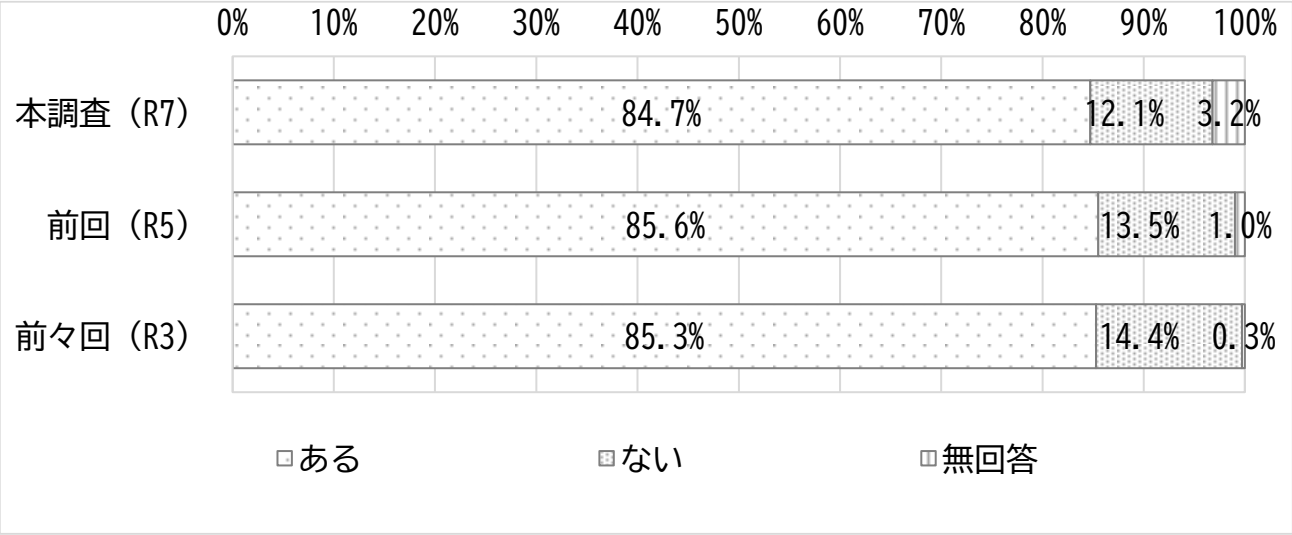
①　全体集計の結果

●つくば市以外の地域に「住んでいたことがある」が８割半ば

・つくば市以外での居住経験の有無は、「ある」が 1,165 人(84.7%)、「ない」が 166 人(12.1%)と「ある」が多くなっている。

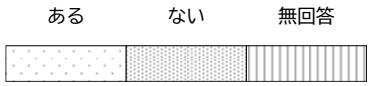
選択肢	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
ある	1,165	84.7%	85.6%	85.3%
ない	166	12.1%	13.5%	14.4%
無回答	44	3.2%	1.0%	0.3%
全体	1,375	100.0%	100.0%	100.0%

＜過年度調査との比較＞



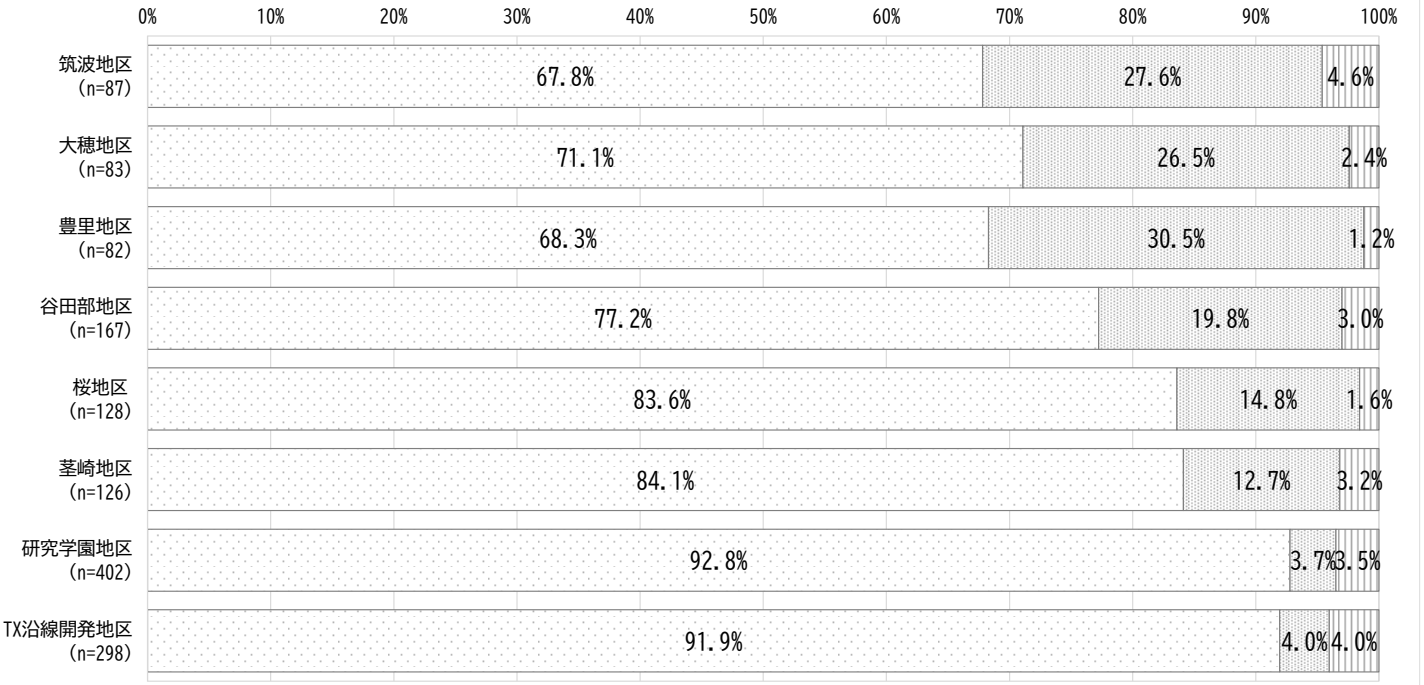
問２　あなたは、つくば市以外に住んでいたことがありますか。　＜○は１つ＞

② クロス集計の結果



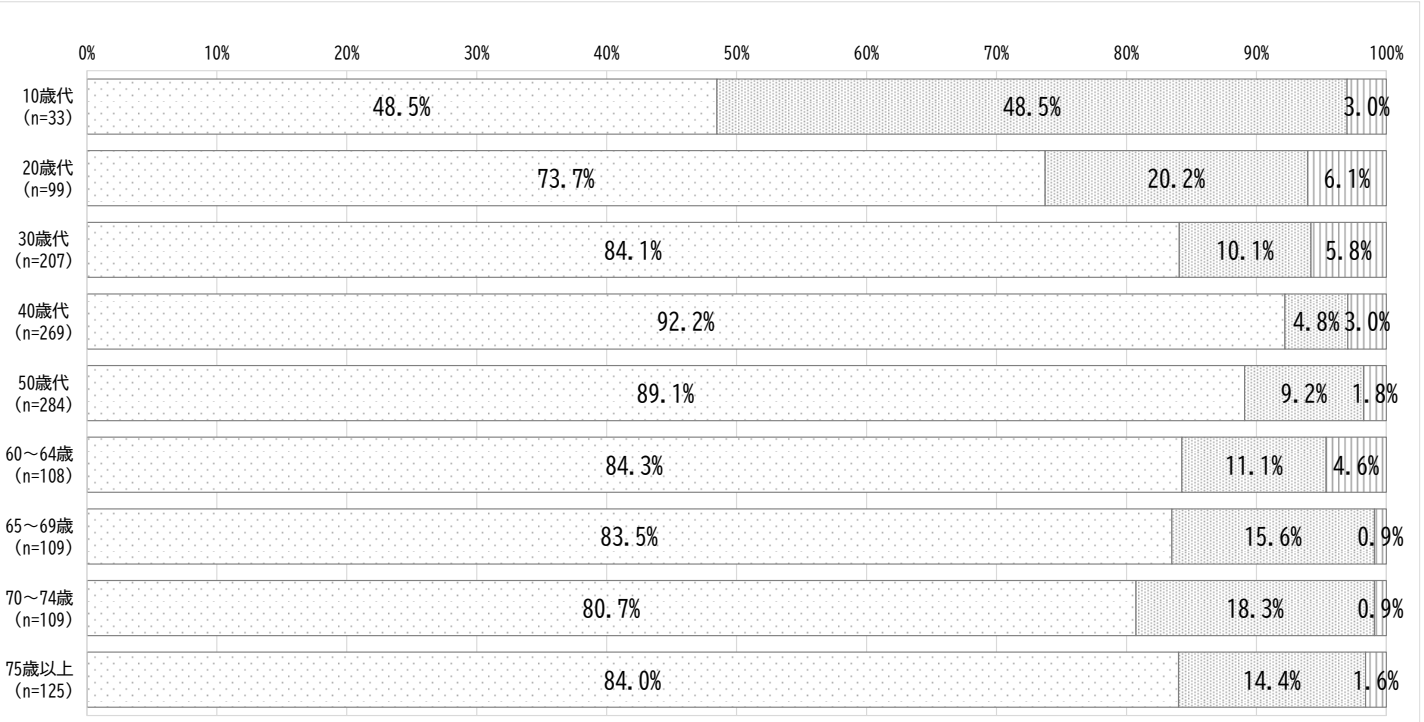
【地区別】

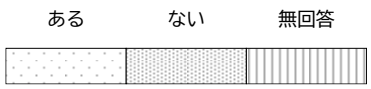
・全ての地区で「ある」の割合が 60%を超えていて、研究学園地区、ＴＸ沿線開発地区では 90%を超えている。
・大穂地区、筑波地区では「ない」の割合が 25%を超え、豊里地区においては 30%超である。



【年齢別】

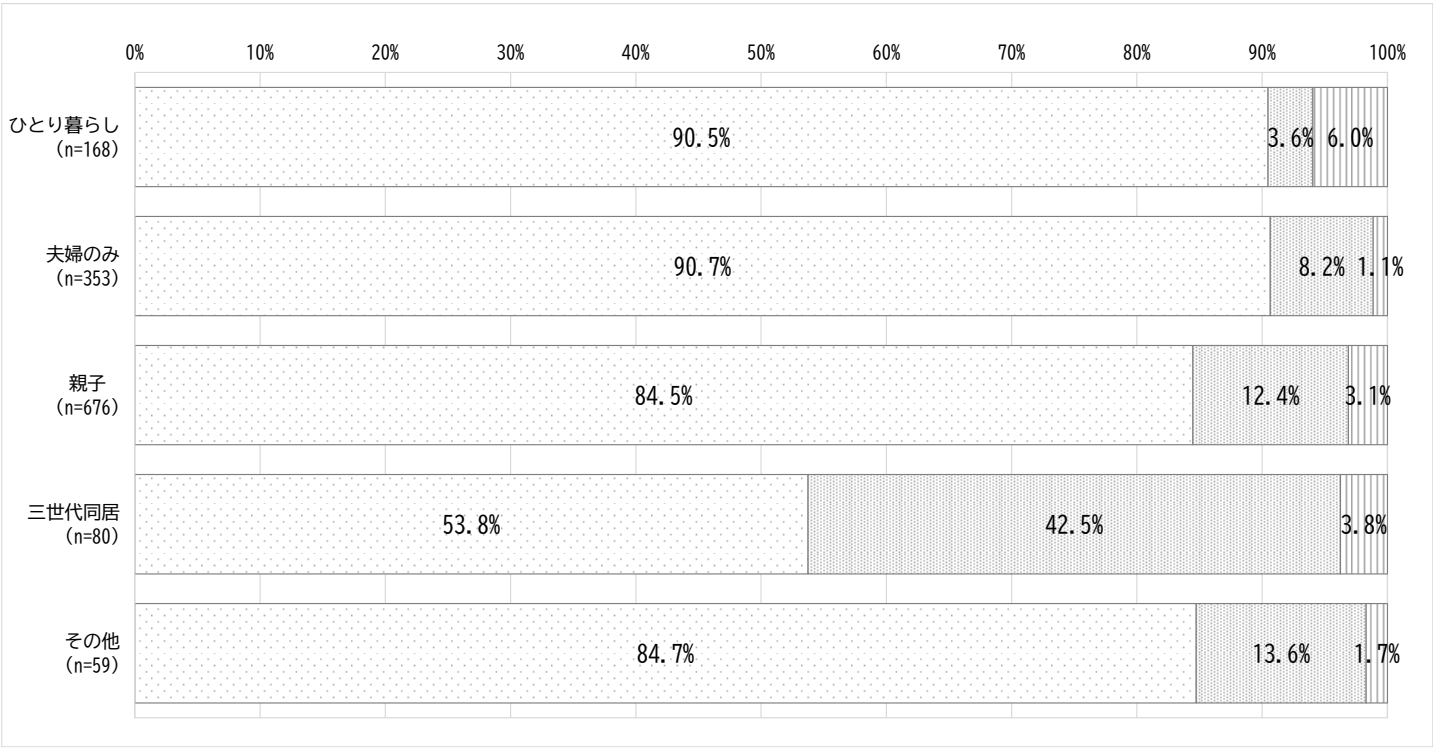
・10 歳代では「ある」と「ない」がおおむね半々という結果である。
・20 歳代以上の年齢で「ある」の割合が 60%を超えている。
・「ある」の割合は 40 歳代の 92.2%が最も多く、次いで 50 歳代が 89.1%となっている。





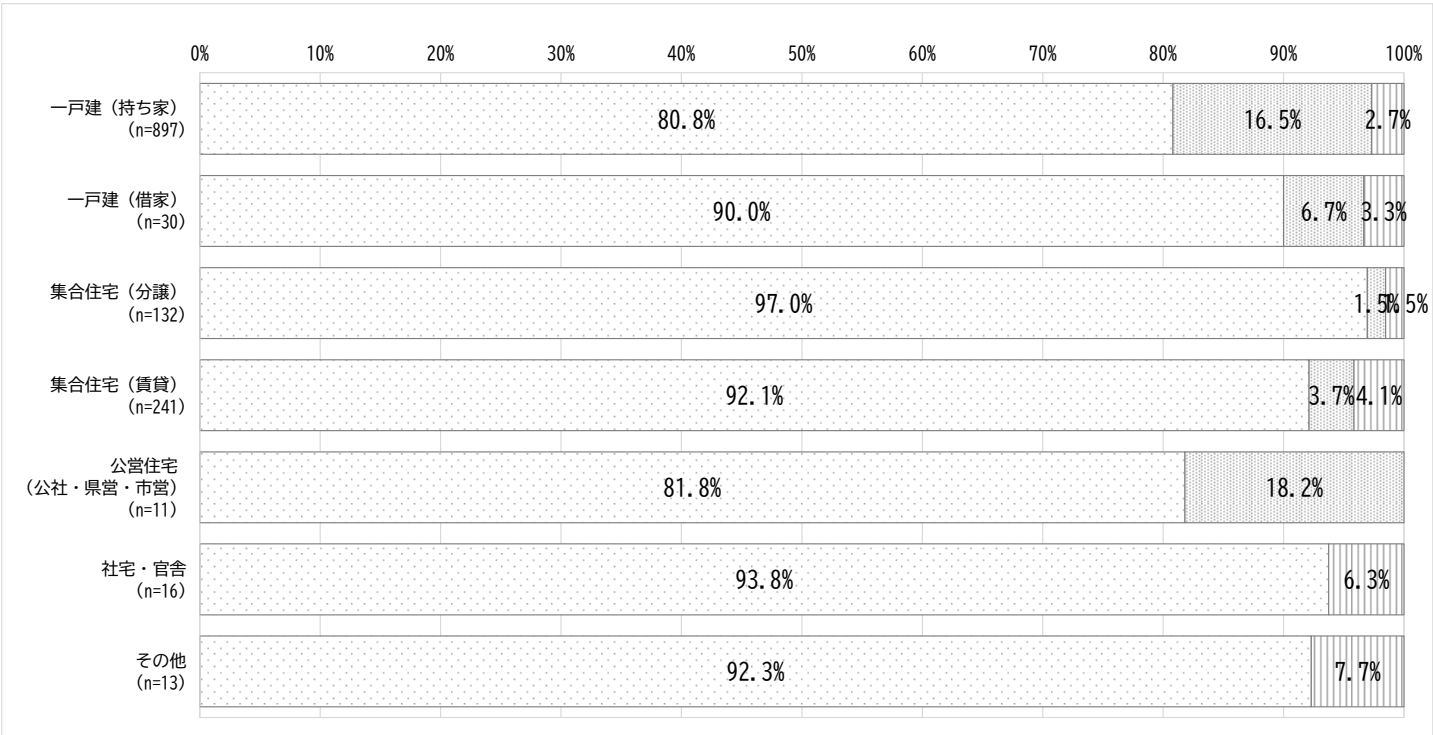
【世帯構成別】

・ひとり暮らし、夫婦のみでは「ある」の割合が 90%を超え、親子、その他では 80%を超えている。
・三世代同居では、「ない」の割合が 40%を超え、他と比較して多い。



【住まい別】

・一戸建(持ち家)、公営住宅（公社・県営・市営）では「ある」の割合が 80%台となっており、それ以外では 90%を超えている。



問３　あなたは、これからもつくば市に住み続けたいと思いますか。　＜○は１つ＞

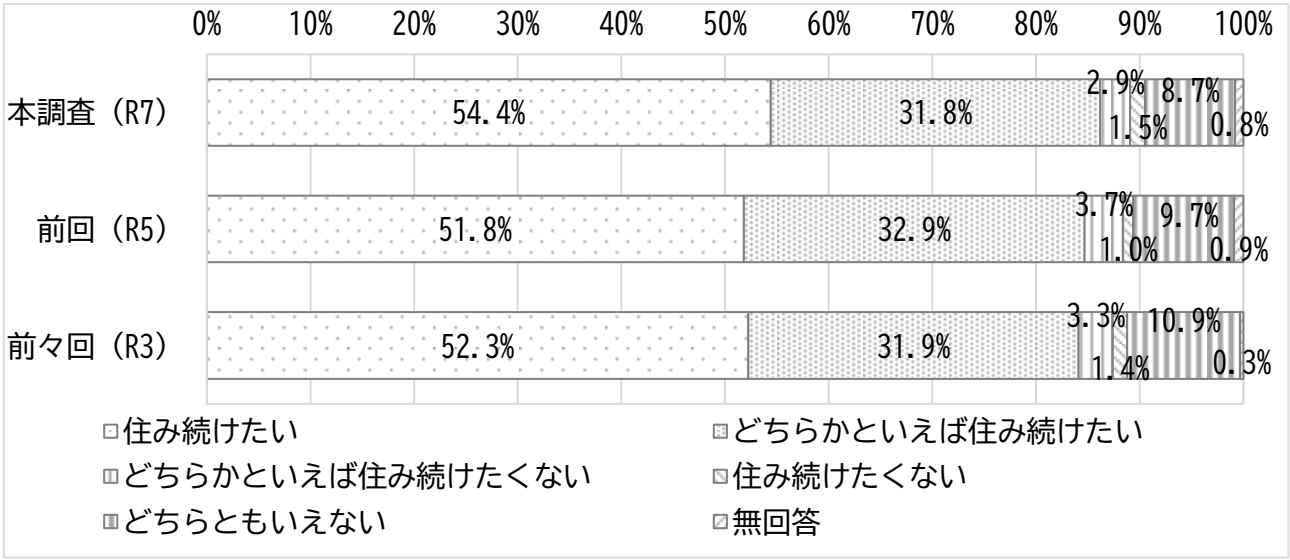
①　全体集計の結果

●つくば市に「住み続けたい/どちらかといえば住み続けたい」が８割半ば

・つくば市の定住意向については、「住み続けたい」が 748 人(54.4%)で最も多く、「どちらかといえば住み続けたい」が 437 人(31.8%)、「どちらともいえない」が 119 人(8.7%)、「どちらかといえば住み続けたくない」が 40 人(2.9%)で続いている。
・過去２回と比較すると、「住み続けたい」が微増している。

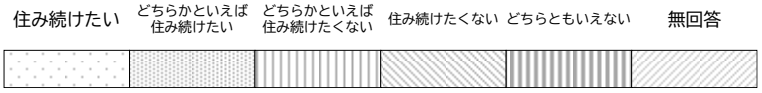
選択肢	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
住み続けたい	748	54.4%	51.8%	52.3%
どちらかといえば住み続けたい	437	31.8%	32.9%	31.9%
どちらかといえば住み続けたくない	40	2.9%	3.7%	3.3%
住み続けたくない	20	1.5%	1.0%	1.4%
どちらともいえない	119	8.7%	9.7%	10.9%
無回答	11	0.8%	0.9%	0.3%
全体	1,375	100.0%	100.0%	100.0%

＜過年度調査との比較＞



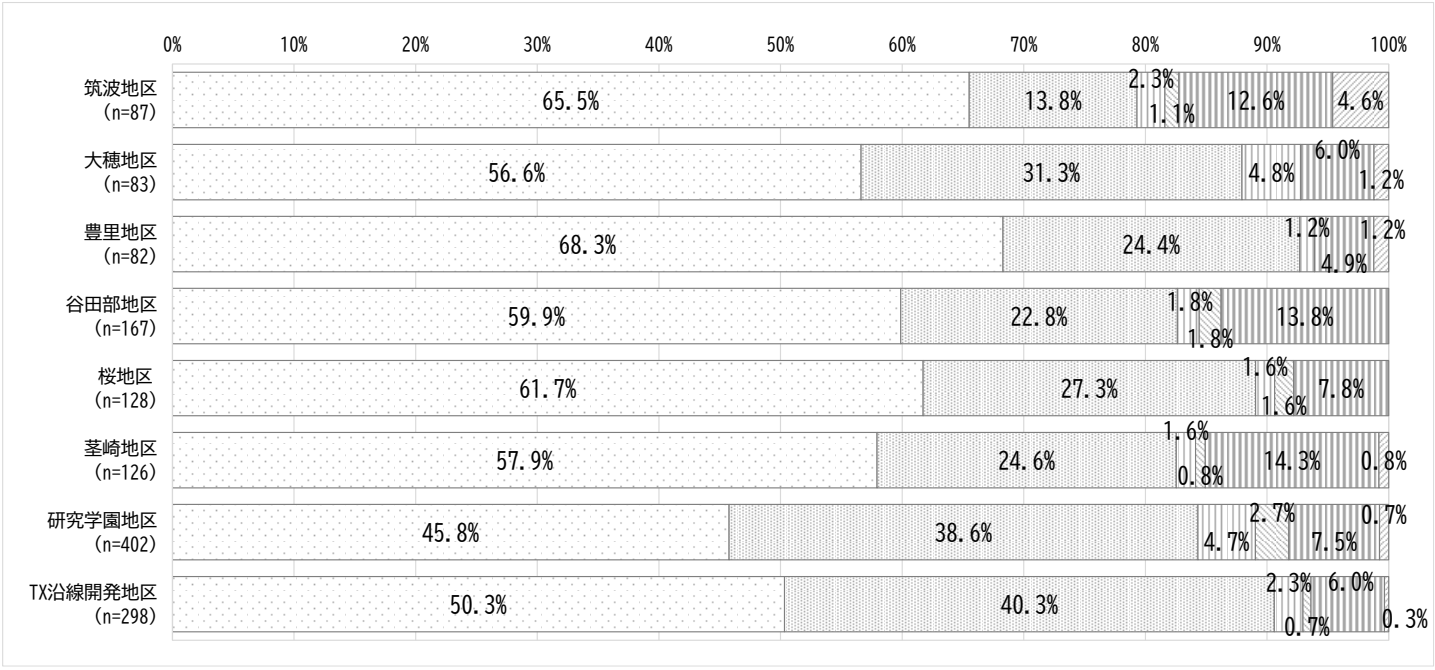
問３　あなたは、これからもつくば市に住み続けたいと思いますか。　＜○は１つ＞

②　クロス集計の結果



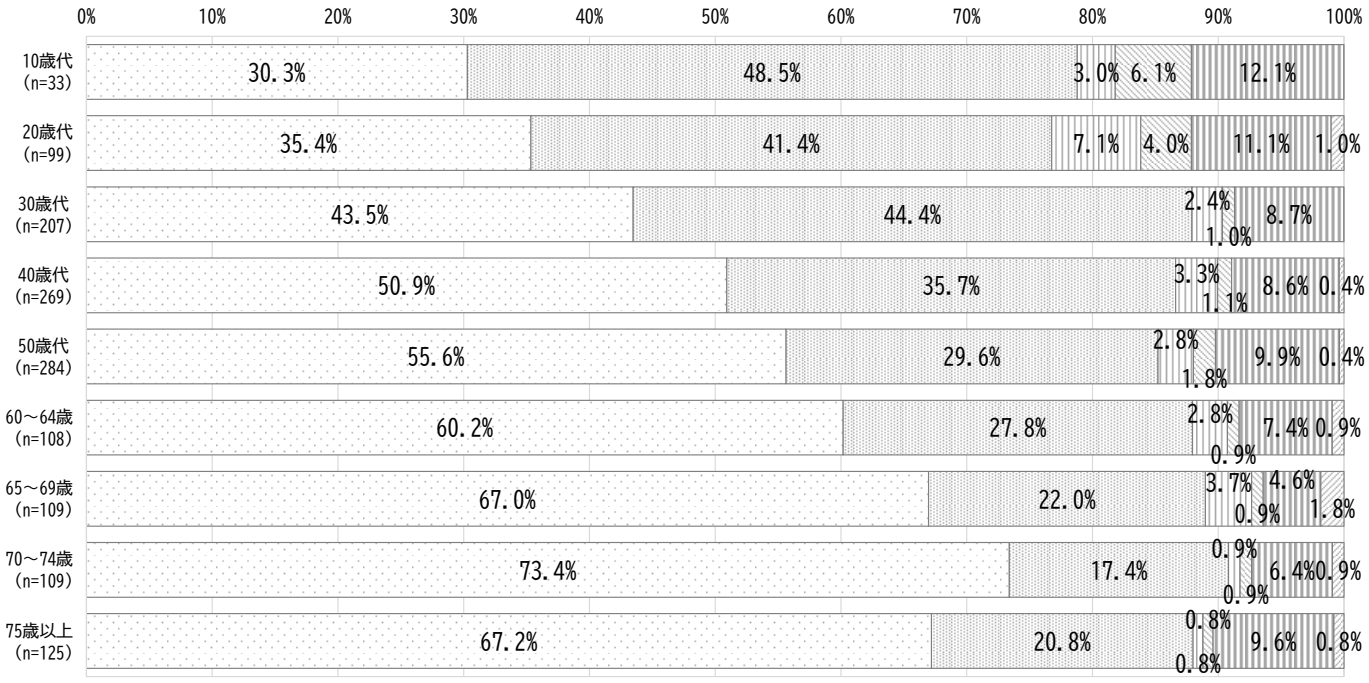
【地区別】

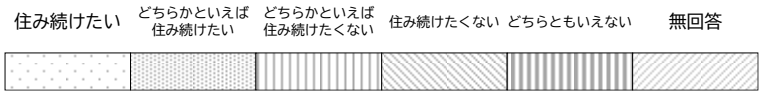
・「住み続けたい/どちらかといえば住み続けたい」の割合が、筑波地区以外では80%を超えており、筑波地区でも79.3%となっている。



【年齢別】

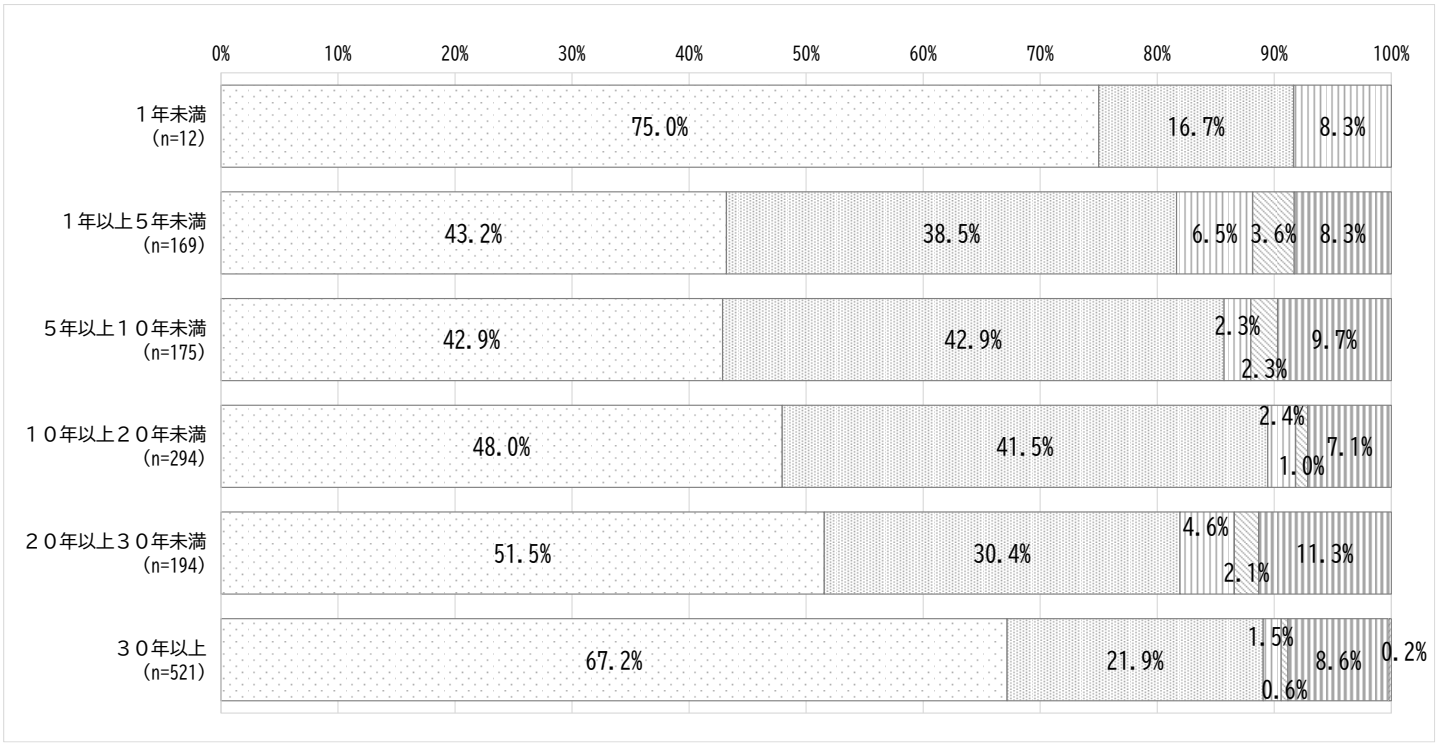
・40歳代以上の年齢で「住み続けたい」の割合が最も高くなっており、10歳代から30歳代では「どちらかといえば住み続けたい」の割合が最も高くなっている。





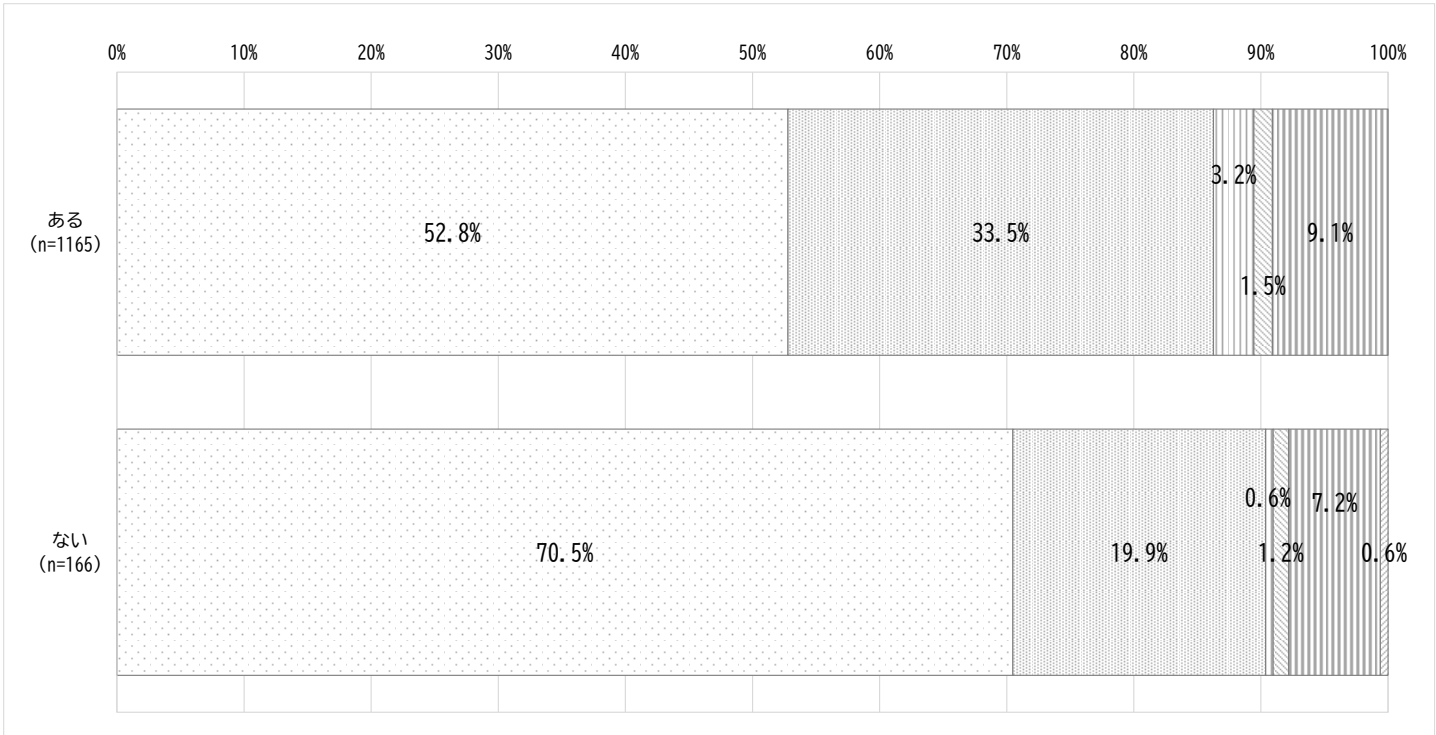
【居住年数別】

・全ての居住年数で「住み続けたい/どちらかといえば住み続けたい」の割合が 80%を超えている。



【市外居住経験別】

・市外居住経験の有無に関わらず、「住み続けたい/どちらかといえば住み続けたい」の割合が 85%を超えている



問 4　あなたは、つくば市の「住み心地」についてどう感じていますか。　＜○は１つ＞

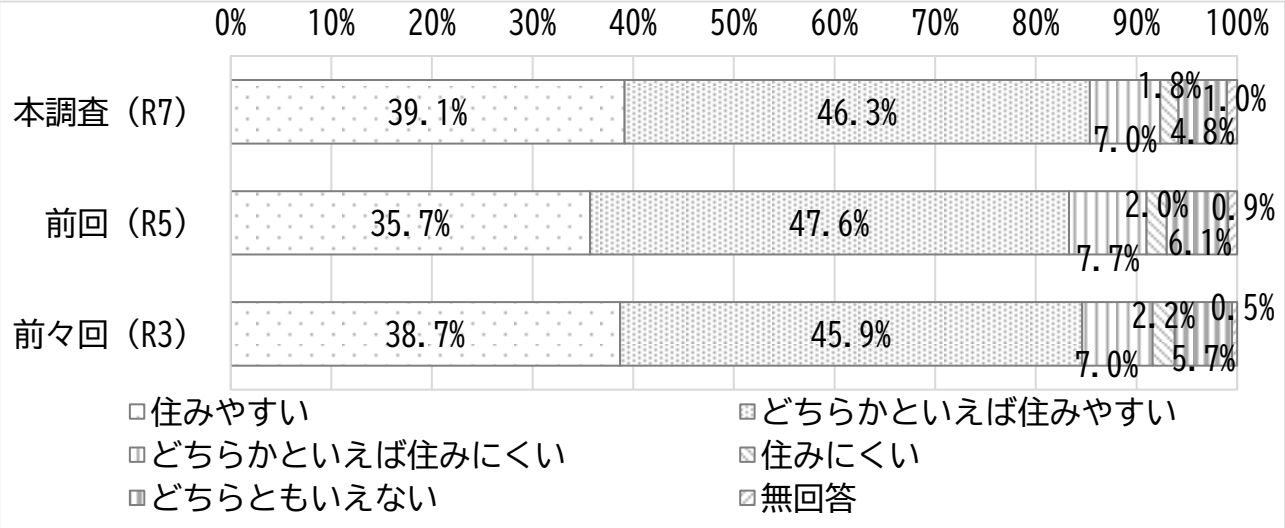
①　全体集計の結果

●つくば市の住み心地について「住みやすい/どちらかといえば住みやすい」が 8 割超え

・つくば市の住み心地について、「どちらかといえば住みやすい」が 636 人(46.3%)で最も多く、「住みやすい」が 538 人(39.1%)、「どちらかといえば住みにくい」が 96 人(7.0%)、「どちらともいえない」が 66 人(4.8%)で続いている。

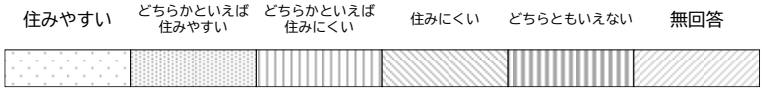
選択肢	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
住みやすい	538	39.1%	35.7%	38.7%
どちらかといえば住みやすい	636	46.3%	47.6%	45.9%
どちらかといえば住みにくい	96	7.0%	7.7%	7.0%
住みにくい	25	1.8%	2.0%	2.2%
どちらともいえない	66	4.8%	6.1%	5.7%
無回答	14	1.0%	0.9%	0.5%
全体	1,375	100.0%	100.0%	100.0%

＜過年度調査との比較＞



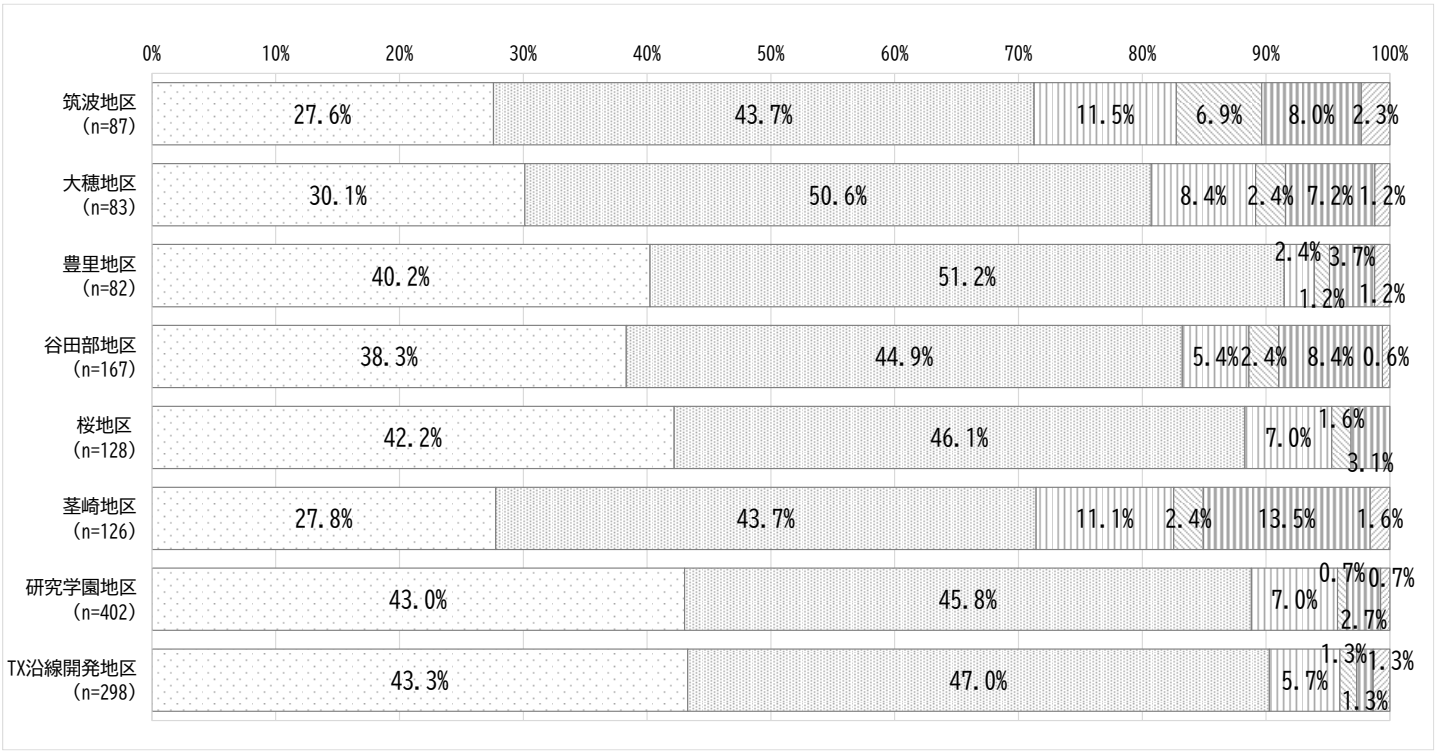
問 4　あなたは、つくば市の「住み心地」についてどう感じていますか。　＜○は１つ＞

② クロス集計の結果



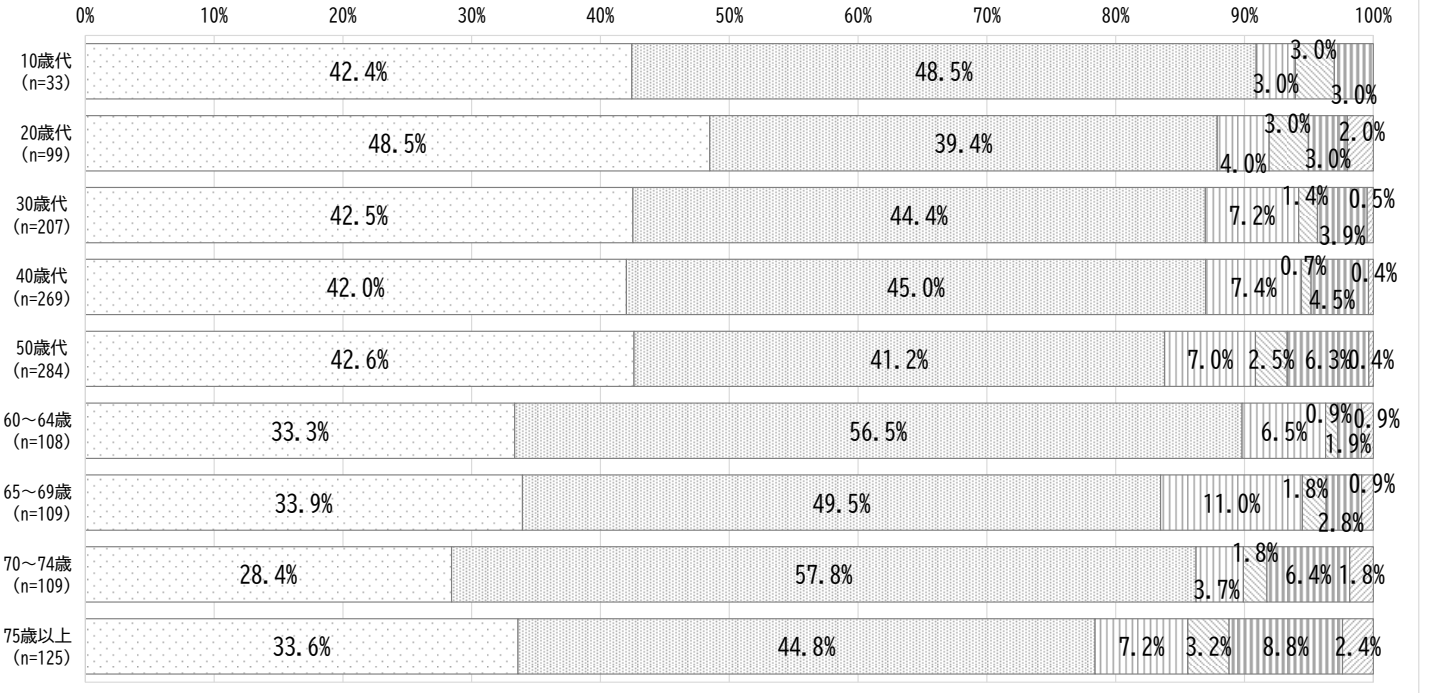
【地区別】

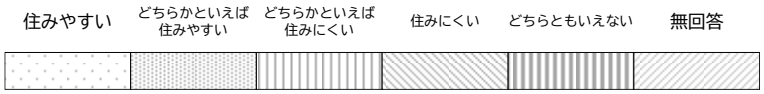
・茎崎地区と筑波地区以外では、「住みやすい/どちらかといえば住みやすい」の割合が 80%を超えている。
・筑波地区では「どちらかといえば住みにくい/住みにくい」の割合が 18.4%で最も多く、次いで茎崎地区が 13.5%となっている。



【年齢別】

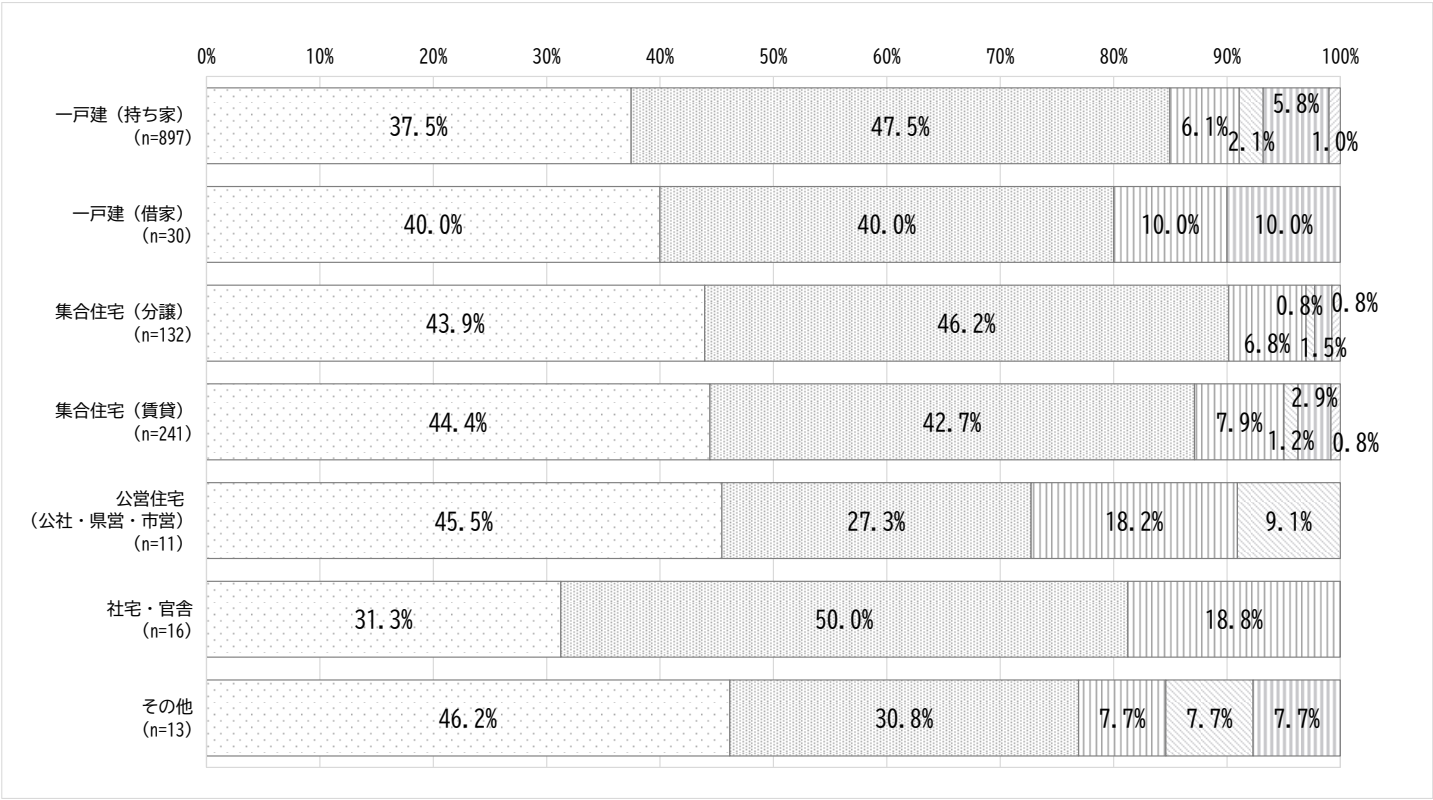
・75 歳以上を除いて、「住みやすい/どちらかといえば住みやすい」の割合が 80%を超え、10 歳代では 90%を超えている。





【住まい別】

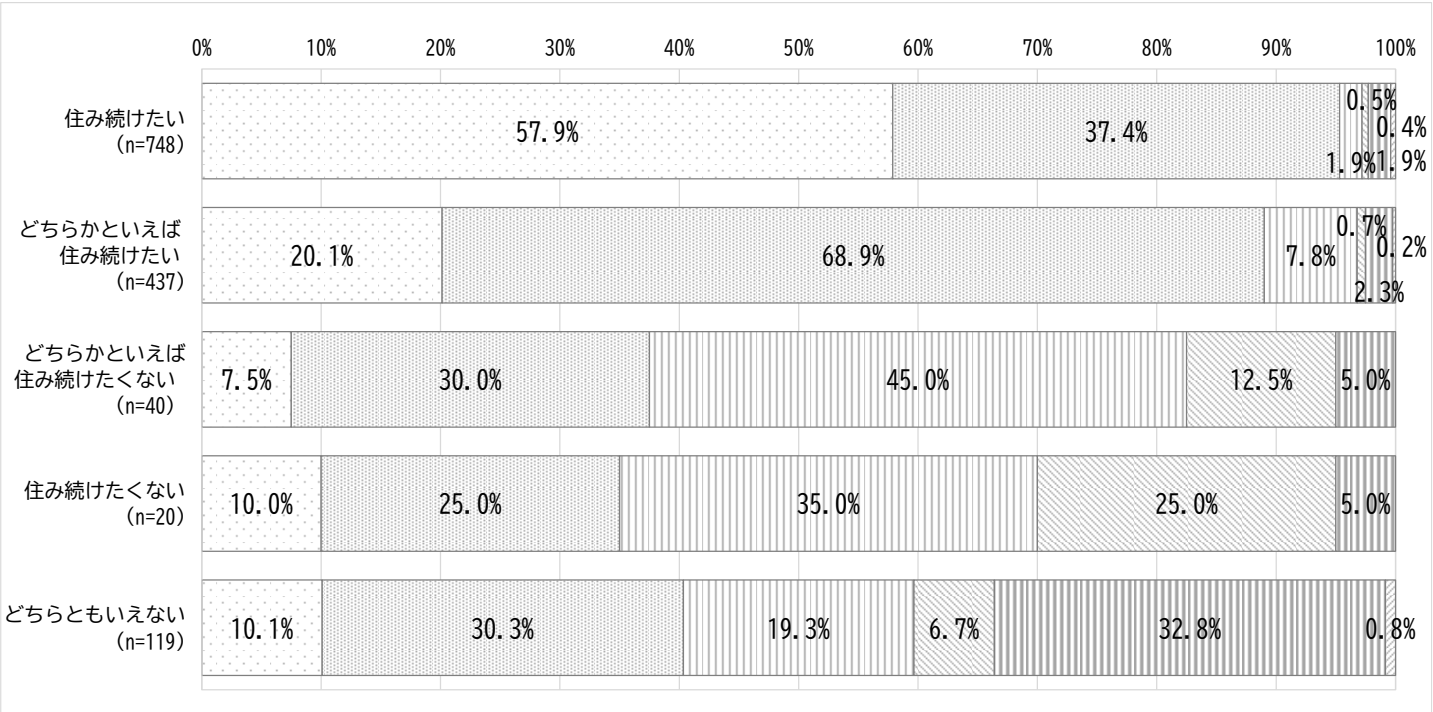
・「公営住宅」と「その他」を除き、「住みやすい/どちらかといえば住みやすい」の割合が 80%以上となっている。



【定住意向別】

・「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」では、「住みやすい/どちらかといえば住みやすい」の割合が 85%以上となっている。

・「どちらかといえば住み続けたくない」と「住み続けたくない」では、「どちらかといえば住みにくい/住みにくい」の割合が 50%以上となっている。



【問４で「１　住みやすい」「２　どちらかといえば住みやすい」とお答えの方にお聞きします】
問５　住みやすいと感じる主な理由は何ですか。　＜○は当てはまるものすべて＞

①　全体集計の結果

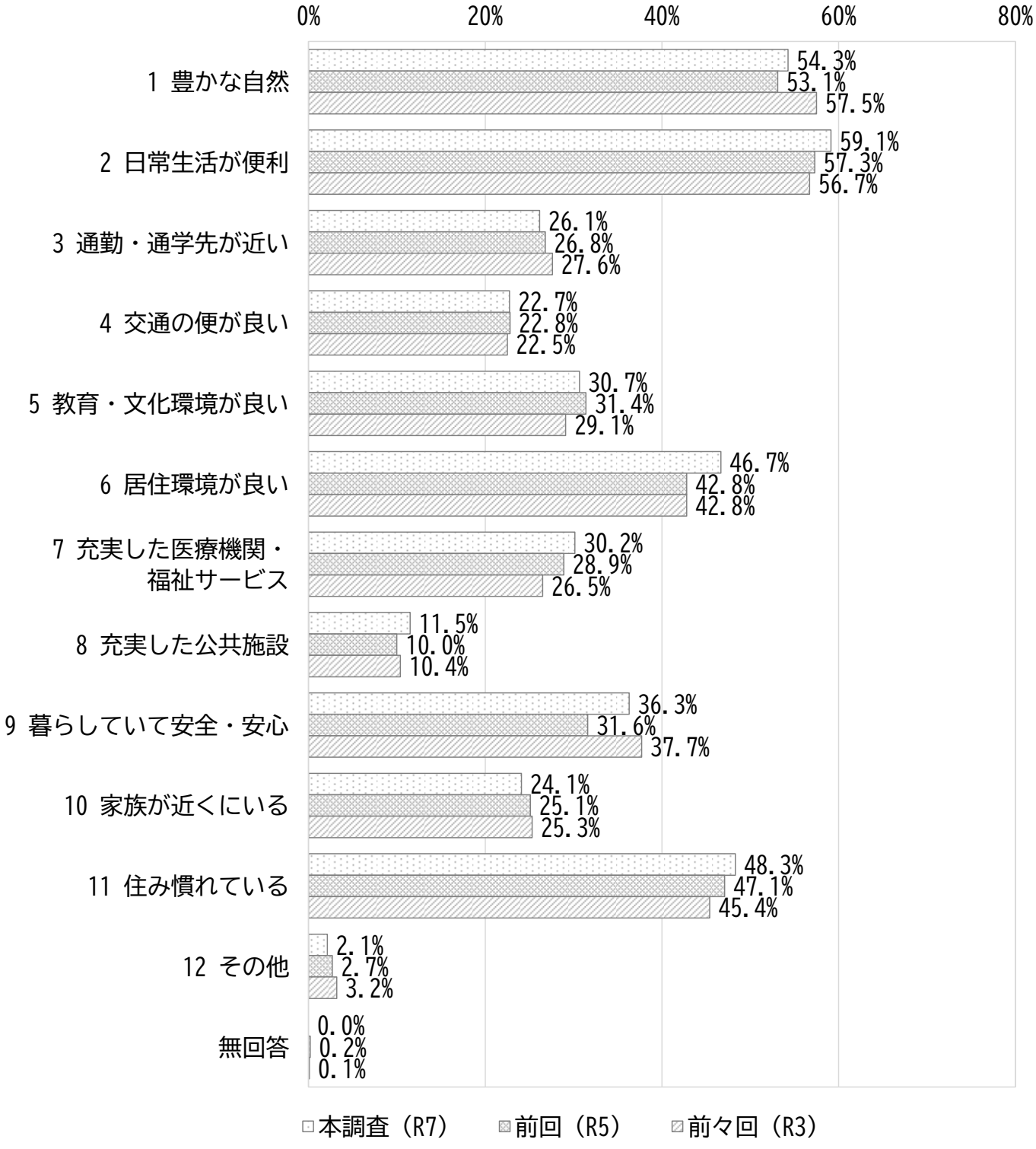
●住みやすいと感じる主な理由は、「日常生活が便利」「豊かな自然」が５割超え、「住み慣れている」「居住環境が良い」が４割超え

・住みやすいと感じる主な理由については、「日常生活が便利」が 694 人(59.1%)で最も多く、「豊かな自然」が 637 人(54.3%)、「住み慣れている」が 567 人(48.3%)、「居住環境が良い」が 548 人(46.7%)で続いている。

選択肢	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
1　豊かな自然	637	54.3%	53.1%	57.5%
2　日常生活が便利	694	59.1%	57.3%	56.7%
3　通勤・通学先が近い	307	26.1%	26.8%	27.6%
4　交通の便が良い	267	22.7%	22.8%	22.5%
5　教育・文化環境が良い	360	30.7%	31.4%	29.1%
6　居住環境が良い	548	46.7%	42.8%	42.8%
7　充実した医療機関・福祉サービス	354	30.2%	28.9%	26.5%
8　充実した公共施設	135	11.5%	10.0%	10.4%
9　暮らしていて安全・安心	426	36.3%	31.6%	37.7%
10　家族が近くにいる	283	24.1%	25.1%	25.3%
11　住み慣れている	567	48.3%	47.1%	45.4%
12　その他	25	2.1%	2.7%	3.2%
無回答	0	0.0%	0.2%	0.1%
全体（有効回答数）	1,174			

【問４で「１　住みやすい」「２　どちらかといえば住みやすい」とお答えの方にお聞きします】
問５　住みやすいと感じる主な理由は何ですか。　＜○は当てはまるものすべて＞

＜過年度調査との比較（項目順）＞



【問４で「１　住みやすい」「２　どちらかといえば住みやすい」とお答えの方にお聞きします】
問５　住みやすいと感じる主な理由は何ですか。　＜○は当てはまるものすべて＞

② クロス集計の結果

【地区別】
・全ての地区で、「豊かな自然」が上位に入っている。
・筑波地区、大穂地区、豊里地区、谷田部地区、茎崎地区では「住み慣れている」が最も多く、桜地区では「居住環境が良い」が最も多く、研究学園地区とＴＸ沿線開発地区では「日常生活が便利」が最も多くなっている。

回答順	１位		２位		３位		４位		５位	
筑波地区（n=62）	住み慣れている		豊かな自然		家族が近くにいる		充実した医療機関・福祉サービス/暮らしていて安全・安心			
	45	72.6%	40	64.5%	22	35.5%	21		33.9%	
大穂地区（n=67）	住み慣れている		日常生活が便利		豊かな自然		家族が近くにいる		充実した医療機関・福祉サービス	
	41	61.2%	37	55.2%	35	52.2%	26	38.8%	25	37.3%
豊里地区（n=75）	住み慣れている		豊かな自然/日常生活が便利				居住環境が良い		暮らしていて安全・安心	
	50	66.7%	40		53.3%		30	40.0%	24	32.0%
谷田部地区（n=139）	住み慣れている		日常生活が便利		豊かな自然		居住環境が良い		充実した医療機関・福祉サービス	
	88	63.3%	76	54.7%	64	46.0%	50	36.0%	42	30.2%
桜地区（n=113）	居住環境が良い		住み慣れている		豊かな自然		日常生活が便利		暮らしていて安全・安心	
	69	61.1%	66	58.4%	65	57.5%	60	53.1%	52	46.0%
茎崎地区（n=90）	住み慣れている		豊かな自然		暮らしていて安全・安心		日常生活が便利		家族が近くにいる	
	57	63.3%	52	57.8%	39	43.3%	34	37.8%	28	31.1%
研究学園地区（n=357）	日常生活が便利		豊かな自然		居住環境が良い		教育・文化環境が良い		暮らしていて安全・安心	
	235	65.8%	205	57.4%	190	53.2%	154	43.1%	153	42.9%
ＴＸ沿線開発地区（n=269）	日常生活が便利		居住環境が良い		豊かな自然		教育・文化環境が良い		暮らしていて安全・安心	
	190	70.6%	143	53.2%	135	50.2%	93	34.6%	88	32.7%

【年齢別】
・20 歳代、30 歳代、40 歳代、50 歳代、60～64 歳では「日常生活が便利」、10 歳代、65～69 歳、70～74 歳では「住み慣れている」、75 歳以上では「豊かな自然」が最も多くなっている。

回答順	１位		２位		３位		４位		５位	
10歳代（n=30）	住み慣れている		豊かな自然		居住環境が良い/家族が近くにいる				日常生活が便利	
	20	66.7%	18	60.0%	14		46.7%		13	43.3%
20歳代（n=87）	日常生活が便利		居住環境が良い		住み慣れている		豊かな自然		通勤・通学先が近い	
	50	57.5%	45	51.7%	40	46.0%	39	44.8%	35	40.2%
30歳代（n=180）	日常生活が便利		豊かな自然		居住環境が良い		暮らしていて安全・安心		通勤・通学先が近い	
	128	71.1%	100	55.6%	78	43.3%	62	34.4%	60	33.3%
40歳代（n=234）	日常生活が便利		豊かな自然		居住環境が良い		住み慣れている		通勤・通学先が近い	
	154	65.8%	129	55.1%	109	46.6%	93	39.7%	84	35.9%
50歳代（n=238）	日常生活が便利		豊かな自然		居住環境が良い		住み慣れている		暮らしていて安全・安心	
	148	62.2%	127	53.4%	117	49.2%	113	47.5%	103	43.3%
60～64歳（n=97）	日常生活が便利		豊かな自然/住み慣れている				居住環境が良い		充実した医療機関・福祉サービス	
	60	61.9%	53		54.6%		44	45.4%	42	43.3%
65～69歳（n=91）	住み慣れている		豊かな自然		日常生活が便利		居住環境が良い		充実した医療機関・福祉サービス	
	61	67.0%	49	53.8%	44	48.4%	42	46.2%	36	39.6%
70～74歳（n=94）	住み慣れている		豊かな自然		日常生活が便利		充実した医療機関・福祉サービス		居住環境が良い	
	63	67.0%	52	55.3%	46	48.9%	42	44.7%	39	41.5%
75歳以上（n=98）	豊かな自然		住み慣れている		居住環境が良い		暮らしていて安全・安心		充実した医療機関・福祉サービス	
	57	58.2%	56	57.1%	55	56.1%	44	44.9%	43	43.9%

【住まい別】
・全ての住まいで、「日常生活が便利」と「豊かな自然」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
一戸建（持ち家）（n=762）	日常生活が便利		住み慣れている		豊かな自然		居住環境が良い		暮らしていて安全・安心	
	423	55.5%	422	55.4%	409	53.7%	343	45.0%	257	33.7%
一戸建（借家）（n=24）	豊かな自然		日常生活が便利/居住環境が良い				住み慣れている		通勤・通学先が近い	
	15	62.5%	12	50.0%			11	45.8%	8	33.3%
集合住宅（分譲）（n=119）	日常生活が便利		居住環境が良い		豊かな自然		暮らしていて安全・安心		教育・文化環境が良い	
	88	73.9%	79	66.4%	73	61.3%	51	42.9%	48	40.3%
集合住宅（賃貸）（n=210）	日常生活が便利		豊かな自然		居住環境が良い		暮らしていて安全・安心		通勤・通学先が近い	
	141	67.1%	111	52.9%	100	47.6%	93	44.3%	86	41.0%
公営住宅（公社・県営・市営）（n=8）	日常生活が便利/通勤・通学先が近い				豊かな自然/充実した公共施設				暮らしていて安全・安心	
	5	62.5%			4	50.0%			3	37.5%
社宅・官舎（n=13）	日常生活が便利		豊かな自然/通勤・通学先が近い				居住環境が良い		交通の便が良い	
	8	61.5%	5	38.5%			4	30.8%	2	15.4%
その他（n=10）	豊かな自然/教育・文化環境が良い				住み慣れている		日常生活が便利/交通の便が良い/充実した医療機関・福祉サービス			
	5	50.0%			4	40.0%	3	30.0%		

【定住意向別】
・全ての定住意向について「豊かな自然」が上位に入っている。
・「住み続けたくない」と回答した人を除いて、「日常生活が便利」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
住み続けたい（n=713）	日常生活が便利		豊かな自然		住み慣れている		居住環境が良い		暮らしていて安全・安心	
	437	61.3%	398	55.8%	376	52.7%	359	50.4%	288	40.4%
どちらかといえば住み続けたい（n=389）	日常生活が便利		豊かな自然		居住環境が良い		住み慣れている		教育・文化環境が良い	
	225	57.8%	207	53.2%	168	43.2%	166	42.7%	125	32.1%
どちらかといえば住み続けたくない（n=15）	豊かな自然		日常生活が便利/教育・文化環境が良い				通勤・通学先が近い		暮らしていて安全・安心	
	7	46.7%	6	40.0%			5	33.3%	4	26.7%
住み続けたくない（n=7）	居住環境が良い/暮らしていて安全・安心/住み慣れている						豊かな自然		通勤・通学先が近い	
	4	57.1%					3	42.9%	2	28.6%
どちらともいえない（n=48）	日常生活が便利		豊かな自然		住み慣れている		通勤・通学先が近い		居住環境が良い	
	26	54.2%	22	45.8%	17	35.4%	15	31.3%	14	29.2%

【問４で「３　どちらかといえば住みにくい」「４　住みにくい」とお答えの方にお聞きします】
問 6　住みにくいと感じる主な理由は何ですか。　＜○は当てはまるものすべて＞

①　全体集計の結果

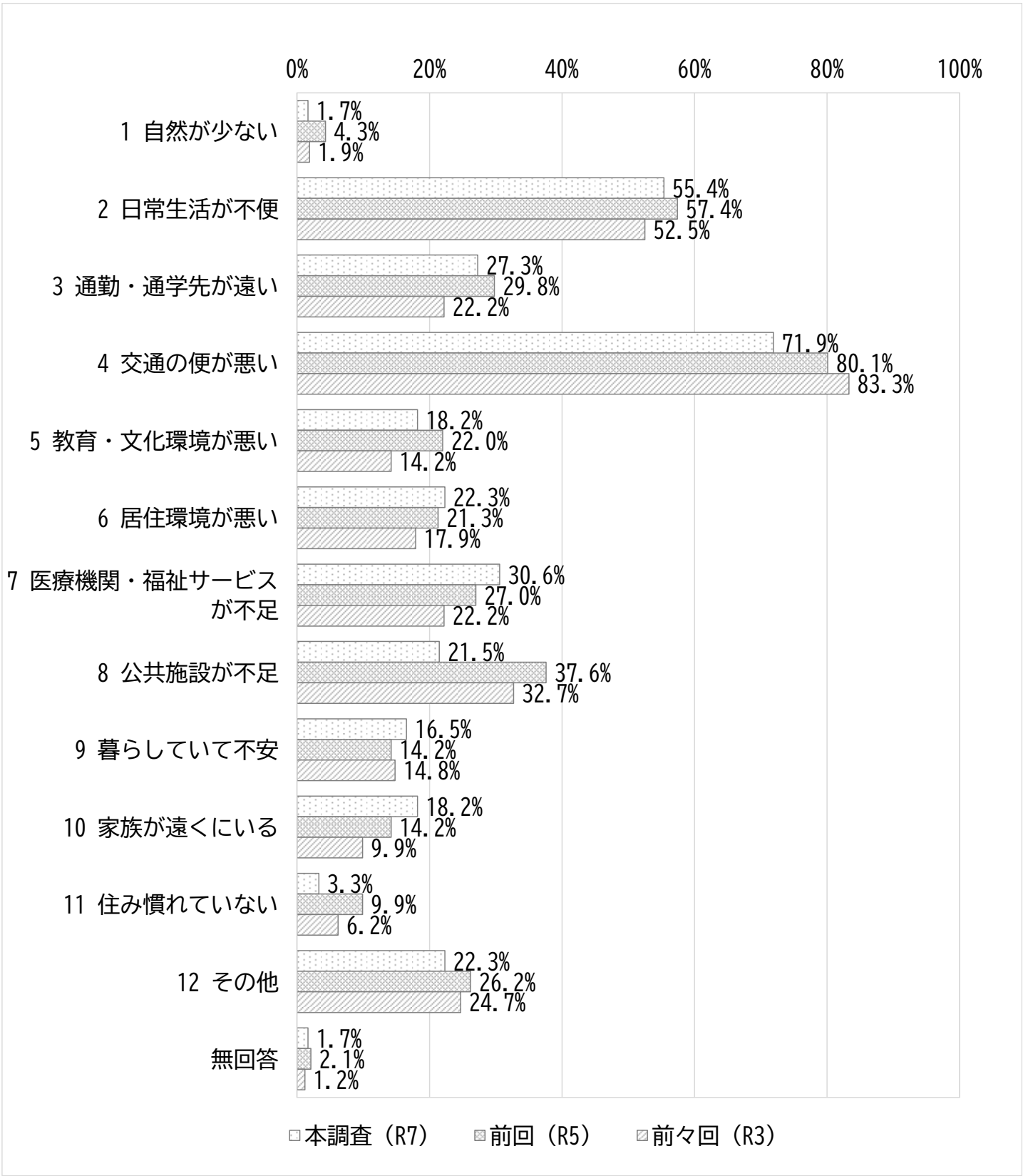
●住みにくいと感じる主な理由は、「交通の便が悪い」が約７割

・住みにくいと感じる主な理由については、「交通の便が悪い」が 87 人(71.9%)で最も多く、次いで「日常生活が不便」が 67 人(55.4%)、「充実した医療機関・福祉サービスが不足」が 37 人(30.6%)、「通勤・通学先が遠い」33 人(27.3%)で続いている。
・前回と比べると、「充実した公共施設が不足」が 16.1 ポイント、「交通の便が悪い」は 8.2 ポイント減少している。

選択肢	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
1　自然が少ない	2	1.7%	4.3%	1.9%
2　日常生活が不便	67	55.4%	57.4%	52.5%
3　通勤・通学先が遠い	33	27.3%	29.8%	22.2%
4　交通の便が悪い	87	71.9%	80.1%	83.3%
5　教育・文化環境が悪い	22	18.2%	22.0%	14.2%
6　居住環境が悪い	27	22.3%	21.3%	17.9%
7　医療機関・福祉サービスが不足	37	30.6%	27.0%	22.2%
8　公共施設が不足	26	21.5%	37.6%	32.7%
9　暮らしていて不安	20	16.5%	14.2%	14.8%
10　家族が遠くにいる	22	18.2%	14.2%	9.9%
11　住み慣れていない	4	3.3%	9.9%	6.2%
12　その他	27	22.3%	26.2%	24.7%
無回答	2	1.7%	2.1%	1.2%
全体（有効回答数）	121			

【問４で「３　どちらかといえば住みにくい」「４　住みにくい」とお答えの方にお聞きします】
問６　住みにくいと感じる主な理由は何ですか。　＜○は当てはまるものすべて＞

＜過年度調査との比較（項目順）＞



【問４で「３　どちらかといえば住みにくい」「４　住みにくい」とお答えの方にお聞きします】
問６　住みにくいと感じる主な理由は何ですか。　＜○は当てはまるものすべて＞

② クロス集計の結果

【地区別】
・全ての地区で「交通の便が悪い」が最も多い。なお、豊里地区と谷田部地区は同率で「日常生活が不便」も多い。
・筑波地区、大穂地区、茎崎地区、研究学園地区、ＴＸ沿線開発地区で、「日常生活が不便」が２位である。

回答順	１位		２位		３位		４位		５位	
筑波地区（n=16）	交通の便が悪い		日常生活が不便		居住環境が悪い		充実した公共施設が不足/暮らしていて不安			
	15	93.8%	11	68.8%	9	56.3%	5	31.3%		
大穂地区（n=9）	交通の便が悪い		日常生活が不便		通勤・通学先が遠い/教育・文化環境が悪い/充実した公共施設が不足/暮らしていて不安/その他					
	7	77.8%	6	66.7%	2	22.2%				
豊里地区（n=3）	日常生活が不便/交通の便が悪い				充実した公共施設が不足		－			
	2	66.7%			1	33.3%	－		－	
谷田部地区（n=13）	日常生活が不便/交通の便が悪い				充実した医療機関・福祉サービスが不足		居住環境が悪い		通勤・通学先が遠い	
	8	61.5%			6	46.2%	5	38.5%	3	23.1%
桜地区（n=11）	交通の便が悪い		居住環境が悪い		日常生活が不便/通勤・通学先が遠い/住み慣れてない/その他					
	6	54.5%	3	27.3%	2	18.2%				
茎崎地区（n=17）	交通の便が悪い		日常生活が不便		充実した医療機関・福祉サービスが不足		通勤・通学先が遠い		教育・文化環境が悪い	
	15	88.2%	13	76.5%	10	58.8%	6	35.3%	4	23.5%
研究学園地区（n=31）	交通の便が悪い		日常生活が不便		家族が遠くにいる/その他				通勤・通学先が遠い	
	19	61.3%	12	38.7%	9	29.0%			7	22.6%
ＴＸ沿線開発地区（n=21）	交通の便が悪い		日常生活が不便		充実した医療機関・福祉サービスが不足		通勤・通学先が遠い		その他	
	15	71.4%	13	61.9%	11	52.4%	9	42.9%	7	33.3%

【年齢別】
・回答があった全ての年代で「交通の便が悪い」が最も多い。
・30歳代以上では、「日常生活が不便」が１位と同率ないし２位である。

回答順	１位		２位		３位		４位		５位	
10歳代（n=2）	通勤・通学先が遠い/交通の便が悪い/その他						－		－	
	1	50.0%					－	－	－	－
20歳代（n=7）	交通の便が悪い/居住環境が悪い				日常生活が不便		通勤・通学先が遠い/充実した医療機関・福祉サービスが不足/充実した公共施設が不足/暮らしていて不安			
	3	42.9%			2	28.6%	1	14.3%		
30歳代（n=18）	日常生活が不便/交通の便が悪い				充実した医療機関・福祉サービスが不足		教育・文化環境が悪い/その他			
	10	55.6%			8	44.4%	7	38.9%		
40歳代（n=22）	交通の便が悪い		日常生活が不便		通勤・通学先が遠い		充実した医療機関・福祉サービスが不足		暮らしていて不安	
	16	72.7%	9	40.9%	8	36.4%	7	31.8%	6	27.3%
50歳代（n=27）	交通の便が悪い		日常生活が不便		通勤・通学先が遠い		充実した医療機関・福祉サービスが不足		充実した公共施設が不足	
	20	74.1%	18	66.7%	14	51.9%	10	37.0%	8	29.6%
60～64歳（n=8）	日常生活が不便/交通の便が悪い				その他		充実した医療機関・福祉サービスが不足/暮らしていて不安			
	6	75.0%			4	50.0%	3	37.5%		
65～69歳（n=14）	交通の便が悪い		日常生活が不便		居住環境が悪い		充実した医療機関・福祉サービスが不足		充実した公共施設が不足	
	12	85.7%	8	57.1%	7	50.0%	5	35.7%	3	21.4%
70～74歳（n=6）	交通の便が悪い		日常生活が不便		充実した公共施設が不足/家族が遠くにいる				教育・文化環境が悪い	
	5	83.3%	4	66.7%	3	50.0%			1	16.7%
75歳以上（n=13）	交通の便が悪い		日常生活が不便		居住環境が悪い		暮らしていて不安/家族が遠くにいる			
	11	84.6%	8	61.5%	4	30.8%	3	23.1%		

【住まい別】

・全ての住まいで「交通の便が悪い」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
一戸建（持ち家）（n=74）	交通の便が悪い		日常生活が不便		充実した医療機関・福祉サービスが不足		通勤・通学先が遠い		充実した公共施設が不足	
	57	77.0%	46	62.2%	25	33.8%	23	31.1%	19	25.7%
一戸建（借家）（n=3）	日常生活が不便		交通の便が悪い/充実した医療機関・福祉サービスが不足/その他						-	
	2	66.7%	1			33.3%			-	-
集合住宅（分譲）（n=10）	交通の便が悪い		日常生活が不便/充実した公共施設が不足/家族が遠くにいる						充実した医療機関・福祉サービスが不足	
	8	80.0%	5			50.0%			4	40.0%
集合住宅（賃貸）（n=22）	交通の便が悪い		日常生活が不便		その他		充実した医療機関・福祉サービスが不足		居住環境が悪い	
	11	50.0%	9	40.9%	7	31.8%	5	22.7%	4	18.2%
公営住宅（公社・県営・市営）（n=3）	居住環境が悪い		日常生活が不便/交通の便が悪い				通勤・通学先が遠い/教育・文化環境が悪い/充実した公共施設が不足/その他			
	3	100.0%	2		66.7%		1		33.3%	
社宅・官舎（n=3）	交通の便が悪い		通勤・通学先が遠い		日常生活が不便/教育・文化環境が悪い/家族が遠くにいる/住み慣れてない					
	3	100.0%	2	66.7%	1			33.3%		
その他（n=2）	交通の便が悪い		通勤・通学先が遠い/充実した医療機関・福祉サービスが不足				-		-	
	2	100.0%	1		50.0%		-	-	-	-

【定住意向別】

・全ての定住意向で「交通の便が悪い」が最も多く、住み続けたくないと回答した人は同率で「日常生活が不便」が最も多い。その他の定住意向では、「日常生活が不便」が次点となっている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
住み続けたい（n=18）	交通の便が悪い		日常生活が不便		居住環境が悪い		通勤・通学先が遠い/教育・文化環境が悪い/充実した医療機関・福祉サービスが不足/充実した公共施設が不足/暮らしていて不安			
	17	94.4%	12	66.7%	7	38.9%	4		22.2%	
どちらかといえば住み続けたい（n=37）	交通の便が悪い		日常生活が不便		充実した医療機関・福祉サービスが不足		通勤・通学先が遠い/その他			
	23	62.2%	18	48.6%	12	32.4%	10		27.0%	
どちらかといえば住み続けたくない（n=23）	交通の便が悪い		日常生活が不便		通勤・通学先が遠い		居住環境が悪い		教育・文化環境が悪い	
	15	65.2%	11	47.8%	8	34.8%	7	30.4%	6	26.1%
住み続けたくない（n=12）	日常生活が不便/交通の便が悪い				充実した医療機関・福祉サービスが不足/その他				教育・文化環境が悪い	
	7		58.3%		4		33.3%		3	25.0%
どちらともいえない（n=31）	交通の便が悪い		日常生活が不便		充実した医療機関・福祉サービスが不足		通勤・通学先が遠い		居住環境が悪い	
	25	80.6%	19	61.3%	11	35.5%	10	32.3%	8	25.8%

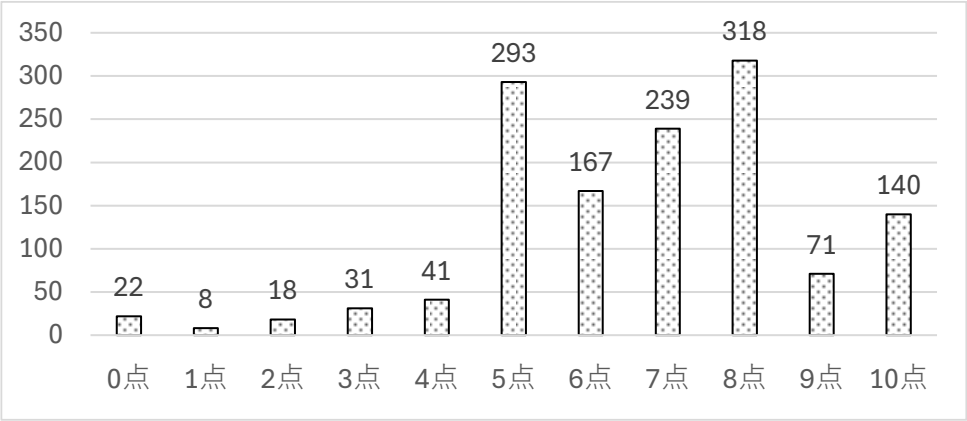
問７　あなたは、移住を検討している親しい友人や知人に、つくば市をどの程度勧めたいと思いますか？
あてはまる点数に○をつけてください　＜○は１つ＞

①　全体集計の結果

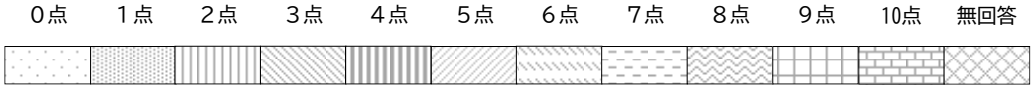
●おすすめ度の全体平均は、6.69 点

・「8 点」が 318 人（23.1%）で最も多く、次いで「5 点」が 293 人（21.3%）、「7 点」が 239 人（17.4%）、「6 点」が 167 人（12.1%）と続いている。

選択肢	全く勧めたくない	→									とても勧めたい	無回答	全体
	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点		
回答数（人）	22	8	18	31	41	293	167	239	318	71	140	27	1,375
構成比	1.6%	0.6%	1.3%	2.3%	3.0%	21.3%	12.1%	17.4%	23.1%	5.2%	10.2%	2.0%	100.0%



②　クロス集計の結果

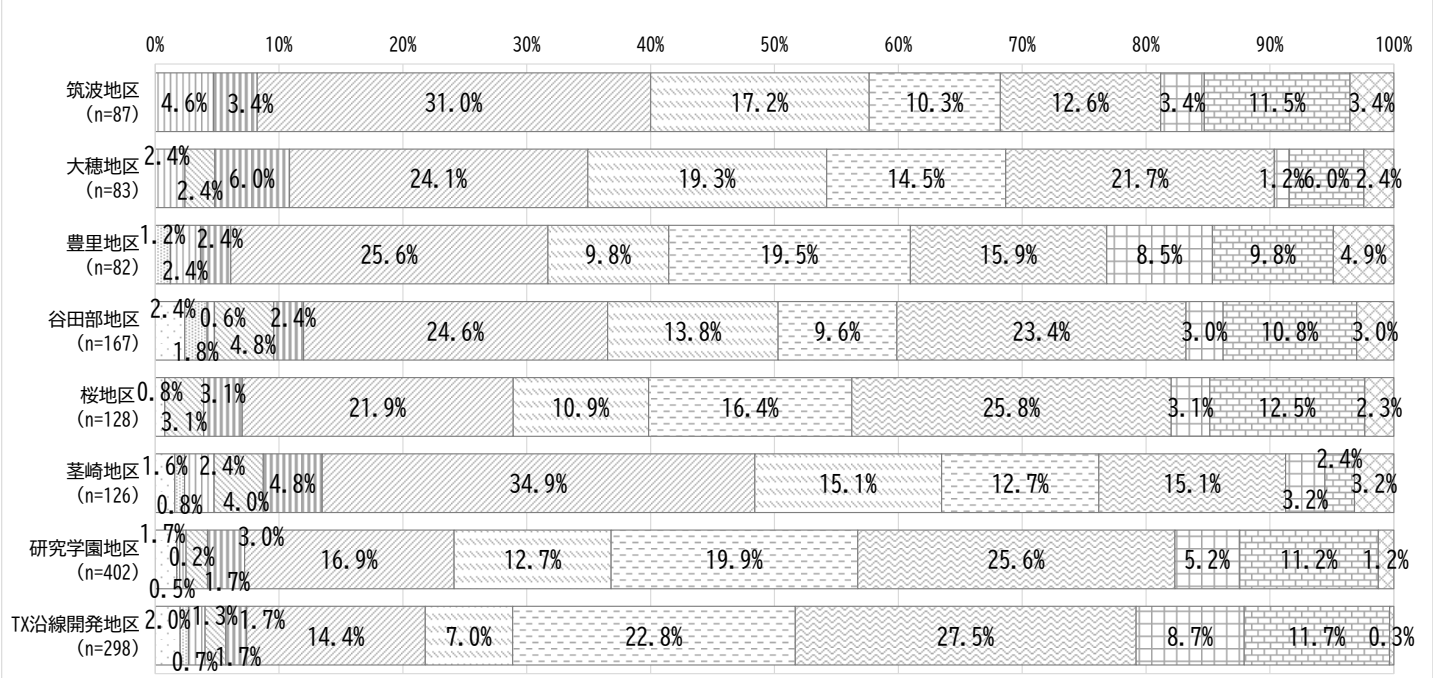


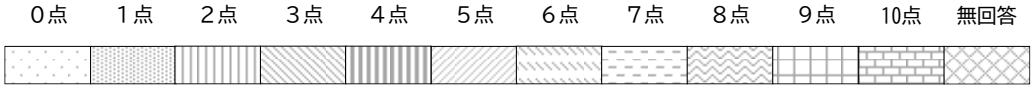
【地区別】

・平均点

筑波地区	大穂地区	豊里地区	谷田部地区	桜地区	茎崎地区	研究学園地区	TX沿線開発地区
6.22	6.33	6.73	6.40	6.87	5.82	6.91	7.08

・茎崎地区以外は 6 点以上が過半数を占めた。
・平均点を比較すると、ＴＸ沿線開発地区が最も高く 7 点を超えている。



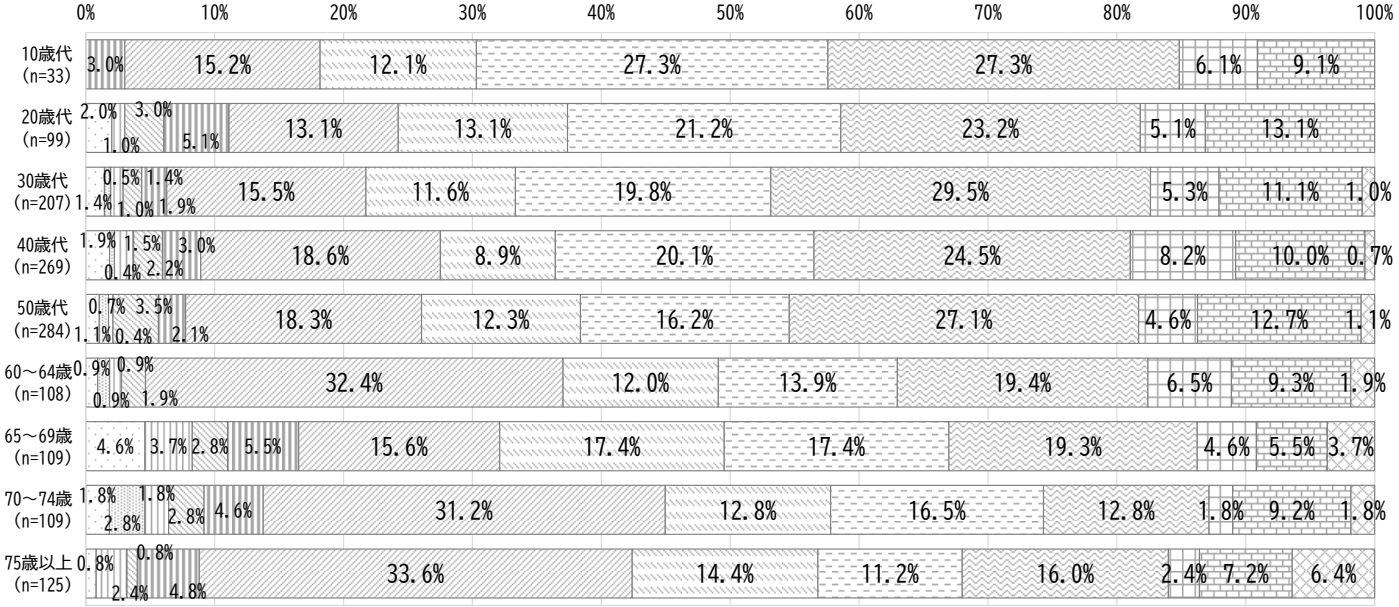


【年齢別】

・平均点

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
7.15	6.87	7.01	6.84	6.91	6.58	6.15	6.04	6.20

・全体的な傾向として、年齢が上がるにつれて低得点が占める割合が増えている。
・10 歳代～50 歳代は 7 点以上の割合が過半数を占めている。
・平均点が最も高かったのは、10 歳代で 7.15 である。

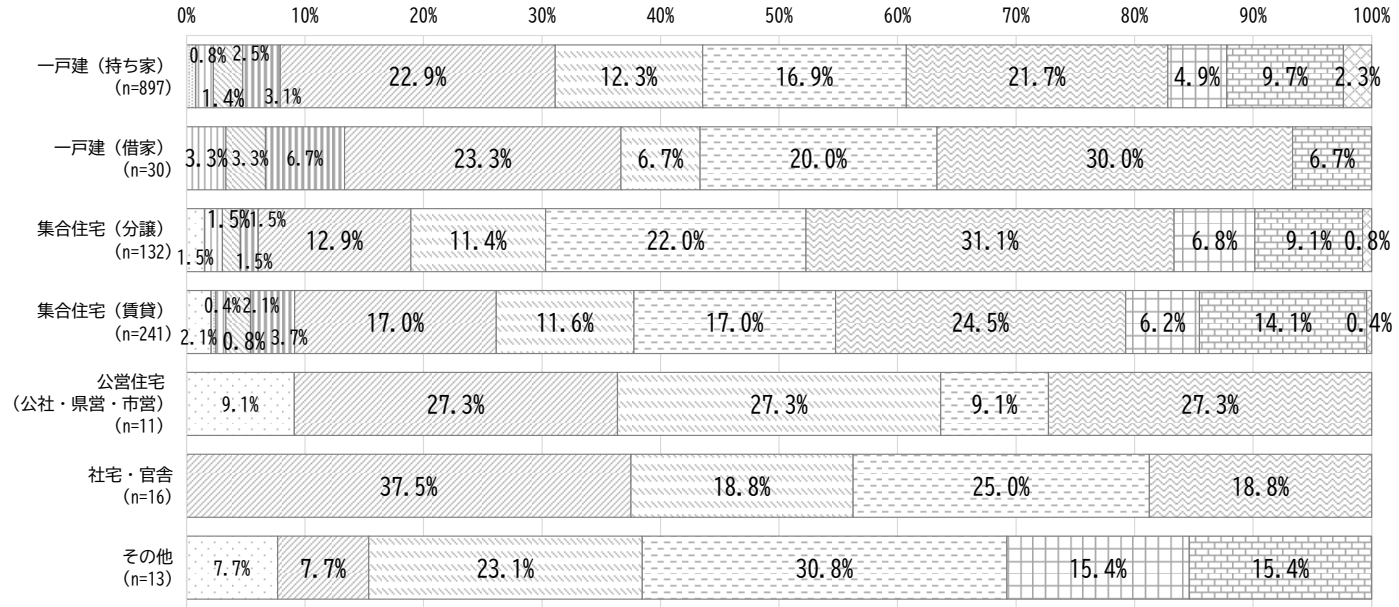


【住まい別】

・平均点

一戸建（持ち家）	一戸建（借家）	集合住宅（分譲）	集合住宅（賃貸）	公営住宅（公社･県営･市営）	社宅･官舎	その他
6.61	6.47	7.06	6.92	5.82	6.25	6.85

・「公営住宅」と「社宅・官舎」では 6 点以下の点数が過半数を占め、公営住宅は平均点が最も低く 5.82 である。
・一方、「公営住宅」と「社宅・官舎」以外では 7 点以上の点数が過半数を占めている。



問 8　あなたは、つくば市の景観をどう思いますか。　＜○は１つ＞

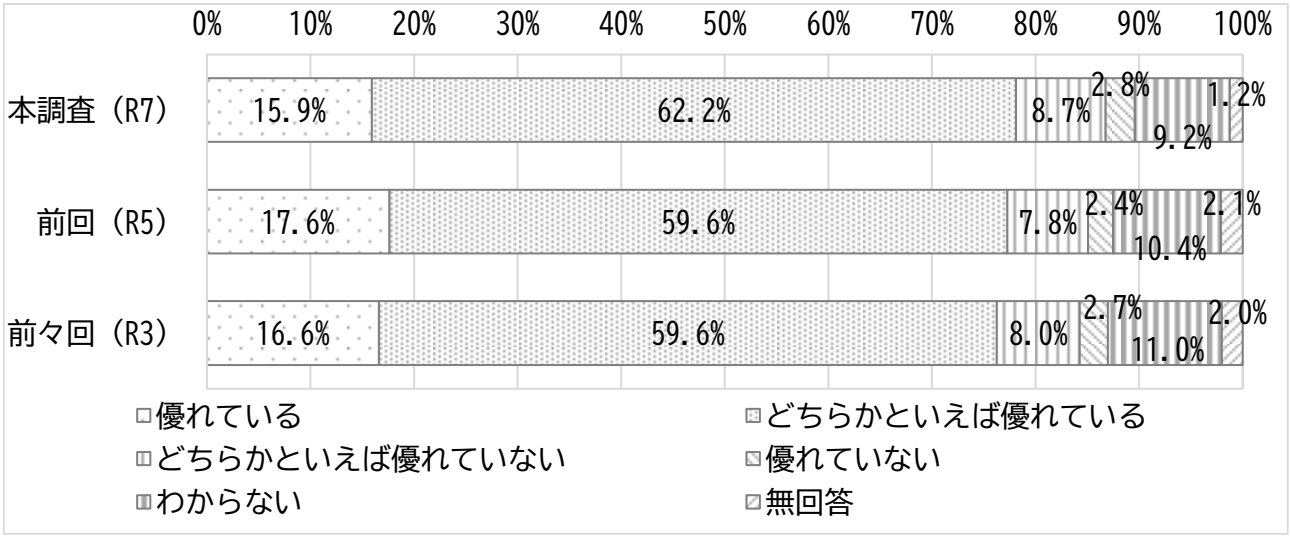
①　全体集計の結果

●つくば市の景観について「優れている/どちらかといえば優れている」が７割半ば

・つくば市の景観について、「どちらかといえば優れている」が 855 人(62.2%)で最も多く、「優れている」が 219 人(15.9%)、「わからない」が 126 人(9.2%)、「どちらかといえば優れていない」が 119 人(8.7%)で続いている。

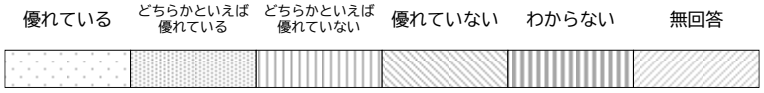
選択肢	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
優れている	219	15.9%	17.6%	16.6%
どちらかといえば優れている	855	62.2%	59.6%	59.6%
どちらかといえば優れていない	119	8.7%	7.8%	8.0%
優れていない	39	2.8%	2.4%	2.7%
わからない	126	9.2%	10.4%	11.0%
無回答	17	1.2%	2.1%	2.0%
全体	1,375	100.0%	100.0%	100.0%

＜過年度調査との比較＞



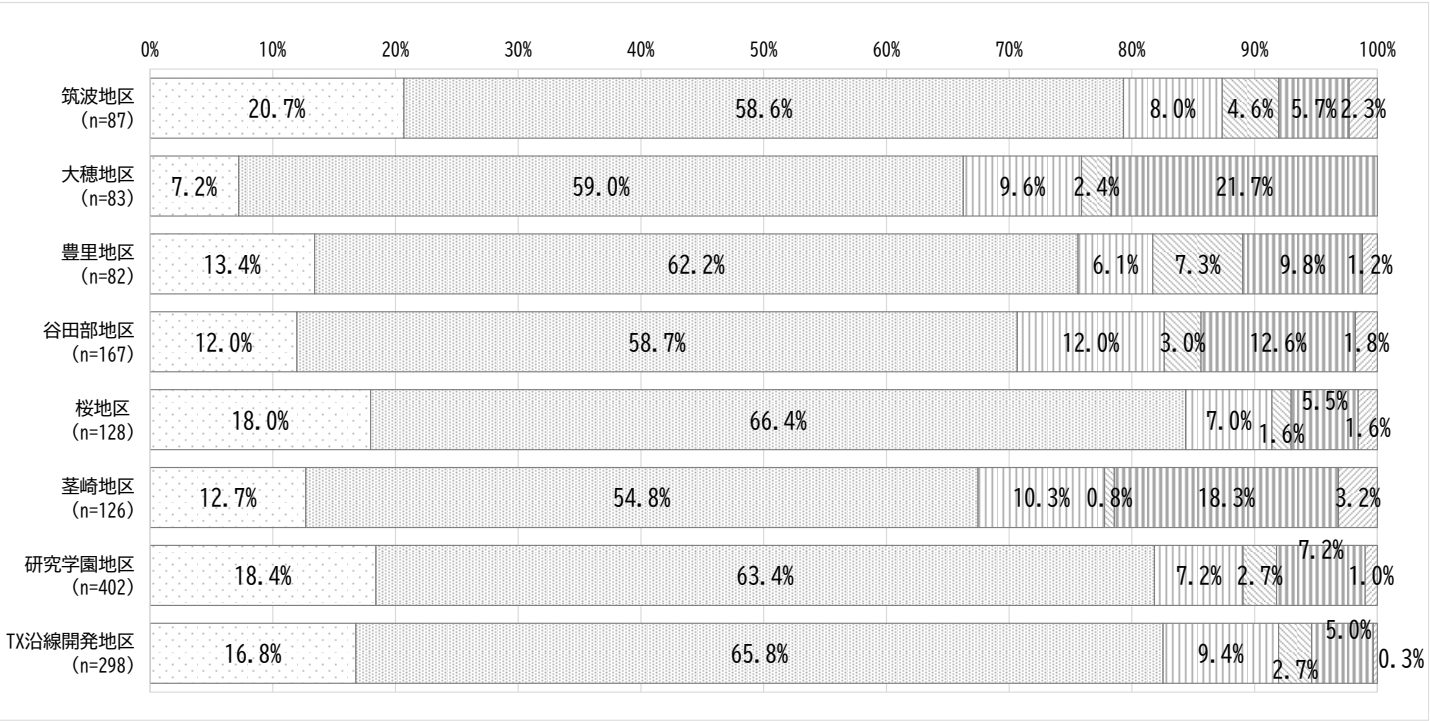
問８　あなたは、つくば市の景観をどう思いますか。　＜○は１つ＞

② クロス集計の結果



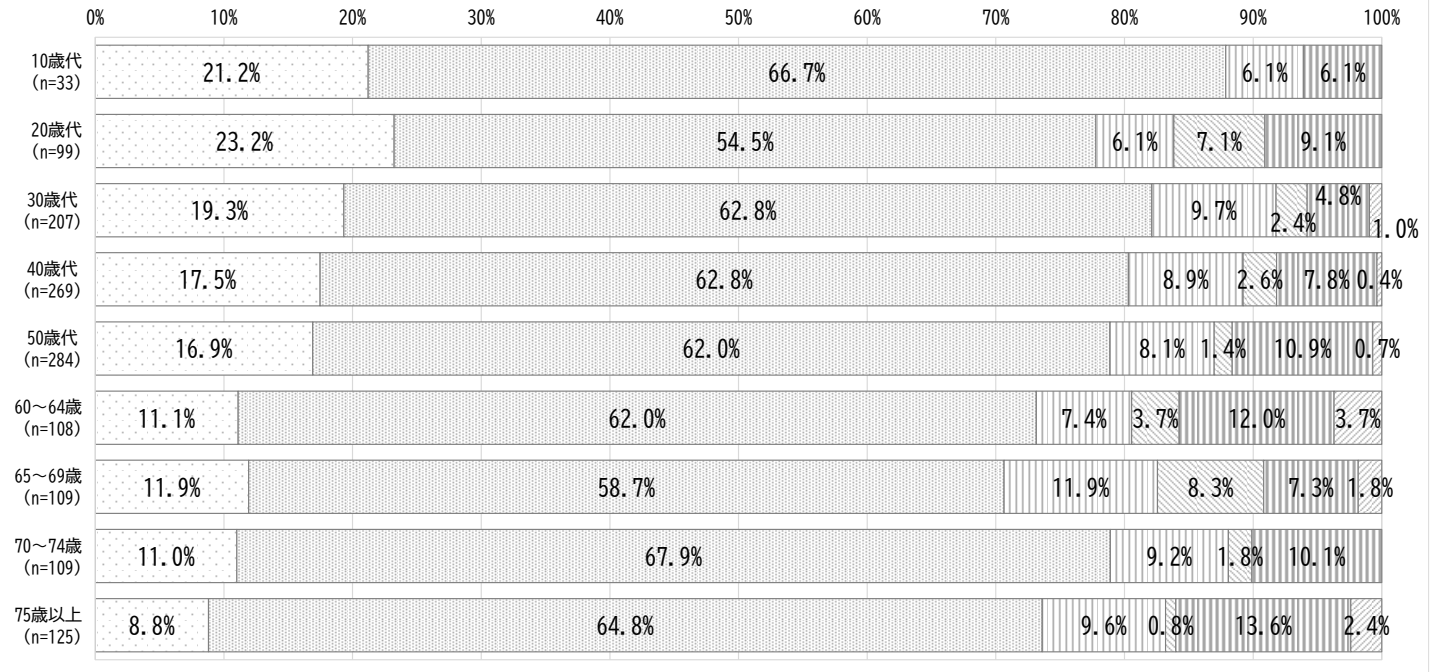
【地区別】

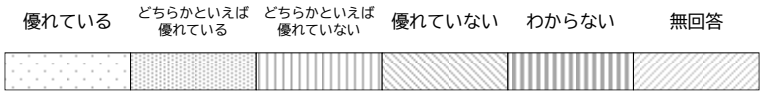
・全ての地区で「優れている/どちらかといえば優れている」の割合が 65％を超えている。
・特に、桜地区、研究学園地区、ＴＸ沿線開発地区では８割を超えている。



【年齢別】

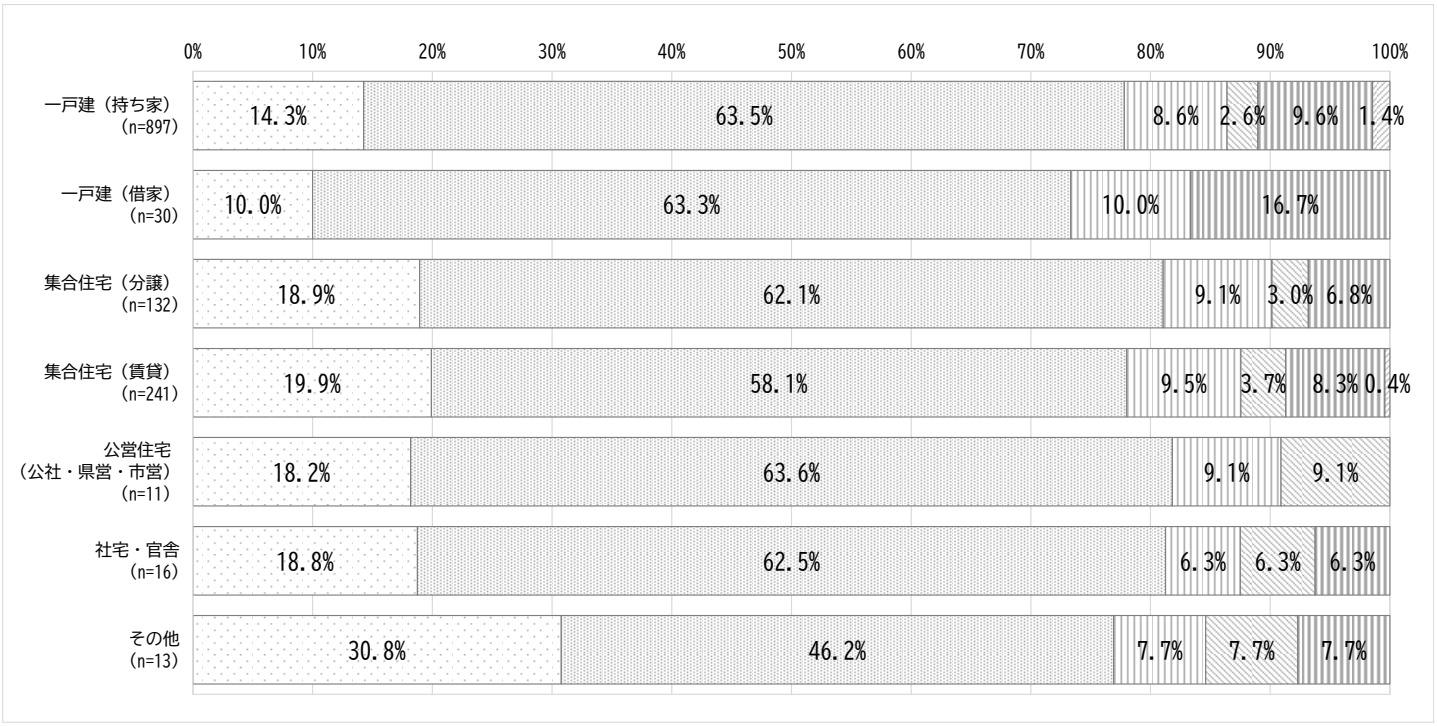
・全ての年齢で「優れている/どちらかといえば優れている」の割合が 70％を超えている。





【住まい別】

・全ての住まいで、「優れている/どちらかといえば優れている」の割合が 70%を超えている。



【定住意向別】

・「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」では「優れている/どちらかといえば優れている」の割合が 75%を超えている。

・「どちらかといえば住み続けたくない」では「どちらかといえば優れていない/優れていない」の割合が 32.5%であり、「住み続けたくない」では 60%である。



問 9　つくば市の景観として、次の項目について、どう思いますか。＜各項目についていずれかの選択肢１つに○＞

①　全体集計の結果

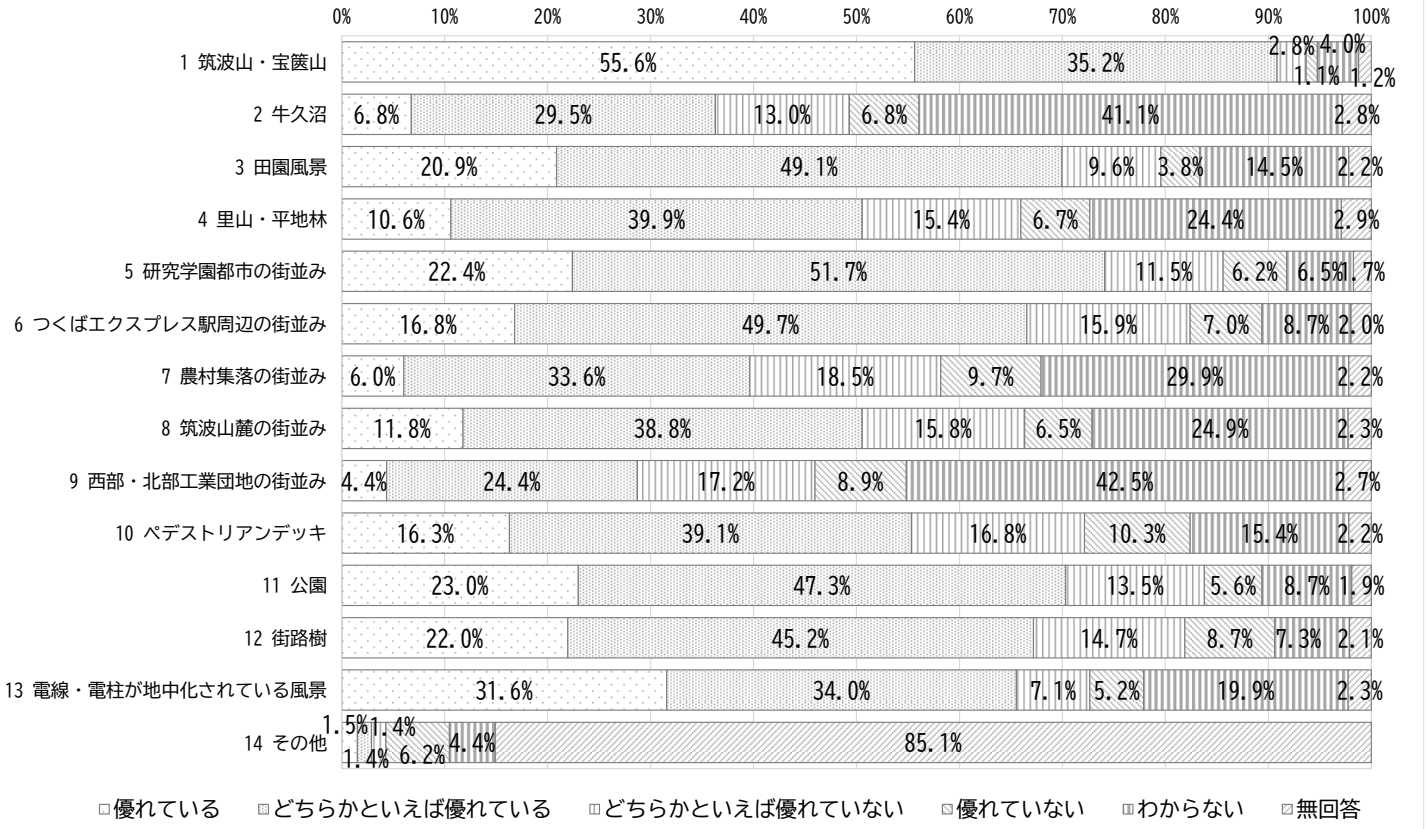
●つくば市の景観として『優れている/どちらかといえば優れている』は「筑波山・宝篋山」が約９割

・優れている景観については、「筑波山・宝篋山」が 765 人(55.6%)で最も多く、「電線・電柱が地中化されている風景」が 434 人(31.6%)、「公園」が 316 人(23.0%)で続いている。

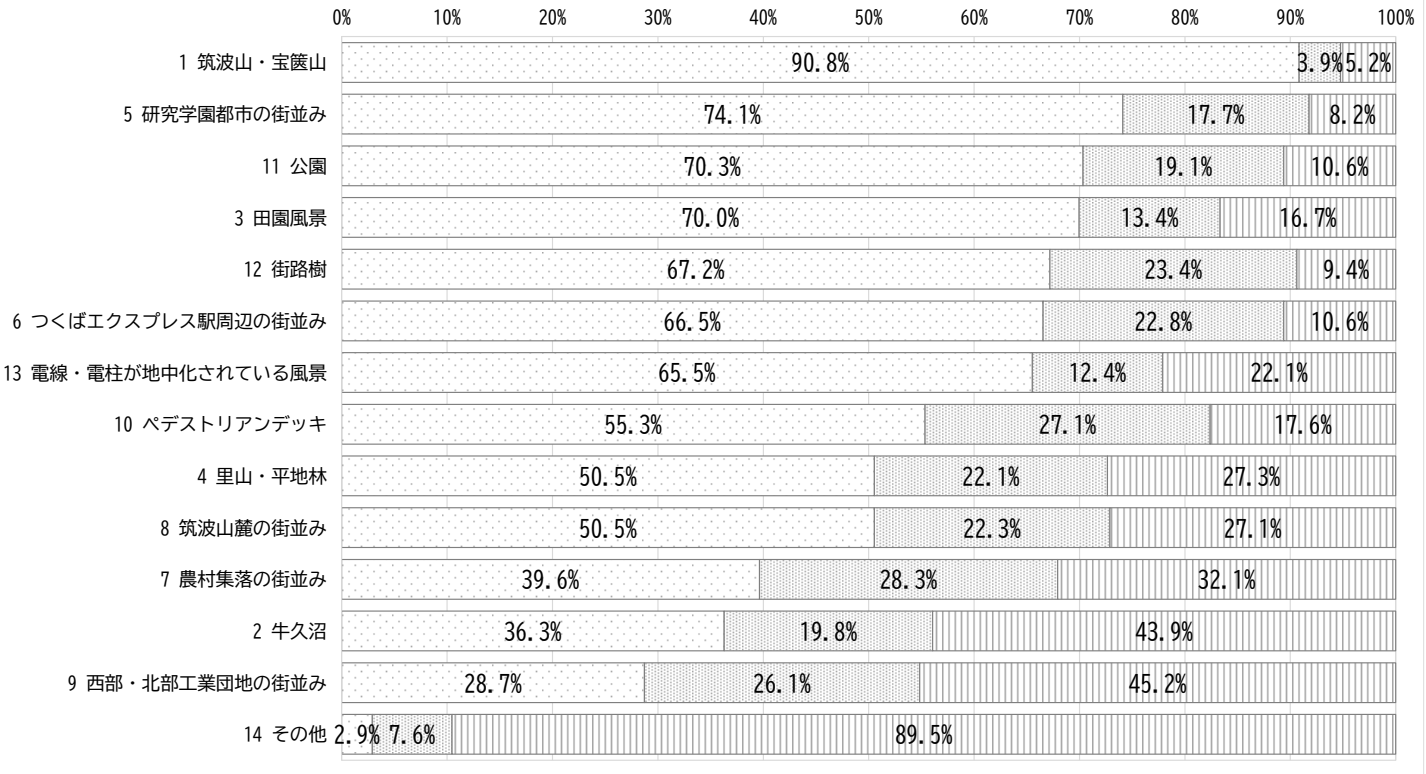
項目	選択肢	優れている	どちらかといえば優れている	どちらかといえば優れていない	優れていない	わからない	無回答	合計
1　筑波山・宝篋山	回答数（人）	765	484	39	15	55	17	1375
	構成比	55.6%	35.2%	2.8%	1.1%	4.0%	1.2%	100.0%
2　牛久沼	回答数（人）	93	406	179	93	565	39	1375
	構成比	6.8%	29.5%	13.0%	6.8%	41.1%	2.8%	100.0%
3　田園風景	回答数（人）	287	675	132	52	199	30	1375
	構成比	20.9%	49.1%	9.6%	3.8%	14.5%	2.2%	100.0%
4　里山・平地林	回答数（人）	146	549	212	92	336	40	1375
	構成比	10.6%	39.9%	15.4%	6.7%	24.4%	2.9%	100.0%
5　研究学園都市の街並み	回答数（人）	308	711	158	85	89	24	1375
	構成比	22.4%	51.7%	11.5%	6.2%	6.5%	1.7%	100.0%
6　つくばエクスプレス駅周辺の街並み	回答数（人）	231	684	218	96	119	27	1375
	構成比	16.8%	49.7%	15.9%	7.0%	8.7%	2.0%	100.0%
7　農村集落の街並み	回答数（人）	83	462	255	134	411	30	1375
	構成比	6.0%	33.6%	18.5%	9.7%	29.9%	2.2%	100.0%
8　筑波山麓の街並み	回答数（人）	162	533	217	90	342	31	1375
	構成比	11.8%	38.8%	15.8%	6.5%	24.9%	2.3%	100.0%
9　西部・北部工業団地の街並み	回答数（人）	60	335	237	122	584	37	1375
	構成比	4.4%	24.4%	17.2%	8.9%	42.5%	2.7%	100.0%
10　ペデストリアンデッキ	回答数（人）	224	537	231	141	212	30	1375
	構成比	16.3%	39.1%	16.8%	10.3%	15.4%	2.2%	100.0%
11　公園	回答数（人）	316	651	185	77	120	26	1375
	構成比	23.0%	47.3%	13.5%	5.6%	8.7%	1.9%	100.0%
12　街路樹	回答数（人）	302	622	202	120	100	29	1375
	構成比	22.0%	45.2%	14.7%	8.7%	7.3%	2.1%	100.0%
13　電線・電柱が地中化されている風景	回答数（人）	434	467	98	72	273	31	1375
	構成比	31.6%	34.0%	7.1%	5.2%	19.9%	2.3%	100.0%
14　その他	回答数（人）	21	19	19	85	61	1170	1375
	構成比	1.5%	1.4%	1.4%	6.2%	4.4%	85.1%	100.0%

問 9　つくば市の景観として、次の項目について、どう思いますか。＜各項目についていずれかの選択肢１つに○＞

＜全体集計グラフ（項目順）＞



＜全体集計グラフ（優れている・どちらかといえば優れているの割合が多い順）＞



問 10　あなたは、つくば市に愛着を持っていますか。　＜○は１つ＞

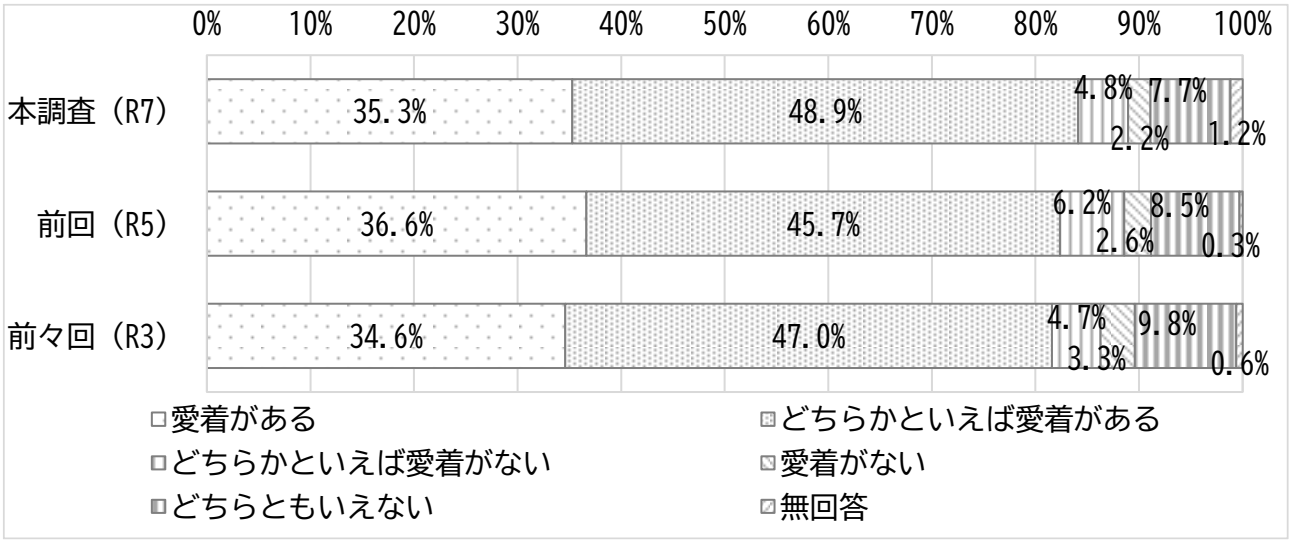
①　全体集計の結果

●つくば市に「愛着がある/どちらかといえば愛着がある」が 8 割超

・つくば市の愛着については、「どちらかといえば愛着がある」が 672 人(48.9%)で最も多く、「愛着がある」が 485 人(35.3%)、「どちらともいえない」が 106 人(7.7%)で続いている。

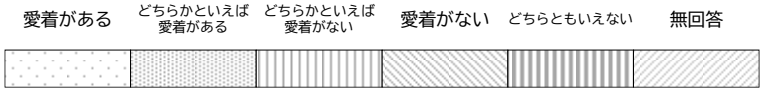
選択肢	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
愛着がある	485	35.3%	36.6%	34.6%
どちらかといえば愛着がある	672	48.9%	45.7%	47.0%
どちらかといえば愛着がない	66	4.8%	6.2%	4.7%
愛着がない	30	2.2%	2.6%	3.3%
どちらともいえない	106	7.7%	8.5%	9.8%
無回答	16	1.2%	0.3%	0.6%
全体	1,375	100.0%	100.0%	100.0%

＜過年度調査との比較＞



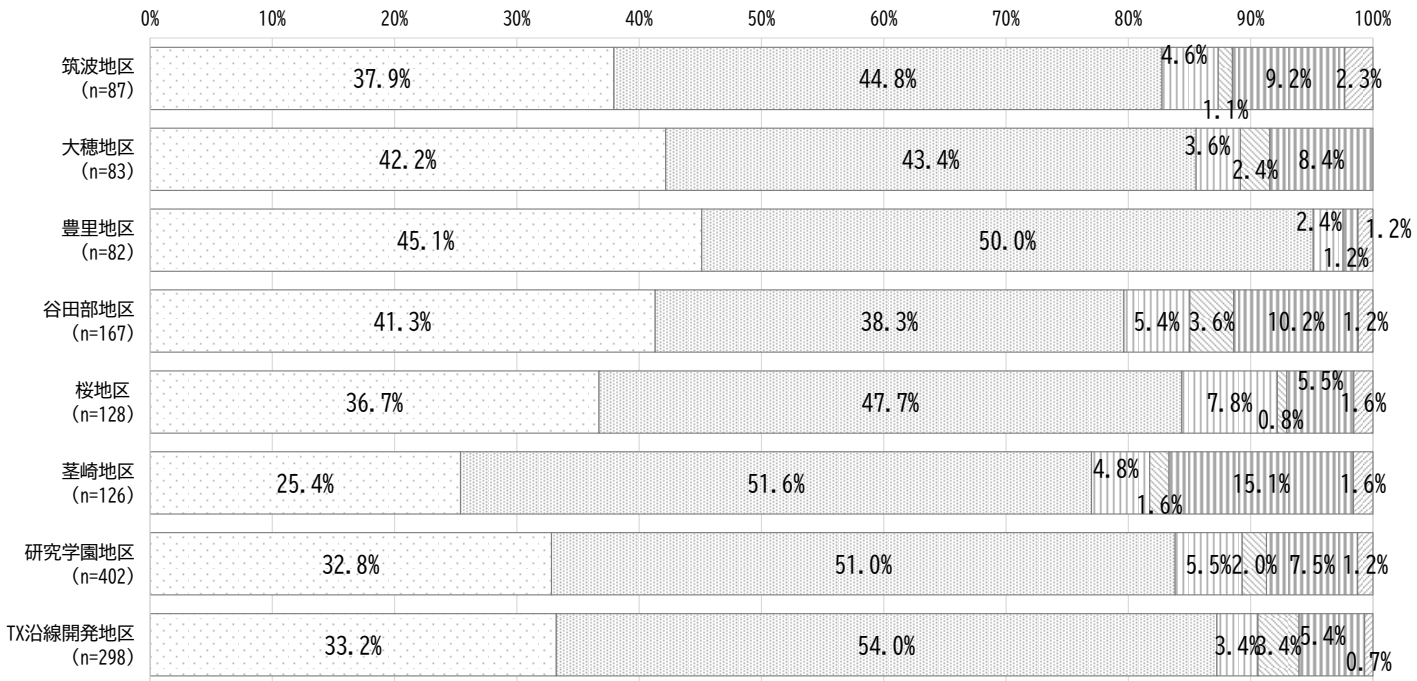
問 10　あなたは、つくば市に愛着を持っていますか。　＜○は１つ＞

② クロス集計の結果



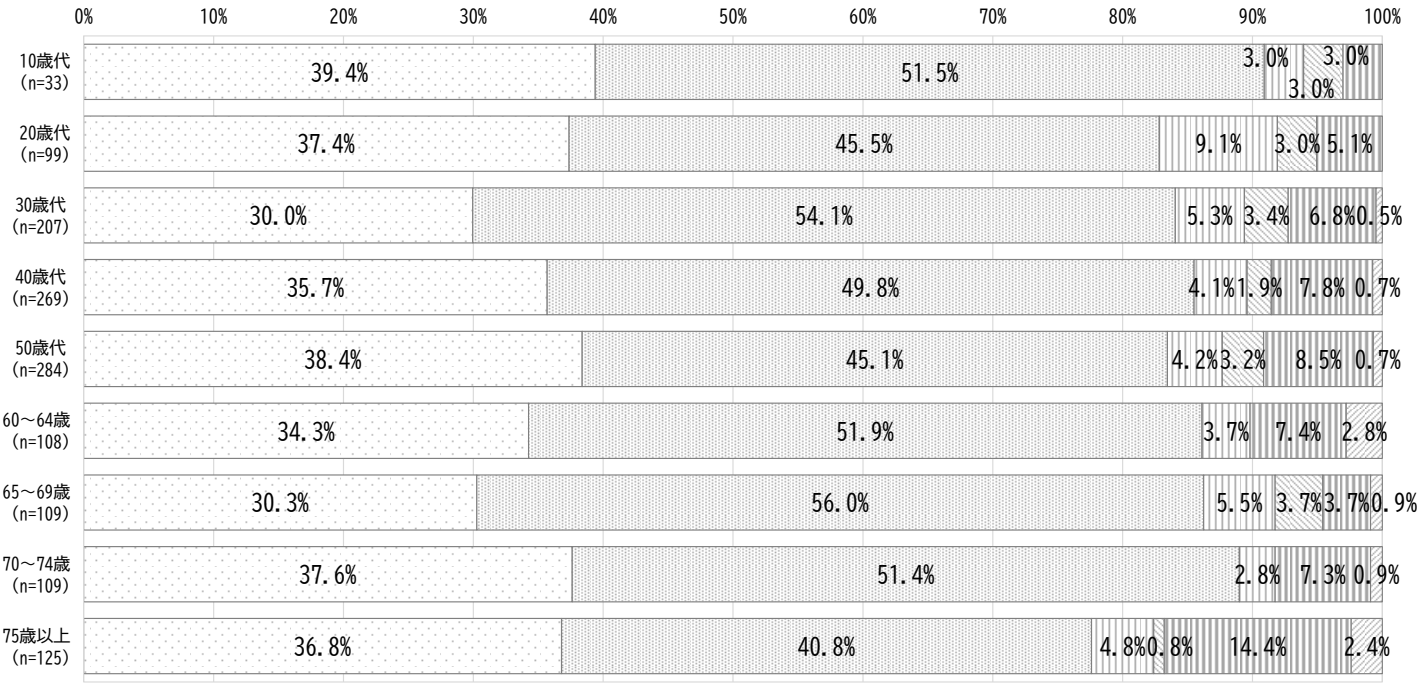
【地区別】

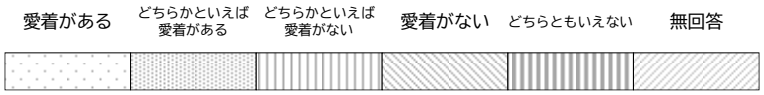
・全ての地区で「愛着がある/どちらかといえば愛着がある」の割合が 75%を超えている。



【年齢別】

・全ての年齢で「愛着がある/どちらかといえば愛着がある」の割合が 75%を超えている。





【職業別】

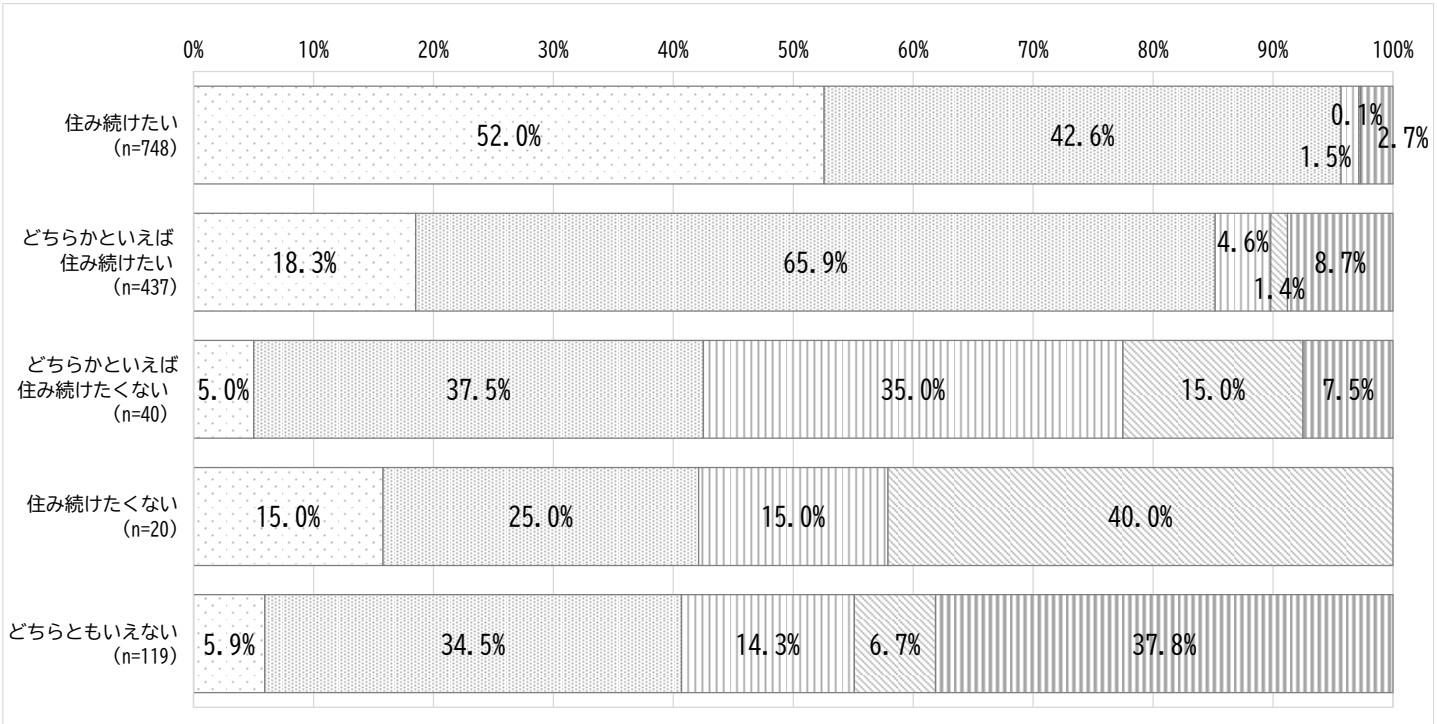
・全ての職業で「愛着がある/どちらかといえば愛着がある」の割合が 75%を超えている。



【定住意向別】

・「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」では「愛着がある/どちらかといえば愛着がある」の割合が 80%を超えている。

・「どちらかといえば住み続けたくない」「住み続けたくない」では「どちらかといえば愛着がない/愛着がない」の割合が 50%以上となっている。



３　つくば市の現状やまちづくりへの取組について

問 11　あなたは、ふだんの生活の中で、次の 1)～43)の項目について、どの程度満足していますか。
＜○は 1 つずつ＞

①　全体集計の結果

●「病院・診療所などの医療機関」への『満足/どちらかといえば満足』は 7 割半ば、「公共交通」への『不満/どちらかといえば不満』は 5 割以上

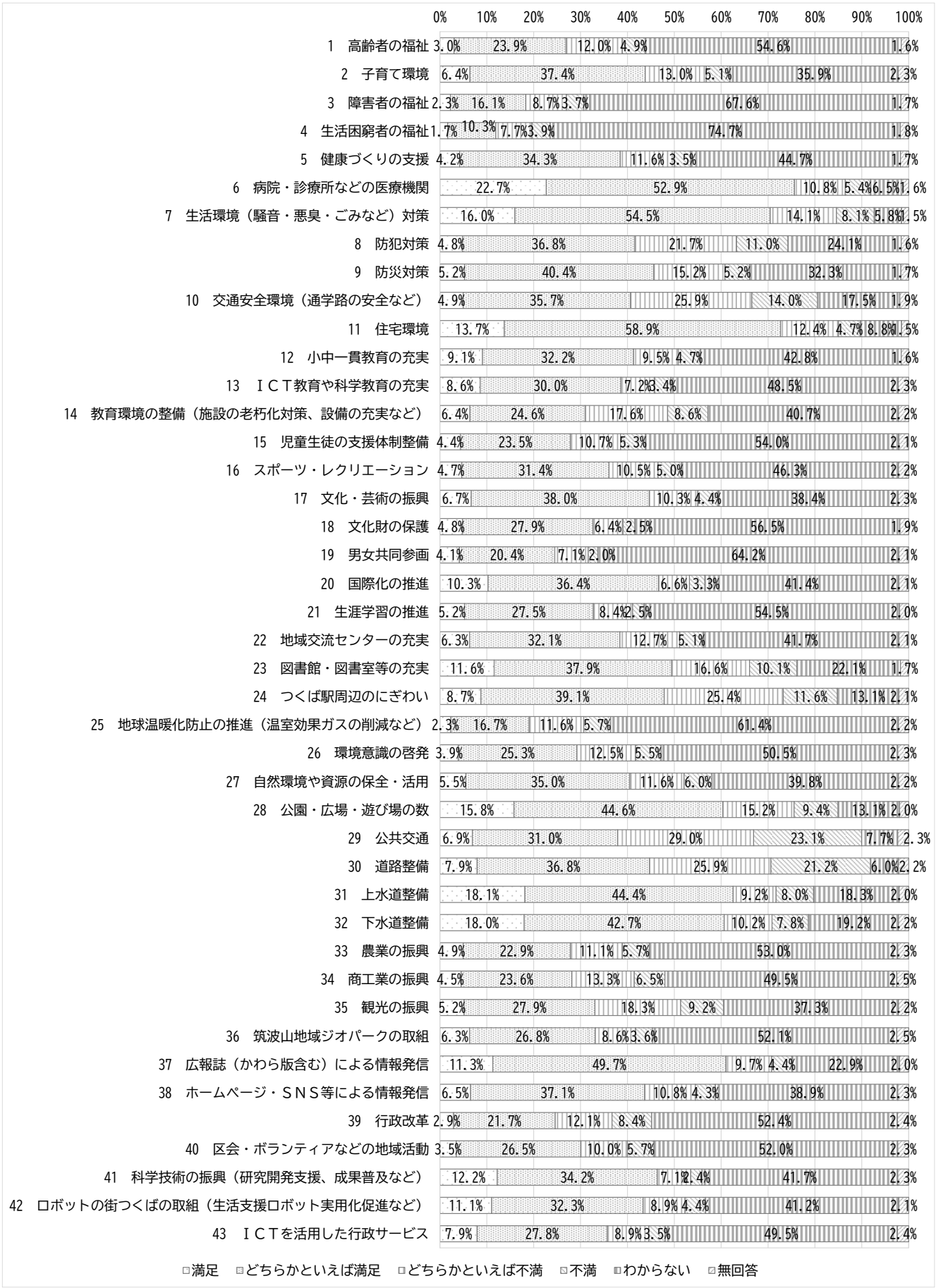
項目	選択肢	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	わからない	無回答	合計
1　高齢者の福祉	回答数（人）	41	329	165	67	751	22	1,375
	構成比	3.0%	23.9%	12.0%	4.9%	54.6%	1.6%	100.0%
2　子育て環境	回答数（人）	88	514	179	70	493	31	1,375
	構成比	6.4%	37.4%	13.0%	5.1%	35.9%	2.3%	100.0%
3　障害者の福祉	回答数（人）	31	221	119	51	930	23	1,375
	構成比	2.3%	16.1%	8.7%	3.7%	67.6%	1.7%	100.0%
4　生活困窮者の福祉	回答数（人）	23	141	106	53	1027	25	1,375
	構成比	1.7%	10.3%	7.7%	3.9%	74.7%	1.8%	100.0%
5　健康づくりの支援	回答数（人）	58	471	159	48	615	24	1,375
	構成比	4.2%	34.3%	11.6%	3.5%	44.7%	1.7%	100.0%
6　病院・診療所などの医療機関	回答数（人）	312	728	149	74	90	22	1,375
	構成比	22.7%	52.9%	10.8%	5.4%	6.5%	1.6%	100.0%
7　生活環境（騒音・悪臭・ごみなど）対策	回答数（人）	220	749	194	111	80	21	1,375
	構成比	16.0%	54.5%	14.1%	8.1%	5.8%	1.5%	100.0%
8　防犯対策	回答数（人）	66	506	298	151	332	22	1,375
	構成比	4.8%	36.8%	21.7%	11.0%	24.1%	1.6%	100.0%
9　防災対策	回答数（人）	72	555	209	72	444	23	1,375
	構成比	5.2%	40.4%	15.2%	5.2%	32.3%	1.7%	100.0%
10　交通安全環境（通学路の安全など）	回答数（人）	68	491	356	193	241	26	1,375
	構成比	4.9%	35.7%	25.9%	14.0%	17.5%	1.9%	100.0%
11　住宅環境	回答数（人）	189	810	170	64	121	21	1,375
	構成比	13.7%	58.9%	12.4%	4.7%	8.8%	1.5%	100.0%
12　小中一貫教育の充実	回答数（人）	125	443	131	65	589	22	1,375
	構成比	9.1%	32.2%	9.5%	4.7%	42.8%	1.6%	100.0%
13　ＩＣＴ教育や科学教育の充実	回答数（人）	118	413	99	47	667	31	1,375
	構成比	8.6%	30.0%	7.2%	3.4%	48.5%	2.3%	100.0%
14　教育環境の整備（施設の老朽化対策、設備の充実など）	回答数（人）	88	338	242	118	559	30	1,375
	構成比	6.4%	24.6%	17.6%	8.6%	40.7%	2.2%	100.0%
15　児童生徒の支援体制整備	回答数（人）	60	323	147	73	743	29	1,375
	構成比	4.4%	23.5%	10.7%	5.3%	54.0%	2.1%	100.0%
16　スポーツ・レクリエーション	回答数（人）	64	432	144	69	636	30	1,375
	構成比	4.7%	31.4%	10.5%	5.0%	46.3%	2.2%	100.0%
17　文化・芸術の振興	回答数（人）	92	522	142	60	528	31	1,375
	構成比	6.7%	38.0%	10.3%	4.4%	38.4%	2.3%	100.0%
18　文化財の保護	回答数（人）	66	383	88	35	777	26	1,375
	構成比	4.8%	27.9%	6.4%	2.5%	56.5%	1.9%	100.0%
19　男女共同参画	回答数（人）	57	280	98	28	883	29	1,375
	構成比	4.1%	20.4%	7.1%	2.0%	64.2%	2.1%	100.0%
20　国際化の推進	回答数（人）	141	500	91	45	569	29	1,375
	構成比	10.3%	36.4%	6.6%	3.3%	41.4%	2.1%	100.0%

問 11　あなたは、ふだんの生活の中で、次の 1)～43)の項目について、どの程度満足していますか。
＜○は 1 つずつ＞

項目	選択肢	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	わからない	無回答	合計
21　生涯学習の推進	回答数（人）	72	378	115	34	749	27	1,375
	構成比	5.2%	27.5%	8.4%	2.5%	54.5%	2.0%	100.0%
22　地域交流センターの充実	回答数（人）	87	441	175	70	573	29	1,375
	構成比	6.3%	32.1%	12.7%	5.1%	41.7%	2.1%	100.0%
23　図書館・図書室等の充実	回答数（人）	159	521	228	139	304	24	1,375
	構成比	11.6%	37.9%	16.6%	10.1%	22.1%	1.7%	100.0%
24　つくば駅周辺のにぎわい	回答数（人）	120	538	349	159	180	29	1,375
	構成比	8.7%	39.1%	25.4%	11.6%	13.1%	2.1%	100.0%
25　地球温暖化防止の推進（温室効果ガスの削減など）	回答数（人）	32	230	160	79	844	30	1,375
	構成比	2.3%	16.7%	11.6%	5.7%	61.4%	2.2%	100.0%
26　環境意識の啓発	回答数（人）	54	348	172	75	694	32	1,375
	構成比	3.9%	25.3%	12.5%	5.5%	50.5%	2.3%	100.0%
27　自然環境や資源の保全・活用	回答数（人）	76	481	159	82	547	30	1,375
	構成比	5.5%	35.0%	11.6%	6.0%	39.8%	2.2%	100.0%
28　公園・広場・遊び場の数	回答数（人）	217	613	209	129	180	27	1,375
	構成比	15.8%	44.6%	15.2%	9.4%	13.1%	2.0%	100.0%
29　公共交通	回答数（人）	95	426	399	317	106	32	1,375
	構成比	6.9%	31.0%	29.0%	23.1%	7.7%	2.3%	100.0%
30　道路整備	回答数（人）	109	506	356	292	82	30	1,375
	構成比	7.9%	36.8%	25.9%	21.2%	6.0%	2.2%	100.0%
31　上水道整備	回答数（人）	249	611	126	110	251	28	1,375
	構成比	18.1%	44.4%	9.2%	8.0%	18.3%	2.0%	100.0%
32　下水道整備	回答数（人）	247	587	140	107	264	30	1,375
	構成比	18.0%	42.7%	10.2%	7.8%	19.2%	2.2%	100.0%
33　農業の振興	回答数（人）	68	315	152	79	729	32	1,375
	構成比	4.9%	22.9%	11.1%	5.7%	53.0%	2.3%	100.0%
34　商工業の振興	回答数（人）	62	325	183	90	680	35	1,375
	構成比	4.5%	23.6%	13.3%	6.5%	49.5%	2.5%	100.0%
35　観光の振興	回答数（人）	71	384	251	126	513	30	1,375
	構成比	5.2%	27.9%	18.3%	9.2%	37.3%	2.2%	100.0%
36　筑波山地域ジオパークの取組	回答数（人）	87	369	118	49	717	35	1,375
	構成比	6.3%	26.8%	8.6%	3.6%	52.1%	2.5%	100.0%
37　広報誌（かわら版含む）による情報発信	回答数（人）	155	684	134	60	315	27	1,375
	構成比	11.3%	49.7%	9.7%	4.4%	22.9%	2.0%	100.0%
38　ホームページ・ＳＮＳ等による情報発信	回答数（人）	90	510	149	59	535	32	1,375
	構成比	6.5%	37.1%	10.8%	4.3%	38.9%	2.3%	100.0%
39　行政改革	回答数（人）	40	298	167	116	721	33	1,375
	構成比	2.9%	21.7%	12.1%	8.4%	52.4%	2.4%	100.0%
40　区会・ボランティアなどの地域活動	回答数（人）	48	365	137	78	715	32	1,375
	構成比	3.5%	26.5%	10.0%	5.7%	52.0%	2.3%	100.0%
41　科学技術の振興（研究開発支援、成果普及など）	回答数（人）	168	470	98	33	574	32	1,375
	構成比	12.2%	34.2%	7.1%	2.4%	41.7%	2.3%	100.0%
42　ロボットの街つくばの取組（生活支援ロボット実用化促進など）	回答数（人）	152	444	123	60	567	29	1,375
	構成比	11.1%	32.3%	8.9%	4.4%	41.2%	2.1%	100.0%
43　ＩＣＴを活用した行政サービス	回答数（人）	109	382	122	48	681	33	1,375
	構成比	7.9%	27.8%	8.9%	3.5%	49.5%	2.4%	100.0%

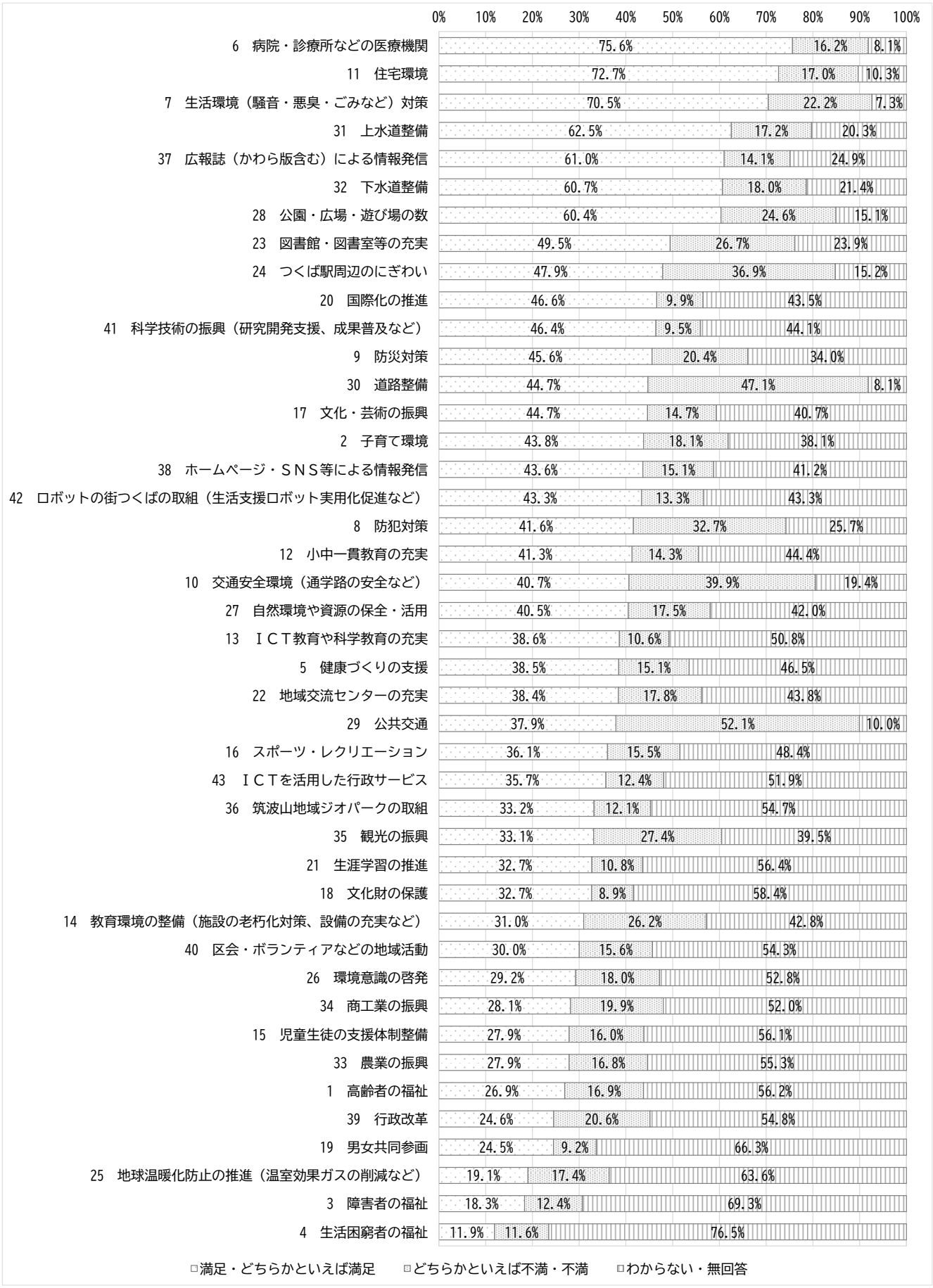
問 11　あなたは、ふだんの生活の中で、次の 1)～43)の項目について、どの程度満足していますか。
＜○は１つずつ＞

＜全体集計グラフ（項目順）＞



問 11　あなたは、ふだんの生活の中で、次の 1)～43)の項目について、どの程度満足していますか。
＜○は１つずつ＞

＜全体集計グラフ（満足・どちらかといえば満足の割合が多い順）＞



問 11　あなたは、ふだんの生活の中で、次の 1)～43)の項目について、どの程度満足していますか。
＜○は 1 つずつ＞

② 満足度

次のような基準で点数化し、「満足度」を算出した。

《満足度の算出方法》

以下の方法で回答数に点数をつけ、「わからない」「無回答」を除く回答者数で割って算出

	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	わからない・無回答
各回答の点数	2 点	1 点	-1 点	-2 点	対象外

＜満足度の計算結果（全体集計）＞

「満足度」の算出方法に従い、点数化した結果を「満足度の高い順」に示した。

・満足度が高い項目として、「病院・診療所などの医療機関」が最も高く、次いで「科学技術の振興（研究開発支援、成果普及など）」「国際化の推進」となっている。

・満足度が低い項目として、「公共交通」「道路整備」「交通安全環境（通学路の安全など）」となっている。

順位	項目	本調査(R7)	前回(R5)	前々回(R3)
1	6　病院・診療所などの医療機関	0.84	0.87	0.91
2	41　科学技術の振興（研究開発支援、成果普及など）	0.83	0.79	0.76
3	20　国際化の推進	0.77	0.84	0.84
4	11　住宅環境	0.72	0.70	0.78
5	37　広報誌（かわら版含む）による情報発信	0.72	0.66	0.71
6	31　上水道整備	0.70	0.65	0.68
7	13　ＩＣＴ教育や科学教育の充実	0.67	0.76	0.75
8	32　下水道整備	0.67	0.67	0.71
9	42　ロボットの街つくばの取組（生活支援ロボット実用化促進など）	0.65	0.75	0.62
10	18　文化財の保護	0.62	0.55	0.50
11	7　生活環境（騒音・悪臭・ごみなど）対策	0.61	0.66	0.67
12	43　ＩＣＴを活用した行政サービス	0.58	0.52	0.40
13	21　生涯学習の推進	0.57	0.47	0.50
14	12　小中一貫教育の充実	0.57	0.56	0.64
15	17　文化・芸術の振興	0.54	0.37	0.38
16	36　筑波山地域ジオパークの取組	0.52	0.38	0.44
17	38　ホームページ・ＳＮＳ等による情報発信	0.52	0.44	0.46
18	19　男女共同参画	0.52	0.48	0.49
19	28　公園・広場・遊び場の数	0.50	0.57	0.64
20	5　健康づくりの支援	0.45	0.47	0.52
21	2　子育て環境	0.44	0.40	0.51
22	16　スポーツ・レクリエーション	0.39	0.35	0.36
23	27　自然環境や資源の保全・活用	0.39	0.34	0.37
24	22　地域交流センターの充実	0.39	－	－
25	9　防災対策	0.38	0.42	0.50
26	23　図書館・図書室等の充実	0.32	－	－
27	40　区会・ボランティアなどの地域活動	0.27	0.22	0.34
28	15　児童生徒の支援体制整備	0.25	0.22	0.39
29	33　農業の振興	0.23	0.29	0.39
30	26　環境意識の啓発	0.21	0.11	0.10
31	1　高齢者の福祉	0.19	0.25	0.33
32	3　障害者の福祉	0.15	0.04	0.18
33	34　商工業の振興	0.13	0.02	0.06
34	24　つくば駅周辺のにぎわい	0.10	-0.03	-0.24
35	14　教育環境の整備（施設の老朽化対策、設備の充実など）	0.05	0.10	0.20
36	8　防犯対策	0.04	0.13	0.21
37	35　観光の振興	0.03	-0.11	-0.16
38	39　行政改革	-0.03	-0.12	-0.04
39	25　地球温暖化防止の推進（温室効果ガスの削減など）	-0.05	-0.13	-0.12
40	4　生活困窮者の福祉	-0.08	-0.15	-0.01
41	10　交通安全環境（通学路の安全など）	-0.10	-0.06	-0.08
42	30　道路整備	-0.17	0.01	0.04
43	29　公共交通	-0.34	-0.24	-0.16

③　満足度の計算結果

【地区別クロス集計】

項目ごとの満足割合、不満割合、満足度の地域別クロス集計を行った。
満足度割合、不満割合の考え方は以下に示す。

満足割合：「満足」の回答割合＋「どちらかといえば満足」の回答割合
不満割合：「どちらかといえば不満」の回答割合＋「不満」の回答割合

満足度が最も高い地区：　　満足度が最も低い地区：

	項目	選択肢	全体	筑波地区	大穂地区	豊里地区	谷田部地区	桜地区	茎崎地区	研究学園地区	TX沿線開発地区
健康・福祉	1　高齢者の福祉	満足割合（%）	26.91	35.63	34.94	45.12	32.93	28.13	32.54	23.88	15.10
		不満割合（%）	16.87	31.03	19.28	20.73	22.16	17.97	23.02	11.94	11.74
		満足度	0.19	0.02	0.22	0.39	0.07	0.27	0.09	0.33	0.06
	2　子育て環境	満足割合（%）	43.78	36.78	39.76	47.56	45.51	47.66	32.54	46.27	44.97
		不満割合（%）	18.11	19.54	19.28	18.29	20.36	10.94	18.25	14.43	24.16
		満足度	0.44	0.37	0.24	0.48	0.37	0.64	0.19	0.63	0.29
	3　障害者の福祉	満足割合（%）	18.33	24.14	27.71	29.27	20.36	17.19	18.25	16.67	12.75
		不満割合（%）	12.36	18.39	13.25	15.85	18.56	13.28	15.87	9.70	7.72
		満足度	0.15	0.22	0.26	0.24	-0.12	0.18	-0.07	0.22	0.28
	4　生活困窮者の福祉	満足割合（%）	11.93	17.24	18.07	20.73	13.17	10.16	14.29	10.45	7.38
		不満割合（%）	11.56	13.79	15.66	24.39	17.37	10.16	16.67	7.21	7.38
		満足度	-0.08	0.11	0.00	-0.11	-0.41	-0.08	-0.18	0.18	-0.16
	5　健康づくりの支援	満足割合（%）	38.47	41.38	36.14	42.68	36.53	32.81	42.06	43.28	32.89
		不満割合（%）	15.05	17.24	18.07	21.95	18.56	13.28	18.25	11.19	14.43
		満足度	0.45	0.55	0.33	0.32	0.32	0.49	0.32	0.63	0.38
	6　病院・診療所などの医療機関	満足割合（%）	75.64	68.97	78.31	75.61	75.45	80.47	66.67	79.85	72.82
		不満割合（%）	16.22	22.99	13.25	15.85	14.37	13.28	21.43	12.44	20.47
		満足度	0.84	0.61	0.86	0.96	0.91	0.93	0.61	0.94	0.73
生活環境・防犯・防災	7　生活環境（騒音・悪臭・ごみなど）対策	満足割合（%）	70.47	65.52	65.06	63.41	62.28	76.56	73.02	75.12	69.80
		不満割合（%）	22.18	26.44	21.69	26.83	28.14	14.84	14.29	19.65	26.51
		満足度	0.61	0.43	0.57	0.46	0.44	0.85	0.74	0.71	0.50
	8　防犯対策	満足割合（%）	41.60	27.59	36.14	37.80	38.92	39.06	42.86	50.50	38.59
		不満割合（%）	32.65	48.28	36.14	34.15	34.73	32.03	26.98	26.62	36.24
		満足度	0.04	-0.36	-0.15	0.05	-0.10	0.04	0.15	0.26	-0.07
	9　防災対策	満足割合（%）	45.60	34.48	42.17	39.02	41.92	45.31	42.86	51.74	46.98
		不満割合（%）	20.44	35.63	24.10	24.39	22.16	21.09	26.19	16.17	15.77
		満足度	0.38	-0.03	0.18	0.33	0.29	0.42	0.16	0.53	0.51
	10　交通安全環境（通学路の安全など）	満足割合（%）	40.65	36.78	27.71	41.46	28.74	39.06	40.48	48.51	42.28
		不満割合（%）	39.93	39.08	50.60	40.24	49.70	42.19	34.92	33.33	41.61
		満足度	-0.10	-0.12	-0.48	-0.10	-0.50	-0.12	-0.11	0.12	-0.09
	11　住宅環境	満足割合（%）	72.65	55.17	56.63	68.29	64.07	71.09	64.29	78.86	83.89
		不満割合（%）	17.02	31.03	30.12	15.85	24.55	15.63	18.25	12.94	11.07
		満足度	0.72	0.28	0.32	0.72	0.48	0.79	0.56	0.85	0.93
教育・スポーツ・文化	12　小中一貫教育の充実	満足割合（%）	41.31	50.57	30.12	50.00	37.72	35.94	29.37	43.28	46.31
		不満割合（%）	14.25	12.64	22.89	13.41	20.36	11.72	13.49	10.95	15.10
		満足度	0.57	0.78	0.05	0.67	0.29	0.61	0.35	0.70	0.63
	13　ＩＣＴ教育や科学教育の充実	満足割合（%）	38.62	36.78	27.71	48.78	31.14	30.47	28.57	44.03	44.30
		不満割合（%）	10.62	8.05	13.25	12.20	13.77	8.59	10.32	9.95	10.40
		満足度	0.67	0.95	0.26	0.78	0.47	0.66	0.49	0.75	0.72
	14　教育環境の整備（施設の老朽化対策、設備の充実など）	満足割合（%）	30.98	32.18	21.69	41.46	25.75	25.00	19.84	29.60	42.62
		不満割合（%）	26.18	24.14	33.73	23.17	31.14	26.56	24.60	29.10	19.46
		満足度	0.05	0.20	-0.41	0.30	-0.21	-0.06	-0.20	-0.10	0.48
	15　児童生徒の支援体制整備	満足割合（%）	27.85	29.89	19.28	43.90	24.55	20.31	20.63	28.36	32.89
		不満割合（%）	16.00	12.64	21.69	17.07	17.96	22.66	14.29	14.18	14.43
		満足度	0.25	0.54	-0.26	0.52	0.04	-0.09	0.14	0.28	0.43
	16　スポーツ・レクリエーション	満足割合（%）	36.07	32.18	28.92	43.90	32.93	35.16	36.51	39.55	34.56
		不満割合（%）	15.49	17.24	19.28	17.07	16.77	14.84	13.49	13.18	17.11
		満足度	0.39	0.40	0.03	0.44	0.28	0.42	0.40	0.54	0.32
	17　文化・芸術の振興	満足割合（%）	44.65	34.48	38.55	48.78	40.72	42.97	43.65	50.00	44.30
		不満割合（%）	14.69	14.94	12.05	14.63	18.56	11.72	10.32	15.92	14.43
		満足度	0.54	0.47	0.48	0.62	0.36	0.61	0.62	0.55	0.59
	18　文化財の保護	満足割合（%）	32.65	34.48	32.53	37.80	33.53	30.47	34.13	32.34	30.87
		不満割合（%）	8.95	12.64	8.43	10.98	11.98	8.59	7.14	8.96	6.71
		満足度	0.62	0.49	0.56	0.65	0.55	0.58	0.65	0.60	0.77
	19　男女共同参画	満足割合（%）	24.51	21.84	21.69	35.37	25.15	20.31	23.02	25.87	23.49
		不満割合（%）	9.16	10.34	9.64	14.63	10.78	4.69	8.73	8.96	8.72
		満足度	0.52	0.46	0.38	0.46	0.38	0.72	0.45	0.55	0.59
	20　国際化の推進	満足割合（%）	46.62	45.98	38.55	45.12	41.32	46.09	38.89	53.48	46.64
		不満割合（%）	9.89	8.05	12.05	10.98	11.38	6.25	12.70	9.70	9.40
		満足度	0.77	0.81	0.57	0.72	0.67	0.88	0.54	0.84	0.83
	21　生涯学習の推進	満足割合（%）	32.73	27.59	32.53	42.68	31.14	27.34	34.13	35.57	30.54
		不満割合（%）	10.84	14.94	10.84	9.76	10.18	10.94	13.49	9.70	10.74
		満足度	0.57	0.41	0.50	0.72	0.54	0.53	0.40	0.64	0.59
	22　地域交流センターの充実	満足割合（%）	38.40	37.93	37.35	47.56	34.73	36.72	36.51	43.03	33.56
		不満割合（%）	17.82	25.29	13.25	17.07	17.96	14.06	19.05	15.92	20.81
		満足度	0.39	0.22	0.45	0.55	0.32	0.52	0.30	0.50	0.23
	23　図書館・図書室等の充実	満足割合（%）	49.45	45.98	45.78	45.12	50.30	50.78	39.68	57.46	44.97
		不満割合（%）	26.69	26.44	22.89	26.83	24.55	19.53	23.02	23.88	37.25
		満足度	0.32	0.27	0.35	0.25	0.35	0.53	0.29	0.50	0.01

満足度が最も高い地区:　　満足度が最も低い地区:

	項目	選択肢	全体	筑波地区	大穂地区	豊里地区	谷田部地区	桜地区	茎崎地区	研究学園地区	TX沿線開発地区
まちづくり	24　つくば駅周辺のにぎわい	満足割合（%）	47.85	44.83	50.60	47.56	47.31	46.09	46.83	50.75	45.64
		不満割合（%）	36.95	28.74	27.71	29.27	30.54	36.72	19.05	43.53	46.31
		満足度	0.10	0.33	0.25	0.29	0.15	0.08	0.42	0.02	-0.05
	25　地球温暖化防止の推進（温室効果ガスの削減など）	満足割合（%）	19.05	19.54	19.28	32.93	17.96	10.94	18.25	19.65	18.79
		不満割合（%）	17.38	31.03	18.07	20.73	25.75	15.63	11.90	15.17	13.76
		満足度	-0.05	-0.34	-0.10	0.20	-0.42	-0.41	0.21	0.05	0.15
	26　環境意識の啓発	満足割合（%）	29.24	27.59	26.51	35.37	25.75	21.09	26.19	34.83	28.19
		不満割合（%）	17.96	25.29	18.07	23.17	22.75	19.53	14.29	14.68	17.11
		満足度	0.21	0.07	0.05	0.25	-0.12	-0.02	0.24	0.40	0.27
	27　自然環境や資源の保全・活用	満足割合（%）	40.51	35.63	34.94	41.46	38.32	30.47	35.71	47.01	42.28
		不満割合（%）	17.53	28.74	21.69	24.39	20.36	20.31	14.29	12.69	16.11
		満足度	0.39	0.11	0.15	0.28	0.26	0.11	0.41	0.59	0.48
	28　公園・広場・遊び場の数	満足割合（%）	60.36	40.23	39.76	53.66	53.29	57.03	41.27	77.86	63.76
		不満割合（%）	24.58	33.33	33.73	30.49	27.54	28.13	26.98	14.68	26.85
		満足度	0.50	0.05	0.00	0.32	0.29	0.42	0.15	0.87	0.50
	29　公共交通	満足割合（%）	37.89	27.59	36.14	39.02	31.74	34.38	24.60	45.02	41.95
		不満割合（%）	52.07	62.07	49.40	47.56	53.29	54.69	53.97	49.25	52.35
		満足度	-0.34	-0.74	-0.41	-0.28	-0.50	-0.43	-0.67	-0.16	-0.22
	30　道路整備	満足割合（%）	44.73	39.08	37.35	37.80	40.12	44.53	33.33	51.00	49.33
		不満割合（%）	47.13	51.72	53.01	50.00	47.31	47.66	49.21	44.28	45.97
		満足度	-0.17	-0.37	-0.41	-0.29	-0.23	-0.24	-0.47	-0.03	-0.04
産業・観光	31　上水道整備	満足割合（%）	62.55	50.57	51.81	48.78	44.31	70.31	59.52	71.64	68.46
		不満割合（%）	17.16	31.03	26.51	31.71	28.74	11.72	20.63	9.95	10.74
		満足度	0.70	0.14	0.23	0.18	0.14	0.90	0.50	0.99	1.00
	32　下水道整備	満足割合（%）	60.65	44.83	60.24	47.56	41.92	64.84	56.35	69.40	67.45
		不満割合（%）	17.96	36.78	21.69	30.49	31.74	17.97	22.22	10.20	9.06
		満足度	0.67	-0.01	0.47	0.23	0.01	0.74	0.46	0.97	1.06
	33　農業の振興	満足割合（%）	27.85	22.99	32.53	25.61	23.35	27.34	14.29	29.35	35.23
		不満割合（%）	16.80	31.03	22.89	30.49	26.35	15.63	22.22	10.20	9.06
		満足度	0.23	-0.19	0.02	-0.22	-0.17	0.20	-0.34	0.53	0.70
	34　商工業の振興	満足割合（%）	28.15	25.29	32.53	23.17	22.75	26.56	18.25	30.85	33.56
		不満割合（%）	19.85	28.74	20.48	28.05	23.35	15.63	21.43	17.41	17.45
		満足度	0.13	-0.15	0.11	-0.16	-0.08	0.26	-0.28	0.26	0.34
	35　観光の振興	満足割合（%）	33.09	26.44	37.35	29.27	26.95	32.03	19.05	39.55	35.91
		不満割合（%）	27.42	48.28	24.10	30.49	28.74	20.31	27.78	24.13	28.19
		満足度	0.03	-0.55	0.10	-0.20	-0.12	0.21	-0.36	0.25	0.09
	36　筑波山地域ジオパークの取組	満足割合（%）	33.16	34.48	36.14	34.15	26.35	28.91	24.60	38.81	33.56
		不満割合（%）	12.15	21.84	7.23	20.73	13.17	9.38	12.70	10.95	10.40
		満足度	0.52	0.18	0.81	0.24	0.32	0.55	0.30	0.64	0.67
地域・行政	37　広報誌（かわら版含む）による情報発信	満足割合（%）	61.02	59.77	59.04	58.54	50.30	58.59	60.32	65.42	64.09
		不満割合（%）	14.11	20.69	15.66	17.07	16.77	14.84	12.70	10.95	13.76
		満足度	0.72	0.49	0.61	0.61	0.50	0.65	0.76	0.85	0.78
	38　ホームページ・ＳＮＳ等による情報発信	満足割合（%）	43.64	40.23	42.17	40.24	37.13	39.84	39.68	48.26	46.64
		不満割合（%）	15.13	13.79	15.66	15.85	19.16	9.38	12.70	14.18	17.79
		満足度	0.52	0.51	0.44	0.37	0.32	0.60	0.55	0.61	0.54
	39　行政改革	満足割合（%）	24.58	21.84	25.30	29.27	20.96	17.97	19.05	28.36	26.17
		不満割合（%）	20.58	27.59	16.87	23.17	22.75	24.22	18.25	16.92	21.81
		満足度	-0.03	-0.26	0.00	0.07	-0.26	-0.31	-0.17	0.19	-0.01
	40　区会・ボランティアなどの地域活動	満足割合（%）	30.04	29.89	28.92	36.59	28.14	29.69	38.10	31.09	25.17
		不満割合（%）	15.64	29.89	18.07	17.07	14.37	21.88	14.29	12.44	13.42
		満足度	0.27	-0.13	0.10	0.36	0.24	-0.03	0.42	0.46	0.28
	41　科学技術の振興（研究開発支援、成果普及など）	満足割合（%）	46.40	37.93	42.17	43.90	38.32	37.50	36.51	55.72	50.67
		不満割合（%）	9.53	6.90	9.64	13.41	8.38	10.94	7.94	10.45	8.72
		満足度	0.83	0.82	0.77	0.70	0.78	0.63	0.73	0.86	0.97
	42　ロボットの街つくばの取組（生活支援ロボット実用化促進など）	満足割合（%）	43.35	42.53	44.58	42.68	37.72	32.81	31.75	47.01	51.01
		不満割合（%）	13.31	13.79	14.46	17.07	12.57	13.28	11.11	14.43	11.74
		満足度	0.65	0.57	0.55	0.55	0.62	0.54	0.46	0.65	0.81
	43　ＩＣＴを活用した行政サービス	満足割合（%）	35.71	25.29	32.53	35.37	29.94	31.25	28.57	38.06	44.97
		不満割合（%）	12.36	16.09	8.43	13.41	12.57	10.94	8.73	14.43	11.41
		満足度	0.58	0.17	0.65	0.55	0.46	0.56	0.49	0.56	0.76

【年齢別クロス集計】

項目ごとの満足割合、不満割合、満足度の年齢別クロス集計を行った。
満足度割合、不満割合の考え方は以下に示す。

満足割合：「満足」の回答割合＋「どちらかといえば満足」の回答割合
不満割合：「どちらかといえば不満」の回答割合＋「不満」の回答割合

満足度が最も高い年齢:　　満足度が最も低い年齢:

	項目	選択肢	全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
健康・福祉	1　高齢者の福祉	満足割合（%）	26.91	21.21	19.19	16.43	15.61	28.17	31.48	39.45	40.37	43.20
		不満割合（%）	16.87	6.06	3.03	5.80	15.24	21.13	25.00	22.02	25.69	24.00
		満足度	0.19	0.56	0.73	0.54	-0.02	0.08	-0.03	0.22	0.22	0.24
	2　子育て環境	満足割合（%）	43.78	39.39	30.30	42.51	49.81	45.07	48.15	47.71	38.53	37.60
		不満割合（%）	18.11	21.21	11.11	28.99	26.02	16.90	12.04	7.34	13.76	9.60
		満足度	0.44	0.45	0.54	0.15	0.36	0.49	0.65	0.72	0.51	0.58
	3　障害者の福祉	満足割合（%）	18.33	12.12	13.13	12.56	13.38	20.42	20.37	28.44	19.27	24.80
		不満割合（%）	12.36	15.15	5.05	7.25	13.01	14.08	19.44	14.68	14.68	12.00
		満足度	0.15	0.11	0.61	0.32	-0.07	0.13	-0.05	0.15	0.14	0.26
	4　生活困窮者の福祉	満足割合（%）	11.93	9.09	12.12	9.66	8.55	12.68	16.67	12.84	9.17	14.40
		不満割合（%）	11.56	12.12	6.06	6.76	9.67	11.27	16.67	15.60	22.02	13.60
		満足度	-0.08	0.14	0.33	0.06	-0.18	-0.04	-0.19	-0.19	-0.50	-0.06
	5　健康づくりの支援	満足割合（%）	38.47	33.33	24.24	34.78	34.57	41.55	40.74	41.28	42.20	51.20
		不満割合（%）	15.05	9.09	10.10	13.53	15.99	14.79	18.52	16.51	21.10	14.40
		満足度	0.45	1.00	0.47	0.48	0.39	0.44	0.36	0.44	0.32	0.56
	6　病院・診療所などの医療機関	満足割合（%）	75.64	63.64	75.76	71.98	71.38	77.82	81.48	80.73	76.15	81.60
		不満割合（%）	16.22	18.18	11.11	23.67	18.96	15.14	16.67	10.09	15.60	9.60
		満足度	0.84	1.00	0.97	0.66	0.76	0.84	0.80	0.98	0.84	1.04
生活環境・防犯・防災	7　生活環境（騒音・悪臭・ごみなど）対策	満足割合（%）	70.47	69.70	77.78	64.25	69.14	75.70	62.04	66.97	73.39	74.40
		不満割合（%）	22.18	21.21	18.18	31.40	23.05	18.31	30.56	22.94	15.60	16.80
		満足度	0.61	0.73	0.83	0.40	0.57	0.72	0.35	0.55	0.69	0.75
	8　防犯対策	満足割合（%）	41.60	54.55	59.60	38.16	34.57	43.66	37.96	41.28	44.95	40.80
		不満割合（%）	32.65	18.18	26.26	37.20	37.92	32.75	37.96	32.11	23.85	25.60
		満足度	0.04	0.67	0.36	-0.12	-0.13	0.04	-0.15	0.01	0.29	0.18
	9　防災対策	満足割合（%）	45.60	48.48	57.58	44.93	43.12	49.65	47.22	39.45	44.04	36.80
		不満割合（%）	20.44	18.18	14.14	14.49	18.59	20.42	28.70	30.28	22.02	24.00
		満足度	0.38	0.68	0.68	0.59	0.39	0.41	0.15	0.04	0.31	0.17
	10　交通安全環境（通学路の安全など）	満足割合（%）	40.65	54.55	50.51	39.61	37.17	41.20	37.04	42.20	37.61	39.20
		不満割合（%）	39.93	36.36	34.34	44.44	47.58	40.85	42.59	34.86	32.11	31.20
		満足度	-0.10	0.37	0.20	-0.21	-0.29	-0.10	-0.29	0.00	-0.08	0.10
	11　住宅環境	満足割合（%）	72.65	78.79	85.86	76.33	74.72	72.18	67.59	64.22	64.22	68.80
		不満割合（%）	17.02	9.09	8.08	17.39	18.59	18.31	21.30	22.02	17.43	13.60
		満足度	0.72	1.24	1.08	0.77	0.71	0.68	0.52	0.50	0.57	0.76
教育・スポーツ・文化	12　小中一貫教育の充実	満足割合（%）	41.31	69.70	44.44	41.06	42.38	42.25	35.19	43.12	35.78	35.20
		不満割合（%）	14.25	12.12	8.08	13.53	21.93	16.55	13.89	11.01	8.26	7.20
		満足度	0.57	0.96	1.04	0.59	0.36	0.44	0.40	0.64	0.75	0.79
	13　ＩＣＴ教育や科学教育の充実	満足割合（%）	38.62	66.67	43.43	40.58	43.87	38.73	27.78	41.28	28.44	26.40
		不満割合（%）	10.62	15.15	5.05	9.66	16.73	11.62	10.19	6.42	8.26	5.60
		満足度	0.67	0.96	1.17	0.71	0.53	0.61	0.51	0.79	0.60	0.70
	14　教育環境の整備（施設の老朽化対策、設備の充実など）	満足割合（%）	30.98	45.45	40.40	34.78	34.57	29.58	22.22	30.28	28.44	19.20
		不満割合（%）	26.18	33.33	19.19	27.54	34.57	27.82	28.70	23.85	16.51	15.20
		満足度	0.05	0.23	0.51	0.11	-0.11	-0.01	-0.29	0.10	0.27	0.05
	15　児童生徒の支援体制整備	満足割合（%）	27.85	51.52	29.29	28.02	34.20	31.69	21.30	23.85	16.51	13.60
		不満割合（%）	16.00	9.09	8.08	21.74	23.05	13.73	12.96	17.43	14.68	9.60
		満足度	0.25	0.95	0.70	0.07	0.13	0.37	0.14	0.20	0.03	0.10
	16　スポーツ・レクリエーション	満足割合（%）	36.07	39.39	36.36	30.92	33.83	40.85	35.19	38.53	36.70	33.60
		不満割合（%）	15.49	12.12	7.07	13.04	18.22	16.55	22.22	18.35	12.84	12.80
		満足度	0.39	0.76	0.98	0.44	0.24	0.39	0.18	0.32	0.43	0.40
	17　文化・芸術の振興	満足割合（%）	44.65	54.55	48.48	42.03	43.87	46.13	43.52	48.62	42.20	39.20
		不満割合（%）	14.69	15.15	11.11	12.08	13.38	18.31	21.30	13.76	15.60	9.60
		満足度	0.54	0.65	0.83	0.66	0.60	0.42	0.33	0.57	0.41	0.64
	18　文化財の保護	満足割合（%）	32.65	39.39	38.38	31.88	29.37	36.62	30.56	31.19	31.19	28.80
		不満割合（%）	8.95	9.09	7.07	6.28	8.55	7.75	17.59	11.93	6.42	10.40
		満足度	0.62	0.81	0.82	0.82	0.66	0.67	0.17	0.47	0.71	0.43
	19　男女共同参画	満足割合（%）	24.51	33.33	30.30	25.12	21.19	25.35	25.93	22.02	23.85	20.00
		不満割合（%）	9.16	15.15	5.05	6.28	8.18	9.51	14.81	15.60	7.34	8.00
		満足度	0.52	0.63	0.94	0.77	0.57	0.42	0.23	0.17	0.56	0.43
	20　国際化の推進	満足割合（%）	46.62	51.52	54.55	47.34	47.58	51.06	48.15	41.28	41.28	33.60
		不満割合（%）	9.89	18.18	11.11	10.14	10.04	10.21	9.26	13.76	6.42	7.20
		満足度	0.77	0.70	0.92	0.77	0.78	0.78	0.77	0.57	0.83	0.73
	21　生涯学習の推進	満足割合（%）	32.73	42.42	33.33	33.33	27.51	36.27	34.26	33.03	33.03	30.40
		不満割合（%）	10.84	12.12	5.05	6.28	9.29	10.56	18.52	18.35	12.84	12.00
		満足度	0.57	0.83	1.05	0.85	0.53	0.58	0.28	0.30	0.44	0.43
	22　地域交流センターの充実	満足割合（%）	38.40	45.45	38.38	34.30	36.80	41.20	33.33	36.70	40.37	43.20
		不満割合（%）	17.82	18.18	7.07	16.43	15.61	21.13	25.93	22.94	14.68	18.40
		満足度	0.39	0.52	0.93	0.41	0.43	0.32	0.06	0.23	0.50	0.38
	23　図書館・図書室等の充実	満足割合（%）	49.45	84.85	54.55	45.89	47.96	51.41	49.07	47.71	48.62	44.00
		不満割合（%）	26.69	3.03	27.27	26.57	32.34	27.82	29.63	26.61	22.94	20.00
		満足度	0.32	1.31	0.49	0.28	0.19	0.30	0.19	0.28	0.36	0.40

満足度が最も高い年齢:　　満足度が最も低い年齢:

	項目	選択肢	全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
まちづくり	24　つくば駅周辺のにぎわい	満足割合（%）	47.85	69.70	67.68	52.66	45.72	50.00	44.44	32.11	48.62	38.40
		不満割合（%）	36.95	12.12	28.28	39.13	41.64	38.03	40.74	47.71	27.52	30.40
		満足度	0.10	0.96	0.48	0.16	-0.02	0.07	-0.07	-0.29	0.18	0.12
	25　地球温暖化防止の推進（温室効果ガスの削減など）	満足割合（%）	19.05	27.27	27.27	17.39	16.73	17.61	19.44	19.27	16.51	20.80
		不満割合（%）	17.38	15.15	12.12	12.56	13.38	18.66	32.41	20.18	18.35	22.40
		満足度	-0.05	0.36	0.46	0.05	0.05	-0.16	-0.46	-0.14	-0.24	-0.07
	26　環境意識の啓発	満足割合（%）	29.24	33.33	36.36	30.43	29.37	29.23	25.93	29.36	21.10	28.00
		不満割合（%）	17.96	12.12	12.12	14.01	14.50	19.01	35.19	18.35	21.10	18.40
		満足度	0.21	0.67	0.56	0.38	0.38	0.16	-0.32	0.15	-0.17	0.14
	27　自然環境や資源の保全・活用	満足割合（%）	40.51	48.48	48.48	42.03	40.89	42.61	39.81	36.70	32.11	33.60
		不満割合（%）	17.53	18.18	12.12	14.49	14.50	17.25	27.78	22.02	22.94	18.40
		満足度	0.39	0.55	0.77	0.52	0.52	0.38	0.10	0.16	0.07	0.23
	28　公園・広場・遊び場の数	満足割合（%）	60.36	60.61	71.72	57.49	61.34	64.44	62.04	58.72	46.79	56.00
		不満割合（%）	24.58	27.27	16.16	34.78	26.02	21.83	25.93	20.18	27.52	19.20
		満足度	0.50	0.62	0.99	0.27	0.48	0.58	0.43	0.52	0.25	0.51
	29　公共交通	満足割合（%）	37.89	33.33	51.52	51.21	39.78	35.92	31.48	33.03	30.28	24.80
		不満割合（%）	52.07	54.55	45.45	44.44	50.93	56.69	60.19	54.13	47.71	56.80
		満足度	-0.34	-0.34	0.00	0.02	-0.23	-0.45	-0.66	-0.55	-0.51	-0.62
	30　道路整備	満足割合（%）	44.73	51.52	54.55	47.34	43.12	44.37	45.37	36.70	45.87	44.00
		不満割合（%）	47.13	42.42	42.42	50.24	49.81	50.00	49.07	51.38	36.70	37.60
		満足度	-0.17	0.10	0.09	-0.12	-0.23	-0.23	-0.28	-0.40	-0.04	-0.03
産業・観光	31　上水道整備	満足割合（%）	62.55	51.52	70.71	63.77	61.71	66.20	68.52	55.96	53.21	60.00
		不満割合（%）	17.16	3.03	12.12	14.98	15.99	15.85	22.22	22.94	22.02	20.00
		満足度	0.70	1.33	1.13	0.89	0.75	0.70	0.54	0.40	0.38	0.46
	32　下水道整備	満足割合（%）	60.65	48.48	65.66	63.77	59.11	63.38	65.74	53.21	55.96	59.20
		不満割合（%）	17.96	9.09	14.14	14.98	15.99	19.01	22.22	22.94	19.27	19.20
		満足度	0.67	1.05	1.05	0.91	0.74	0.59	0.55	0.39	0.50	0.50
	33　農業の振興	満足割合（%）	27.85	30.30	40.40	37.68	33.09	27.11	21.30	13.76	17.43	20.80
		不満割合（%）	16.80	21.21	7.07	13.53	11.15	16.90	25.93	23.85	20.18	20.80
		満足度	0.23	0.06	0.98	0.59	0.50	0.22	-0.25	-0.44	-0.29	-0.15
	34　商工業の振興	満足割合（%）	28.15	36.36	44.44	33.33	29.74	30.63	23.15	18.35	16.51	18.40
		不満割合（%）	19.85	21.21	13.13	15.46	17.84	20.42	26.85	26.61	21.10	17.60
		満足度	0.13	0.16	0.75	0.40	0.20	0.17	-0.19	-0.39	-0.33	-0.07
	35　観光の振興	満足割合（%）	33.09	18.18	43.43	39.61	38.29	33.45	30.56	28.44	22.94	20.80
		不満割合（%）	27.42	54.55	29.29	24.64	22.68	28.17	33.33	31.19	26.61	24.80
		満足度	0.03	-0.75	0.22	0.23	0.24	0.02	-0.16	-0.17	-0.19	-0.30
	36　筑波山地域ジオパークの取組	満足割合（%）	33.16	18.18	34.34	31.88	36.06	38.03	32.41	29.36	24.77	32.80
		不満割合（%）	12.15	12.12	6.06	12.56	8.55	10.92	21.30	12.84	16.51	14.40
		満足度	0.52	0.40	0.88	0.62	0.75	0.55	0.21	0.28	0.31	0.34
地域・行政	37　広報誌（かわら版含む）による情報発信	満足割合（%）	61.02	30.30	46.46	59.42	65.80	67.61	61.11	61.47	56.88	62.40
		不満割合（%）	14.11	12.12	6.06	15.46	12.64	11.62	20.37	18.35	17.43	15.20
		満足度	0.72	0.57	1.06	0.75	0.81	0.78	0.47	0.53	0.53	0.68
	38　ホームページ・ＳＮＳ等による情報発信	満足割合（%）	43.64	27.27	36.36	44.93	47.96	50.00	40.74	50.46	38.53	28.80
		不満割合（%）	15.13	12.12	10.10	19.32	16.73	14.08	21.30	14.68	11.93	13.60
		満足度	0.52	0.54	0.85	0.49	0.53	0.58	0.24	0.55	0.49	0.32
	39　行政改革	満足割合（%）	24.58	27.27	29.29	26.57	27.51	26.06	20.37	19.27	18.35	17.60
		不満割合（%）	20.58	12.12	11.11	23.19	22.30	19.72	29.63	24.77	18.35	18.40
		満足度	-0.03	0.46	0.55	-0.09	0.03	-0.01	-0.44	-0.29	-0.18	-0.20
	40　区会・ボランティアなどの地域活動	満足割合（%）	30.04	33.33	30.30	28.50	26.02	30.99	28.70	29.36	32.11	37.60
		不満割合（%）	15.64	12.12	10.10	9.66	13.75	14.79	30.56	22.94	14.68	18.40
		満足度	0.27	0.53	0.68	0.48	0.31	0.26	-0.22	0.02	0.37	0.24
	41　科学技術の振興（研究開発支援、成果普及など）	満足割合（%）	46.40	51.52	57.58	55.56	46.47	51.41	45.37	35.78	29.36	35.20
		不満割合（%）	9.53	12.12	9.09	8.21	8.92	9.15	12.04	12.84	11.01	8.00
		満足度	0.83	1.00	1.08	0.98	0.90	0.84	0.60	0.55	0.50	0.72
	42　ロボットの街つくばの取組（生活支援ロボット実用化促進など）	満足割合（%）	43.35	57.58	54.55	56.52	42.75	42.61	40.74	30.28	33.03	34.40
		不満割合（%）	13.31	9.09	10.10	9.66	13.75	16.55	14.81	17.43	11.01	12.00
		満足度	0.65	1.09	1.00	0.91	0.67	0.51	0.43	0.21	0.60	0.52
	43　ＩＣＴを活用した行政サービス	満足割合（%）	35.71	45.45	47.47	46.38	37.55	37.68	25.00	33.94	21.10	22.40
		不満割合（%）	12.36	12.12	7.07	9.66	11.15	13.38	19.44	18.35	8.26	12.80
		満足度	0.58	0.84	1.11	0.91	0.66	0.46	0.04	0.28	0.53	0.14

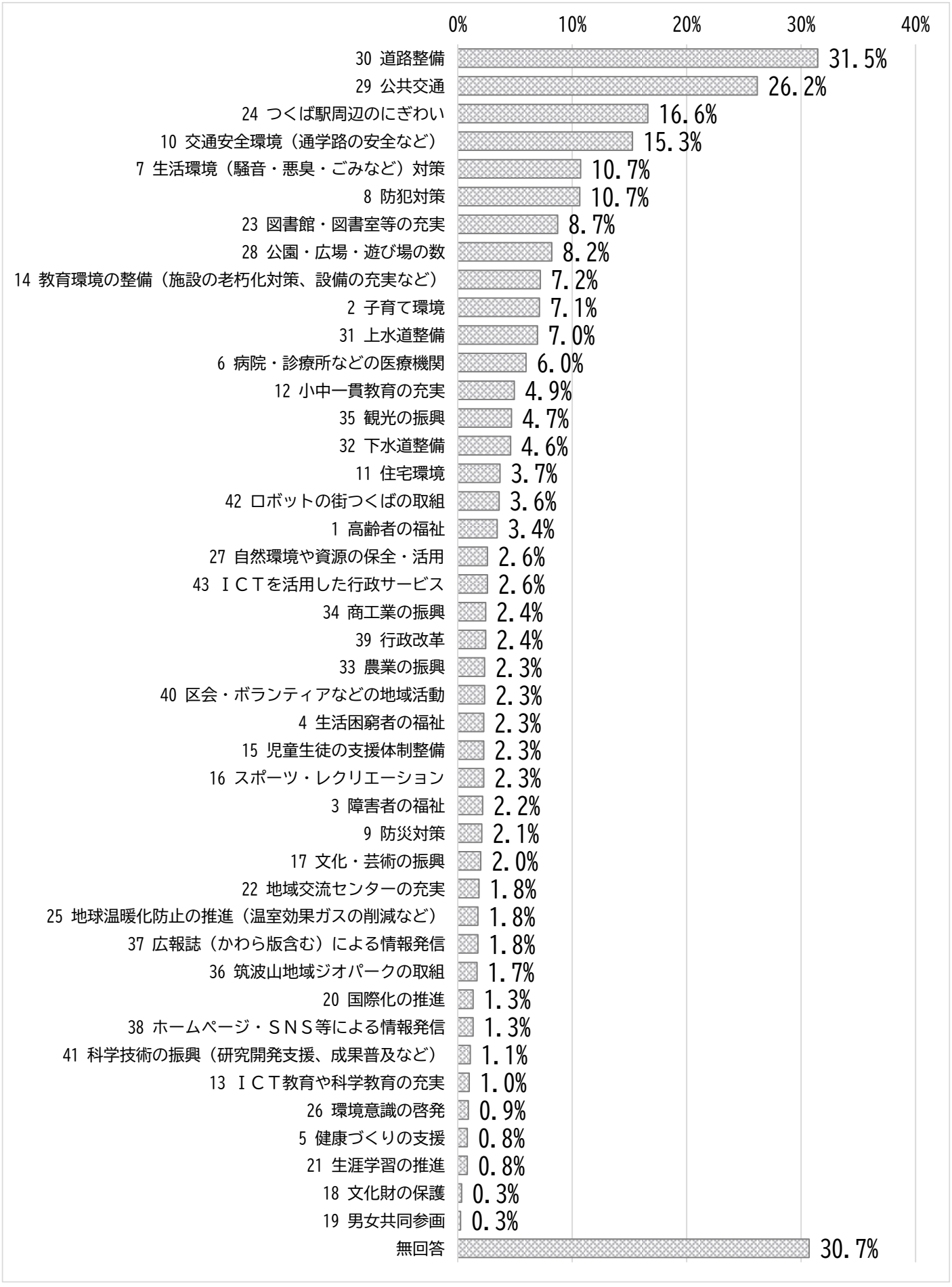
【問 11 で「どちらかといえば不満」または「不満」とお答えの方にお聞きします】
問 12　特に不満と感じる項目番号 1）～43）と、その理由を教えてください。　＜３つまで＞

①　回答者の結果

●「道路整備」「公共交通」「つくば駅周辺のにぎわい」への不満が多い

順位	項目	回答数	割合
1	30 道路整備	375	31.5%
2	29 公共交通	312	26.2%
3	24 つくば駅周辺のにぎわい	198	16.6%
4	10 交通安全環境（通学路の安全など）	182	15.3%
5	7 生活環境（騒音・悪臭・ごみなど）対策	128	10.7%
6	8 防犯対策	127	10.7%
7	23 図書館・図書室等の充実	104	8.7%
8	28 公園・広場・遊び場の数	98	8.2%
9	14 教育環境の整備（施設の老朽化対策、設備の充実など）	86	7.2%
10	2 子育て環境	85	7.1%
11	31 上水道整備	83	7.0%
12	6 病院・診療所などの医療機関	71	6.0%
13	12 小中一貫教育の充実	59	4.9%
14	35 観光の振興	56	4.7%
15	32 下水道整備	55	4.6%
16	11 住宅環境	44	3.7%
17	42 ロボットの街つくばの取組（生活支援ロボット実用化促進など）	43	3.6%
18	1 高齢者の福祉	41	3.4%
19	27 自然環境や資源の保全・活用	31	2.6%
19	43 ＩＣＴを活用した行政サービス	31	2.6%
21	34 商工業の振興	29	2.4%
21	39 行政改革	29	2.4%
23	33 農業の振興	28	2.3%
23	40 区会・ボランティアなどの地域活動	28	2.3%
25	4 生活困窮者の福祉	27	2.3%
25	15 児童生徒の支援体制整備	27	2.3%
25	16 スポーツ・レクリエーション	27	2.3%
28	3 障害者の福祉	26	2.2%
29	9 防災対策	25	2.1%
30	17 文化・芸術の振興	24	2.0%
31	22 地域交流センターの充実	22	1.8%
32	25 地球温暖化防止の推進（温室効果ガスの削減など）	21	1.8%
32	37 広報誌（かわら版含む）による情報発信	21	1.8%
34	36 筑波山地域ジオパークの取組	20	1.7%
35	20 国際化の推進	16	1.3%
35	38 ホームページ・ＳＮＳ等による情報発信	16	1.3%
37	41 科学技術の振興（研究開発支援、成果普及など）	13	1.1%
38	13 ＩＣＴ教育や科学教育の充実	12	1.0%
39	26 環境意識の啓発	11	0.9%
40	5 健康づくりの支援	10	0.8%
40	21 生涯学習の推進	10	0.8%
42	18 文化財の保護	4	0.3%
43	19 男女共同参画	3	0.3%
	無回答	366	30.7%

【問 11 で「３　どちらかといえば不満」または「４　不満」とお答えの方にお聞きします】
問 12　特に不満と感じる項目番号 1）～43）と、その理由を教えてください。　＜３つまで＞



② 不満理由

不満理由の要旨を設問項目ごとにまとめ、上位３位までを記載した。

不満項目			回答数	不満理由順位	不満理由	回答数
健康・福祉	1	高齢者の福祉	41	１位	高齢者の交通手段・移動支援	6
				２位	保険料など高齢者の経済的負担の重さ	5
				２位	高齢者福祉・支援の不十分さ	5
	2	子育て環境	85	１位	公的費用負担（保育料・給食費・医療費）	14
				２位	保育園・待機児童・未就学児支援	13
				３位	高校教育（不足・選択肢・アクセス）	12
	3	障害者の福祉	26	１位	障害児・者/難病者支援の不足・制度の不備	9
				２位	インフラ・環境の不備	3
				３位	回答数が少ないため省略	－
	4	生活困窮者の福祉	27	１位	行政サービス・制度の不便さ/不満	6
				２位	交通・移動手段の不備	3
				２位	生活保護制度への疑問・不満	3
	5	健康づくりの支援	10	１位	スポーツ施設の場所・時間・種類の不足	5
				２位	回答数が少ないため省略	－
				３位		
	6	病院・診療所などの医療機関	71	１位	医療機関の混雑と予約困難	15
				２位	小児科・産婦人科の不足と救急体制の課題	13
				３位	医療機関の地域偏在・アクセス困難	11
生活環境・防犯・防災	7	生活環境（騒音・悪臭・ごみなど）対策	128	１位	騒音・暴走行為と治安	33
				２位	ゴミ処理・管理の課題	17
				３位	悪臭・異臭の発生源対策	15
	8	防犯対策	127	１位	街灯の不足と夜道の暗さ	27
				２位	自動車・窃盗犯罪の多発	26
				３位	防犯カメラ・交番など対策の不足	14
	9	防災対策	25	１位	排水・水害対策の不備・不安	5
				２位	防災情報の周知不足	4
				３位	回答数が少ないため省略	－
	10	交通安全環境（通学路の安全など）	182	１位	歩道・街灯の不足と整備不良	45
				２位	通学路の危険性と対応の不足	31
				３位	車両のスピードと交通マナーの悪さ	22
	11	住宅環境	44	１位	空き家・廃墟・公務員宿舎の問題	6
				１位	都市計画・景観への不満	6
				２位	住環境（草木・雑草）の維持管理の欠如	5

不満項目			回答数	不満理由順位	不満理由	回答数
教育・スポーツ・文化	12	小中一貫教育の充実	59	１位	小中一貫のメリット・効果の不明瞭さ	10
				２位	中高一貫/高校受験との政策矛盾	7
				２位	小中一貫校と非一貫校間の地域・質的格差	7
	13	ＩＣＴ教育や科学教育の充実	12	１位	タブレット学習のデメリットとネット利用のリスク	4
				２位	配布端末のスペック・質の問題	3
				２位	研究学園都市としての科学資源の活用不足	3
	14	教育環境の整備（施設の老朽化対策、設備の充実など）	86	１位	既存学校・公共施設の老朽化と修繕の遅れ	22
				２位	体育館等の冷暖房・空調設備の不足	11
				３位	高校の不足	6
	15	児童生徒の支援体制整備	27	１位	小学校の生徒増と教員の目が行き届かない不安	5
				２位	子育て・教育費支援の不足と公平性	4
				３位	特別支援教育・発達支援体制への不安	3
	16	スポーツ・レクリエーション	27	１位	大規模・公式競技施設の不足	8
				１位	市民が気軽に利用できる機会の不足	8
				２位	既存施設の老朽化と冷暖房・空調の不足	4
	17	文化・芸術の振興	24	１位	美術館・常設展示施設の不足	4
				１位	文化・芸術活動の促進・人材活用	4
				２位	大型コンサートホールの不足	3
	18	文化財の保護	4	１位	文化財の悉皆調査と保護の不足	2
				２位	回答数が少ないため省略	－
				３位		
	19	男女共同参画	3	１位	制度の必要性への否定	2
				２位	回答数が少ないため省略	－
				３位		
	20	国際化の推進	16	１位	外国人増加による治安・犯罪への不安	4
				２位	生活習慣・マナーの違いによる摩擦	3
				２位	国際化政策の内容と方向性への不信感	3
	21	生涯学習の推進	10	１位	講座・コースの内容と継続性の不足	3
				２位	交流センター・学習施設の地域格差	2
				３位	回答数が少ないため省略	－
	22	地域交流センターの充実	22	１位	交流施設・室内施設の地域格差と不足	6
				２位	利用の不便さと予約の困難さ	4
				３位	運営・職員の質への不満	2
	23	図書館・図書室等の充実	104	１位	図書館の老朽化、規模・蔵書の不足	31
				２位	駐車場・立地などアクセス・利便性の悪さ	15
				３位	新興・周辺地域における図書館の空白	13
まちづくり	24	つくば駅周辺のにぎわい	198	１位	商業施設の不足と活気のなさ	69
				２位	無計画なマンション乱立と未活用の土地	23
				３位	研究学園駅周辺への集中に対する不満	10
	25	地球温暖化防止の推進（温室効果ガスの削減など）	21	１位	メガソーラー設置への反対意見と緑の減少	4
				１位	温暖化対策の具体性・効果の不明瞭さ	4
				２位	身近な環境破壊（野焼き・伐採）への不満	2
	26	環境意識の啓発	11	１位	自然破壊と太陽光パネル設置への反対	2
				１位	ゴミのポイ捨て・路上ゴミの多さ	2
				１位	SDGs施策の具体性・内容への不満	2
	27	自然環境や資源の保全・活用	31	１位	開発・宅地化による緑地の急速な減少	7
				２位	既存の自然環境・街路樹の管理不足	6
				３位	太陽光パネル/メガソーラーへの反対	4
	28	公園・広場・遊び場の数	98	１位	遊具の不足と質の低さ	19
				２位	近所にちょうどいい公園がない	12
				３位	施設の老朽化と地域間格差	11
	29	公共交通	312	１位	バス・地域公共交通の運行頻度・本数不足	137
				２位	自家用車への依存と高齢者の移動不安	59
				３位	TXの運賃・混雑・運行体制への不満	19
	30	道路整備	375	１位	路面・歩道の老朽化と損傷	104
				２位	雑草・樹木の管理不足	43
				３位	渋滞と交通量	33

不満項目			回答数	不満理由順位	不満理由	回答数
産業・観光	31	上水道整備	83	１位	上水道の未整備・普及の遅れ	23
				２位	水道料金の高さと引き込み費用の高額さ	16
				３位	水道水の水質と臭いの問題	7
	32	下水道整備	55	１位	下水道の未整備・浄化槽の使用	17
				２位	冠水・排水設備の不備	6
				２位	料金の高さ	6
	33	農業の振興	28	１位	耕作放棄地の増加と有効活用	10
				２位	農業従事者への支援と情報発信の不足	3
				３位	無秩序な宅地化による農地の減少	2
	34	商工業の振興	29	１位	商業施設の不足と分散の悪さ	7
				２位	商業・スモールビジネス支援の不足	3
				２位	土地活用と都市計画のバランスの悪さ	3
	35	観光の振興	56	１位	魅力的な観光スポットの不足	10
				１位	筑波山観光の整備不足と活用不足	10
				２位	観光資源のPR・発信不足	5
	36	筑波山地域ジオパークの取組	20	１位	魅力不足と集客の失敗	5
				１位	周辺施設・環境の開発と整備の遅れ	5
				２位	施策の認知度・情報発信の不足	4
地域・行政	37	広報誌（かわら版含む）による情報発信	21	１位	かわら版の廃止を含めたコスト削減の要望	6
				２位	広報誌の内容と情報不足	4
				３位	紙媒体の削減と情報一元化の要望	3
	38	ホームページ・ＳＮＳ等による情報発信	16	１位	ホームページの使いづらさ・検索性の低さ	4
				２位	SNSの活用不足と発信力の弱さ	3
				２位	高齢者などデジタル弱者への情報伝達不足	3
	39	行政改革	29	１位	職員体制・効率・責任感への不満	6
				２位	税金・料金などの経済的負担の重さ	4
				３位	福祉施策の改善	2
	40	区会・ボランティアなどの地域活動	28	１位	区会活動の負担感と義務の強制	5
				２位	区会組織の機能不全・未加入の問題	4
				３位	区会の存在の不明確さ・情報不足	3
	41	科学技術の振興（研究開発支援、成果普及など）	13	１位	研究成果の社会実装・市民生活への還元不足	3
				１位	施策の具体性と重点化の欠如	3
				１位	若手研究者・大学連携への支援不足	3
	42	ロボットの街つくばの取組（生活支援ロボット実用化促進など）	43	１位	街中でのロボット活用の実感不足	11
				２位	取組内容の不明瞭さと情報発信不足	9
				３位	市民生活への還元不足と優先順位への疑問	7
	43	ＩＣＴを活用した行政サービス	31	１位	デジタル化の不徹底と手続きの複雑さ	7
				２位	高齢者・デジタル弱者への配慮不足	5
				３位	システム設計の使いづらさと画面構成の不明瞭さ	2

問 13　あなたは、つくば市は自分らしく、自分のやりたいことができるまちであると思いますか。　＜○は１つ＞

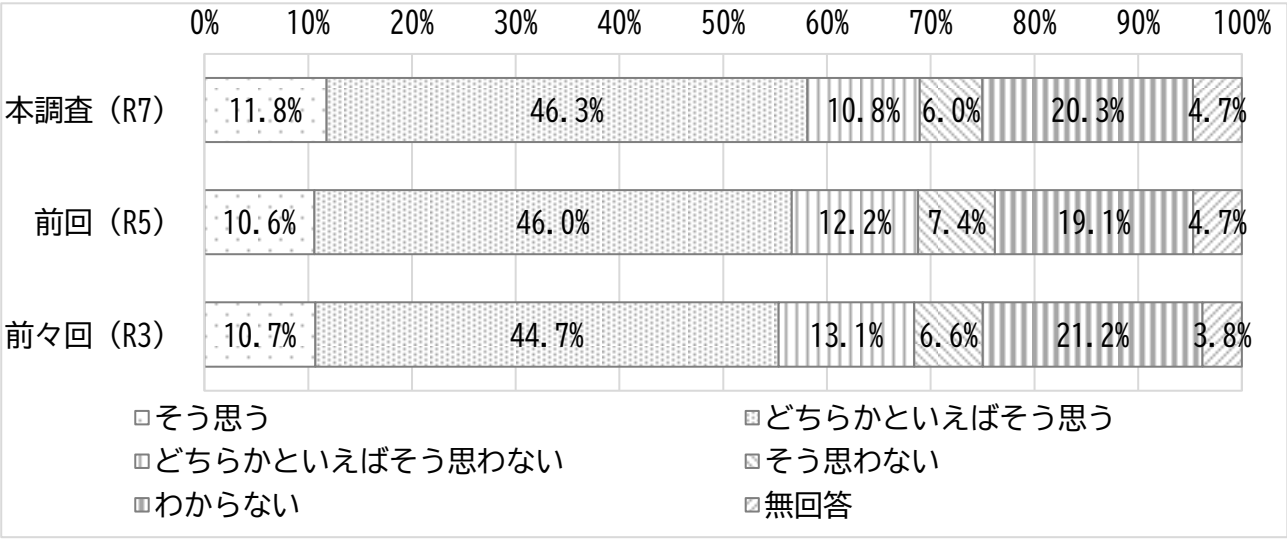
①　全体集計の結果

●「そう思う/どちらかといえばそう思う」が５割半ば

・つくば市が自分らしく、自分のやりたいことができるまちであるかについては、「どちらかといえばそう思う」が 637 人(46.3%)で最も多く、「わからない」が 279 人(20.3%)、「そう思う」が 162 人(11.8%)で続いている。

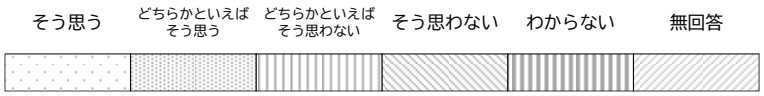
選択肢	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
そう思う	162	11.8%	10.6%	10.7%
どちらかといえばそう思う	637	46.3%	46.0%	44.7%
どちらかといえばそう思わない	149	10.8%	12.2%	13.1%
そう思わない	83	6.0%	7.4%	6.6%
わからない	279	20.3%	19.1%	21.2%
無回答	65	4.7%	4.7%	3.8%
全体	1,375	100.0%	100.0%	100.0%

＜過年度調査との比較＞



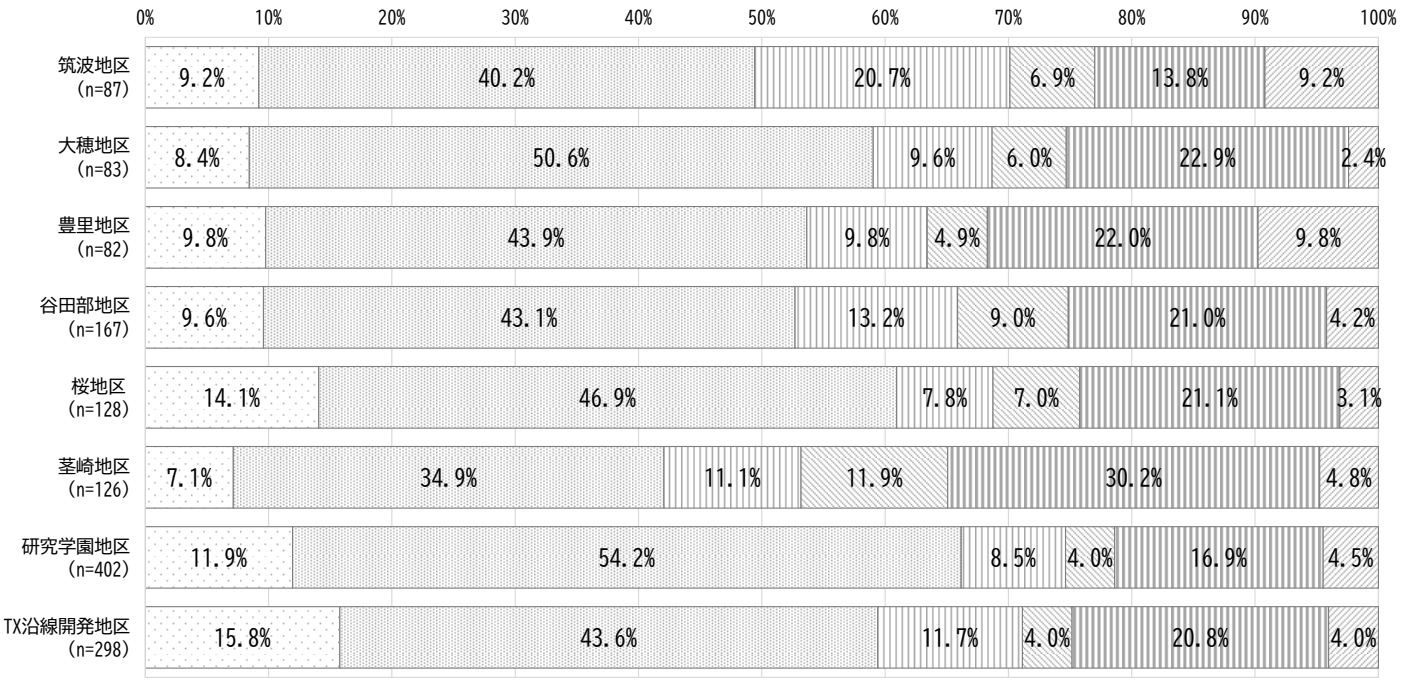
問 13　あなたは、つくば市は自分らしく、自分のやりたいことができるまちであると思いますか。　＜○は１つ＞

② クロス集計の結果



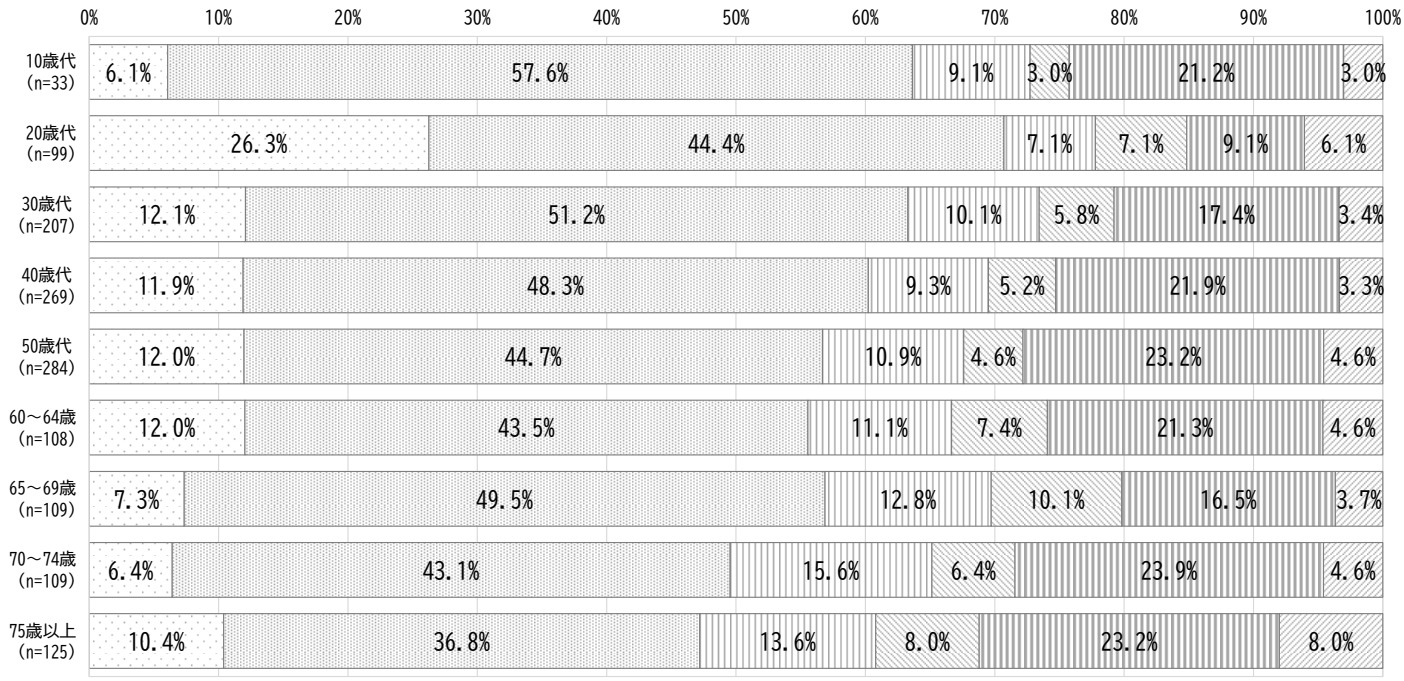
【地区別】

・筑波地区、茎崎地区以外の地区では「そう思う/どちらかといえばそう思う」の割合が 50%を超えている。
・筑波地区では「どちらかといえばそう思わない/そう思わない」の割合が 27.6%で最も多く、次いで、茎崎地区が 23.0%となっている。



【年齢別】

・全ての年齢で「そう思う/どちらかといえばそう思う」の割合が 40%を超えており、特に 20 代は 70%超である。



問 14　あなたが、市外の友人に紹介したい（自慢したい）と思うつくば市の魅力は何ですか。
＜各項目についていずれかの選択肢１つに○＞

①　全体集計の結果

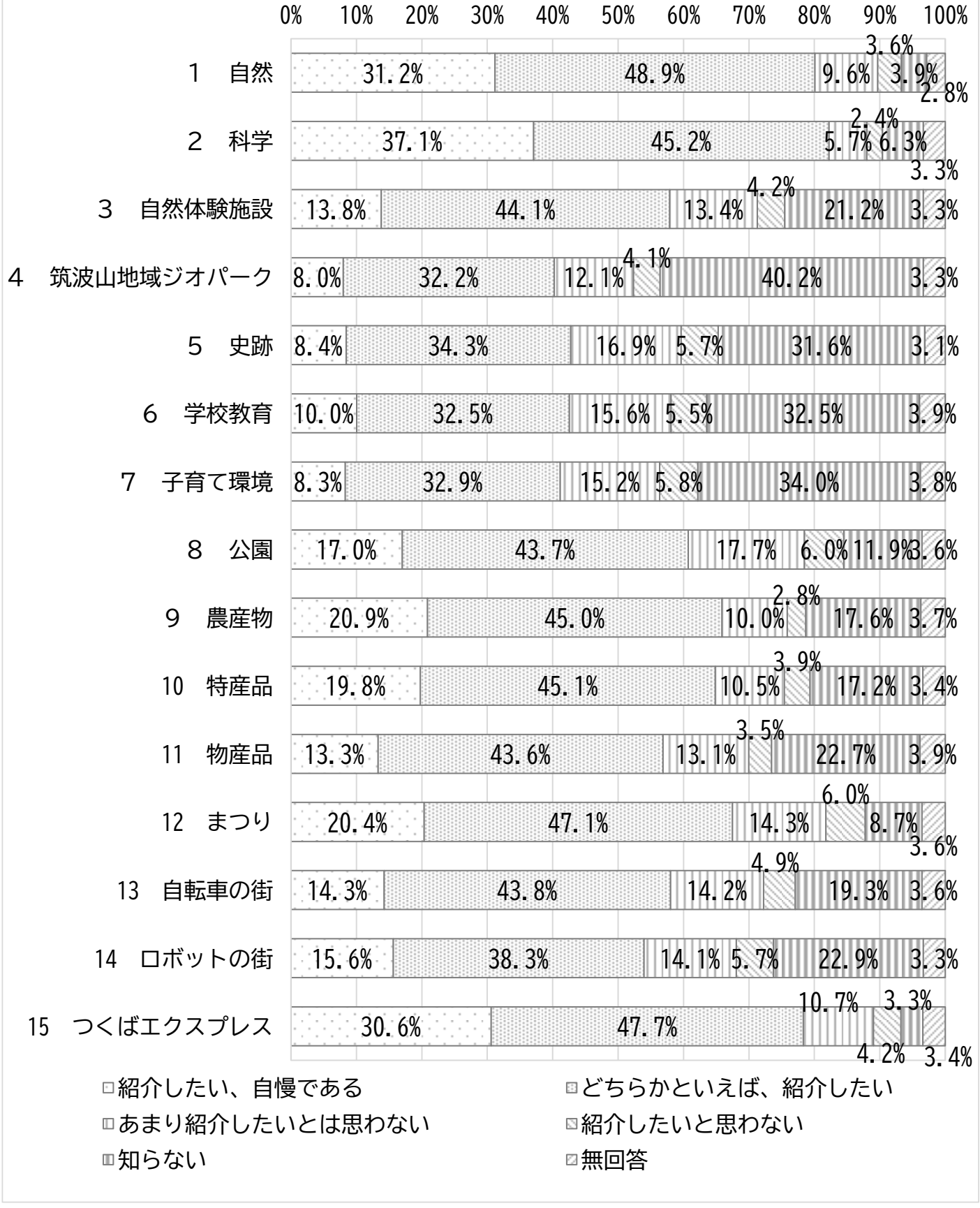
●「科学(研究学園都市、研究機関の見学施設など)」と「自然（筑波山、宝篋山、牛久沼など）」への『紹介したい、自慢したい/どちらかといえば、紹介したい』が８割超え

・市外の友人に紹介したいつくば市の魅力については、「科学(研究学園都市、研究機関の見学施設など)」が 510 人(37.1%)で最も多く、「自然(筑波山、宝篋山、牛久沼など)」が 429 人(31.2%)、「つくばエクスプレス」が 421 人(30.6%)と続いている。

項目	選択肢	紹介したい、自慢である	どちらかといえば、紹介したい	あまり紹介したいとは思わない	紹介したいと思わない	知らない	無回答	合計
1 自然（筑波山、宝篋山、牛久沼など）	回答数（人）	429	672	132	50	53	39	1375
	構成比	31.2%	48.9%	9.6%	3.6%	3.9%	2.8%	100.0%
2 科学（研究学園都市、研究機関の見学施設など）	回答数（人）	510	621	79	33	86	46	1375
	構成比	37.1%	45.2%	5.7%	2.4%	6.3%	3.3%	100.0%
3 自然体験施設（豊里ゆかりの森、筑波ふれあいの里、こもれび六斗の森、フォレストアドベンチャー・つくばなど）	回答数（人）	190	606	184	58	291	46	1375
	構成比	13.8%	44.1%	13.4%	4.2%	21.2%	3.3%	100.0%
4 筑波山地域ジオパーク	回答数（人）	110	443	167	56	553	46	1375
	構成比	8.0%	32.2%	12.1%	4.1%	40.2%	3.3%	100.0%
5 史跡（平沢官衙遺跡、小田城跡など）	回答数（人）	116	472	232	78	434	43	1375
	構成比	8.4%	34.3%	16.9%	5.7%	31.6%	3.1%	100.0%
6 学校教育	回答数（人）	138	447	214	75	447	54	1375
	構成比	10.0%	32.5%	15.6%	5.5%	32.5%	3.9%	100.0%
7 子育て環境	回答数（人）	114	452	209	80	468	52	1375
	構成比	8.3%	32.9%	15.2%	5.8%	34.0%	3.8%	100.0%
8 公園	回答数（人）	234	601	244	83	164	49	1375
	構成比	17.0%	43.7%	17.7%	6.0%	11.9%	3.6%	100.0%
9 農産物	回答数（人）	287	619	137	39	242	51	1375
	構成比	20.9%	45.0%	10.0%	2.8%	17.6%	3.7%	100.0%
10 特産品（北条米、ブルーベリー、福来みかんなど）	回答数（人）	272	620	145	54	237	47	1375
	構成比	19.8%	45.1%	10.5%	3.9%	17.2%	3.4%	100.0%
11 物産品（つくば産品を使った菓子や酒などの加工食品）	回答数（人）	183	599	180	48	312	53	1375
	構成比	13.3%	43.6%	13.1%	3.5%	22.7%	3.9%	100.0%
12 まつり（まつりつくば、筑波山梅まつり、つくばフェスティバルなど）	回答数（人）	280	648	196	83	119	49	1375
	構成比	20.4%	47.1%	14.3%	6.0%	8.7%	3.6%	100.0%
13 自転車の街（つくば霞ヶ浦りんりんロードなど）	回答数（人）	196	602	195	67	266	49	1375
	構成比	14.3%	43.8%	14.2%	4.9%	19.3%	3.6%	100.0%
14 ロボットの街	回答数（人）	215	527	194	78	315	46	1375
	構成比	15.6%	38.3%	14.1%	5.7%	22.9%	3.3%	100.0%
15 つくばエクスプレス	回答数（人）	421	656	147	58	46	47	1375
	構成比	30.6%	47.7%	10.7%	4.2%	3.3%	3.4%	100.0%

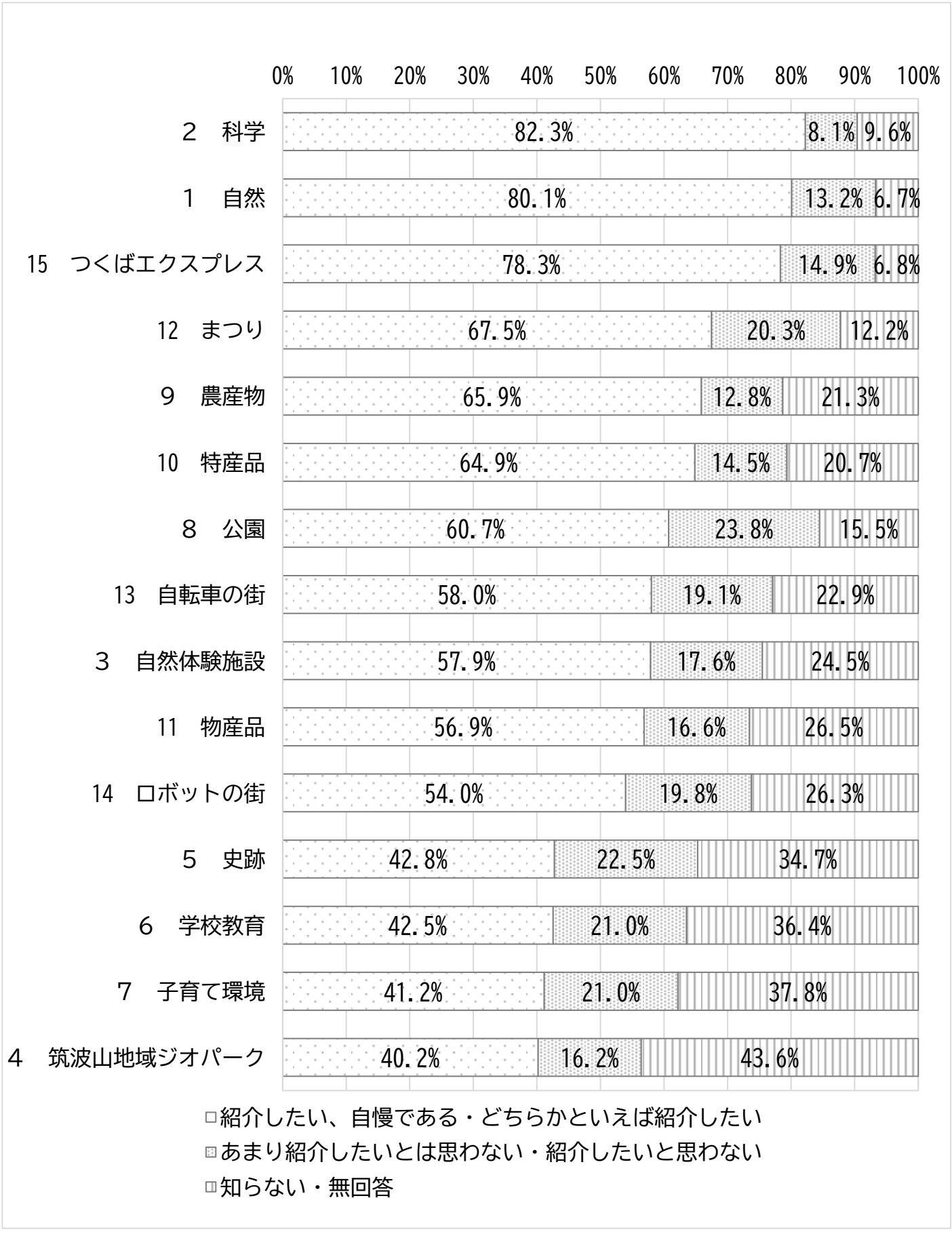
問 14　あなたが、市外の友人に紹介したい（自慢したい）と思うつくば市の魅力は何ですか。
＜各項目についていずれかの選択肢１つに○＞

＜全体集計グラフ（項目順）＞



問 14　あなたが、市外の友人に紹介したい（自慢したい）と思うつくば市の魅力は何ですか。
＜各項目についていずれかの選択肢１つに○＞

＜全体集計グラフ（紹介したい、自慢である・どちらかといえば、紹介したいの多い順）＞



② 自慢度

次のような基準で点数化し、「自慢度」を算出した。

《自慢度の算出方法》

以下の方法で回答数に点数をつけ、「知らない」「無回答」を除く回答者数で割って算出

	紹介したい、自慢である	どちらかといえば、紹介したい	あまり紹介したいとは思わない	紹介したいと思わない	知らない・無回答
各回答の点数	2 点	1 点	−1 点	−2 点	対象外

【地区別クロス集計】

項目ごとの自慢したい割合、自慢でない割合、自慢度の地区別クロス集計を行った。

自慢したい割合、自慢でない割合の考え方は以下に示す。

自慢したい割合：「紹介したい、自慢である」の回答割合＋「どちらかといえば、紹介したい」の回答割合
自慢でない割合：「あまり紹介したいとは思わない」の回答割合＋「紹介したいと思わない」の回答割合

自慢度が最も高い地区:　　自慢度が最も低い地区:

項目	選択肢	全体	筑波地区	大穂地区	豊里地区	谷田部地区	桜地区	茎崎地区	研究学園地区	TX沿線開発地区
1 自然（筑波山、宝篋山、牛久沼など）	自慢したい割合（%）	80.07	85.06	80.72	76.83	72.46	80.47	75.40	82.34	82.21
	自慢でない割合（%）	13.24	8.05	10.84	17.07	16.17	14.06	14.29	12.19	13.42
	自慢度	1.01	1.20	1.03	0.82	0.93	1.06	0.92	1.05	1.01
2 科学（研究学園都市、研究機関の見学施設など）	自慢したい割合（%）	82.25	79.31	80.72	75.61	75.45	82.03	76.98	87.06	85.23
	自慢でない割合（%）	8.15	6.90	8.43	10.98	7.78	7.03	6.35	6.97	10.40
	自慢度	1.20	1.21	1.11	1.07	1.22	1.27	1.08	1.27	1.20
3 自然体験施設（豊里ゆかりの森、筑波ふれあいの里、こもれび六斗の森、　フォレストアドベンチャー・つくばなど）	自慢したい割合（%）	57.89	55.17	48.19	68.29	52.10	60.16	54.76	58.71	61.07
	自慢でない割合（%）	17.60	21.84	18.07	19.51	19.16	17.97	15.87	17.66	15.10
	自慢度	0.66	0.55	0.60	0.69	0.61	0.73	0.64	0.67	0.70
4 筑波山地域ジオパーク	自慢したい割合（%）	40.22	42.53	38.55	42.68	32.93	35.94	34.92	46.27	39.26
	自慢でない割合（%）	16.22	22.99	18.07	19.51	16.17	15.63	11.90	14.68	17.11
	自慢度	0.49	0.40	0.40	0.41	0.40	0.52	0.59	0.59	0.44
5 史跡（平沢官衙遺跡、小田城跡など）	自慢したい割合（%）	42.76	63.22	51.81	41.46	33.53	46.88	37.30	44.53	37.92
	自慢でない割合（%）	22.55	24.14	21.69	32.93	26.35	23.44	18.25	20.90	20.81
	自慢度	0.35	0.64	0.48	0.07	0.14	0.41	0.39	0.40	0.30
6 学校教育	自慢したい割合（%）	42.55	29.89	28.92	43.90	34.13	42.19	28.57	48.26	53.02
	自慢でない割合（%）	21.02	26.44	26.51	23.17	25.15	19.53	19.84	20.15	17.11
	自慢度	0.41	0.20	0.09	0.36	0.15	0.46	0.15	0.52	0.59
7 子育て環境	自慢したい割合（%）	41.16	25.29	31.33	45.12	31.14	43.75	28.57	48.76	47.32
	自慢でない割合（%）	21.02	21.84	22.89	23.17	25.75	16.41	18.25	17.41	24.83
	自慢度	0.36	0.15	0.16	0.36	0.00	0.51	0.20	0.58	0.34
8 公園	自慢したい割合（%）	60.73	39.08	46.99	54.88	53.89	61.72	53.97	76.12	58.39
	自慢でない割合（%）	23.78	28.74	30.12	26.83	27.54	21.09	16.67	16.17	31.88
	自慢度	0.57	0.19	0.23	0.42	0.38	0.64	0.61	0.90	0.37
9 農産物	自慢したい割合（%）	65.89	63.22	61.45	63.41	61.68	72.66	54.76	68.91	68.79
	自慢でない割合（%）	12.80	14.94	15.66	17.07	16.17	10.94	11.90	10.45	12.42
	自慢度	0.90	0.78	0.83	0.77	0.80	0.98	0.77	0.99	0.95
10 特産品（北条米、ブルーベリー、福来みかんなど）	自慢したい割合（%）	64.87	72.41	69.88	63.41	62.87	60.94	50.79	69.40	64.43
	自慢でない割合（%）	14.47	14.94	13.25	18.29	17.96	16.41	16.67	11.44	13.76
	自慢度	0.84	0.92	0.81	0.72	0.76	0.83	0.55	0.94	0.86
11 物産品（つくば産品を使った菓子や酒などの加工食品）	自慢したい割合（%）	56.87	56.32	61.45	52.44	49.70	57.81	47.62	60.95	59.06
	自慢でない割合（%）	16.58	19.54	16.87	19.51	22.75	17.97	12.70	15.92	13.09
	自慢度	0.68	0.61	0.72	0.51	0.50	0.70	0.62	0.74	0.78
12 まつり（まつりつくば、筑波山梅まつり、つくばフェスティバルなど）	自慢したい割合（%）	67.49	67.82	68.67	75.61	60.48	65.63	59.52	70.40	69.13
	自慢でない割合（%）	20.29	19.54	22.89	15.85	22.75	21.09	19.84	19.40	20.47
	自慢度	0.70	0.80	0.67	0.93	0.59	0.70	0.54	0.76	0.66
13 自転車の街（つくば霞ヶ浦りんりんロードなど）	自慢したい割合（%）	58.04	67.82	59.04	57.32	51.50	66.41	52.38	60.20	54.70
	自慢でない割合（%）	19.05	17.24	24.10	17.07	23.95	14.84	16.67	18.66	19.13
	自慢度	0.63	0.84	0.46	0.64	0.51	0.85	0.60	0.64	0.56
14 ロボットの街	自慢したい割合（%）	53.96	47.13	57.83	48.78	48.50	53.91	46.03	56.72	59.40
	自慢でない割合（%）	19.78	18.39	16.87	19.51	21.56	17.97	18.25	20.65	20.13
	自慢度	0.60	0.54	0.55	0.57	0.49	0.62	0.52	0.61	0.70
15 つくばエクスプレス	自慢したい割合（%）	78.33	77.01	85.54	78.05	71.26	76.56	70.63	80.10	82.55
	自慢でない割合（%）	14.91	13.79	7.23	12.20	18.56	17.19	12.70	15.42	15.10
	自慢度	0.96	1.05	1.12	1.07	0.95	1.02	0.90	0.91	0.96

【年齢別クロス集計】

項目ごとの自慢したい割合、自慢でない割合、自慢度の年齢別クロス集計を行った。
自慢したい割合、自慢でない割合の考え方は以下に示す。

自慢したい割合：「紹介したい、自慢である」の回答割合＋「どちらかといえば、紹介したい」の回答割合
自慢でない割合：「あまり紹介したいとは思わない」の回答割合＋「紹介したいと思わない」の回答割合

自慢度が最も高い年齢:　　自慢度が最も低い年齢:

項目	選択肢	全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
1 自然（筑波山、宝篋山、牛久沼など）	自慢したい割合（%）	80.07	78.79	77.78	79.71	82.90	81.34	78.70	74.31	84.40	79.20
	自慢でない割合（%）	13.24	15.15	15.15	15.94	11.52	13.38	12.04	14.68	11.01	12.80
	自慢度	1.01	0.97	0.91	0.94	1.08	1.02	1.01	0.96	1.03	1.04
2 科学（研究学園都市、研究機関の見学施設など）	自慢したい割合（%）	82.25	81.82	84.85	85.02	81.41	86.97	81.48	76.15	79.82	76.80
	自慢でない割合（%）	8.15	6.06	10.10	7.73	9.67	7.39	7.41	7.34	8.26	8.80
	自慢度	1.20	1.34	1.28	1.21	1.20	1.23	1.13	1.18	1.13	1.18
3 自然体験施設（豊里ゆかりの森、筑波ふれあいの里、こもれび六斗の森、　フォレストアドベンチャー・つくばなど）	自慢したい割合（%）	57.89	72.73	59.60	64.73	62.08	58.80	51.85	51.38	51.38	47.20
	自慢でない割合（%）	17.60	9.09	15.15	18.36	18.96	16.90	18.52	22.94	18.35	16.00
	自慢度	0.66	1.00	0.77	0.71	0.69	0.65	0.57	0.47	0.53	0.62
4 筑波山地域ジオパーク	自慢したい割合（%）	40.22	18.18	36.36	42.51	39.41	45.42	38.89	44.04	34.86	40.00
	自慢でない割合（%）	16.22	24.24	16.16	18.36	16.36	13.73	21.30	18.35	16.51	11.20
	自慢度	0.49	-0.07	0.48	0.37	0.51	0.61	0.35	0.51	0.39	0.70
5 史跡（平沢官衙遺跡、小田城跡など）	自慢したい割合（%）	42.76	33.33	35.35	28.99	39.41	48.24	47.22	49.54	47.71	56.80
	自慢でない割合（%）	22.55	30.30	26.26	27.05	23.79	18.66	26.85	20.18	21.10	16.00
	自慢度	0.35	0.19	0.23	-0.03	0.26	0.47	0.33	0.51	0.41	0.73
6 学校教育	自慢したい割合（%）	42.55	48.48	46.46	48.79	47.58	42.61	40.74	36.70	35.78	31.20
	自慢でない割合（%）	21.02	30.30	20.20	22.71	28.25	19.72	18.52	20.18	13.76	12.80
	自慢度	0.41	0.38	0.58	0.43	0.31	0.43	0.42	0.40	0.48	0.49
7 子育て環境	自慢したい割合（%）	41.16	36.36	40.40	41.06	48.33	43.31	37.04	37.61	39.45	32.80
	自慢でない割合（%）	21.02	21.21	18.18	33.33	27.88	17.61	16.67	16.51	12.84	11.20
	自慢度	0.36	0.32	0.52	0.12	0.34	0.46	0.41	0.41	0.49	0.53
8 公園	自慢したい割合（%）	60.73	60.61	64.65	57.00	59.11	65.85	63.89	58.72	55.96	58.40
	自慢でない割合（%）	23.78	21.21	22.22	33.82	30.11	20.77	20.37	21.10	20.18	13.60
	自慢度	0.57	0.78	0.67	0.35	0.46	0.65	0.60	0.60	0.59	0.78
9 農産物	自慢したい割合（%）	65.89	69.70	63.64	66.67	68.77	69.72	71.30	56.88	63.30	58.40
	自慢でない割合（%）	12.80	9.09	12.12	9.18	12.64	12.32	13.89	17.43	14.68	15.20
	自慢度	0.90	1.12	0.88	1.00	0.98	0.98	0.87	0.57	0.81	0.74
10 特産品（北条米、ブルーベリー、福来みかんなど）	自慢したい割合（%）	64.87	66.67	63.64	59.42	69.14	70.77	69.44	60.55	62.39	56.00
	自慢でない割合（%）	14.47	9.09	8.08	12.56	12.64	14.08	17.59	18.35	20.18	19.20
	自慢度	0.84	1.24	1.03	0.85	0.92	0.92	0.79	0.55	0.59	0.68
11 物産品（つくば産品を使った菓子や酒などの加工食品）	自慢したい割合（%）	56.87	63.64	61.62	57.49	60.59	62.32	51.85	47.71	54.13	47.20
	自慢でない割合（%）	16.58	9.09	10.10	14.49	15.99	15.85	25.00	23.85	18.35	16.00
	自慢度	0.68	1.17	0.96	0.73	0.75	0.73	0.47	0.35	0.56	0.57
12 まつり（まつりつくば、筑波山梅まつり、つくばフェスティバルなど）	自慢したい割合（%）	67.49	84.85	68.69	75.85	69.89	71.13	58.33	55.96	63.30	59.20
	自慢でない割合（%）	20.29	6.06	17.17	15.46	21.19	17.96	27.78	31.19	20.18	21.60
	自慢度	0.70	1.47	0.89	0.89	0.68	0.75	0.43	0.31	0.66	0.57
13 自転車の街（つくば霞ヶ浦りんりんロードなど）	自慢したい割合（%）	58.04	60.61	60.61	54.11	57.25	63.38	55.56	55.96	56.88	58.40
	自慢でない割合（%）	19.05	21.21	20.20	20.29	17.47	17.96	29.63	19.27	17.43	12.80
	自慢度	0.63	0.67	0.69	0.51	0.65	0.69	0.38	0.61	0.63	0.88
14 ロボットの街	自慢したい割合（%）	53.96	69.70	62.63	63.29	53.90	55.63	44.44	42.20	55.05	46.40
	自慢でない割合（%）	19.78	12.12	15.15	17.87	21.19	17.96	26.85	30.28	16.51	14.40
	自慢度	0.60	0.93	0.82	0.70	0.66	0.66	0.30	0.13	0.62	0.64
15 つくばエクスプレス	自慢したい割合（%）	78.33	78.79	71.72	77.29	78.81	82.04	76.85	82.57	77.98	77.60
	自慢でない割合（%）	14.91	15.15	22.22	19.81	16.36	12.32	17.59	7.34	12.84	9.60
	自慢度	0.96	1.03	0.78	0.88	0.93	1.06	0.79	1.14	1.02	1.10

【職業別クロス集計】

項目ごとの自慢したい割合、自慢でない割合、自慢度の職業別クロス集計を行った。
自慢したい割合、自慢でない割合の考え方は以下に示す。

自慢したい割合：「紹介したい、自慢である」の回答割合＋「どちらかといえば、紹介したい」の回答割合
自慢でない割合：「あまり紹介したいとは思わない」の回答割合＋「紹介したいと思わない」の回答割合

自慢度が最も高い職業:　　自慢度が最も低い職業:

項目	選択肢	全体	会社員・公務員	自営業	農林業	パート・アルバイトなど	専業主婦（主夫）	学生	無職	その他
1 自然（筑波山、宝篋山、牛久沼など）	自慢したい割合（%）	80.07	80.45	80.00	71.43	81.48	79.62	78.26	81.29	82.93
	自慢でない割合（%）	13.24	13.21	12.94	14.29	15.28	14.65	14.49	9.36	14.63
	自慢度	1.01	1.00	1.01	1.00	1.00	0.95	1.02	1.10	1.00
2 科学（研究学園都市、研究機関の見学施設など）	自慢したい割合（%）	82.25	84.56	81.18	64.29	83.33	81.53	85.51	77.19	82.93
	自慢でない割合（%）	8.15	7.89	9.41	14.29	9.26	8.28	7.25	5.85	12.20
	自慢度	1.20	1.22	1.16	1.09	1.18	1.22	1.39	1.18	1.00
3 自然体験施設（豊里ゆかりの森、筑波ふれあいの里、こもれび六斗の森、フォレストアドベンチャー・つくばなど）	自慢したい割合（%）	57.89	58.49	54.12	50.00	68.06	56.69	69.57	41.52	60.98
	自慢でない割合（%）	17.60	17.32	17.65	21.43	19.44	19.11	13.04	18.13	21.95
	自慢度	0.66	0.67	0.62	0.50	0.70	0.60	0.88	0.46	0.59
4 筑波山地域ジオパーク	自慢したい割合（%）	40.22	42.02	43.53	42.86	45.37	35.67	28.99	37.43	34.15
	自慢でない割合（%）	16.22	15.61	20.00	28.57	17.13	17.20	18.84	13.45	19.51
	自慢度	0.49	0.52	0.44	0.30	0.56	0.36	0.39	0.52	0.36
5 史跡（平沢官衙遺跡、小田城跡など）	自慢したい割合（%）	42.76	38.08	49.41	57.14	51.39	42.68	36.23	47.37	43.90
	自慢でない割合（%）	22.55	23.84	21.18	21.43	21.30	21.66	27.54	17.54	31.71
	自慢度	0.35	0.22	0.40	0.55	0.46	0.45	0.32	0.50	0.32
6 学校教育	自慢したい割合（%）	42.55	43.57	45.88	28.57	46.76	43.95	52.17	30.41	36.59
	自慢でない割合（%）	21.02	20.07	18.82	14.29	29.17	21.66	27.54	12.28	24.39
	自慢度	0.41	0.45	0.45	0.83	0.24	0.39	0.55	0.49	0.28
7 子育て環境	自慢したい割合（%）	41.16	41.51	44.71	35.71	45.37	46.50	43.48	29.82	36.59
	自慢でない割合（%）	21.02	22.81	18.82	0.00	27.31	21.66	15.94	11.70	24.39
	自慢度	0.36	0.34	0.46	1.20	0.25	0.36	0.73	0.46	0.24
8 公園	自慢したい割合（%）	60.73	62.09	61.18	35.71	62.96	59.87	63.77	53.80	60.98
	自慢でない割合（%）	23.78	26.07	22.35	21.43	25.93	24.84	23.19	15.20	26.83
	自慢度	0.57	0.53	0.70	0.13	0.52	0.50	0.73	0.69	0.64
9 農産物	自慢したい割合（%）	65.89	66.55	67.06	78.57	67.13	69.43	71.01	54.97	73.17
	自慢でない割合（%）	12.80	12.18	9.41	7.14	15.74	14.65	10.14	14.04	9.76
	自慢度	0.90	0.92	1.00	1.17	0.87	0.86	1.11	0.70	1.00
10 特産品（北条米、ブルーベリー、福来みかんなど）	自慢したい割合（%）	64.87	65.52	65.88	50.00	70.83	65.61	68.12	54.39	73.17
	自慢でない割合（%）	14.47	13.04	10.59	21.43	16.20	17.20	8.70	18.13	17.07
	自慢度	0.84	0.86	0.92	0.60	0.86	0.75	1.21	0.60	0.84
11 物産品（つくば産品を使った菓子や酒などの加工食品）	自慢したい割合（%）	56.87	59.18	56.47	42.86	61.57	52.87	65.22	46.20	60.98
	自慢でない割合（%）	16.58	15.44	14.12	21.43	19.91	18.47	11.59	16.96	21.95
	自慢度	0.68	0.71	0.78	0.44	0.64	0.61	1.09	0.50	0.62
12 まつり（まつりつくば、筑波山梅まつり、つくばフェスティバルなど）	自慢したい割合（%）	67.49	68.61	68.24	50.00	71.76	61.15	81.16	60.23	73.17
	自慢でない割合（%）	20.29	20.24	18.82	28.57	21.30	23.57	13.04	19.88	19.51
	自慢度	0.70	0.69	0.73	0.55	0.73	0.59	1.23	0.58	0.71
13 自転車の街（つくば霞ヶ浦りんりんロードなど）	自慢したい割合（%）	58.04	60.03	55.29	42.86	57.87	54.78	63.77	55.56	58.54
	自慢でない割合（%）	19.05	18.87	17.65	28.57	21.30	20.38	20.29	14.04	24.39
	自慢度	0.63	0.64	0.66	0.40	0.55	0.55	0.78	0.76	0.50
14 ロボットの街	自慢したい割合（%）	53.96	57.63	51.76	42.86	50.93	59.87	66.67	40.35	53.66
	自慢でない割合（%）	19.78	18.18	20.00	21.43	26.39	15.29	15.94	18.71	26.83
	自慢度	0.60	0.66	0.67	0.33	0.44	0.72	0.91	0.41	0.55
15 つくばエクスプレス	自慢したい割合（%）	78.33	80.10	80.00	71.43	76.39	77.71	75.36	78.95	80.49
	自慢でない割合（%）	14.91	15.09	11.76	7.14	18.98	15.92	18.84	9.36	14.63
	自慢度	0.96	0.98	1.04	1.27	0.84	0.90	0.92	1.08	1.00

【定住意向別】

項目ごとの自慢したい割合、自慢でない割合、自慢度の定住意向別クロス集計を行った。
自慢したい割合、自慢でない割合の考え方は以下に示す。

自慢したい割合：「紹介したい、自慢である」の回答割合＋「どちらかといえば、紹介したい」の回答割合
自慢でない割合：「あまり紹介したいとは思わない」の回答割合＋「紹介したいと思わない」の回答割合

自慢度が最も高い定住意向:　　自慢度が最も低い定住意向:

項目	選択肢	全体	住み続けたい	どちらかといえば住み続けたい	どちらかといえば住み続けたくない	住み続けたくない	どちらともいえない
1 自然（筑波山、宝篋山、牛久沼など）	自慢したい割合（%）	80.07	85.43	79.18	50.00	55.00	63.87
	自慢でない割合（%）	13.24	8.56	14.87	47.50	35.00	21.01
	自慢度	1.01	1.18	0.93	0.08	0.28	0.70
2 科学（研究学園都市、研究機関の見学施設など）	自慢したい割合（%）	82.25	84.49	85.81	72.50	70.00	60.50
	自慢でない割合（%）	8.15	5.88	7.32	22.50	20.00	18.49
	自慢度	1.20	1.34	1.18	0.76	0.61	0.65
3 自然体験施設（豊里ゆかりの森、筑波ふれあいの里、こもれび六斗の森、　フォレストアドベンチャー・つくばなど）	自慢したい割合（%）	57.89	61.10	60.18	40.00	40.00	38.66
	自慢でない割合（%）	17.60	14.71	18.76	40.00	35.00	20.17
	自慢度	0.66	0.81	0.60	-0.09	0.00	0.24
4 筑波山地域ジオパーク	自慢したい割合（%）	40.22	44.79	38.44	32.50	35.00	21.85
	自慢でない割合（%）	16.22	12.97	18.08	32.50	15.00	21.85
	自慢度	0.49	0.69	0.37	-0.15	0.40	-0.10
5 史跡（平沢官衙遺跡、小田城跡など）	自慢したい割合（%）	42.76	47.59	40.50	25.00	25.00	31.09
	自慢でない割合（%）	22.55	19.25	25.40	45.00	35.00	20.17
	自慢度	0.35	0.53	0.24	-0.57	-0.42	0.11
6 学校教育	自慢したい割合（%）	42.55	46.26	45.54	25.00	10.00	19.33
	自慢でない割合（%）	21.02	16.98	21.74	42.50	55.00	31.09
	自慢度	0.41	0.60	0.41	-0.41	-1.08	-0.42
7 子育て環境	自慢したい割合（%）	41.16	44.92	43.02	25.00	25.00	18.49
	自慢でない割合（%）	21.02	16.84	23.11	37.50	40.00	31.93
	自慢度	0.36	0.55	0.33	-0.36	-0.62	-0.47
8 公園	自慢したい割合（%）	60.73	66.58	60.87	42.50	15.00	36.97
	自慢でない割合（%）	23.78	18.05	27.23	45.00	65.00	34.45
	自慢度	0.57	0.77	0.49	-0.14	-0.88	-0.09
9 農産物	自慢したい割合（%）	65.89	68.72	68.88	55.00	30.00	47.90
	自慢でない割合（%）	12.80	11.50	11.44	25.00	35.00	16.81
	自慢度	0.90	0.96	0.98	0.34	-0.31	0.61
10 特産品（北条米、ブルーベリー、福来みかんなど）	自慢したい割合（%）	64.87	67.65	66.13	52.50	50.00	47.90
	自慢でない割合（%）	14.47	13.24	13.50	27.50	20.00	20.17
	自慢度	0.84	0.91	0.84	0.34	0.43	0.52
11 物産品（つくば産品を使った菓子や酒などの加工食品）	自慢したい割合（%）	56.87	58.29	58.12	47.50	35.00	47.90
	自慢でない割合（%）	16.58	15.91	16.48	32.50	15.00	16.81
	自慢度	0.68	0.75	0.67	0.13	0.30	0.51
12 まつり（まつりつくば、筑波山梅まつり、つくばフェスティバルなど）	自慢したい割合（%）	67.49	71.93	68.42	47.50	50.00	47.90
	自慢でない割合（%）	20.29	17.11	19.45	42.50	35.00	31.09
	自慢度	0.70	0.83	0.71	0.06	0.06	0.18
13 自転車の街（つくば霞ヶ浦りんりんロードなど）	自慢したい割合（%）	58.04	64.71	54.00	35.00	40.00	40.34
	自慢でない割合（%）	19.05	15.51	20.37	47.50	25.00	26.05
	自慢度	0.63	0.78	0.56	-0.30	0.15	0.20
14 ロボットの街	自慢したい割合（%）	53.96	56.95	59.04	27.50	30.00	30.25
	自慢でない割合（%）	19.78	16.84	19.68	50.00	40.00	23.53
	自慢度	0.60	0.73	0.63	-0.42	-0.21	0.03
15 つくばエクスプレス	自慢したい割合（%）	78.33	83.02	79.86	62.50	45.00	55.46
	自慢でない割合（%）	14.91	10.16	15.79	35.00	35.00	29.41
	自慢度	0.96	1.15	0.89	0.38	0.13	0.40

問 15　あなたは、つくば市には、市政に市民が参加できる環境が整っていると思いますか。　　＜○は１つ＞

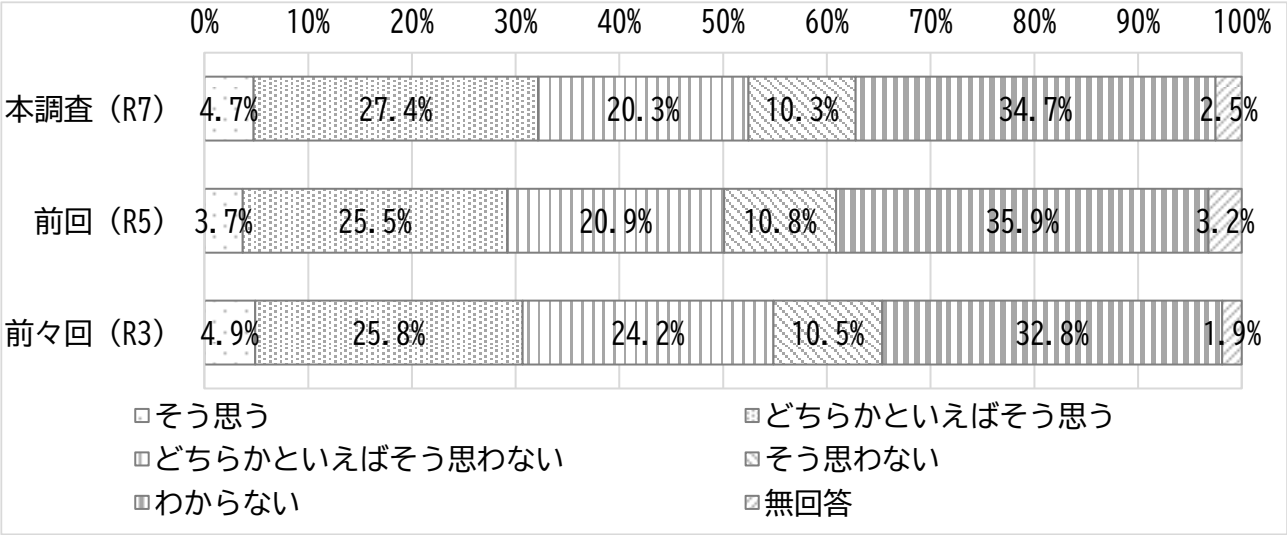
①　全体集計の結果

●「そう思う/どちらかといえばそう思う」が約３割

・つくば市の市政に市民が参加できる環境が整っているかについては、「わからない」が 477 人(34.7%)で最も多く、「どちらかといえばそう思う」が 377 人(27.4%)、「どちらかといえばそう思わない」が 279 人(20.3%)で続いている。

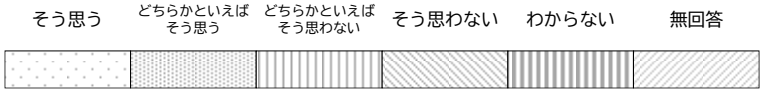
選択肢	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
そう思う	65	4.7%	3.7%	4.9%
どちらかといえばそう思う	377	27.4%	25.5%	25.8%
どちらかといえばそう思わない	279	20.3%	20.9%	24.2%
そう思わない	142	10.3%	10.8%	10.5%
わからない	477	34.7%	35.9%	32.8%
無回答	35	2.5%	3.2%	1.9%
全体	1,375	100.0%	100.0%	100.0%

＜過年度調査との比較＞



問 15　あなたは、つくば市には、市政に市民が参加できる環境が整っていると思いますか。　　＜○は１つ＞

② クロス集計の結果



【地区別】

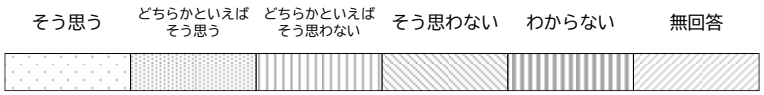
・筑波地区では「どちらかといえばそう思わない/そう思わない」の割合が 39.1%で最も高くなっている。



【年齢別】

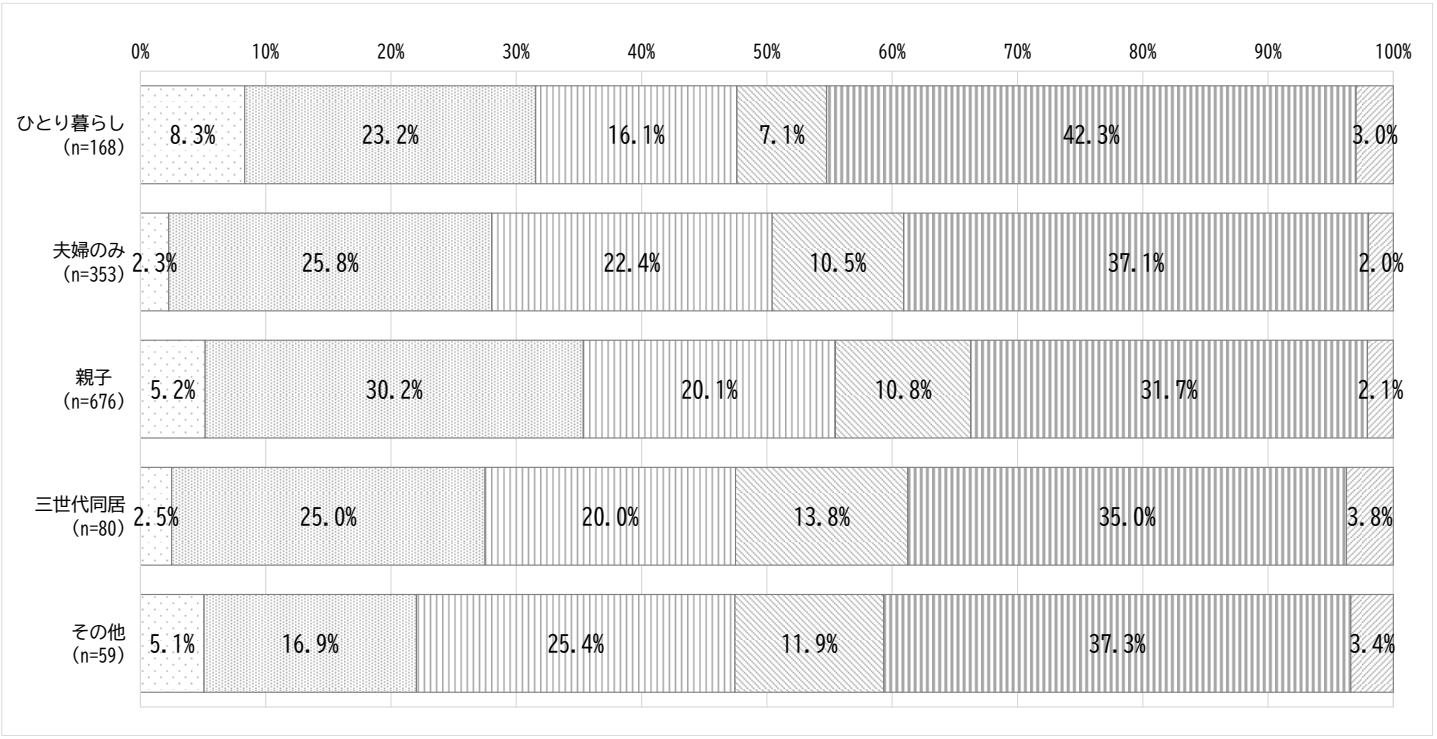
・70 歳未満では「そう思う/どちらかといえばそう思う」の割合が 30%を超えている。





【世帯構成別】

・ひとり暮らし、親子では「そう思う/どちらかといえばそう思う」の割合が 30%を超えている。



【世帯に含む人別】

・６歳未満の乳幼児または小中学生を世帯に含む人で「そう思う/どちらかといえばそう思う」の割合は 30%を超えている。

・一方、６歳未満の乳幼児、小中学生または 65 歳～74 歳の方を世帯に含む人で「どちらかといえばそう思わない/そう思わない」の割合が 35%を超えている。



問 16　あなたは市政に対する自分の意見等を、以下の方法で市に伝えたことがありますか。
＜○は当てはまるものすべて＞

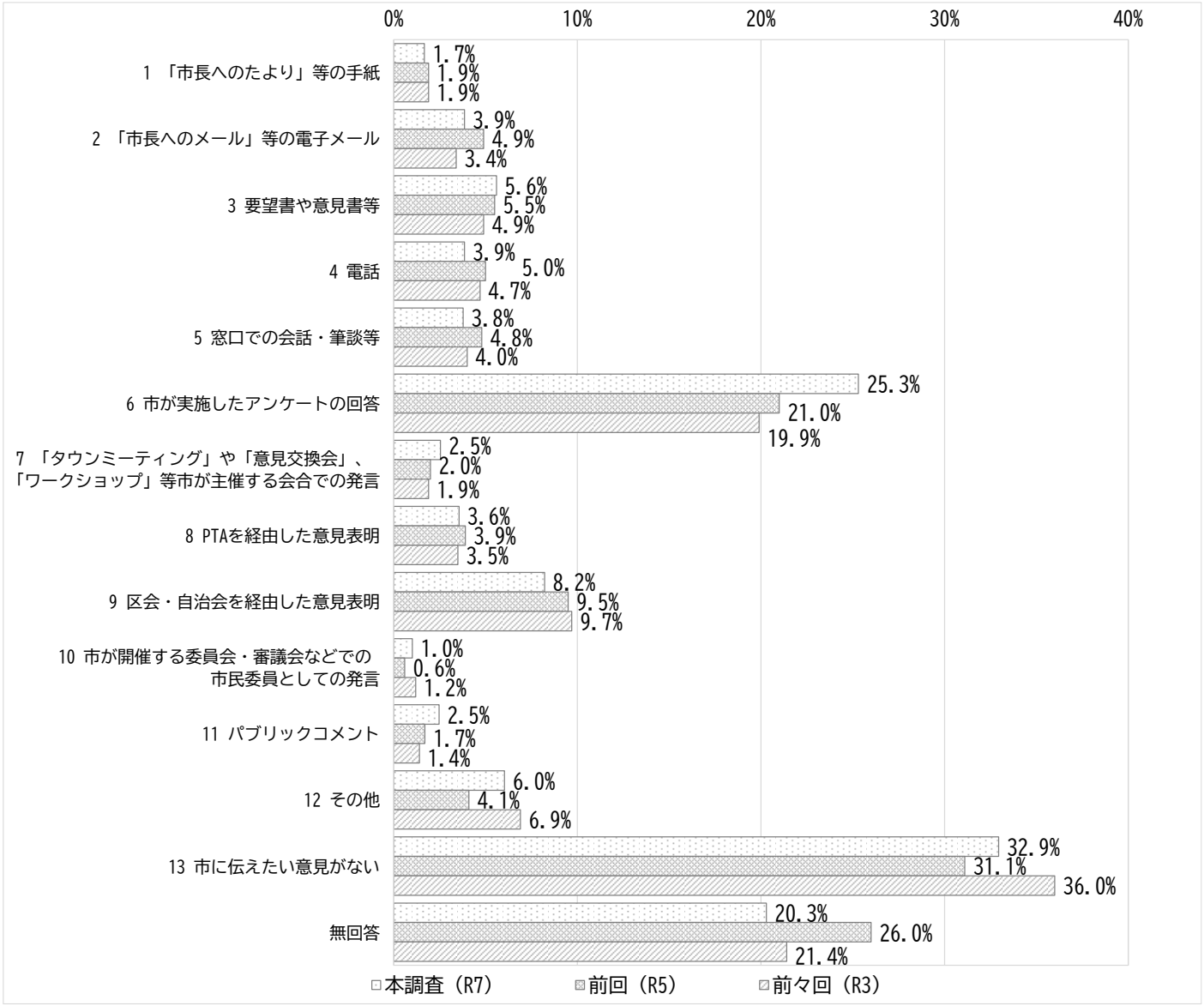
①　全体集計の結果

●「市に伝えたい意見がない」が約３割、「市が実施したアンケートの回答」が２割半ば

・市政に対する自分の意見を市に伝えたことがあるかについては、「市に伝えたい意見がない」が 453 人(32.9%)で最も多く、次いで「市が実施したアンケートの回答」が 348 人(25.3%)、「区会・自治会を経由した意見表明」が 113 人(8.2%)で続いている。

選択肢	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
1　「市長へのたより」等の手紙	23	1.7%	1.9%	1.9%
2　「市長へのメール」等の電子メール	53	3.9%	4.9%	3.4%
3　要望書や意見書等	77	5.6%	5.5%	4.9%
4　電話	53	3.9%	5.0%	4.7%
5　窓口での会話・筆談等	52	3.8%	4.8%	4.0%
6　市が実施したアンケートの回答	348	25.3%	21.0%	19.9%
7　「タウンミーティング」や「意見交換会」、「ワークショップ」等市が主催する会合での発言	35	2.5%	2.0%	1.9%
8　PTAを経由した意見表明	49	3.6%	3.9%	3.5%
9　区会・自治会を経由した意見表明	113	8.2%	9.5%	9.7%
10　市が開催する委員会・審議会などでの市民委員としての発言	14	1.0%	0.6%	1.2%
11　パブリックコメント	34	2.5%	1.7%	1.4%
12　その他	83	6.0%	4.1%	6.9%
13　市に伝えたい意見がない	453	32.9%	31.1%	36.0%
無回答	279	20.3%	26.0%	21.4%
全体（有効回答数）	1,375			

＜過年度調査との比較＞



問 16　あなたは市政に対する自分の意見等を、以下の方法で市に伝えたことがありますか。
＜○は当てはまるものすべて＞

②　クロス集計の結果

【地区別】

・筑波地区を除いた全ての地区で「市に伝えたい意見がない」が最も多くなっている。
・筑波地区のみ「市が実施したアンケートの回答」が最も多くなっている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区（n=87）	市が実施したアンケートの回答		市に伝えたい意見がない		区会・自治会を経由した意見表明		要望書や意見書等		「市長へのメール」等の電子メール/市が主催する会合での発言	
	26	29.9%	20	23.0%	9	10.3%	7	8.0%	5	5.7%
大穂地区（n=83）	市に伝えたい意見がない		市が実施したアンケートの回答		区会・自治会を経由した意見表明/「市長へのメール」等の電子メール				窓口での会話・筆談等/PTAを経由した意見表明	
	29	34.9%	21	25.3%	5		6.0%		4	4.8%
豊里地区（n=82）	市に伝えたい意見がない		市が実施したアンケートの回答		区会・自治会を経由した意見表明		電話/要望書や意見書等			
	26	31.7%	20	24.4	8	9.8%	7		8.5%	
谷田部地区（n=167）	市に伝えたい意見がない		市が実施したアンケートの回答		区会・自治会を経由した意見表明		要望書や意見書等		その他	
	48	28.7%	38	22.8%	21	12.6%	11	6.6%	10	6.0%
桜地区（n=128）	市に伝えたい意見がない		市が実施したアンケートの回答		区会・自治会を経由した意見表明		その他		窓口での会話・筆談等	
	34	26.6%	28	21.9%	23	18.0%	8	6.3%	6	4.7%
茎崎地区（n=126）	市に伝えたい意見がない		市が実施したアンケートの回答		その他		区会・自治会を経由した意見表明/窓口での会話・筆談等/電話			
	45	35.7%	37	29.4%	12	9.5%	7		5.6%	
研究学園地区（n=402）	市に伝えたい意見がない		市が実施したアンケートの回答		区会・自治会を経由した意見表明		その他/要望書や意見書等			
	141	35.1%	100	24.9%	27	6.7%	23		5.7%	
ＴＸ沿線開発地区（n=298）	市に伝えたい意見がない		市が実施したアンケートの回答		要望書や意見書等		その他		「市長へのメール」等の電子メール/市が主催する会合での発言	
	110	36.9%	77	25.8%	20	6.7%	19	6.4%	12	4.0%

【年齢別】

・10 歳代から 50 歳代と 65～69 歳では「市に伝えたい意見がない」が最も多くなっている。
・60～64 歳、70～74 歳、75 歳以上では「市が実施したアンケートの回答」が最も多くなっている。
・50 歳以上では「区会・自治体を経由した意見表明」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
10歳代（n=33）	市に伝えたい意見がない		市が実施したアンケートの回答		要望書や意見書等		「市長へのメール」等の電子メール		「市長へのたより」等の手紙/市が開催する委員会・審議会などでの市民委員としての発言/パブリックコメント	
	23	69.7%	4	12.1%	3	9.1%	2	6.1%	1	3.0%
20歳代（n=99）	市に伝えたい意見がない		市が実施したアンケートの回答		要望書や意見書等/その他				パブリックコメント	
	61	61.6%	8	8.1%	4		4.0%		3	3.0%
30歳代（n=207）	市に伝えたい意見がない		市が実施したアンケートの回答		その他/電話				要望書や意見書等	
	81	39.1%	54	26.1%	10		4.8%		9	4.3%
40歳代（n=269）	市に伝えたい意見がない		市が実施したアンケートの回答		その他		「市長へのメール」等の電子メール		要望書や意見書等	
	98	36.4%	64	23.8%	22	8.2%	20	7.4%	17	6.3%
50歳代（n=284）	市に伝えたい意見がない		市が実施したアンケートの回答		区会・自治会を経由した意見表明		その他		要望書や意見書等	
	87	30.6%	84	29.6%	21	7.4%	20	7.0%	19	6.7%
60~64歳（n=108）	市が実施したアンケートの回答		市に伝えたい意見がない		区会・自治会を経由した意見表明		その他/電話			
	33	30.6%	19	17.6%	17	15.7%	6		5.6%	
65~69歳（n=109）	市に伝えたい意見がない		市が実施したアンケートの回答		区会・自治会を経由した意見表明		要望書や意見書等/窓口での会話・筆談等/市が主催する会合での発言			
	30	27.5%	24	22.0%	19	17.4%	7		6.4%	
70~74歳（n=109）	市が実施したアンケートの回答		市に伝えたい意見がない		区会・自治会を経由した意見表明		窓口での会話・筆談等		その他	
	30	27.5%	28	25.7%	13	11.9%	9	8.3%	6	5.5%
75歳以上（n=125）	市が実施したアンケートの回答		市に伝えたい意見がない		区会・自治会を経由した意見表明		電話		その他	
	34	27.2%	21	16.8%	19	15.2%	9	7.2%	7	5.6%

【世帯構成別】
・夫婦のみ以外では「市に伝えたい意見がない」が最も多くなっている。
・夫婦のみでは「市が実施したアンケートの回答」が最も多くなっている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
ひとり暮らし（n=168）	市に伝えたい意見がない		市が実施したアンケートの回答		その他		要望書や意見書等		区会・自治会を経由した意見表明	
	70	41.7%	35	20.8%	10	6.0%	7	4.2%	6	3.6%
夫婦のみ（n=353）	市が実施したアンケートの回答		市に伝えたい意見がない		区会・自治会を経由した意見表明		電話		要望書や意見書等	
	102	28.9%	100	28.3%	38	10.8%	21	5.9%	20	5.7%
親子（n=676）	市に伝えたい意見がない		市が実施したアンケートの回答		区会・自治会を経由した意見表明		その他		要望書や意見書等	
	230	34.0%	167	24.7%	53	7.8%	42	6.2%	41	6.1%
三世代同居（n=80）	市に伝えたい意見がない		市が実施したアンケートの回答		区会・自治会を経由した意見表明/「市長へのメール」等の電子メール				窓口での会話・筆談等	
	26	32.5%	18	22.5%	7		8.8%		4	5.0%
その他（n=59）	市に伝えたい意見がない		市が実施したアンケートの回答		その他		区会・自治会を経由した意見表明/電話/市が主催する会合での発言/要望書や意見書等			
	21	35.6%	12	20.3%	7	11.9%	4		6.8%	

【世帯に含む人別】
・全ての区分で「市に伝えたい意見がない」「市が実施したアンケートの回答」が上位に入っている。
・小中学生、65～74 歳の方または 75 歳以上の方を世帯に含む人では「区会・自治体を経由した意見表明」が上位に入っている。
・小中学生を世帯に含む人では「PTA を経由した意見表明」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
6歳未満の乳幼児（n=171）	市に伝えたい意見がない		市が実施したアンケートの回答		要望書や意見書等		「市長へのメール」等の電子メール/その他			
	57	33.3%	51	29.8%	13	7.6%	10		5.8%	
小中学生（n=282）	市に伝えたい意見がない		市が実施したアンケートの回答		PTAを経由した意見表明		「市長へのメール」等の電子メール		要望書や意見書等	
	93	33.0%	74	26.2%	28	9.9%	22	7.8%	21	7.4%
65～74歳の方（n=262）	市に伝えたい意見がない		市が実施したアンケートの回答		区会・自治会を経由した意見表明		要望書や意見書等		窓口での会話・筆談等	
	69	26.3%	64	24.4%	30	11.5%	16	6.1%	15	5.7%
75歳以上の方（n=246）	市が実施したアンケートの回答		市に伝えたい意見がない		区会・自治会を経由した意見表明		電話/その他			
	70	28.5%	66	26.8%	28	11.4%	14		5.7%	

問 17　あなたは、つくば市の市政には、市民の声が生かされていると思いますか。　＜○は１つ＞

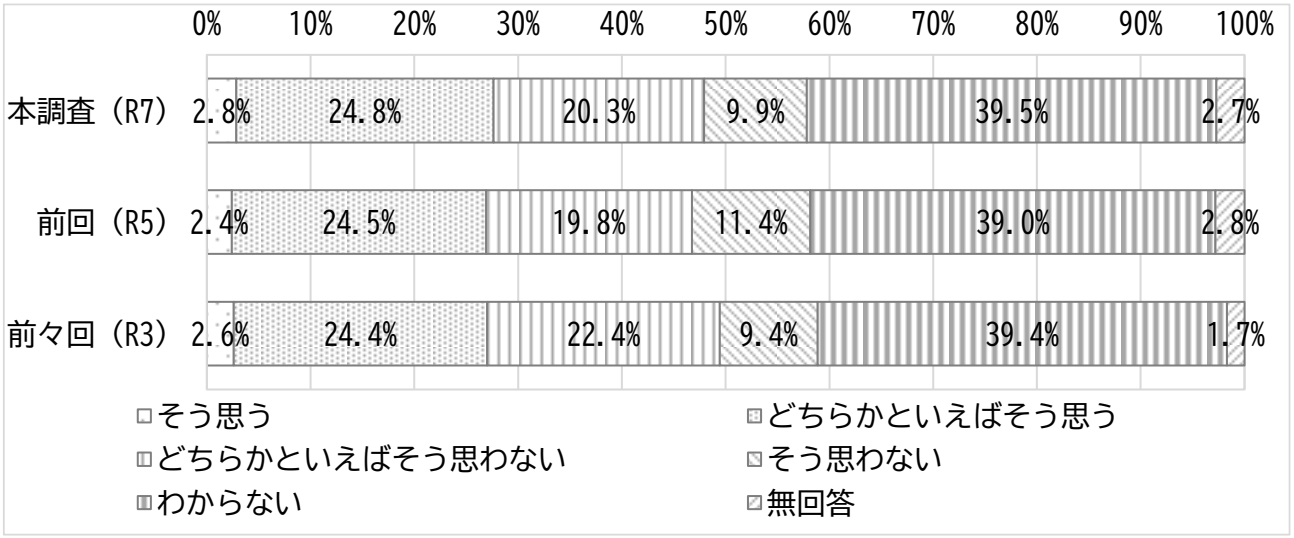
①　全体集計の結果

●市政に市民の声が生かされているかについては、「どちらかといえばそう思わない/そう思わない」が約３割

・市政に市民の声が生かされているかについては、「わからない」が 543 人(39.5%)で最も多く、「どちらかといえばそう思う」が 341 人(24.8%)、「どちらかといえばそう思わない」が 279 人(20.3%)で続いている。

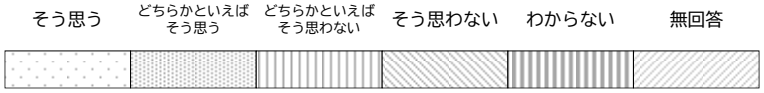
選択肢	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
そう思う	39	2.8%	2.4%	2.6%
どちらかといえばそう思う	341	24.8%	24.5%	24.4%
どちらかといえばそう思わない	279	20.3%	19.8%	22.4%
そう思わない	136	9.9%	11.4%	9.4%
わからない	543	39.5%	39.0%	39.4%
無回答	37	2.7%	2.8%	1.7%
全体	1,375	100.0%	100.0%	100.0%

＜過年度調査との比較＞



問 17　あなたは、つくば市の市政には、市民の声が生かされていると思いますか。　＜○は１つ＞

②　クロス集計の結果



【地区別】

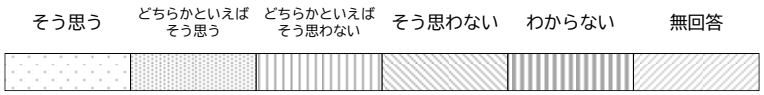
・筑波地区、豊里地区、茎崎地区では「どちらかといえばそう思わない/そう思わない」の割合が 40%を超えている。



【年齢別】

・60～74 歳では「どちらかといえばそう思わない/そう思わない」の割合が 35%を超えている。





【世帯構成別】

・三世帯同居、その他では、「どちらかといえばそう思わない/そう思わない」の割合が 35%を超えている。



【世帯に含む人別】

・６歳未満の乳幼児または 65～74 歳の方を含む世帯では「どちらかといえばそう思わない/そう思わない」の割合が 35%を超えている。



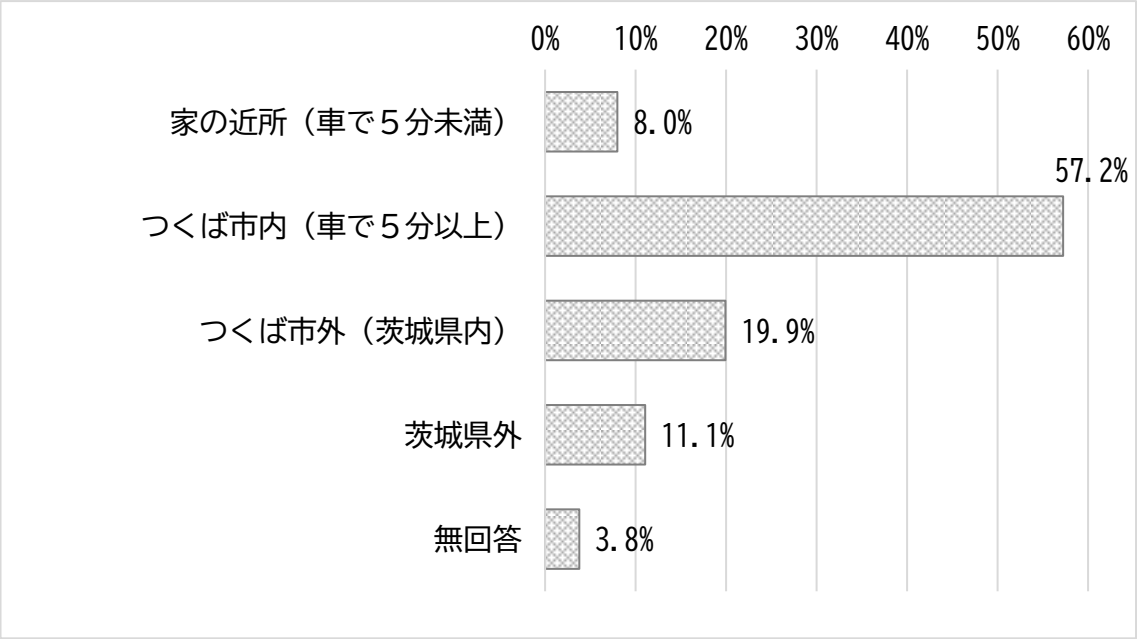
問 18　あなたが家族や近しい友人と、休日おでかけをする場所で、最も多いのはどれですか。
（日用品の買い出し、宿泊を含む旅行等は除くおでかけをイメージしてください。）。　＜○は１つ＞

①　全体集計の結果

●休日の外出については、「つくば市内（車で５分以上）」が過半数

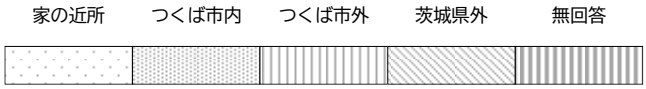
・休日の外出については、「つくば市内（車で５分以内）」が 787 人(57.2%)で最も多く、「つくば市外」が 274 人(19.9%)、「茨城県外」が 152 人(11.1%)で続いている。

選択肢	本調査（R7）	
	回答数（人）	構成比
家の近所（車で５分未満）	110	8.0%
つくば市内（車で５分以上）	787	57.2%
つくば市外（茨城県内）	274	19.9%
茨城県外	152	11.1%
無回答	52	3.8%
全体	1,375	100.0%

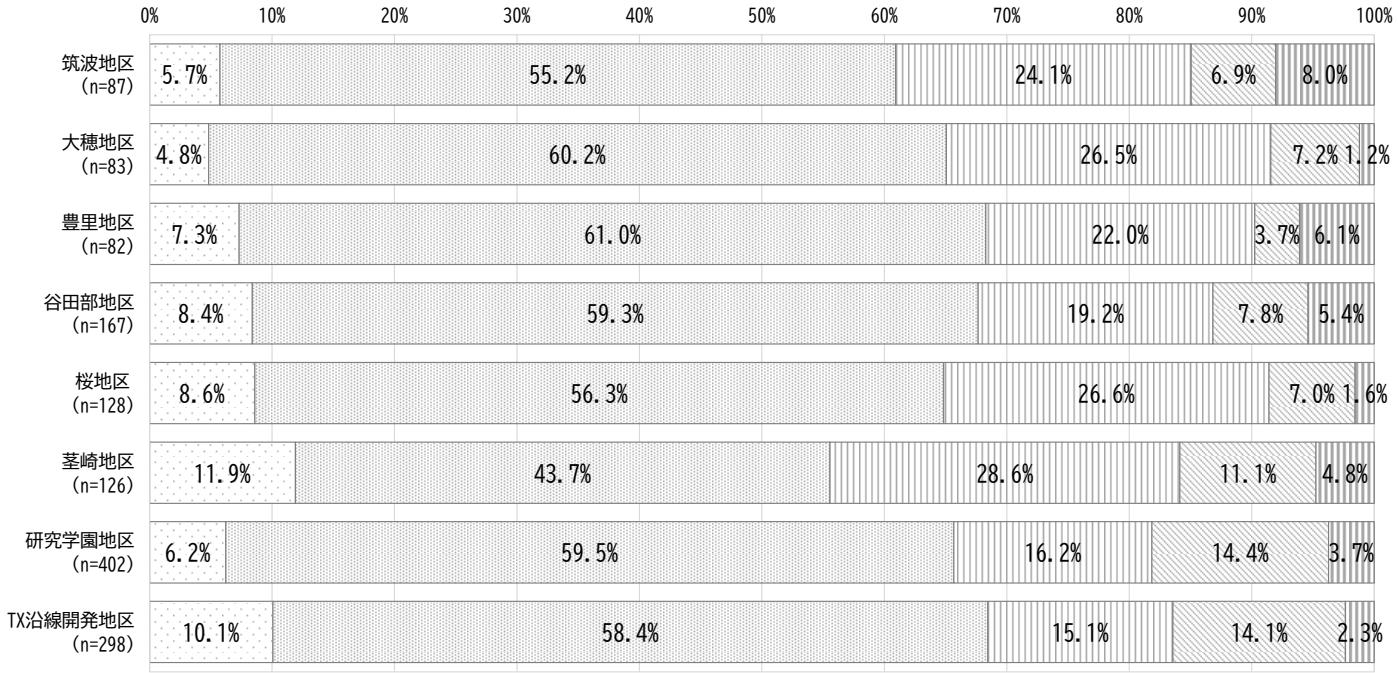


問 18　あなたが家族や近しい友人と、休日おでかけをする場所で、最も多いのはどれですか。
（日用品の買い出し、宿泊を含む旅行等は除くおでかけをイメージしてください。）。　＜○は１つ＞

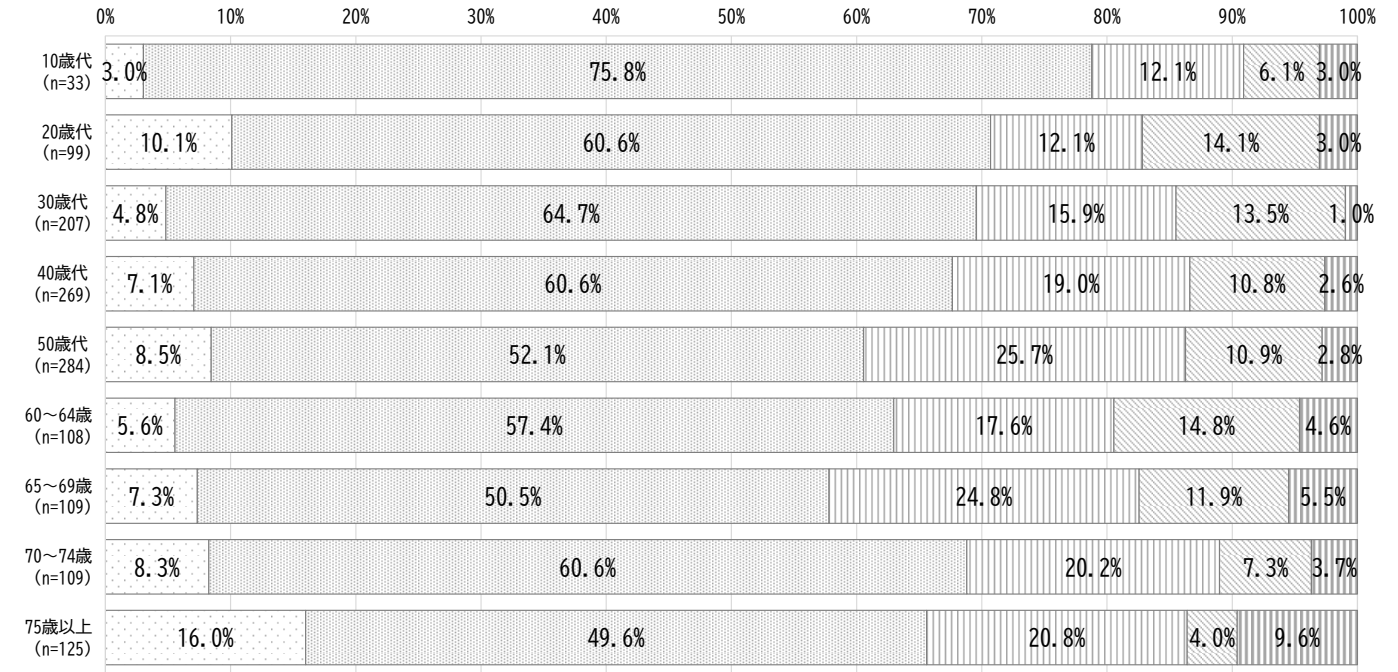
② クロス集計の結果

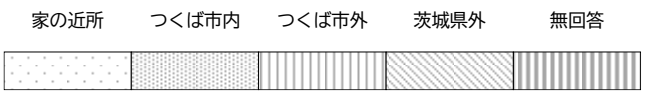


【地区別】
・いずれの地区でも「家の近所」を含む「つくば市内」との回答が過半数を占めている。

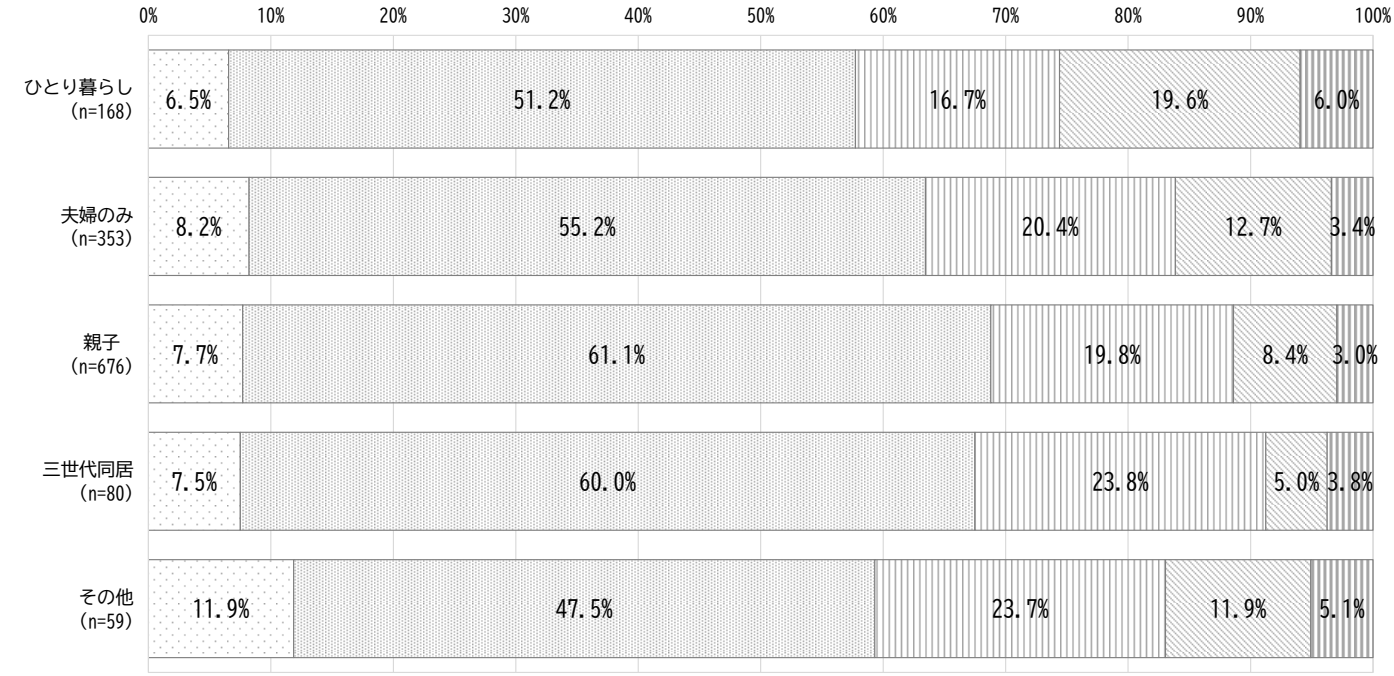


【年齢別】
・いずれの年齢でも「家の近所」を含む「つくば市内」との回答が過半数を占めている。

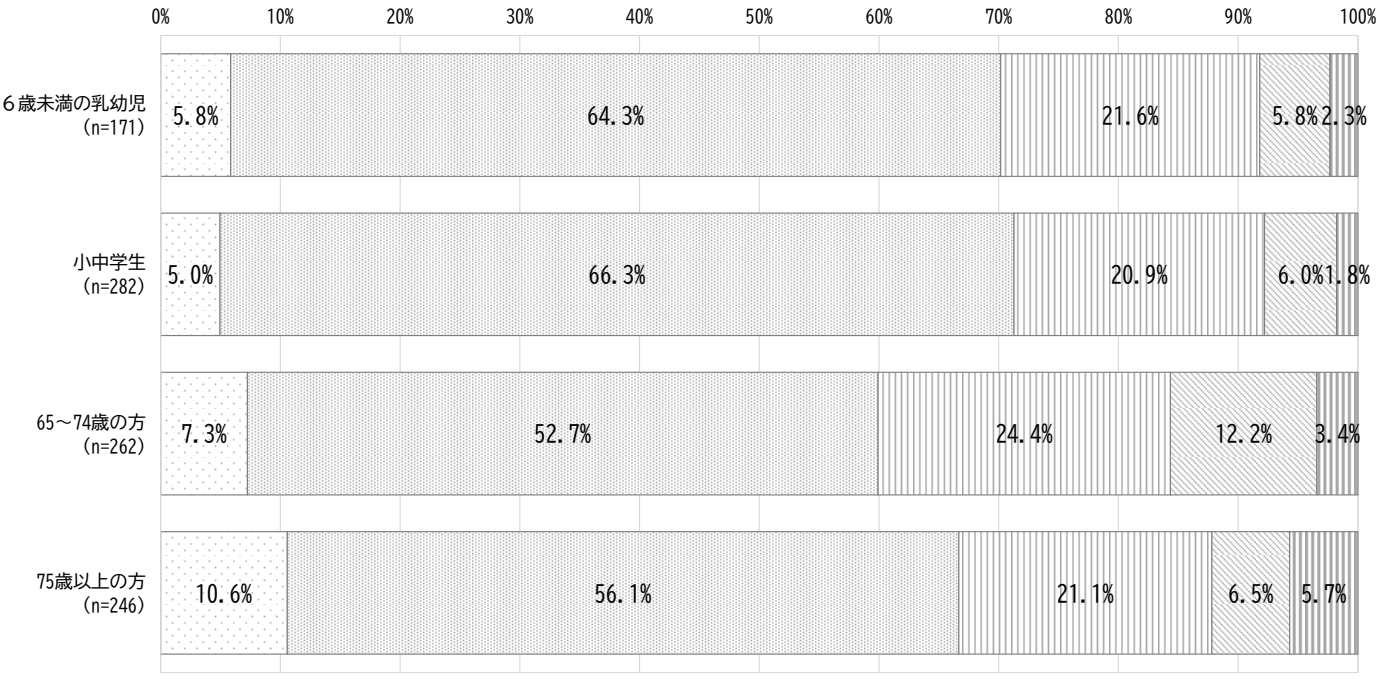




【世帯構成別】
・いずれの世帯構成でも「家の近所」を含む「つくば市内」との回答が過半数を占めている。



【世帯に含む人別】
・全ての区分において、「家の近所」を含む「つくば市内」との回答が過半数を占めている。



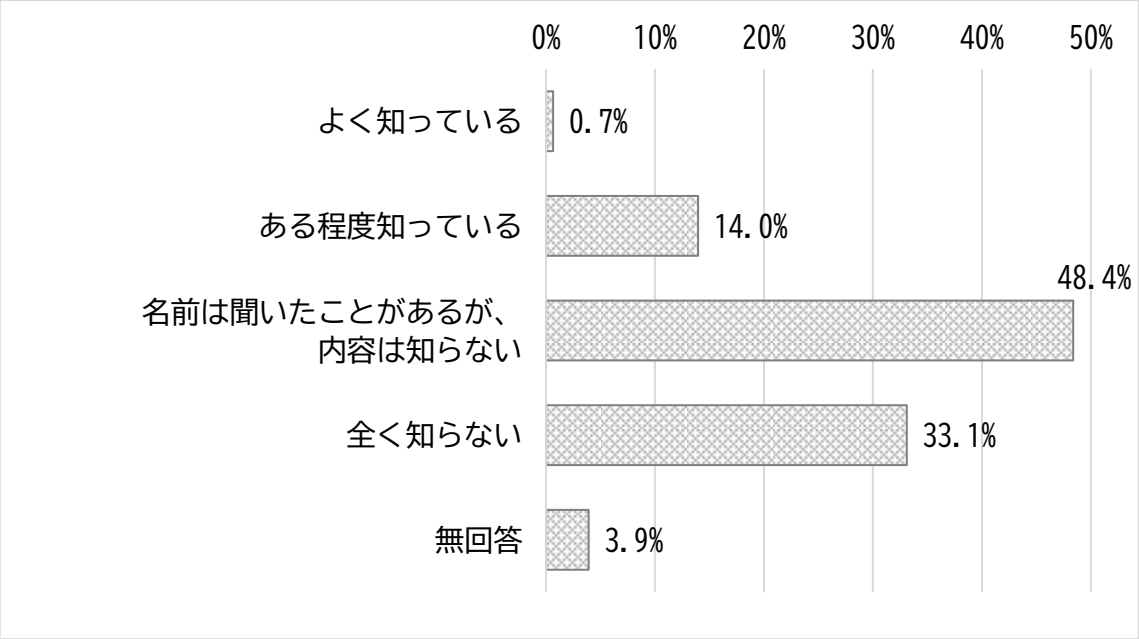
問 19　「筑波山地域ジオパーク」の取組内容について、どの程度ご存じですか。　＜○は１つ＞

①　全体集計の結果

●ジオパークの取組内容については、「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」が約半数

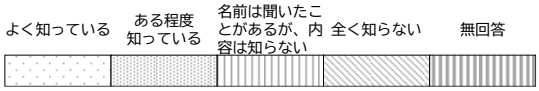
・ジオパークの取組内容については、「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」が 665 人(48.4%)で最も多く、「全く知らない」が 455 人(33.1%)、「ある程度知っている」が 192 人(14.0%)で続いている。

選択肢	本調査（R7）	
	回答数（人）	構成比
よく知っている	9	0.7%
ある程度知っている	192	14.0%
名前は聞いたことがあるが、内容は知らない	665	48.4%
全く知らない	455	33.1%
無回答	54	3.9%
全体	1,375	100.0%



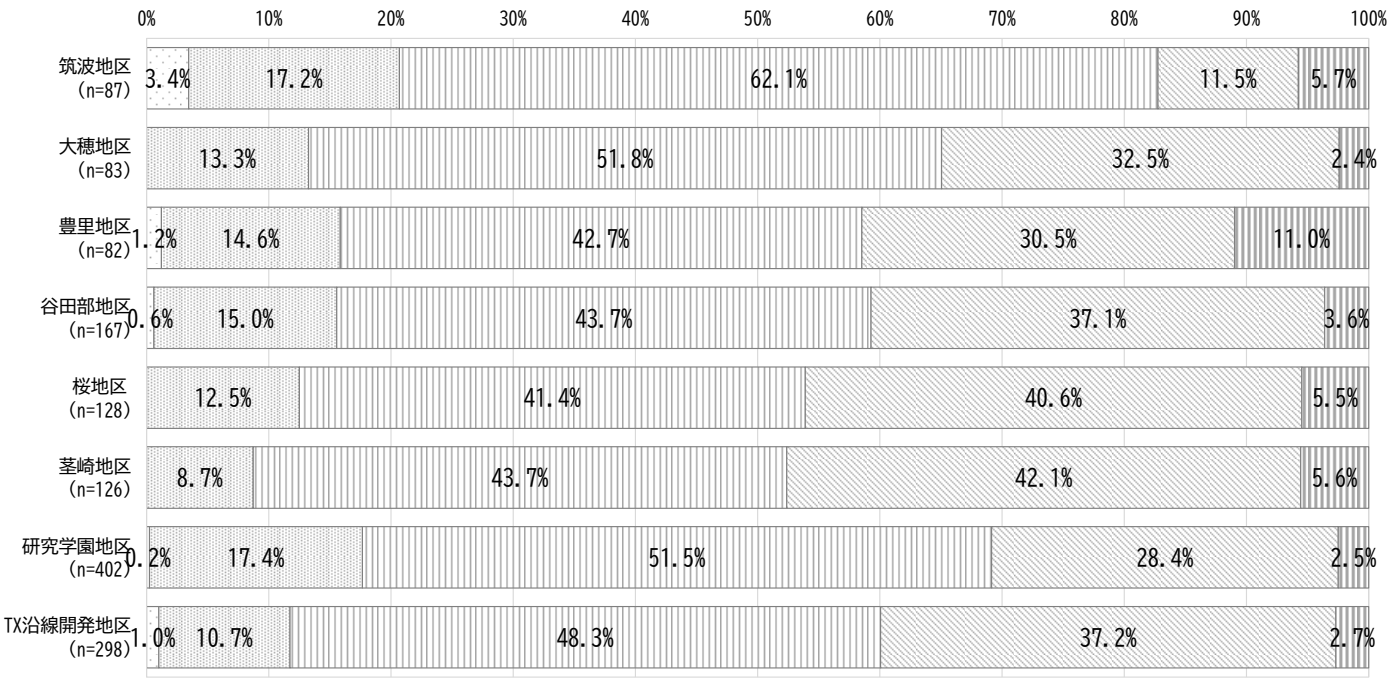
問 19　「筑波山地域ジオパーク」の取組内容について、どの程度ご存じですか。　＜○は１つ＞

② クロス集計の結果



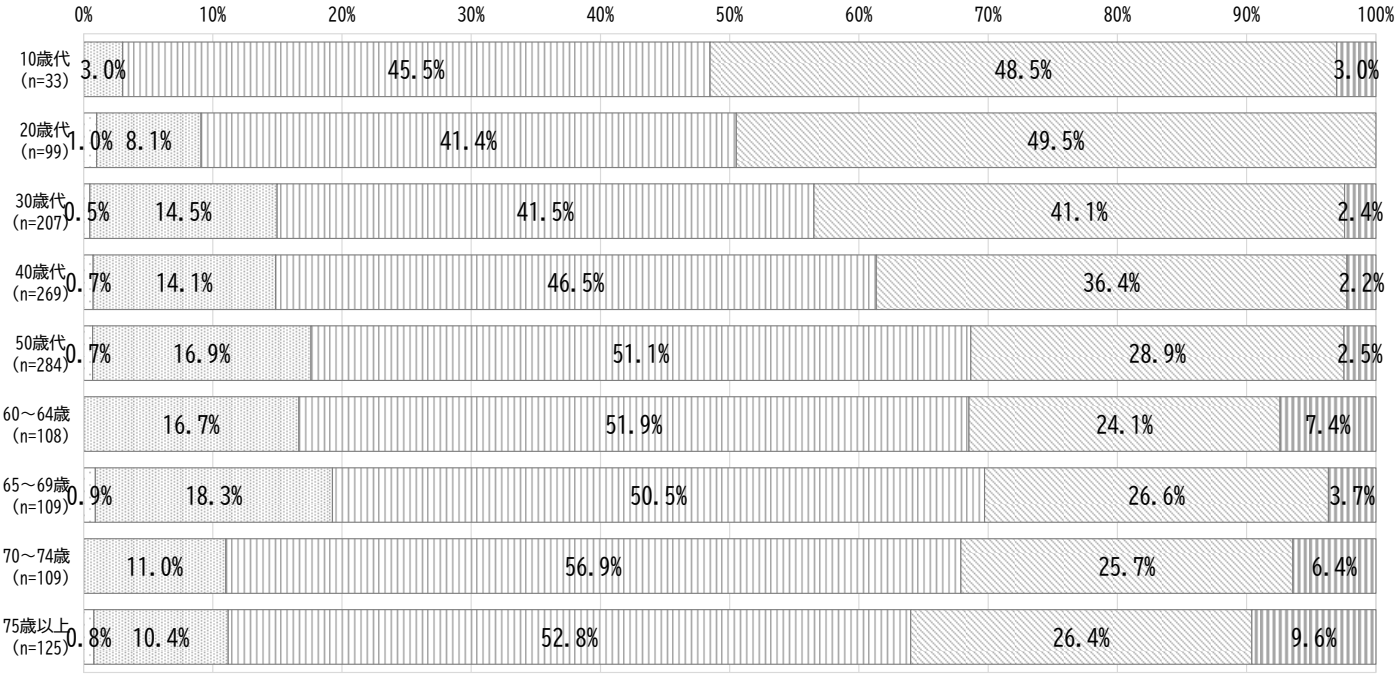
【地区別】

・筑波地区と研究学園地区以外では、「全く知らない」が 30%以上である。



【年齢別】

・年齢が若いほど「全く知らない」が増える傾向にある。



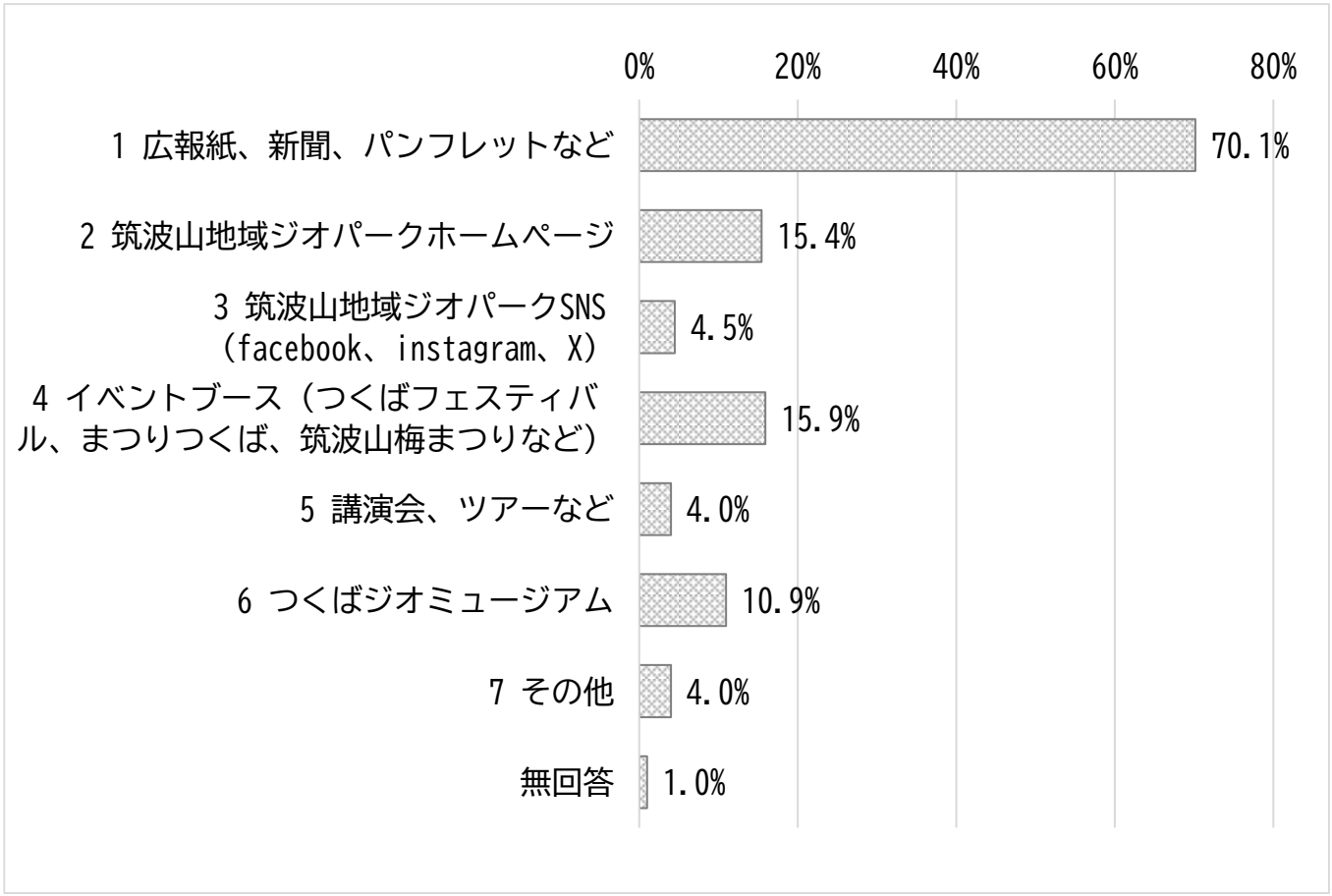
問 19 で「１　よく知っている」または「２　ある程度知っている」とお答えの方にお聞きします。】
問 20　「筑波山地域ジオパーク」の取組内容について、どこで情報を得ましたか。　＜○は当てはまるものすべて＞

①　全体集計の結果

●ジオパークの取組内容を知っている人は、約 70%が「広報紙、新聞、パンフレットなど」によって情報を得ている

・ジオパークの情報の取得経路について、「広報紙、新聞、パンフレットなど」が 141 人(70.1%)で最も多く、「イベントブース（つくばフェスティバル、まつりつくば、筑波山梅まつりなど）」が 32 人(15.9%)で続いている。

選択肢	本調査（R7）	
	回答数（人）	構成比
1　広報紙、新聞、パンフレットなど	141	70.1%
2　筑波山地域ジオパークホームページ	31	15.4%
3　筑波山地域ジオパークSNS（facebook、instagram、X）	9	4.5%
4　イベントブース（つくばフェスティバル、まつりつくば、筑波山梅まつりなど）	32	15.9%
5　講演会、ツアーなど	8	4.0%
6　つくばジオミュージアム	22	10.9%
7　その他	8	4.0%
無回答	2	1.0%
全体（有効回答数）	201	



問 19 で「１　よく知っている」または「２　ある程度知っている」とお答えの方にお聞きします。】
問 20　「筑波山地域ジオパーク」の取組内容について、どこで情報を得ましたか。　＜○は当てはまるものすべて＞

② クロス集計の結果

【地区別】
・豊里地区と茎崎地区では、「広報紙、新聞、パンフレットなど」が 90%を超えている。
・筑波地区と豊里地区では、「イベントブース」が 30%を超えている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区（n=18）	広報紙、新聞、パンフレットなど		イベントブース		筑波山地域ジオパークホームページ		講演会、ツアーなど/つくばジオミュージアム			
	14	77.8%	7	38.9%	6	33.3%	3	16.7%		
大穂地区（n=11）	広報紙、新聞、パンフレットなど		筑波山地域ジオパークホームページ		イベントブース/講演会、ツアーなど				-	
	8	72.7%	3	27.3%	1	9.1%			-	-
豊里地区（n=13）	広報紙、新聞、パンフレットなど		イベントブース		筑波山地域ジオパークホームページ		-		-	
	12	92.3%	4	30.8%	1	7.7%	-	-	-	-
谷田部地区（n=26）	広報紙、新聞、パンフレットなど		筑波山地域ジオパークホームページ/イベントブース				講演会、ツアーなど		つくばジオミュージアム	
	18	69.2%	5	19.2%			2	7.7%	1	3.8%
桜地区（n=16）	広報紙、新聞、パンフレットなど		筑波山地域ジオパークホームページ/イベントブース				つくばジオミュージアム/その他			
	11	68.8%	3	18.8%			1	6.3%		
茎崎地区（n=11）	広報紙、新聞、パンフレットなど		イベントブース		筑波山地域ジオパークホームページ/筑波山地域ジオパークSNS/その他					
	10	90.9%	2	18.2%	1	9.1%				
研究学園地区（n=71）	広報紙、新聞、パンフレットなど		つくばジオミュージアム		筑波山地域ジオパークホームページ/イベントブース				筑波山地域ジオパークSNS	
	44	62.0%	10	14.1%	8	11.3%			6	8.5%
ＴＸ沿線開発地区（n=35）	広報紙、新聞、パンフレットなど		つくばジオミュージアム		筑波山地域ジオパークホームページ		イベントブース/その他			
	24	68.6%	7	20.0%	4	11.4%	2	5.7%		

【年齢別】
・30 歳以上では「広報紙、新聞、パンフレットなど」が過半数である。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
10歳代（n=1）	広報紙、新聞、パンフレットなど		-		-		-		-	
	1	100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳代（n=9）	広報紙、新聞、パンフレットなど		筑波山地域ジオパークホームページ/講演会、ツアーなど				筑波山地域ジオパークSNS/イベントブース/その他			
	3	33.3%	2	22.2%			1	11.1%		
30歳代（n=31）	広報紙、新聞、パンフレットなど		つくばジオミュージアム		筑波山地域ジオパークホームページ		筑波山地域ジオパークSNS		イベントブース	
	17	54.8%	6	19.4%	5	16.1%	4	12.9%	2	6.5%
40歳代（n=40）	広報紙、新聞、パンフレットなど		つくばジオミュージアム		筑波山地域ジオパークホームページ		イベントブース		その他	
	24	60.0%	7	17.5%	6	15.0%	5	12.5%	1	2.5%
50歳代（n=50）	広報紙、新聞、パンフレットなど		筑波山地域ジオパークホームページ/イベントブース				筑波山地域ジオパークSNS/つくばジオミュージアム			
	39	78.0%	7	14.0%			2	4.0%		
60～64歳（n=18）	広報紙、新聞、パンフレットなど		イベントブース		筑波山地域ジオパークホームページ/講演会、ツアーなど/つくばジオミュージアム					
	14	77.8%	4	22.2%	2	11.1%				
65～69歳（n=21）	広報紙、新聞、パンフレットなど		イベントブース		筑波山地域ジオパークホームページ/つくばジオミュージアム				筑波山地域ジオパークSNS	
	20	95.2%	4	19.0%	2	9.5%			1	4.8%
70～74歳（n=12）	広報紙、新聞、パンフレットなど		イベントブース		筑波山地域ジオパークホームページ		つくばジオミュージアム/その他			
	8	66.7%	3	25.0%	2	16.7%	1	8.3%		
75歳以上（n=14）	広報紙、新聞、パンフレットなど		イベントブース		筑波山地域ジオパークホームページ		筑波山地域ジオパークSNS/講演会、ツアーなど/その他			
	12	85.7%	4	28.6%	2	14.3%	1	7.1%		

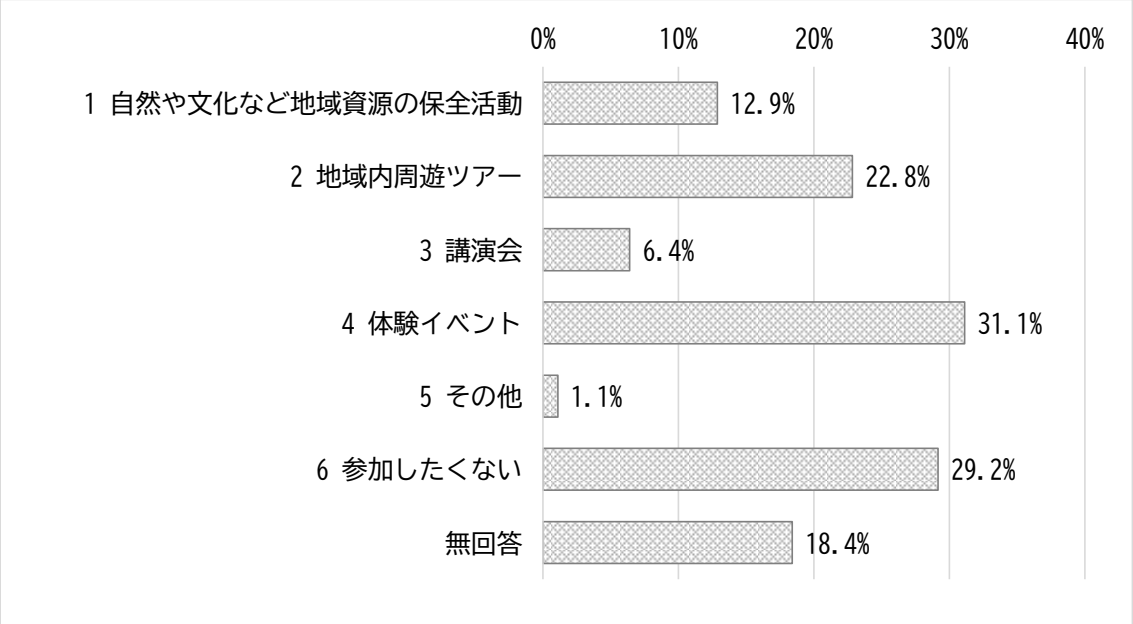
問 21　筑波山地域ジオパークの取組のうち、参加したい取組を教えてください。　＜○は当てはまるものすべて＞

①　全体集計の結果

●ジオパークの取組について、「体験イベント」に参加したい人が約 30%

・参加したいジオパークの取組について、「体験イベント」が 428 人(31.1%)で最も多く、「参加したくない」が 401 人(29.2%)で続いている。

選択肢	本調査（R7）	
	回答数（人）	構成比
1　自然や文化など地域資源の保全活動	177	12.9%
2　地域内周遊ツアー	314	22.8%
3　講演会	88	6.4%
4　体験イベント	428	31.1%
5　その他	15	1.1%
6　参加したくない	401	29.2%
無回答	253	18.4%
全体（有効回答数）	1,375	



問 21　筑波山地域ジオパークの取組のうち、参加したい取組を教えてください。　＜○は当てはまるものすべて＞

② クロス集計の結果

【地区別】

・研究学園地区とＴＸ沿線開発地区以外では、「参加したくない」が最も多い。
・研究学園地区とＴＸ沿線開発地区では、「体験イベント」が最も多い。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区（n=87）	参加したくない		体験イベント		地域内周遊ツアー		自然や文化など地域資源の保全活動		講演会	
	27	31.0%	26	29.9%	19	21.8%	15	17.2%	8	9.2%
大穂地区（n=83）	参加したくない		地域内周遊ツアー		体験イベント		自然や文化など地域資源の保全活動		講演会	
	30	36.1%	20	24.1%	17	20.5%	8	9.6%	2	2.4%
豊里地区（n=82）	参加したくない		体験イベント		地域内周遊ツアー		自然や文化など地域資源の保全活動		講演会	
	25	30.5%	22	26.8%	18	22.0%	7	8.5%	5	6.1%
谷田部地区（n=167）	参加したくない		体験イベント		地域内周遊ツアー		自然や文化など地域資源の保全活動		講演会	
	56	33.5%	41	24.6%	35	21.0%	14	8.4%	12	7.2%
桜地区（n=128）	参加したくない		地域内周遊ツアー		体験イベント		自然や文化など地域資源の保全活動		講演会	
	38	29.7%	27	21.1%	25	19.5%	16	12.5%	12	9.4%
茎崎地区（n=126）	参加したくない		体験イベント		地域内周遊ツアー		自然や文化など地域資源の保全活動		講演会	
	46	36.5%	24	19.0%	17	13.5%	11	8.7%	8	6.3%
研究学園地区（n=402）	体験イベント		地域内周遊ツアー		参加したくない		自然や文化など地域資源の保全活動		講演会	
	148	36.8%	115	28.6%	106	26.4%	69	17.2%	31	7.7%
ＴＸ沿線開発地区（n=298）	体験イベント		参加したくない		地域内周遊ツアー		自然や文化など地域資源の保全活動		講演会	
	125	41.9%	71	23.8%	63	21.1%	37	12.4%	10	3.4%

【年齢別】

・30 歳代から 50 歳代では「体験イベント」または「地域内周遊ツアー」が最も多い。
・それ以外の年代では、「参加したくない」が最も多い。なお、10 歳代では「体験イベント」が同率で最多である。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
10歳代（n=33）	体験イベント/参加したくない				自然や文化など地域資源の保全活動/地域内周遊ツアー				講演会	
	14	42.4%			5	15.2%			1	3.0%
20歳代（n=99）	参加したくない		体験イベント		自然や文化など地域資源の保全活動		地域内周遊ツアー		講演会	
	41	41.4%	31	31.3%	19	19.2%	16	16.2%	3	3.0%
30歳代（n=207）	体験イベント		参加したくない		地域内周遊ツアー		自然や文化など地域資源の保全活動		講演会	
	110	53.1%	52	25.1%	42	20.3%	18	8.7%	6	2.9%
40歳代（n=269）	体験イベント		参加したくない		地域内周遊ツアー		自然や文化など地域資源の保全活動		講演会	
	112	41.6%	86	32.0%	49	18.2%	38	14.1%	7	2.6%
50歳代（n=284）	地域内周遊ツアー		体験イベント		参加したくない		自然や文化など地域資源の保全活動		講演会	
	89	31.3%	84	29.6%	75	26.4%	49	17.3%	27	9.5%
60～64歳（n=108）	参加したくない		地域内周遊ツアー		体験イベント		自然や文化など地域資源の保全活動		講演会	
	35	32.4%	25	23.1%	21	19.4%	17	15.7%	13	12.0%
65～69歳（n=109）	参加したくない		地域内周遊ツアー		体験イベント		自然や文化など地域資源の保全活動		講演会	
	33	30.3%	26	23.9%	21	19.3%	9	8.3%	5	4.6%
70～74歳（n=109）	参加したくない		地域内周遊ツアー		体験イベント		自然や文化など地域資源の保全活動		講演会	
	28	25.7%	25	22.9%	19	17.4%	13	11.9%	8	7.3%
75歳以上（n=125）	参加したくない		地域内周遊ツアー		講演会		体験イベント		自然や文化など地域資源の保全活動	
	32	25.6%	26	20.8%	14	11.2%	9	7.2%	7	5.6%

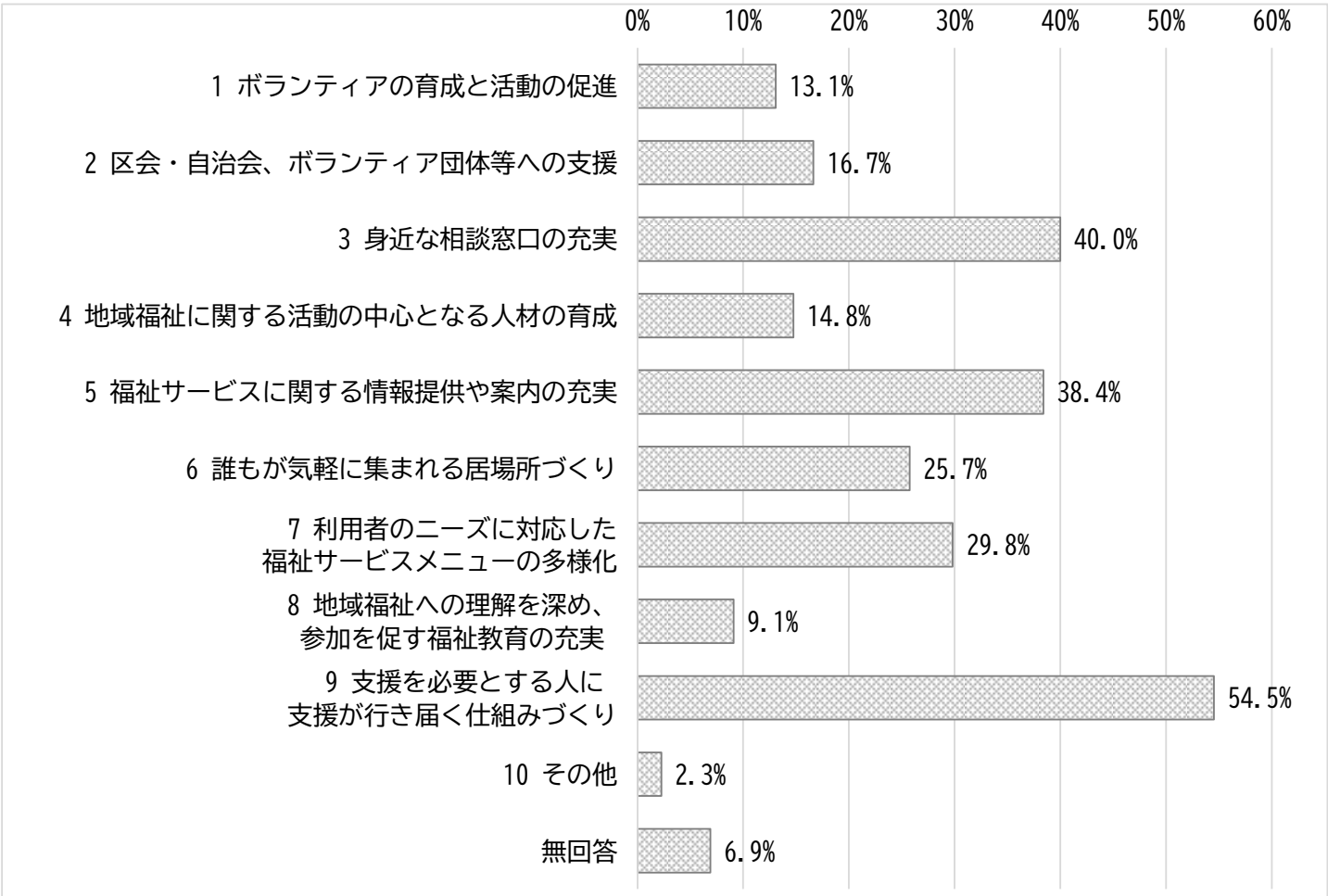
問 22　地域福祉を推進するためには、どのような取組が必要であると思いますか。
＜当てはまる番号を、回答欄に３つまで記入＞

①　全体集計の結果

●地域福祉の推進のために必要な取組について、「支援を必要とする人に支援が行き届く仕組みづくり」が過半数

・地域福祉の推進のために必要な取組について、「支援を必要とする人に支援が行き届く仕組みづくり」が 750 人(54.5%)で最も多く、「身近な相談窓口の充実」が 550 人(40.0%)、「福祉サービスに関する情報提供や案内の充実」が 528（38.4%）で続いている。

選択肢	本調査（R7）	
	回答数（人）	構成比
1　ボランティアの育成と活動の促進	180	13.1%
2　区会・自治会、ボランティア団体等への支援	229	16.7%
3　身近な相談窓口の充実	550	40.0%
4　地域福祉に関する活動の中心となる人材の育成	203	14.8%
5　福祉サービスに関する情報提供や案内の充実	528	38.4%
6　誰もが気軽に集まれる居場所づくり	354	25.7%
7　利用者のニーズに対応した福祉サービスメニューの多様化	410	29.8%
8　地域福祉への理解を深め、参加を促す福祉教育の充実	125	9.1%
9　支援を必要とする人に支援が行き届く仕組みづくり	750	54.5%
10　その他	31	2.3%
無回答	95	6.9%
全体（有効回答数）	1,375	



問 22　地域福祉を推進するためには、どのような取組が必要であると思いますか。
＜当てはまる番号を、回答欄に３つまで記入＞

② クロス集計の結果

【地区別】

・いずれの地区でも「支援を必要とする人に支援が行き届く仕組みづくり」は過半数を占めており、「福祉サービスに関する情報提供や案内の充実」と「身近な相談窓口の充実」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区（n=87）	支援を必要とする人に支援が行き届く仕組みづくり		福祉サービスに関する情報提供や案内の充実		身近な相談窓口の充実		利用者のニーズに対応した福祉サービスメニューの多様化/誰もが気軽に集まれる居場所づくり			
	50	58.1%	37	43.0%	31	36.0%	24		27.9%	
大穂地区（n=83）	支援を必要とする人に支援が行き届く仕組みづくり		福祉サービスに関する情報提供や案内の充実		身近な相談窓口の充実		利用者のニーズに対応した福祉サービスメニューの多様化		誰もが気軽に集まれる居場所づくり	
	45	54.2%	33	39.8%	30	36.1%	24	28.9%	19	22.9%
豊里地区（n=82）	支援を必要とする人に支援が行き届く仕組みづくり		身近な相談窓口の充実/福祉サービスに関する情報提供や案内の充実				誰もが気軽に集まれる居場所づくり		区会・自治会、ボランティア団体等への支援	
	47	58.0%	33		40.7%		27	33.3%	20	24.7%
谷田部地区（n=167）	支援を必要とする人に支援が行き届く仕組みづくり		身近な相談窓口の充実		福祉サービスに関する情報提供や案内の充実		利用者のニーズに対応した福祉サービスメニューの多様化		誰もが気軽に集まれる居場所づくり	
	101	60.5%	69	41.3%	61	36.5%	57	34.1%	32	19.2%
桜地区（n=128）	支援を必要とする人に支援が行き届く仕組みづくり		身近な相談窓口の充実/福祉サービスに関する情報提供や案内の充実				利用者のニーズに対応した福祉サービスメニューの多様化		誰もが気軽に集まれる居場所づくり	
	78	60.9%	50		39.1%		41	32.0%	27	21.1%
茎崎地区（n=126）	支援を必要とする人に支援が行き届く仕組みづくり		身近な相談窓口の充実		福祉サービスに関する情報提供や案内の充実		利用者のニーズに対応した福祉サービスメニューの多様化		区会・自治会、ボランティア団体等への支援	
	67	53.2%	60	47.6%	56	44.4%	34	27.0%	28	22.2%
研究学園地区（n=402）	支援を必要とする人に支援が行き届く仕組みづくり		身近な相談窓口の充実		福祉サービスに関する情報提供や案内の充実		利用者のニーズに対応した福祉サービスメニューの多様化		誰もが気軽に集まれる居場所づくり	
	208	51.7%	156	38.8%	155	38.6%	126	31.3%	111	27.6%
ＴＸ沿線開発地区（n=298）	支援を必要とする人に支援が行き届く仕組みづくり		身近な相談窓口の充実		福祉サービスに関する情報提供や案内の充実		利用者のニーズに対応した福祉サービスメニューの多様化		誰もが気軽に集まれる居場所づくり	
	153	51.7%	120	40.5%	102	34.5%	86	29.1%	85	28.7%

【年齢別】

・全ての年齢で「支援を必要とする人に支援が行き届く仕組みづくり」が最も多く、10 歳代と 20 歳代を除き、「福祉サービスに関する情報提供や案内の充実」と「身近な相談窓口の充実」が上位に入っている。

・10 歳代では「誰もが気軽に集まれる居場所づくり」、20 歳代では「利用者のニーズに対応した福祉サービスメニューの多様化」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
10歳代（n=33）	福祉サービスに関する情報提供や案内の充実/支援を必要とする人に支援が行き届く仕組みづくり				誰もが気軽に集まれる居場所づくり		利用者のニーズに対応した福祉サービスメニューの多様化		身近な相談窓口の充実	
	14	42.4%			10	30.3%	8	24.2%	7	21.2%
20歳代（n=99）	支援を必要とする人に支援が行き届く仕組みづくり		利用者のニーズに対応した福祉サービスメニューの多様化		福祉サービスに関する情報提供や案内の充実		身近な相談窓口の充実		誰もが気軽に集まれる居場所づくり	
	48	48.5%	37	37.4%	34	34.3%	32	32.3%	27	27.3%
30歳代（n=207）	支援を必要とする人に支援が行き届く仕組みづくり		身近な相談窓口の充実		福祉サービスに関する情報提供や案内の充実		誰もが気軽に集まれる居場所づくり		利用者のニーズに対応した福祉サービスメニューの多様化	
	98	47.3%	69	33.3%	68	32.9%	60	29.0%	58	28.0%
40歳代（n=269）	支援を必要とする人に支援が行き届く仕組みづくり		身近な相談窓口の充実		福祉サービスに関する情報提供や案内の充実		利用者のニーズに対応した福祉サービスメニューの多様化		誰もが気軽に集まれる居場所づくり	
	154	57.2%	104	38.7%	91	33.8%	78	29.0%	68	25.3%
50歳代（n=284）	支援を必要とする人に支援が行き届く仕組みづくり		身近な相談窓口の充実		福祉サービスに関する情報提供や案内の充実		利用者のニーズに対応した福祉サービスメニューの多様化		誰もが気軽に集まれる居場所づくり	
	154	54.6%	123	43.6%	111	39.4%	95	33.7%	69	24.5%
60～64歳（n=108）	支援を必要とする人に支援が行き届く仕組みづくり		身近な相談窓口の充実		福祉サービスに関する情報提供や案内の充実		利用者のニーズに対応した福祉サービスメニューの多様化		誰もが気軽に集まれる居場所づくり	
	59	54.6%	47	43.5%	46	42.6%	38	35.2%	22	20.4%
65～69歳（n=109）	支援を必要とする人に支援が行き届く仕組みづくり		福祉サービスに関する情報提供や案内の充実		身近な相談窓口の充実		利用者のニーズに対応した福祉サービスメニューの多様化		誰もが気軽に集まれる居場所づくり	
	68	63.0%	48	44.4%	45	41.7%	31	28.7%	28	25.9%
70～74歳（n=109）	支援を必要とする人に支援が行き届く仕組みづくり		福祉サービスに関する情報提供や案内の充実		身近な相談窓口の充実		利用者のニーズに対応した福祉サービスメニューの多様化		誰もが気軽に集まれる居場所づくり	
	68	62.4%	53	48.6%	48	44.0%	32	29.4%	27	24.8%
75歳以上（n=125）	支援を必要とする人に支援が行き届く仕組みづくり		身近な相談窓口の充実		福祉サービスに関する情報提供や案内の充実		誰もが気軽に集まれる居場所づくり		利用者のニーズに対応した福祉サービスメニューの多様化	
	70	56.5%	62	50.0%	53	42.7%	35	28.2%	22	17.7%

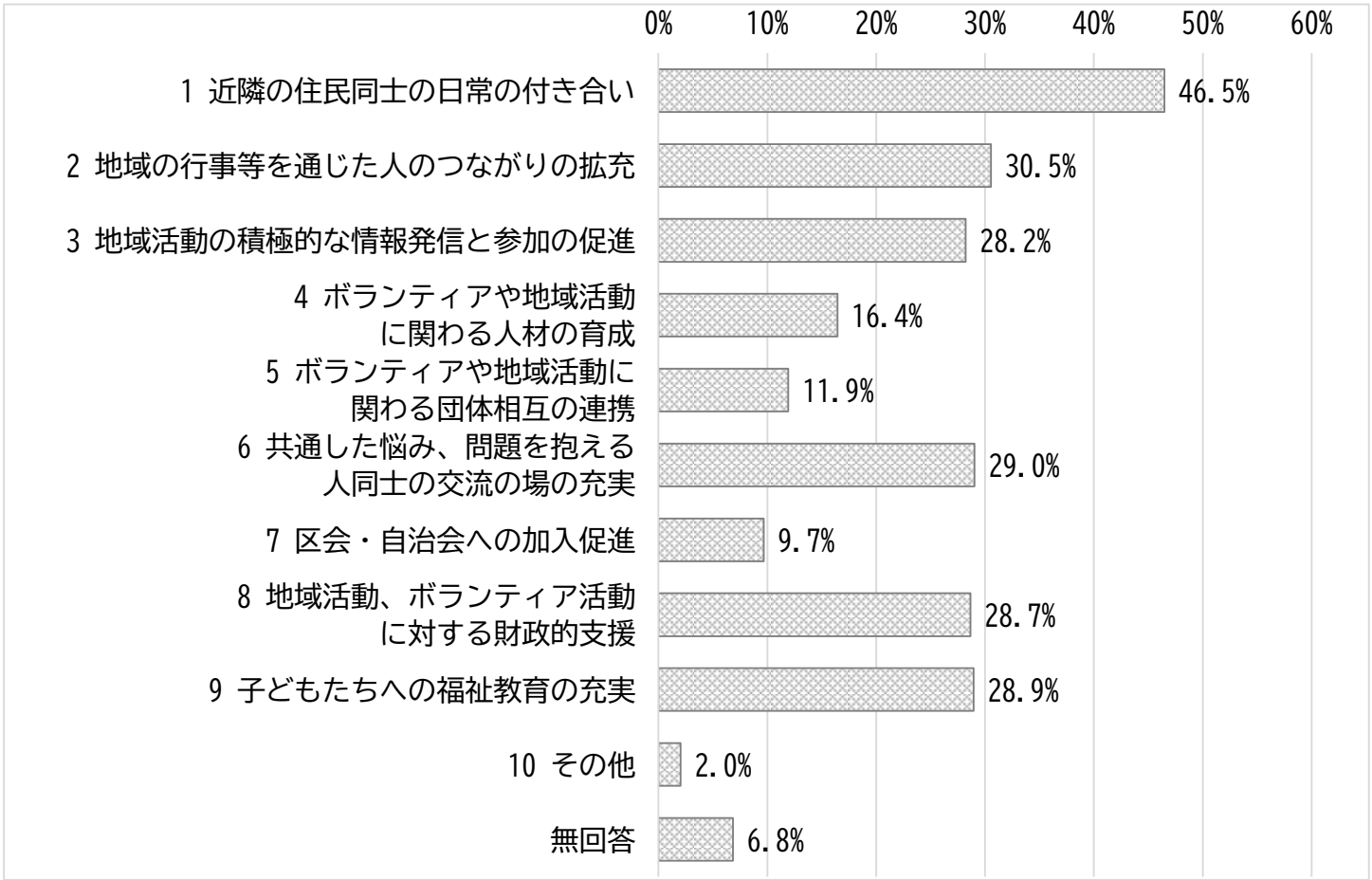
問 23　地域における助け合い、支え合い活動を活発にするためには、どのような取組が必要であると思いますか。
＜当てはまる番号を、右の回答欄に３つまで記入＞

①　全体集計の結果

●地域における助け合い、支え合いを推進するために必要な取組について、「近隣の住民同士の日常の付き合い」が 46.5%で最多

・地域における助け合い、支え合いを推進するために必要な取組について、「近隣の住民同士の日常の付き合い」が 639 人(46.5%)で最も多く、「地域の行事等を通じた人のつながりの拡充」が 420 人(30.5%)、「共通した悩み、問題を抱える人同士の交流の場の充実」が 399（29.0%）で続いている。

選択肢	本調査（R7）	
	回答数（人）	構成比
1　近隣の住民同士の日常の付き合い	639	46.5%
2　地域の行事等を通じた人のつながりの拡充	420	30.5%
3　地域活動の積極的な情報発信と参加の促進	388	28.2%
4　ボランティアや地域活動に関わる人材の育成	226	16.4%
5　ボランティアや地域活動に関わる団体相互の連携	164	11.9%
6　共通した悩み、問題を抱える人同士の交流の場の充実	399	29.0%
7　区会・自治会への加入促進	133	9.7%
8　地域活動、ボランティア活動に対する財政的支援	394	28.7%
9　子どもたちへの福祉教育の充実	398	28.9%
10　その他	28	2.0%
無回答	94	6.8%
全体（有効回答数）	1,375	



問 23　地域における助け合い、支え合い活動を活発にするためには、どのような取組が必要であると思いますか。
＜当てはまる番号を、右の回答欄に３つまで記入＞

② クロス集計の結果

【地区別】
・いずれの地区でも「近隣の住民同士の日常の付き合い」が最も多い。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区（n=87）	近隣の住民同士の日常の付き合い		地域活動、ボランティア活動に対する財政的支援		地域の行事等を通じた人のつながりの拡充		地域活動の積極的な情報発信と参加の促進		ボランティアや地域活動に関わる人材の育成	
	48	55.2%	34	39.1%	32	36.8%	26	29.9%	17	19.5%
大穂地区（n=83）	近隣の住民同士の日常の付き合い		子どもたちへの福祉教育の充実		地域の行事等を通じた人のつながりの拡充		共通した悩み、問題を抱える人同士の交流の場の充実		地域活動の積極的な情報発信と参加の促進	
	38	45.8%	27	32.5%	24	28.9%	23	27.7%	21	25.3%
豊里地区（n=82）	近隣の住民同士の日常の付き合い		地域の行事等を通じた人のつながりの拡充		地域活動の積極的な情報発信と参加の促進/子どもたちへの福祉教育の充実				共通した悩み、問題を抱える人同士の交流の場の充実	
	47	58.0%	25	30.9%	23	28.4%			21	25.9%
谷田部地区（n=167）	近隣の住民同士の日常の付き合い		地域の行事等を通じた人のつながりの拡充		共通した悩み、問題を抱える人同士の交流の場の充実		地域活動の積極的な情報発信と参加の促進/子どもたちへの福祉教育の充実			
	84	50.3%	57	34.1%	49	29.3%	45	26.9%		
桜地区（n=128）	近隣の住民同士の日常の付き合い		地域活動、ボランティア活動に対する財政的支援		地域の行事等を通じた人のつながりの拡充/子どもたちへの福祉教育の充実				地域活動の積極的な情報発信と参加の促進	
	58	45.3%	41	32.0%	37	28.9%			33	25.8%
茎崎地区（n=126）	近隣の住民同士の日常の付き合い		地域活動の積極的な情報発信と参加の促進/地域活動、ボランティア活動に対する財政的支援				地域の行事等を通じた人のつながりの拡充/共通した悩み、問題を抱える人同士の交流の場の充実			
	59	46.8%	37	29.4%	36	28.6%				
研究学園地区（n=402）	近隣の住民同士の日常の付き合い		共通した悩み、問題を抱える人同士の交流の場の充実		地域の行事等を通じた人のつながりの拡充		地域活動、ボランティア活動に対する財政的支援		地域活動の積極的な情報発信と参加の促進	
	171	42.5%	134	33.3%	128	31.8%	127	31.6%	124	30.8%
ＴＸ沿線開発地区（n=298）	近隣の住民同士の日常の付き合い		子どもたちへの福祉教育の充実		共通した悩み、問題を抱える人同士の交流の場の充実		地域の行事等を通じた人のつながりの拡充		地域活動の積極的な情報発信と参加の促進	
	133	44.8%	112	37.7%	88	29.6%	81	27.3%	79	26.6%

【年齢別】
・30 歳代以外の年齢で、「近隣の住民同士の日常の付き合い」が最も多い。
・10 歳代では「子どもたちへの福祉教育の充実」が、20 歳代では「地域の行事等を通じた人のつながりの拡充」が同率で最多となっている。
・30 歳代では、「子どもたちへの福祉教育の充実」が最も多い。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
10歳代（n=33）	近隣の住民同士の日常の付き合い/子どもたちへの福祉教育の充実				地域の行事等を通じた人のつながりの拡充		地域活動の積極的な情報発信と参加の促進		地域活動、ボランティア活動に対する財政的支援	
	17	51.5%			10	30.3%	8	24.2%	7	21.2%
20歳代（n=99）	近隣の住民同士の日常の付き合い/地域の行事等を通じた人のつながりの拡充				共通した悩み、問題を抱える人同士の交流の場の充実		地域活動の積極的な情報発信と参加の促進		子どもたちへの福祉教育の充実	
	36	36.4%			35	35.4%	32	32.3%	31	31.3%
30歳代（n=207）	子どもたちへの福祉教育の充実		近隣の住民同士の日常の付き合い		共通した悩み、問題を抱える人同士の交流の場の充実		地域の行事等を通じた人のつながりの拡充		地域活動の積極的な情報発信と参加の促進	
	94	45.4%	75	36.2%	65	31.4%	64	30.9%	57	27.5%
40歳代（n=269）	近隣の住民同士の日常の付き合い		子どもたちへの福祉教育の充実		地域の行事等を通じた人のつながりの拡充		共通した悩み、問題を抱える人同士の交流の場の充実		地域活動、ボランティア活動に対する財政的支援	
	117	43.5%	104	38.7%	95	35.3%	82	30.5%	68	25.3%
50歳代（n=284）	近隣の住民同士の日常の付き合い		共通した悩み、問題を抱える人同士の交流の場の充実		地域活動、ボランティア活動に対する財政的支援		地域活動の積極的な情報発信と参加の促進		地域の行事等を通じた人のつながりの拡充	
	131	46.3%	98	34.6%	92	32.5%	84	29.7%	71	25.1%
60～64歳（n=108）	近隣の住民同士の日常の付き合い		地域活動の積極的な情報発信と参加の促進		地域の行事等を通じた人のつながりの拡充		地域活動、ボランティア活動に対する財政的支援		ボランティアや地域活動に関わる人材の育成	
	55	50.9%	38	35.2%	34	31.5%	33	30.6%	26	24.1%
65～69歳（n=109）	近隣の住民同士の日常の付き合い		地域活動の積極的な情報発信と参加の促進		地域活動、ボランティア活動に対する財政的支援		地域の行事等を通じた人のつながりの拡充/共通した悩み、問題を抱える人同士の交流の場の充実			
	58	53.7%	38	35.2%	35	32.4%	30	27.8%		
70～74歳（n=109）	近隣の住民同士の日常の付き合い		地域活動、ボランティア活動に対する財政的支援		地域の行事等を通じた人のつながりの拡充		地域活動の積極的な情報発信と参加の促進		子どもたちへの福祉教育の充実	
	56	51.4%	35	32.1%	34	31.2%	28	25.7%	26	23.9%
75歳以上（n=125）	近隣の住民同士の日常の付き合い		地域活動、ボランティア活動に対する財政的支援		地域の行事等を通じた人のつながりの拡充		共通した悩み、問題を抱える人同士の交流の場の充実		地域活動の積極的な情報発信と参加の促進	
	80	64.0%	41	32.8%	35	28.0%	31	24.8%	29	23.2%

4　少子高齢化への取組について

問 24　あなたは、つくば市には安心して子どもを生み育てられる環境が整っていると思いますか。　＜○は１つ＞

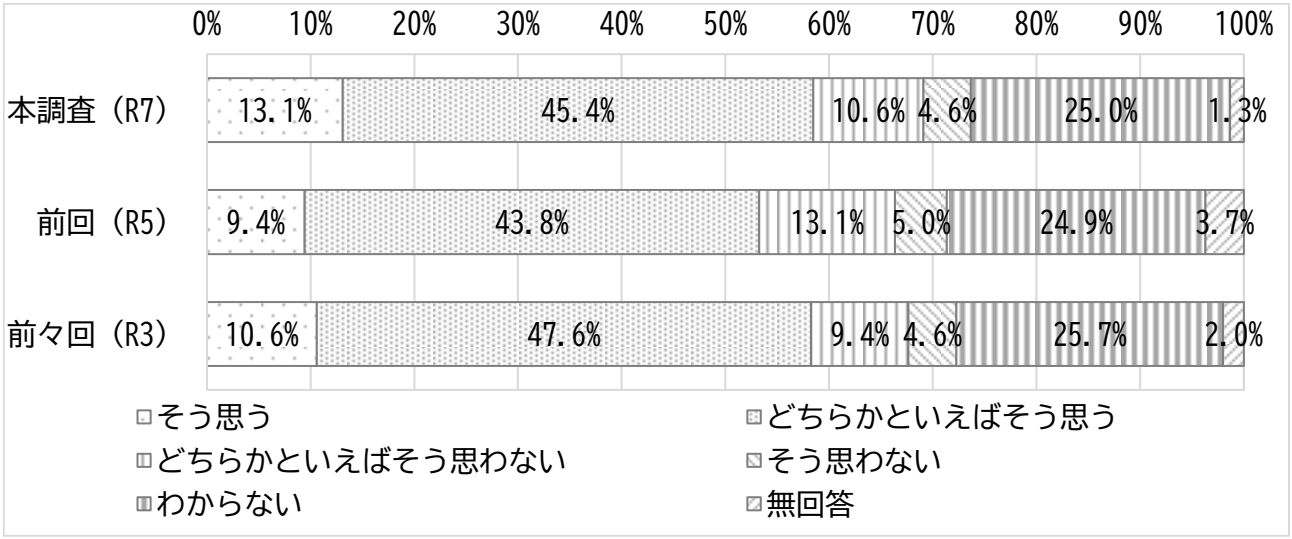
①　全体集計の結果

●子育て環境が整っているかについては、「そう思う/どちらかといえばそう思う」が約 6 割

・つくば市に安心して子どもを生み育てられる環境が整っているかについては、「どちらかといえばそう思う」が 624 人(45.4%)で最も多く、「わからない」が 344 人(25.0%)、「そう思う」が 180 人(13.1%)で続いている。

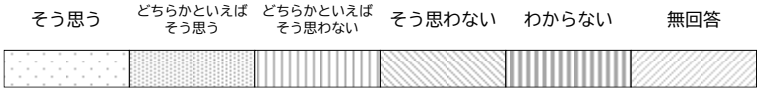
選択肢	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
そう思う	180	13.1%	9.4%	10.6%
どちらかといえばそう思う	624	45.4%	43.8%	47.6%
どちらかといえばそう思わない	146	10.6%	13.1%	9.4%
そう思わない	63	4.6%	5.0%	4.6%
わからない	344	25.0%	24.9%	25.7%
無回答	18	1.3%	3.7%	2.0%
全体	1,375	100.0%	100.0%	100.0%

＜過年度調査との比較＞



問 24　あなたは、つくば市には安心して子どもを生み育てられる環境が整っていると思いますか。　＜○は１つ＞

② クロス集計の結果



【地区別】

・桜地区、研究学園地区、ＴＸ沿線開発地区では「そう思う/どちらかといえばそう思う」の割合が 60%を超えている。

・大穂地区と茎崎地区では、「そう思う/どちらかといえばそう思う」は 50%以下となっている。

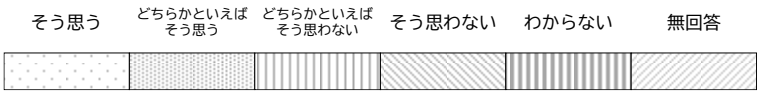


【年齢別】

・50 歳代以下では「そう思う/どちらかといえばそう思う」の割合が 60%を超えている。

・60 歳代以上では「わからない」の割合が多い傾向にある。





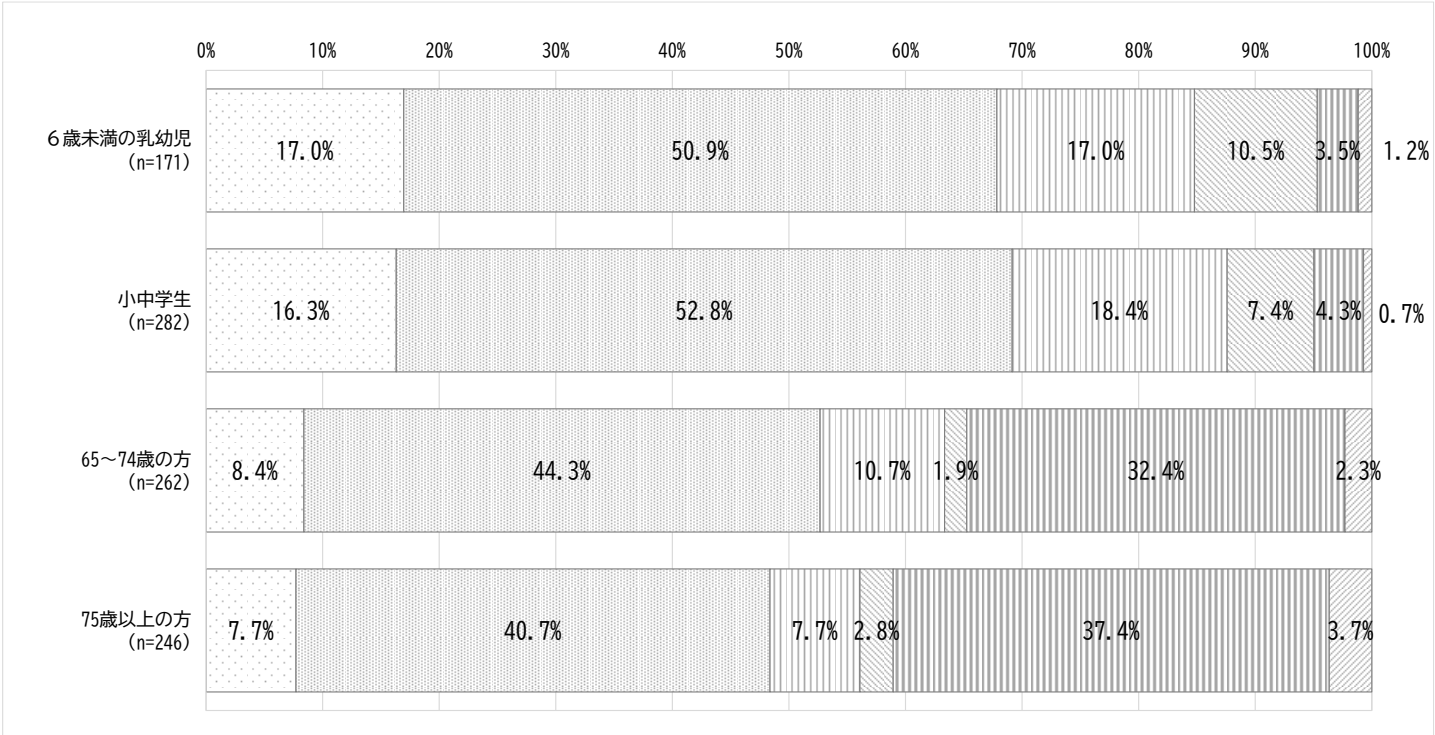
【世帯構成別】

・「そう思う/どちらかといえばそう思う」の割合は親子で 60%を超え、三世代同居では 55%を超えている。



【世帯に含む人別】

・6 歳未満の乳幼児、小中学生を含む世帯では「そう思う/どちらかといえばそう思う」の割合が 65%を超えている。



問 25　安心して子どもを生み育てられる環境として、つくば市で充実していると思うものと不足していると思うものは何ですか。
＜各選択肢について○は１つずつ＞

●子育て環境について、充実していると思うものは「子育て世帯への経済的支援」が 30%超え、不足していると思うものは「産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000」が約 25%

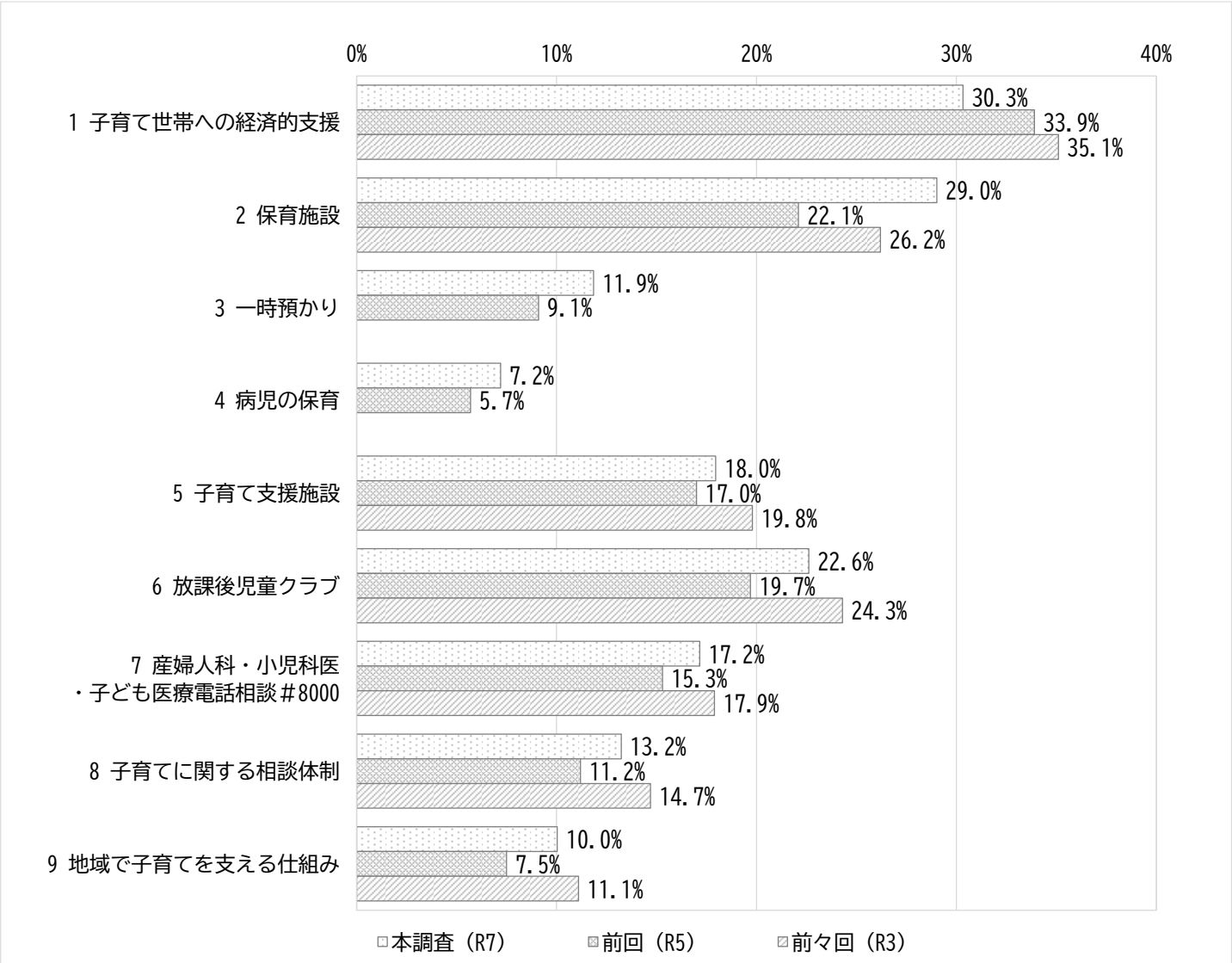
＜充実していると思うもの＞

①　全体集計の結果

・つくば市で子育て環境で充実していると思うものについては、「子育て世帯への経済的支援」が 417 人(30.3%)と最も多く、「保育施設」が 399 人(29.0%)、「放課後児童クラブ」が 311 人(22.6%)で続いている。

選択肢	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
1　子育て世帯への経済的支援	417	30.3%	33.9%	35.1%
2　保育施設	399	29.0%	22.1%	26.2%
3　一時預かり	163	11.9%	9.1%	－
4　病児の保育	99	7.2%	5.7%	－
5　子育て支援施設	247	18.0%	17.0%	19.8%
6　放課後児童クラブ	311	22.6%	19.7%	24.3%
7　産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000	236	17.2%	15.3%	17.9%
8　子育てに関する相談体制	182	13.2%	11.2%	14.7%
9　地域で子育てを支える仕組み	138	10.0%	7.5%	11.1%
全体（有効回答数）	1,375			

＜過年度調査との比較＞



問 25　安心して子どもを生み育てられる環境として、つくば市で充実していると思うものと不足していると思うものは何ですか。　＜各選択肢について○は１つずつ＞

② クロス集計の結果

【地区別】

・全ての地区で「子育て世帯への経済的支援」「保育施設」「放課後児童クラブ」が上位に入っている。
・ＴＸ沿線開発地区のみ、「放課後児童クラブ」と「産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000」が同率３位である。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区（n=87）	子育て世帯への経済的支援		保育施設		放課後児童クラブ		産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000		子育て支援施設	
	28	32.2%	27	31.0%	21	24.1%	17	19.5%	16	18.4%
大穂地区（n=83）	保育施設		放課後児童クラブ		子育て世帯への経済的支援		子育て支援施設		一時預かり	
	25	30.1%	24	28.9%	20	24.1%	14	16.9%	9	10.8%
豊里地区（n=82）	子育て世帯への経済的支援		保育施設		放課後児童クラブ		子育て支援施設		産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000	
	32	39.0%	25	30.5%	18	22.0%	14	17.1%	12	14.6%
谷田部地区（n=167）	保育施設		子育て世帯への経済的支援		放課後児童クラブ		産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000		子育て支援施設	
	41	24.6%	39	23.4%	33	19.8%	30	18.0%	21	12.6%
桜地区（n=128）	保育施設		子育て世帯への経済的支援		放課後児童クラブ		子育て支援施設		産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000	
	34	26.6%	32	25.0%	28	21.9%	23	18.0%	14	10.9%
茎崎地区（n=126）	子育て世帯への経済的支援		放課後児童クラブ		保育施設		子育てに関する相談体制		子育て支援施設	
	24	19.0%	22	17.5%	19	15.1%	14	11.1%	11	8.7%
研究学園地区（n=402）	子育て世帯への経済的支援		保育施設		放課後児童クラブ		子育て支援施設		産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000	
	133	33.1%	122	30.3%	99	24.6%	83	20.6%	77	19.2%
ＴＸ沿線開発地区（n=298）	子育て世帯への経済的支援		保育施設		放課後児童クラブ/産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000				子育て支援施設	
	109	36.6%	106	35.6%	66		22.1%		65	21.8%

【年齢別】

・10 歳代と 30 歳代を除く全ての年齢で、「子育て世帯への経済的支援」「保育施設」「放課後児童クラブ」が上位となっている。
・10 歳代では３位に「子育て支援施設」が、30 歳代では３位に「産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000」が入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
10歳代（n=33）	放課後児童クラブ		保育施設		子育て支援施設		子育て世帯への経済的支援/産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000			
	17	51.5%	14	42.4%	11	33.3%	10		30.3%	
20歳代（n=99）	子育て世帯への経済的支援		保育施設		放課後児童クラブ		子育て支援施設		産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000	
	33	33.3%	30	30.3%	29	29.3%	22	22.2%	16	16.2%
30歳代（n=207）	保育施設		子育て世帯への経済的支援		産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000		子育てに関する相談体制		子育て支援施設	
	73	35.3%	66	31.9%	56	27.1%	44	21.3%	43	20.8%
40歳代（n=269）	子育て世帯への経済的支援		保育施設		放課後児童クラブ		産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000		子育て支援施設	
	109	40.5%	95	35.3%	69	25.7%	67	24.9%	61	22.7%
50歳代（n=284）	子育て世帯への経済的支援		保育施設		放課後児童クラブ		子育て支援施設		産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000	
	108	38.0%	73	25.7%	65	22.9%	52	18.3%	42	14.8%
60～64歳（n=108）	保育施設		子育て世帯への経済的支援/放課後児童クラブ				子育て支援施設		産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000	
	25	23.1%	24		22.2%		16	14.8%	13	12.0%
65～69歳（n=109）	保育施設		放課後児童クラブ		子育て世帯への経済的支援		子育て支援施設		産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000	
	32	29.4%	26	23.9%	25	22.9%	18	16.5%	15	13.8%
70～74歳（n=109）	子育て世帯への経済的支援/保育施設				放課後児童クラブ		子育て支援施設		子育てに関する相談体制	
	19		17.4%		14	12.8%	9	8.3%	6	5.5%
75歳以上（n=125）	保育施設		放課後児童クラブ		子育て世帯への経済的支援		一時預かり		子育て支援施設	
	29	23.2%	17	13.6%	15	12.0%	9	7.2%	8	6.4%

【世帯構成別】
・全ての世帯構成で「子育て世帯への経済的支援」「保育施設」「放課後児童クラブ」が上位となっている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
ひとり暮らし（n=168）	子育て世帯への経済的支援		保育施設		放課後児童クラブ		子育て支援施設		産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000	
	34	20.2%	27	16.1%	26	15.5%	20	11.9%	17	10.1%
夫婦のみ（n=353）	保育施設		子育て世帯への経済的支援		放課後児童クラブ		子育て支援施設		一時預かり	
	64	18.1%	63	17.8%	56	15.9%	36	10.2%	28	7.9%
親子（n=676）	子育て世帯への経済的支援		保育施設		放課後児童クラブ		子育て支援施設		産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000	
	267	39.5%	255	37.7%	180	26.6%	160	23.7%	158	23.4%
三世代同居（n=80）	子育て世帯への経済的支援/放課後児童クラブ				保育施設		産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000		子育て支援施設	
	29		36.3%		28	35.0%	21	26.3%	18	22.5%
その他（n=59）	保育施設		子育て世帯への経済的支援		放課後児童クラブ		産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000		子育てに関する相談体制	
	15	25.4%	14	23.7%	9	15.3%	7	11.9%	6	10.2%

【世帯に含む人別】
・6歳未満の乳幼児を含む世帯以外では「子育て世帯への経済的支援」「保育施設」「放課後児童クラブ」が上位となっている。
・6歳未満の乳幼児を含む世帯では、「産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000」が３位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
6歳未満の乳幼児（n=171）	保育施設		子育て世帯への経済的支援		産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000		子育て支援施設		子育てに関する相談体制	
	80	46.8%	72	42.1%	65	38.0%	54	31.6%	53	31.0%
小中学生（n=282）	保育施設		子育て世帯への経済的支援		放課後児童クラブ		産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000		子育て支援施設	
	132	46.8%	125	44.3%	107	37.9%	91	32.3%	84	29.8%
65～74歳の方（n=262）	保育施設		放課後児童クラブ		子育て世帯への経済的支援		子育て支援施設		一時預かり	
	69	26.3%	59	22.5%	58	22.1%	39	14.9%	27	10.3%
75歳以上の方（n=246）	子育て世帯への経済的支援		保育施設		放課後児童クラブ		産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000		子育て支援施設	
	51	20.7%	50	20.3%	37	15.0%	21	8.5%	19	7.7%

問 25　安心して子どもを生み育てられる環境として、つくば市で充実していると思うものと不足していると思うものは何ですか。
＜各選択肢について○は１つずつ＞

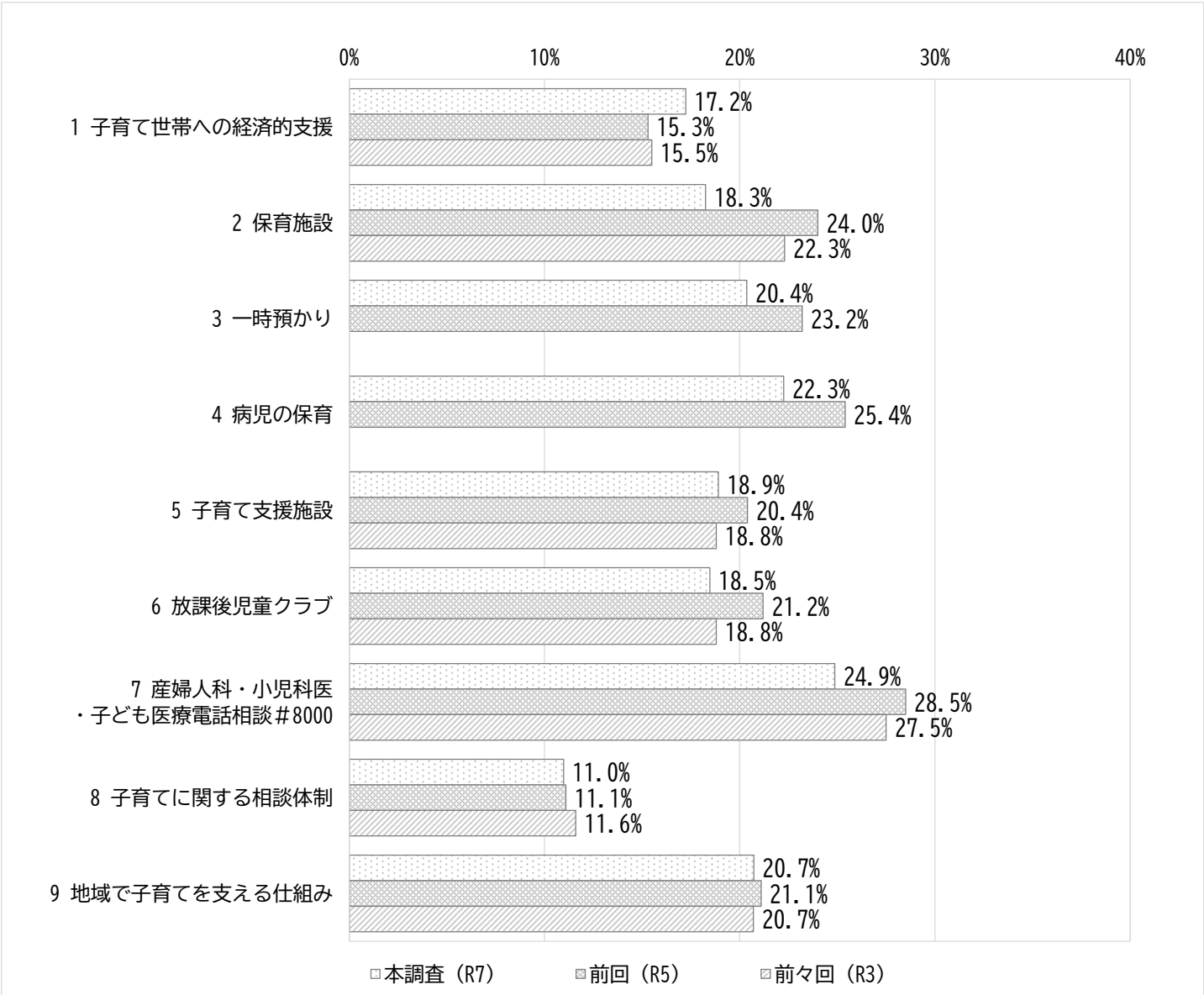
＜不足していると思うもの＞

①　全体集計の結果

・つくば市で子育て環境で不足していると思うものについては、「産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000」が 342 人(24.9%)と最も多く、「病児の保育」が 306 人(22.3%)、「地域で子育てを支える仕組み」が 285 人(20.7%)で続いている。

選択肢	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
1　子育て世帯への経済的支援	237	17.2%	15.3%	15.5%
2　保育施設	251	18.3%	24.0%	22.3%
3　一時預かり	280	20.4%	23.2%	－
4　病児の保育	306	22.3%	25.4%	－
5　子育て支援施設	260	18.9%	20.4%	18.8%
6　放課後児童クラブ	254	18.5%	21.2%	18.8%
7　産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000	342	24.9%	28.5%	27.5%
8　子育てに関する相談体制	151	11.0%	11.1%	11.6%
9　地域で子育てを支える仕組み	285	20.7%	21.1%	20.7%
全体（有効回答数）	1,375			

＜過年度調査との比較＞



問 25　安心して子どもを生み育てられる環境として、つくば市で充実していると思うものと不足していると思うものは何ですか。　＜各選択肢について○は１つずつ＞

② クロス集計の結果

【地区別】

・谷田部地区を除く全ての地区で「産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000」が最も多い。なお、豊里地区では「一時預かり」と同率である。
・谷田部地区では「病児の保育」が最も多い。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区（n=87）	産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000		一時預かり		地域で子育てを支える仕組み		病児の保育		放課後児童クラブ	
	25	28.7%	22	25.3%	21	24.1%	18	20.7%	16	18.4%
大穂地区（n=83）	産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000		一時預かり		病児の保育		保育施設		子育て支援施設	
	24	28.9%	23	27.7%	22	26.5%	21	25.3%	18	21.7%
豊里地区（n=82）	一時預かり/産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000				保育施設/病児の保育/子育て支援施設					
	23		28.0%		21		25.6%			
谷田部地区（n=167）	病児の保育		産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000		一時預かり		保育施設/子育て支援施設			
	40	24.0%	37	22.2%	34	20.4%	33		19.8%	
桜地区（n=128）	産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000		一時預かり/病児の保育/地域で子育てを支える仕組み						子育て支援施設	
	33	25.8%	21		16.4%				20	15.6%
茎崎地区（n=126）	産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000		保育施設		病児の保育/地域で子育てを支える仕組み				一時預かり	
	26	20.6%	21	16.7%	20		15.9%		19	15.1%
研究学園地区（n=402）	産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000		病児の保育		地域で子育てを支える仕組み		一時預かり/子育て支援施設			
	91	22.6%	82	20.4%	78	19.4%	67		16.7%	
ＴＸ沿線開発地区（n=298）	産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000		病児の保育		地域で子育てを支える仕組み		放課後児童クラブ		子育て支援施設	
	83	27.9%	82	27.5%	80	26.8%	79	26.5%	72	24.2%

【年齢別】

・20 歳代と 40 歳代以上では「産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000」が最も多くなっている。
・10 歳代では「地域で子育てを支える仕組み」、30 歳代では「病児の保育」が最も多くなっている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
10歳代（n=33）	地域で子育てを支える仕組み		子育て世帯への経済的支援/保育施設/一時預かり						病児の保育	
	6	18.2%	5				15.2%		2	6.1%
20歳代（n=99）	産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000		病児の保育		一時預かり		保育施設/地域で子育てを支える仕組み			
	21	21.2%	18	18.2%	16	16.2%	15		15.2%	
30歳代（n=207）	病児の保育		子育て世帯への経済的支援		地域で子育てを支える仕組み		産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000		子育て支援施設	
	76	36.7%	73	35.3%	71	34.3%	67	32.4%	65	31.4%
40歳代（n=269）	産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000		病児の保育		放課後児童クラブ/地域で子育てを支える仕組み				一時預かり	
	81	30.1%	75	27.9%	73		27.1%		65	24.2%
50歳代（n=284）	産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000		一時預かり		病児の保育		放課後児童クラブ		子育て支援施設	
	61	21.5%	56	19.7%	49	17.3%	48	16.9%	47	16.5%
60～64歳（n=108）	産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000		一時預かり/病児の保育				保育施設		子育て支援施設	
	34	31.5%	29		26.9%		24	22.2%	22	20.4%
65～69歳（n=109）	産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000		病児の保育		地域で子育てを支える仕組み		子育て支援施設		一時預かり	
	26	23.9%	25	22.9%	21	19.3%	19	17.4%	18	16.5%
70～74歳（n=109）	産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000		病児の保育		一時預かり		保育施設/地域で子育てを支える仕組み			
	30	27.5%	19	17.4%	18	16.5%	17		15.6%	
75歳以上（n=125）	産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000		放課後児童クラブ/地域で子育てを支える仕組み				保育施設		一時預かり	
	13	10.4%	9		7.2%		7	5.6%	6	4.8%

【世帯構成別】
・「産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000」が、夫婦のみと親子の世帯で最も多く、三世代同居の世帯では「病児の保育」と同率で２位となっている。

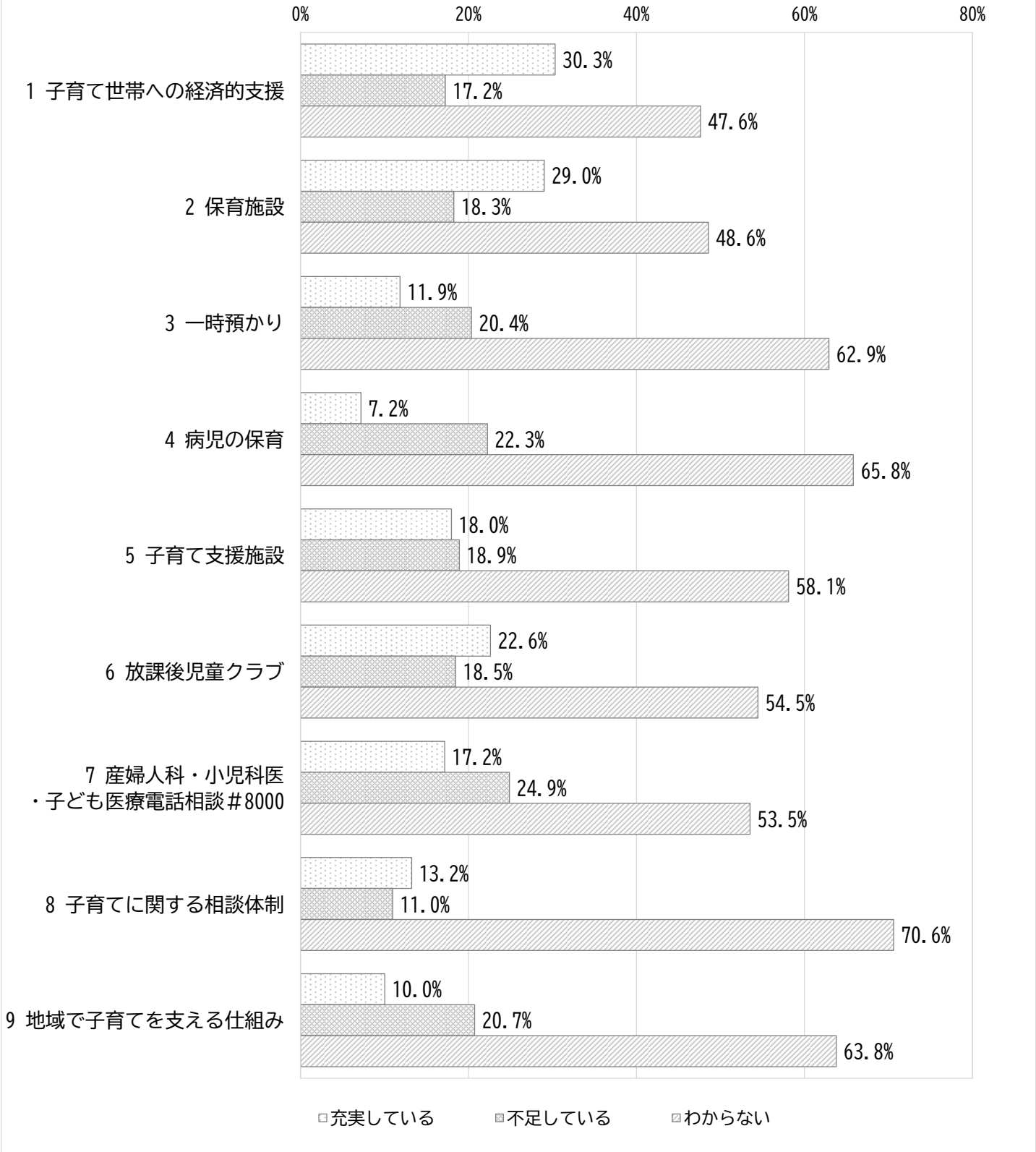
回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
ひとり暮らし（n=168）	保育施設/一時預かり		病児の保育		病児の保育		地域で子育てを支える仕組み		子育て支援施設	
	17		10.1%		16	9.5%	14	8.3%	13	7.7%
夫婦のみ（n=353）	産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000		病児の保育		一時預かり		地域で子育てを支える仕組み		保育施設	
	84	23.8%	62	17.6%	59	16.7%	56	15.9%	51	14.4%
親子（n=676）	産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000		病児の保育		地域で子育てを支える仕組み		放課後児童クラブ		子育て支援施設	
	198	29.3%	183	27.1%	174	25.7%	160	23.7%	158	23.4%
三世代同居（n=80）	一時預かり		病児の保育/産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000				子育て世帯への経済的支援			
	29	36.3%	26		32.5%		23		28.8%	
その他（n=59）	放課後児童クラブ		子育て支援施設/地域で子育てを支える仕組み				産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000		子育て世帯への経済的支援	
	15	25.4%	14		23.7%		13	22.0%	12	20.3%

【世帯に含む人別】
・６歳未満の乳幼児を含む世帯以外では「産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000」が最も多くなっている。
・６歳未満の乳幼児を含む世帯では「病児の保育」が最も多くなっている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
６歳未満の乳幼児（n=171）	病児の保育		子育て世帯への経済的支援/一時預かり				子育て支援施設/産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000			
	90	52.6%	77		45.0%		73		42.7%	
小中学生（n=282）	産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000		子育て世帯への経済的支援		病児の保育/放課後児童クラブ/地域で子育てを支える仕組み					
	108	38.3%	101	35.8%	99		35.1%			
65～74歳の方（n=262）	産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000		病児の保育		地域で子育てを支える仕組み		一時預かり		子育て支援施設	
	68	26.0%	51	19.5%	46	17.6%	44	16.8%	42	16.0%
75歳以上の方（n=246）	産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000		一時預かり		地域で子育てを支える仕組み		保育施設		病児の保育	
	45	18.3%	37	15.0%	35	14.2%	34	13.8%	33	13.4%

問 25　安心して子どもを生み育てられる環境として、つくば市で充実していると思うものと不足していると思うものは何ですか。
＜各選択肢について○は１つずつ＞

＜充実・不足の比較（項目順）＞



問 26　あなたは、つくば市には高齢者が安心して住み続けられる環境が整っていると思いますか。　＜○は１つ＞

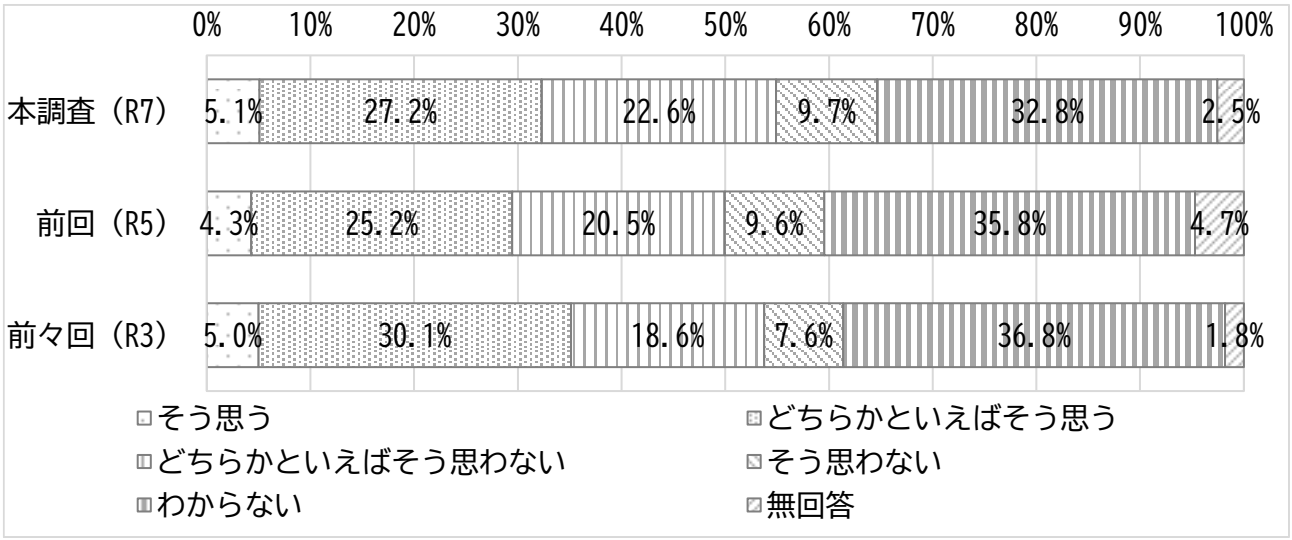
①　全体集計の結果

●高齢者の生活環境が整っているかについては、「そう思う/どちらかといえばそう思う」が約３割

・つくば市に高齢者が安心して住み続けられる環境が整っているかについては、「わからない」が 451 人(32.8%)で最も多く、「どちらかといえばそう思う」が 374 人(27.2%)、「どちらかといえばそう思わない」が 311 人(22.6%)、「そう思わない」が 134 人(9.7%)で続いている。

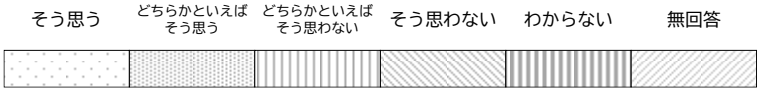
選択肢	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
そう思う	70	5.1%	4.3%	5.0%
どちらかといえばそう思う	374	27.2%	25.2%	30.1%
どちらかといえばそう思わない	311	22.6%	20.5%	18.6%
そう思わない	134	9.7%	9.6%	7.6%
わからない	451	32.8%	35.8%	36.8%
無回答	35	2.5%	4.7%	1.8%
全体	1,375	100.0%	100.0%	100.0%

＜過年度調査との比較＞



問 26　あなたは、つくば市には高齢者が安心して住み続けられる環境が整っていると思いますか。　＜○は１つ＞

② クロス集計



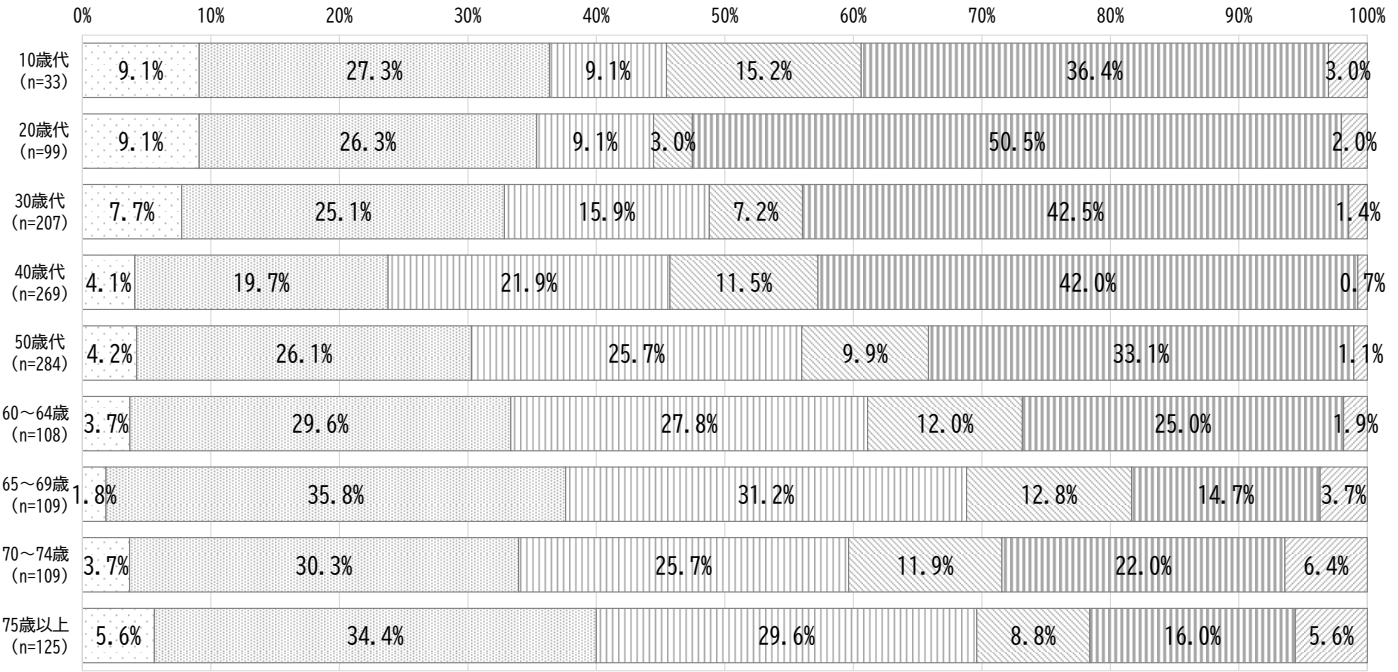
【地区別】

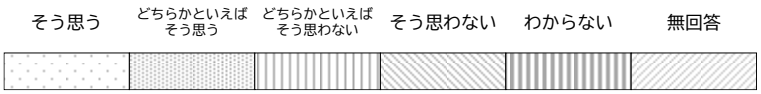
・豊里地区では「そう思う/どちらかといえばそう思う」の割合が 43.9%で最も多くなっている。
・筑波地区では「そう思わない/どちらかといえばそう思わない」の割合が 56.3%で最も多くなっている。



【年齢別】

・40 歳代が「そう思う/どちらかといえばそう思う」の割合が 23.8%と最も少ない。
・65～69 歳では「そう思わない/どちらかといえばそう思わない」の割合が 44.0%で最も多く、次いで 60～64 歳が 39.8%と続いている。





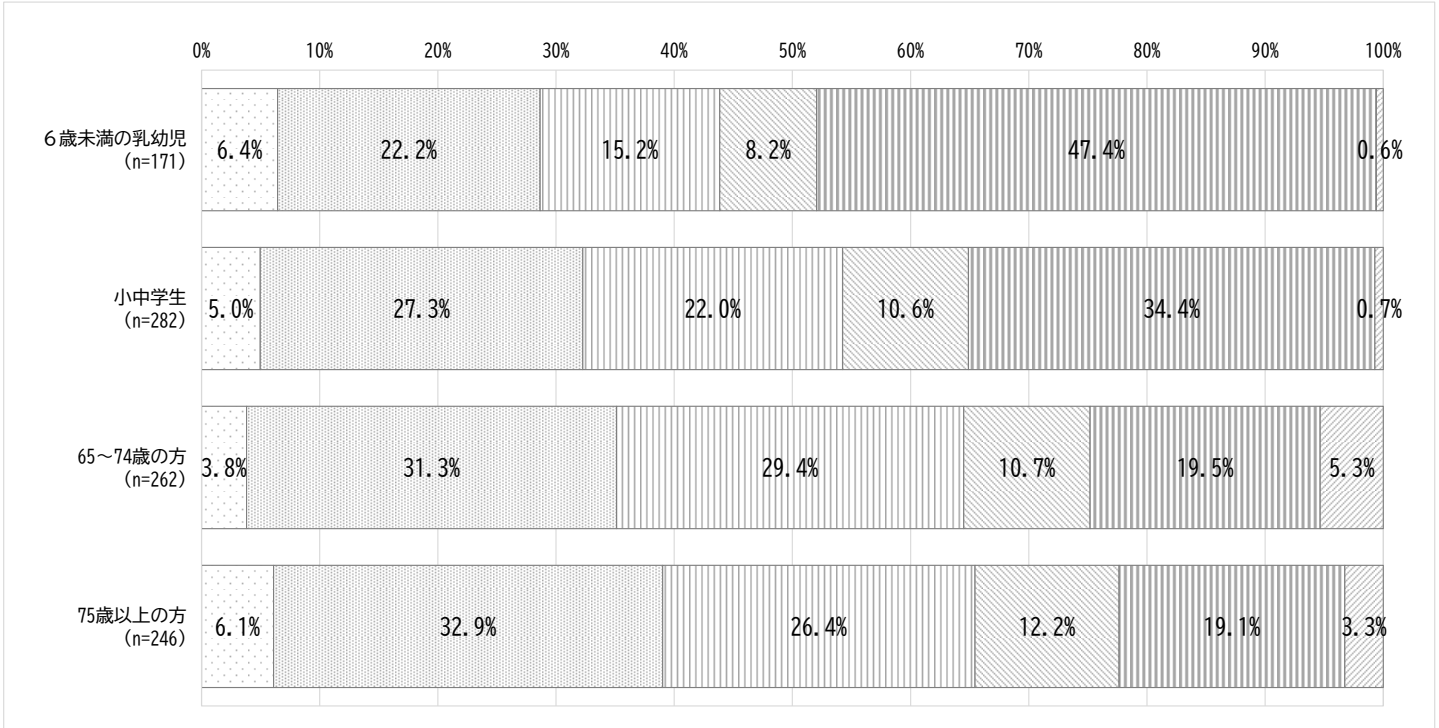
【世帯構成別】

・いずれの世帯構成でも「そう思う/どちらかといえばそう思う」の割合が 30%を超えている。
・三世代同居では、「どちらかといえばそう思わない/そう思わない」の割合が 47.5%と最も多い。



【世帯に含む人別】

・75 歳以上の方を含む世帯では「そう思う/どちらかといえばそう思う」の割合が約 40%と最も多い。
・6 歳未満の乳幼児を含む世帯では「わからない」の割合が 45%を超えている。



問 27　高齢者が安心して住み続けられる環境として、つくば市で充実していると思うものと不足していると思うものは何ですか。
＜各選択肢について○は１つずつ＞

●高齢者の生活環境について、充実していると思うものは「クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業#7119」が２割半ば、不足していると思うものは「日常生活支援(移動・送迎、買い物等)」が３割半ば

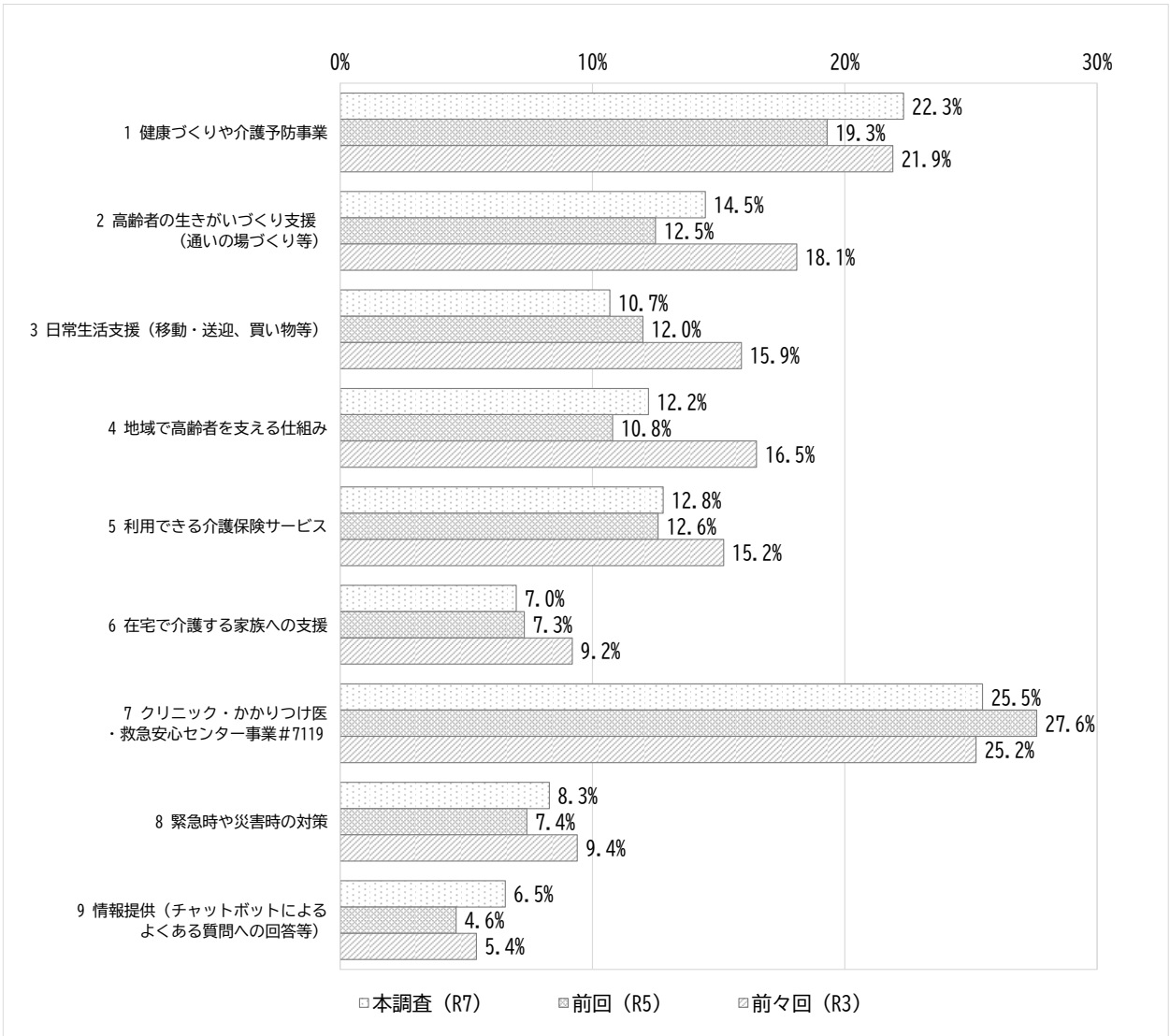
＜充実していると思うもの＞

①　全体集計の結果

・高齢者の生活環境で充実していると思うものについては、「クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業＃7119」が 350 人(25.5%)で最も多く、「健康づくりや介護予防事業」が 307 人(22.3%)、「高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）」が 199 人(14.5%)で続いている。

選択肢	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
1 健康づくりや介護予防事業	307	22.3%	19.3%	21.9%
2 高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）	199	14.5%	12.5%	18.1%
3 日常生活支援（移動・送迎、買い物等）	147	10.7%	12.0%	15.9%
4 地域で高齢者を支える仕組み	168	12.2%	10.8%	16.5%
5 利用できる介護保険サービス	176	12.8%	12.6%	15.2%
6 在宅で介護する家族への支援	96	7.0%	7.3%	9.2%
7 クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業＃7119	350	25.5%	27.6%	25.2%
8 緊急時や災害時の対策	114	8.3%	7.4%	9.4%
9 情報提供（チャットボットによるよくある質問への回答等）	90	6.5%	4.6%	5.4%
全体（有効回答数）	1,375			

＜過年度調査との比較＞



問 27　高齢者が安心して住み続けられる環境として、つくば市で充実していると思うものと不足していると思うものは何ですか。　＜各選択肢について○は１つずつ＞

② クロス集計の結果

【地区別】

・ＴＸ沿線開発地区を除く全ての地区で「クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業＃7119」が最も多い。なお、筑波地区では「健康づくりや介護予防事業」が同率で１位である。

・ＴＸ沿線開発地区では、「健康づくりや介護予防事業」が最も多い。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区（n=87）	健康づくりや介護予防事業/クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業＃7119				利用できる介護保険サービス		地域で高齢者を支える仕組み		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）	
	29		33.3%		17	19.5%	15	17.2%	14	16.1%
大穂地区（n=83）	クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業＃7119		健康づくりや介護予防事業		利用できる介護保険サービス		地域で高齢者を支える仕組み		日常生活支援（移動・送迎、買い物等）	
	21	25.3%	15	18.1%	13	15.7%	11	13.3%	10	12.0%
豊里地区（n=82）	クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業＃7119		健康づくりや介護予防事業		地域で高齢者を支える仕組み		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）		利用できる介護保険サービス	
	24	29.3%	22	26.8%	19	23.2%	15	18.3%	13	15.9%
谷田部地区（n=167）	クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業＃7119		健康づくりや介護予防事業		利用できる介護保険サービス		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）		地域で高齢者を支える仕組み	
	51	30.5%	37	22.2%	26	15.6%	24	14.4%	21	12.6%
桜地区（n=128）	クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業＃7119		健康づくりや介護予防事業		地域で高齢者を支える仕組み		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）		利用できる介護保険サービス	
	38	29.7%	22	17.2%	20	15.6%	17	13.3%	14	10.9%
茎崎地区（n=126）	クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業＃7119		健康づくりや介護予防事業		利用できる介護保険サービス		地域で高齢者を支える仕組み		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）	
	34	27.0%	30	23.8%	22	17.5%	20	15.9%	18	14.3%
研究学園地区（n=402）	クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業＃7119		健康づくりや介護予防事業		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）		利用できる介護保険サービス		日常生活支援（移動・送迎、買い物等）	
	101	25.1%	92	22.9%	63	15.7%	43	10.7%	36	9.0%
ＴＸ沿線開発地区（n=298）	健康づくりや介護予防事業		クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業＃7119		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）		日常生活支援（移動・送迎、買い物等）		利用できる介護保険サービス	
	59	19.8%	52	17.4%	39	13.1%	34	11.4%	28	9.4%

【年齢別】

・30 歳代を除く全ての年齢で「クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業＃7119」が最も多く、30 歳代でも２位である。なお、30 歳代では、「健康づくりや介護予防事業」が最も多い。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
10歳代（n=33）	高齢者の生きがいづくり支援/利用できる介護保険サービス/クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業＃7119						健康づくりや介護予防事業		日常生活支援（移動・送迎、買い物等）	
	8		24.2%				7	21.2%	5	15.2%
20歳代（n=99）	クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業＃7119		健康づくりや介護予防事業		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）		日常生活支援（移動・送迎、買い物等）		地域で高齢者を支える仕組み	
	21	21.2%	20	20.2%	18	18.2%	15	15.2%	14	14.1%
30歳代（n=207）	健康づくりや介護予防事業		クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業＃7119		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）		日常生活支援（移動・送迎、買い物等）		利用できる介護保険サービス	
	41	19.8%	38	18.4%	33	15.9%	30	14.5%	28	13.5%
40歳代（n=269）	クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業＃7119		健康づくりや介護予防事業		日常生活支援（移動・送迎、買い物等）/利用できる介護保険サービス				高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）	
	51	19.0%	50	18.6%	27		10.0%		26	9.7%
50歳代（n=284）	クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業＃7119		健康づくりや介護予防事業		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）		利用できる介護保険サービス		地域で高齢者を支える仕組み	
	68	23.9%	66	23.2%	45	15.8%	35	12.3%	33	11.6%
60～64歳（n=108）	クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業＃7119		健康づくりや介護予防事業		利用できる介護保険サービス		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）		緊急時や災害時の対策	
	35	32.4%	26	24.1%	22	20.4%	15	13.9%	11	10.2%
65～69歳（n=109）	クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業＃7119		健康づくりや介護予防事業		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）		地域で高齢者を支える仕組み		利用できる介護保険サービス	
	38	34.9%	30	27.5%	18	16.5%	14	12.8%	13	11.9%
70～74歳（n=109）	クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業＃7119		健康づくりや介護予防事業		地域で高齢者を支える仕組み/利用できる介護保険サービス				高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）	
	36	33.0%	24	22.0%	13		11.9%		11	10.1%
75歳以上（n=125）	クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業＃7119		健康づくりや介護予防事業		地域で高齢者を支える仕組み		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）		利用できる介護保険サービス	
	44	35.2%	32	25.6%	27	21.6%	21	16.8%	16	12.8%

【世帯構成別】
・全ての世帯構成で「クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業＃7119」が最も多い。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
ひとり暮らし（n=168）	クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業＃7119		健康づくりや介護予防事業		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）		日常生活支援（移動・送迎、買い物等）		地域で高齢者を支える仕組み	
	39	23.2%	28	16.7%	25	14.9%	22	13.1%	19	11.3%
夫婦のみ（n=353）	クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業＃7119		健康づくりや介護予防事業		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）		利用できる介護保険サービス		地域で高齢者を支える仕組み	
	91	25.8%	76	21.5%	52	14.7%	43	12.2%	38	10.8%
親子（n=676）	クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業＃7119		健康づくりや介護予防事業		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）		利用できる介護保険サービス		地域で高齢者を支える仕組み	
	166	24.6%	158	23.4%	98	14.5%	90	13.3%	87	12.9%
三世代同居（n=80）	クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業＃7119		健康づくりや介護予防事業		利用できる介護保険サービス		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）		地域で高齢者を支える仕組み	
	30	37.5%	26	32.5%	14	17.5%	13	16.3%	11	13.8%
その他（n=59）	クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業＃7119		利用できる介護保険サービス		健康づくりや介護予防事業/地域で高齢者を支える仕組み				高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）	
	10	16.9%	7	11.9%	6		10.2%		5	8.5%

【世帯に含む人別】
・いずれでも「クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業＃7119」と「健康づくりや介護予防事業」が１位ないし２位になっている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
６歳未満の乳幼児（n=171）	健康づくりや介護予防事業		クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業＃7119		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）		地域で高齢者を支える仕組み		日常生活支援（移動・送迎、買い物等）	
	35	20.5%	32	18.7%	27	15.8%	21	12.3%	19	11.1%
小中学生（n=282）	クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業＃7119		健康づくりや介護予防事業		利用できる介護保険サービス		地域で高齢者を支える仕組み		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）	
	65	23.0%	63	22.3%	34	12.1%	33	11.7%	32	11.3%
65～74歳の方（n=262）	クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業＃7119		健康づくりや介護予防事業		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）		利用できる介護保険サービス		地域で高齢者を支える仕組み	
	97	37.0%	72	27.5%	42	16.0%	38	14.5%	30	11.5%
75歳以上の方（n=246）	クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業＃7119		健康づくりや介護予防事業		利用できる介護保険サービス		地域で高齢者を支える仕組み		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）	
	77	31.3%	64	26.0%	47	19.1%	45	18.3%	42	17.1%

問 27　高齢者が安心して住み続けられる環境として、つくば市で充実していると思うものと不足していると思うものは何ですか。
＜各選択肢について○は 1 つずつ＞

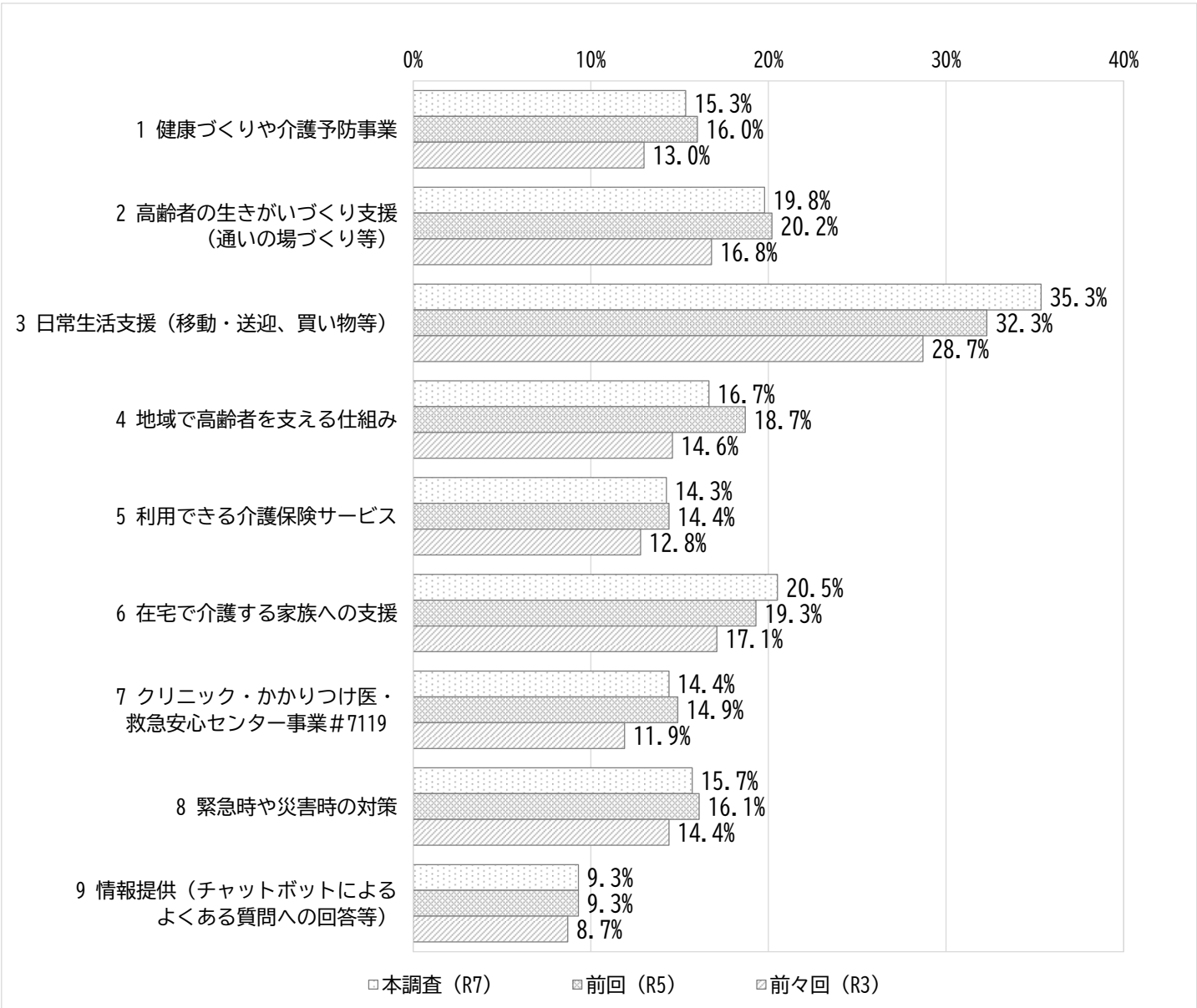
＜不足していると思うもの＞

① 全体集計の結果

・高齢者の生活環境で不足していると思うものについては、「日常生活支援（移動・送迎、買い物等）」が 486 人（35.3%）で最も多く、「在宅で介護する家族への支援」が 282 人（20.5%）、「高齢者の生きがいづくり支援(通いの場づくり等)」が 272 人(19.8%）で続いている。

選択肢	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
1 健康づくりや介護予防事業	211	15.3%	16.0%	13.0%
2 高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）	272	19.8%	20.2%	16.8%
3 日常生活支援（移動・送迎、買い物等）	486	35.3%	32.3%	28.7%
4 地域で高齢者を支える仕組み	229	16.7%	18.7%	14.6%
5 利用できる介護保険サービス	196	14.3%	14.4%	12.8%
6 在宅で介護する家族への支援	282	20.5%	19.3%	17.1%
7 クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業＃7119	198	14.4%	14.9%	11.9%
8 緊急時や災害時の対策	216	15.7%	16.1%	14.4%
9 情報提供（チャットボットによるよくある質問への回答等）	128	9.3%	9.3%	8.7%
全体（有効回答数）	1,375			

＜過年度調査との比較＞



問 27　高齢者が安心して住み続けられる環境として、つくば市で充実していると思うものと不足していると思うものは何ですか。　＜各選択肢について○は１つずつ＞

② クロス集計の結果

【地区別】

・全ての地区で「日常生活支援」が最も多くなっている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区（n=87）	日常生活支援（移動・送迎、買い物等）		在宅で介護する家族への支援		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）		地域で高齢者を支える仕組み		利用できる介護保険サービス	
	42	48.3%	30	34.5%	29	33.3%	26	29.9%	24	27.6%
大穂地区（n=83）	日常生活支援（移動・送迎、買い物等）		在宅で介護する家族への支援		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）		地域で高齢者を支える仕組み		利用できる介護保険サービス	
	31	37.3%	24	28.9%	16	19.3%	14	16.9%	13	15.7%
豊里地区（n=82）	日常生活支援（移動・送迎、買い物等）		在宅で介護する家族への支援		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）		健康づくりや介護予防事業		利用できる介護保険サービス	
	31	37.8%	25	30.5%	22	26.8%	19	23.2%	17	20.7%
谷田部地区（n=167）	日常生活支援（移動・送迎、買い物等）		在宅で介護する家族への支援		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）		地域で高齢者を支える仕組み		健康づくりや介護予防事業	
	71	42.5%	44	26.3%	40	24.0%	36	21.6%	34	20.4%
桜地区（n=128）	日常生活支援（移動・送迎、買い物等）		緊急時や災害時の対策		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）/在宅で介護する家族への支援				クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業＃7119	
	51	39.8%	30	23.4%	27		21.1%		22	17.2%
茎崎地区（n=126）	日常生活支援（移動・送迎、買い物等）		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）		在宅で介護する家族への支援		健康づくりや介護予防事業		地域で高齢者を支える仕組み	
	62	49.2%	39	31.0%	34	27.0%	30	23.8%	27	21.4%
研究学園地区（n=402）	日常生活支援（移動・送迎、買い物等）		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）		在宅で介護する家族への支援		健康づくりや介護予防事業/地域で高齢者を支える仕組み			
	118	29.4%	68	16.9%	62	15.4%	56		13.9%	
ＴＸ沿線開発地区（n=298）	日常生活支援（移動・送迎、買い物等）		在宅で介護する家族への支援		地域で高齢者を支える仕組み/クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業＃7119				高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）	
	80	26.8%	36	12.1%	35		11.7%		31	10.4%

【年齢別】

・10 歳代を除き、全ての年齢で「日常生活支援」が最も多くなっている。

・40 歳代以外では「高齢者の生きがいづくり支援」と「在宅で介護する家族への支援」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
10歳代（n=33）	高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）		日常生活支援（移動・送迎、買い物等）/在宅で介護する家族への支援				健康づくりや介護予防事業		緊急時や災害時の対策	
	6	18.2%	5		15.2%		4	12.1%	2	6.1%
20歳代（n=99）	日常生活支援（移動・送迎、買い物等）		在宅で介護する家族への支援		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）		健康づくりや介護予防事業		利用できる介護保険サービス	
	13	13.1%	9	9.1%	8	8.1%	7	7.1%	6	6.1%
30歳代（n=207）	日常生活支援（移動・送迎、買い物等）		在宅で介護する家族への支援		健康づくりや介護予防事業/高齢者の生きがいづくり支援				地域で高齢者を支える仕組み	
	55	26.6%	32	15.5%	22		10.6%		20	9.7%
40歳代（n=269）	日常生活支援（移動・送迎、買い物等）		在宅で介護する家族への支援		地域で高齢者を支える仕組み		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）		利用できる介護保険サービス	
	92	34.2%	50	18.6%	39	14.5%	38	14.1%	32	11.9%
50歳代（n=284）	日常生活支援（移動・送迎、買い物等）		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）		在宅で介護する家族への支援		緊急時や災害時の対策		クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業＃7119	
	108	38.0%	62	21.8%	59	20.8%	53	18.7%	52	18.3%
60～64歳（n=108）	日常生活支援（移動・送迎、買い物等）		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）/在宅で介護する家族への支援				地域で高齢者を支える仕組み		利用できる介護保険サービス	
	45	41.7%	28		25.9%		25	23.1%	21	19.4%
65～69歳（n=109）	日常生活支援（移動・送迎、買い物等）		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）		在宅で介護する家族への支援		地域で高齢者を支える仕組み		緊急時や災害時の対策	
	52	47.7%	40	36.7%	38	34.9%	34	31.2%	33	30.3%
70～74歳（n=109）	日常生活支援（移動・送迎、買い物等）		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）		在宅で介護する家族への支援		緊急時や災害時の対策		地域で高齢者を支える仕組み	
	53	48.6%	34	31.2%	32	29.4%	29	26.6%	28	25.7%
75歳以上（n=125）	日常生活支援（移動・送迎、買い物等）		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）		地域で高齢者を支える仕組み/在宅で介護する家族への支援/緊急時や災害時の対策					
	51	40.8%	26	20.8%	23				18.4%	

【世帯構成別】

・全ての世帯構成で「日常生活支援」が最も多くなっている。なお、三世代同居では「在宅で介護する家族への支援」も同率で１位である。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
ひとり暮らし（n=168）	日常生活支援（移動・送迎、買い物等）		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）		在宅で介護する家族への支援		利用できる介護保険サービス		緊急時や災害時の対策	
	40	23.8%	22	13.1%	20	11.9%	19	11.3%	18	10.7%
夫婦のみ（n=353）	日常生活支援（移動・送迎、買い物等）		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）		在宅で介護する家族への支援/緊急時や災害時の対策				地域で高齢者を支える仕組み	
	142	40.2%	86	24.4%	75		21.2%		73	20.7%
親子（n=676）	日常生活支援（移動・送迎、買い物等）		在宅で介護する家族への支援		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）		地域で高齢者を支える仕組み		健康づくりや介護予防事業	
	235	34.8%	129	19.1%	115	17.0%	106	15.7%	91	13.5%
三世代同居（n=80）	日常生活支援（移動・送迎、買い物等）/在宅で介護する家族への支援				高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）		利用できる介護保険サービス		地域で高齢者を支える仕組み	
	33		41.3%		24	30.0%	21	26.3%	17	21.3%
その他（n=59）	日常生活支援（移動・送迎、買い物等）		在宅で介護する家族への支援		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）		健康づくりや介護予防事業		クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業#7119	
	21	35.6%	17	28.8%	15	25.4%	13	22.0%	11	18.6%

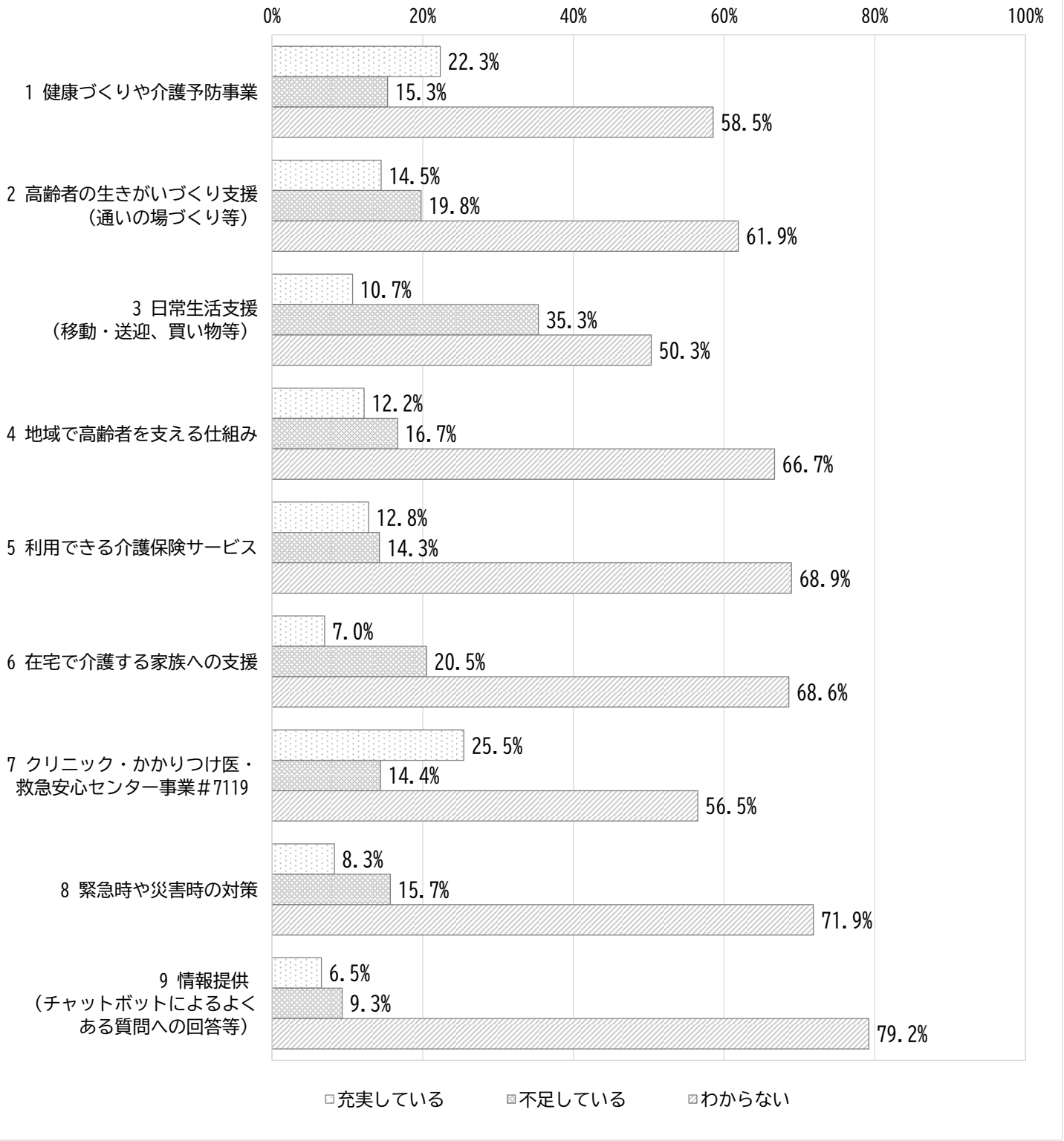
【世帯に含む人別】

・全ての世帯で「日常生活支援」が最も多くなっており、「高齢者の生きがいづくり支援」と「在宅で介護する家族への支援」が２位ないし３位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
６歳未満の乳幼児（n=171）	日常生活支援（移動・送迎、買い物等）		在宅で介護する家族への支援		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）		クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業#7119		緊急時や災害時の対策	
	43	25.1%	36	21.1%	21	12.3%	20	11.7%	19	11.1%
小中学生（n=282）	日常生活支援（移動・送迎、買い物等）		在宅で介護する家族への支援		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）		地域で高齢者を支える仕組み		クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業#7119	
	103	36.5%	63	22.3%	53	18.8%	47	16.7%	44	15.6%
65～74歳の方（n=262）	日常生活支援（移動・送迎、買い物等）		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）		在宅で介護する家族への支援		地域で高齢者を支える仕組み		健康づくりや介護予防事業	
	117	44.7%	77	29.4%	70	26.7%	63	24.0%	60	22.9%
75歳以上の方（n=246）	日常生活支援（移動・送迎、買い物等）		在宅で介護する家族への支援		高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）		地域で高齢者を支える仕組み		緊急時や災害時の対策	
	104	42.3%	67	27.2%	58	23.6%	52	21.1%	50	20.3%

問 27　高齢者が安心して住み続けられる環境として、つくば市で充実していると思うものと不足していると思うものは何ですか。
＜各選択肢について○は１つずつ＞

＜充実・不足の比較（項目順）＞



問 28　あなたが、地域包括支援センターの次の取組のうち知っているものをお答えください。
＜○は当てはまるものすべて＞

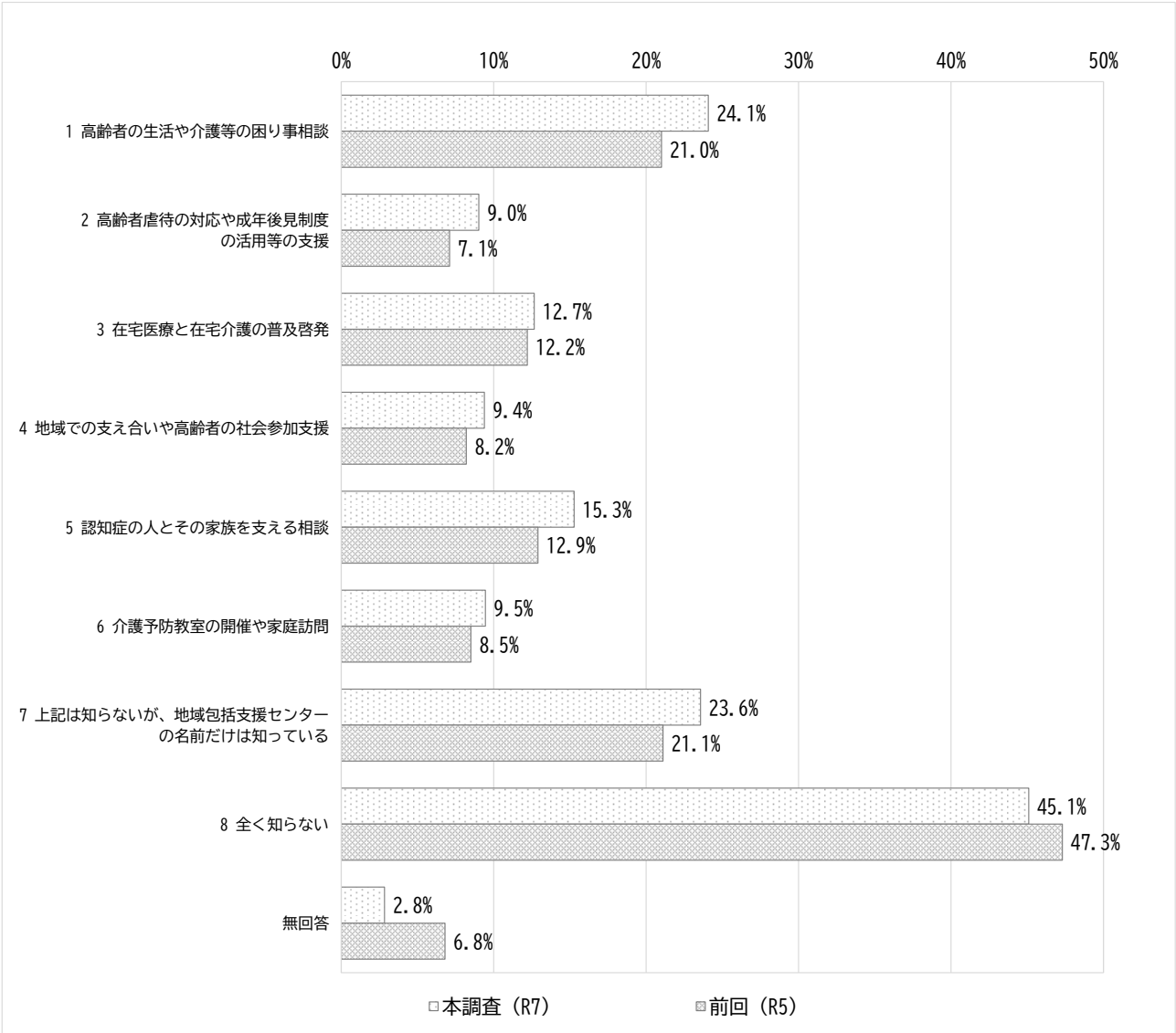
①　全体集計の結果

●地域包括支援センターの取組の認知状況について、「全く知らない」が 4 割半ば、「高齢者の生活や介護等の困り事相談」が 2 割半ば

・地域包括支援センターの取組の認知状況について、「全く知らない」が 620 人（45.1%）で最も多く、「高齢者の生活や介護等の困り事相談」が 331 人(24.1%)「上記は知らないが、地域包括支援センターの名前だけは知っている」が 324 人(23.6%)で続いている。

選択肢	本調査（R7）		前回（R5）
	回答数（人）	構成比	構成比
1 高齢者の生活や介護等の困り事相談	331	24.1%	21.0%
2 高齢者虐待の対応や成年後見制度の活用等の支援	124	9.0%	7.1%
3 在宅医療と在宅介護の普及啓発	174	12.7%	12.2%
4 地域での支え合いや高齢者の社会参加支援	129	9.4%	8.2%
5 認知症の人とその家族を支える相談	210	15.3%	12.9%
6 介護予防教室の開催や家庭訪問	130	9.5%	8.5%
7 上記は知らないが、地域包括支援センターの名前だけは知っている	324	23.6%	21.1%
8 全く知らない	620	45.1%	47.3%
無回答	39	2.8%	6.8%
全体（有効回答数）	1,375		

＜過年度調査との比較＞



問 28　あなたが、地域包括支援センターの次の取組のうち知っているものをお答えください。
＜○は当てはまるものすべて＞

② クロス集計の結果

【地区別】
・筑波地区を除いた全ての地区で「全く知らない」が最も多くなっている。
・筑波地区では「高齢者の生活や介護等の困り事相談」が最も多くなっている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区（n=87）	高齢者の生活や介護等の困り事相談		全く知らない		地域包括支援センターの名前だけは知っている		認知症の人とその家族を支える相談		在宅医療と在宅介護の普及啓発	
	31	35.6%	28	32.2%	22	25.3%	21	24.1%	14	16.1%
大穂地区（n=83）	全く知らない		地域包括支援センターの名前だけは知っている		高齢者の生活や介護等の困り事相談		認知症の人とその家族を支える相談		高齢者虐待の対応や成年後見制度の活用等の支援	
	42	50.6%	21	25.3%	20	24.1%	13	15.7%	11	13.3%
豊里地区（n=82）	全く知らない		高齢者の生活や介護等の困り事相談		地域包括支援センターの名前だけは知っている		在宅医療と在宅介護の普及啓発		認知症の人とその家族を支える相談	
	30	36.6%	23	28.0%	21	25.6%	13	15.9%	12	14.6%
谷田部地区（n=167）	全く知らない		高齢者の生活や介護等の困り事相談		地域包括支援センターの名前だけは知っている		在宅医療と在宅介護の普及啓発		認知症の人とその家族を支える相談	
	75	44.9%	45	26.9%	33	19.8%	28	16.8%	22	13.2%
桜地区（n=128）	全く知らない		地域包括支援センターの名前だけは知っている		高齢者の生活や介護等の困り事相談		在宅医療と在宅介護の普及啓発		認知症の人とその家族を支える相談	
	62	48.4%	31	24.2%	25	19.5%	14	10.9%	13	10.2%
茎崎地区（n=126）	全く知らない		高齢者の生活や介護等の困り事相談		地域包括支援センターの名前だけは知っている		認知症の人とその家族を支える相談		地域での支え合いや高齢者の社会参加支援	
	45	35.7%	41	32.5%	39	31.0%	18	14.3%	16	12.7%
研究学園地区（n=402）	全く知らない		高齢者の生活や介護等の困り事相談		地域包括支援センターの名前だけは知っている		認知症の人とその家族を支える相談		在宅医療と在宅介護の普及啓発	
	171	42.5%	101	25.1%	88	21.9%	80	19.9%	58	14.4%
ＴＸ沿線開発地区（n=298）	全く知らない		地域包括支援センターの名前だけは知っている		高齢者の生活や介護等の困り事相談		認知症の人とその家族を支える相談		介護予防教室の開催や家庭訪問	
	166	55.7%	68	22.8%	45	15.1%	31	10.4%	28	9.4%

【年齢別】
・10 歳代から 50 歳代までは「全く知らない」が最も多くなっている。
・60～64 歳と 70～74 歳では「地域包括支援センターの名前だけは知っている」、65～59 歳と 75 歳以上では「高齢者の生活や介護等の困り事相談」が最も多くなっている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
10歳代（n=33）	全く知らない		在宅医療と在宅介護の普及啓発/地域での支え合いや高齢者の社会参加支援/介護予防教室の開催や家庭訪問/地域包括支援センターの名前だけは知っている							
	24	72.7%	3						9.1%	
20歳代（n=99）	全く知らない		高齢者の生活や介護等の困り事相談		地域包括支援センターの名前だけは知っている		在宅医療と在宅介護の普及啓発		認知症の人とその家族を支える相談	
	62	62.6%	17	17.2%	14	14.1%	11	11.1%	9	9.1%
30歳代（n=207）	全く知らない		地域包括支援センターの名前だけは知っている		高齢者の生活や介護等の困り事相談		在宅医療と在宅介護の普及啓発		認知症の人とその家族を支える相談	
	126	60.9%	38	18.4%	23	11.1%	15	7.2%	14	6.8%
40歳代（n=269）	全く知らない		地域包括支援センターの名前だけは知っている		高齢者の生活や介護等の困り事相談		認知症の人とその家族を支える相談		介護予防教室の開催や家庭訪問	
	143	53.2%	54	20.1%	52	19.3%	30	11.2%	23	8.6%
50歳代（n=284）	全く知らない		高齢者の生活や介護等の困り事相談		地域包括支援センターの名前だけは知っている		認知症の人とその家族を支える相談		在宅医療と在宅介護の普及啓発	
	125	44.0%	76	26.8%	63	22.2%	55	19.4%	37	13.0%
60～64歳（n=108）	地域包括支援センターの名前だけは知っている		高齢者の生活や介護等の困り事相談/全く知らない				認知症の人とその家族を支える相談		在宅医療と在宅介護の普及啓発	
	37	34.3%	34		31.5%		23	21.3%	16	14.8%
65～69歳（n=109）	高齢者の生活や介護等の困り事相談		全く知らない		地域包括支援センターの名前だけは知っている		認知症の人とその家族を支える相談		在宅医療と在宅介護の普及啓発	
	38	34.9%	31	28.4%	30	27.5%	27	24.8%	20	18.3%
70～74歳（n=109）	地域包括支援センターの名前だけは知っている		高齢者の生活や介護等の困り事相談		全く知らない		認知症の人とその家族を支える相談		在宅医療と在宅介護の普及啓発	
	37	33.9%	36	33.0%	29	26.6%	23	21.1%	22	20.2%
75歳以上（n=125）	高齢者の生活や介護等の困り事相談		地域包括支援センターの名前だけは知っている		全く知らない		在宅医療と在宅介護の普及啓発		認知症の人とその家族を支える相談	
	43	34.4%	38	30.4%	35	28.0%	32	25.6%	22	17.6%

【世帯構成別】
・全ての世帯構成で「全く知らない」が最も多くなっており、「地域包括支援センターの名前だけは知っている」と「高齢者の生活や介護等の困り事相談」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
ひとり暮らし（n=168）	全く知らない		高齢者の生活や介護等の困り事相談		地域包括支援センターの名前だけは知っている		認知症の人とその家族を支える相談		在宅医療と在宅介護の普及啓発	
	96	57.1%	34	20.2%	28	16.7%	25	14.9%	22	13.1%
夫婦のみ（n=353）	全く知らない		高齢者の生活や介護等の困り事相談		地域包括支援センターの名前だけは知っている		認知症の人とその家族を支える相談		在宅医療と在宅介護の普及啓発	
	138	39.1%	100	28.3%	96	27.2%	59	16.7%	53	15.0%
親子（n=676）	全く知らない		地域包括支援センターの名前だけは知っている		高齢者の生活や介護等の困り事相談		認知症の人とその家族を支える相談		在宅医療と在宅介護の普及啓発	
	318	47.0%	151	22.3%	146	21.6%	99	14.6%	75	11.1%
三世代同居（n=80）	全く知らない		高齢者の生活や介護等の困り事相談		地域包括支援センターの名前だけは知っている		認知症の人とその家族を支える相談		在宅医療と在宅介護の普及啓発	
	28	35.0%	27	33.8%	19	23.8%	14	17.5%	13	16.3%
その他（n=59）	全く知らない		地域包括支援センターの名前だけは知っている		高齢者の生活や介護等の困り事相談		在宅医療と在宅介護の普及啓発/認知症の人とその家族を支える相談			
	27	45.8%	16	27.1%	13	22.0%	7		11.9%	

【世帯に含む人別】
・65～74 歳の方を含む世帯を除いた全ての世帯で「全く知らない」が最も多くなっている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
6歳未満の乳幼児（n=171）	全く知らない		地域包括支援センターの名前だけは知っている		高齢者の生活や介護等の困り事相談		認知症の人とその家族を支える相談		介護予防教室の開催や家庭訪問	
	92	53.8%	36	21.1%	27	15.8%	19	11.1%	16	9.4%
小中学生（n=282）	全く知らない		高齢者の生活や介護等の困り事相談		地域包括支援センターの名前だけは知っている		認知症の人とその家族を支える相談		介護予防教室の開催や家庭訪問	
	145	51.4%	57	20.2%	56	19.9%	36	12.8%	30	10.6%
65～74歳の方（n=262）	高齢者の生活や介護等の困り事相談		全く知らない		地域包括支援センターの名前だけは知っている		認知症の人とその家族を支える相談		在宅医療と在宅介護の普及啓発	
	89	34.0%	84	32.1%	71	27.1%	55	21.0%	46	17.6%
75歳以上の方（n=246）	全く知らない		高齢者の生活や介護等の困り事相談		地域包括支援センターの名前だけは知っている		認知症の人とその家族を支える相談		在宅医療と在宅介護の普及啓発	
	84	34.1%	76	30.9%	66	26.8%	48	19.5%	46	18.7%

５　防災対策・防犯活動について

問 29　あなたが、防災対策として実践しているものはありますか。　　＜○は当てはまるものすべて＞

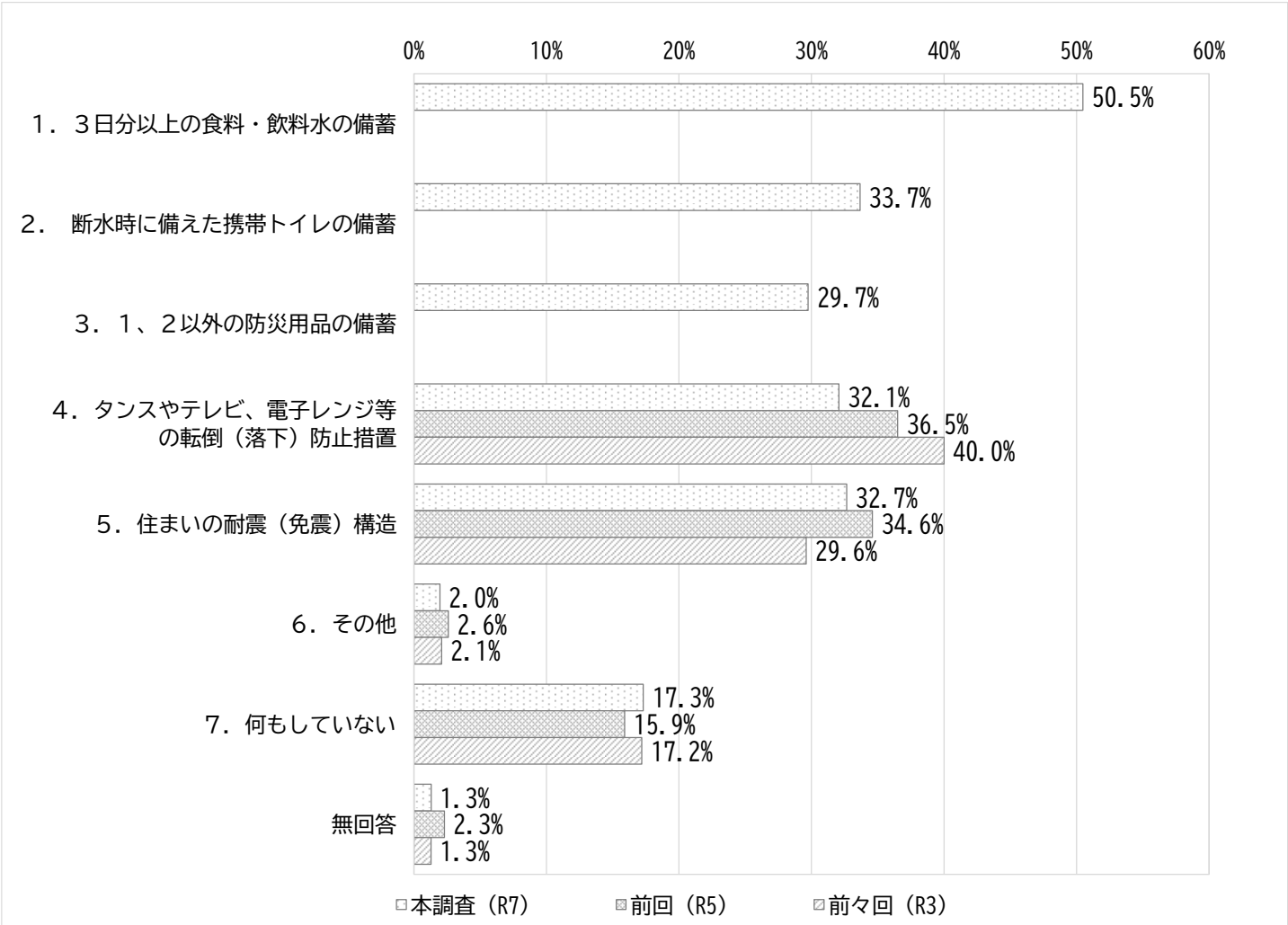
①　全体集計の結果

●防災対策として実施しているものは、「３日分以上の食料・飲料水の備蓄」が約５割

・防災対策として実施しているものについては、「３日分以上の食料・飲料水の備蓄」が 694 人(50.5%)で最も多く、「断水時に備えた携帯トイレの備蓄」が 463 人(33.7%)、「住まいの耐震（免震）構造」が 449 人(32.7%)で続いている。
・前回までは、「防災用品や食料・水の備蓄」という選択肢があったが、本調査では１～３の選択肢として細分化した。

選択肢	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
1 ３日分以上の食料・飲料水の備蓄	694	50.5%	－	－
2 断水時に備えた携帯トイレの備蓄	463	33.7%	－	－
3 １、２以外の防災用品の備蓄	409	29.7%	－	－
4 タンスやテレビ、電子レンジ等の転倒（落下）防止措置	441	32.1%	36.5%	40.0%
5 住まいの耐震（免震）構造	449	32.7%	34.6%	29.6%
6 その他	27	2.0%	2.6%	2.1%
7 何もしていない	238	17.3%	15.9%	17.2%
無回答	18	1.3%	2.3%	1.3%
全体（有効回答数）	1,375			

＜過年度調査との比較＞



問 29　あなたが、防災対策として実践しているものはありますか。　＜○は当てはまるものすべて＞

② クロス集計の結果

【地区別】

・全ての地区で「３日分以上の食料・飲料水の備蓄」が最も多い。

回答順	１位	２位	３位	４位	５位
筑波地区（n=87）	３日分以上の食料・飲料水の備蓄	何もしていない	住まいの耐震（免震）構造	１、２以外の防災用品の備蓄	断水時に備えた携帯トイレの備蓄
	42　48.3%	21　24.1%	19　21.8%	15　17.2%	14　16.1%
大穂地区（n=83）	３日分以上の食料・飲料水の備蓄	タンスやテレビ、電子レンジ等の転倒（落下）防止措置	何もしていない	１、２以外の防災用品の備蓄	断水時に備えた携帯トイレの備蓄
	34　41.0%	26　31.3%	25　30.1%	22　26.5%	15　18.1%
豊里地区（n=82）	３日分以上の食料・飲料水の備蓄	タンスやテレビ、電子レンジ等の転倒（落下）防止措置	何もしていない	住まいの耐震（免震）構造	１、２以外の防災用品の備蓄
	32　39.0%	26　31.7%	23　28.0%	21　25.6%	17　20.7%
谷田部地区（n=167）	３日分以上の食料・飲料水の備蓄	タンスやテレビ、電子レンジ等の転倒（落下）防止措置	住まいの耐震（免震）構造	１、２以外の防災用品の備蓄	断水時に備えた携帯トイレの備蓄
	75　44.9%	53　31.7%	51　30.5%	39　23.4%	37　22.2%
桜地区（n=128）	３日分以上の食料・飲料水の備蓄	タンスやテレビ、電子レンジ等の転倒（落下）防止措置	断水時に備えた携帯トイレの備蓄	住まいの耐震（免震）構造	１、２以外の防災用品の備蓄
	65　50.8%	42　32.8%	39　30.5%	37　28.9%	36　28.1%
茎崎地区（n=126）	３日分以上の食料・飲料水の備蓄	タンスやテレビ、電子レンジ等の転倒（落下）防止措置	断水時に備えた携帯トイレの備蓄	１、２以外の防災用品の備蓄	住まいの耐震（免震）構造
	65　51.6%	43　34.1%	34　27.0%	33　26.2%	30　23.8%
研究学園地区（n=402）	３日分以上の食料・飲料水の備蓄	断水時に備えた携帯トイレの備蓄	タンスやテレビ、電子レンジ等の転倒（落下）防止措置	１、２以外の防災用品の備蓄	住まいの耐震（免震）構造
	225　56.0%	177　44.0%	145　36.1%	140　34.8%	122　30.3%
ＴＸ沿線開発地区（n=298）	３日分以上の食料・飲料水の備蓄	住まいの耐震（免震）構造	断水時に備えた携帯トイレの備蓄	１、２以外の防災用品の備蓄	タンスやテレビ、電子レンジ等の転倒（落下）防止措置
	155　52.0%	153　51.3%	133　44.6%	105　35.2%	90　30.2%

【年齢別】

・全ての年齢で「３日分以上の食料・飲料水の備蓄」が最も多い。

・次点には、10 歳代と 20 歳代では「何もしていない」、30～40 歳代では「断水時に備えた携帯トイレの備蓄」、50 歳以上では、タンスやテレビ、電子レンジ等の転倒（落下）防止措置が入っている。

回答順	１位	２位	３位	４位	５位
10歳代（n=33）	３日分以上の食料・飲料水の備蓄	何もしていない	住まいの耐震（免震）構造	断水時に備えた携帯トイレの備蓄/タンスやテレビ、電子レンジ等の転倒（落下）防止措置	
	15　45.5%	13　39.4%	8　24.2%	7	21.2%
20歳代（n=99）	３日分以上の食料・飲料水の備蓄	何もしていない	１、２以外の防災用品の備蓄	住まいの耐震（免震）構造	タンスやテレビ、電子レンジ等の転倒（落下）防止措置
	44　44.4%	29　29.3%	26　26.3%	25　25.3%	24　24.2%
30歳代（n=207）	３日分以上の食料・飲料水の備蓄	断水時に備えた携帯トイレの備蓄/住まいの耐震（免震）構造		１、２以外の防災用品の備蓄	タンスやテレビ、電子レンジ等の転倒（落下）防止措置
	99　47.8%	89　43.0%		66　31.9%	50　24.2%
40歳代（n=269）	３日分以上の食料・飲料水の備蓄	断水時に備えた携帯トイレの備蓄	住まいの耐震（免震）構造	１、２以外の防災用品の備蓄	タンスやテレビ、電子レンジ等の転倒（落下）防止措置
	121　45.0%	114　42.4%	108　40.1%	91　33.8%	64　23.8%
50歳代（n=284）	３日分以上の食料・飲料水の備蓄	タンスやテレビ、電子レンジ等の転倒（落下）防止措置	断水時に備えた携帯トイレの備蓄	１、２以外の防災用品の備蓄	住まいの耐震（免震）構造
	154　54.2%	110　38.7%	98　34.5%	93　32.7%	84　29.6%
60～64歳（n=108）	３日分以上の食料・飲料水の備蓄	タンスやテレビ、電子レンジ等の転倒（落下）防止措置	住まいの耐震（免震）構造	断水時に備えた携帯トイレの備蓄	１、２以外の防災用品の備蓄
	58　53.7%	46　42.6%	38　35.2%	33　30.6%	31　28.7%
65～69歳（n=109）	３日分以上の食料・飲料水の備蓄	タンスやテレビ、電子レンジ等の転倒（落下）防止措置	断水時に備えた携帯トイレの備蓄	住まいの耐震（免震）構造	１、２以外の防災用品の備蓄
	58　53.2%	31　28.4%	29　26.6%	28　25.7%	25　22.9%
70～74歳（n=109）	３日分以上の食料・飲料水の備蓄	タンスやテレビ、電子レンジ等の転倒（落下）防止措置	断水時に備えた携帯トイレの備蓄	１、２以外の防災用品の備蓄/住まいの耐震（免震）構造	
	59　54.1%	47　43.1%	30　27.5%	26	23.9%
75歳以上（n=125）	３日分以上の食料・飲料水の備蓄	タンスやテレビ、電子レンジ等の転倒（落下）防止措置	１、２以外の防災用品の備蓄	住まいの耐震（免震）構造	断水時に備えた携帯トイレの備蓄
	75　60.0%	51　40.8%	39　31.2%	37　29.6%	32　25.6%

【世帯構成別】
・いずれの世帯構成でも「３日分以上の食料・飲料水の備蓄」が最も多い。
・ひとり暮らしとその他では「何もしていない」が上位に入っている。

回答順	１位		２位		３位		４位		５位	
ひとり暮らし（n=168）	３日分以上の食料・飲料水の備蓄		断水時に備えた携帯トイレの備蓄/何もしていない				１、２以外の防災用品の備蓄		タンスやテレビ、電子レンジ等の転倒（落下）防止措置	
	72	42.9%	52		31.0%		40	23.8%	37	22.0%
夫婦のみ（n=353）	３日分以上の食料・飲料水の備蓄		タンスやテレビ、電子レンジ等の転倒（落下）防止措置		断水時に備えた携帯トイレの備蓄		１、２以外の防災用品の備蓄		住まいの耐震（免震）構造	
	201	56.9%	155	43.9%	125	35.4%	121	34.3%	119	33.7%
親子（n=676）	３日分以上の食料・飲料水の備蓄		住まいの耐震（免震）構造		断水時に備えた携帯トイレの備蓄		タンスやテレビ、電子レンジ等の転倒（落下）防止措置		１、２以外の防災用品の備蓄	
	331	49.0%	266	39.3%	245	36.2%	206	30.5%	203	30.0%
三世代同居（n=80）	３日分以上の食料・飲料水の備蓄		１、２以外の防災用品の備蓄		タンスやテレビ、電子レンジ等の転倒（落下）防止措置		住まいの耐震（免震）構造		何もしていない	
	42	52.5%	25	31.3%	22	27.5%	18	22.5%	16	20.0%
その他（n=59）	３日分以上の食料・飲料水の備蓄		何もしていない		断水時に備えた携帯トイレの備蓄		住まいの耐震（免震）構造		１、２以外の防災用品の備蓄	
	31	52.5%	14	23.7%	13	22.0%	12	20.3%	11	18.6%

【住まい別】
・公営住宅を除く全ての住まいで「３日分以上の食料・飲料水の備蓄」が最も多い。なお、一戸建（借家）では「何もしていない」が同率１位、その他では「１，２以外の防災用品の備蓄」と「何もしていない」が同率１位である。
・公営住宅では「何もしていない」が最も多い。

回答順	１位		２位		３位		４位		５位	
一戸建（持ち家）（n=897）	３日分以上の食料・飲料水の備蓄		住まいの耐震（免震）構造		タンスやテレビ、電子レンジ等の転倒（落下）防止措置		断水時に備えた携帯トイレの備蓄		１、２以外の防災用品の備蓄	
	460	51.3%	346	38.6%	290	32.3%	266	29.7%	256	28.5%
一戸建（借家）（n=30）	３日分以上の食料・飲料水の備蓄/何もしていない				１、２以外の防災用品の備蓄		断水時に備えた携帯トイレの備蓄		タンスやテレビ、電子レンジ等の転倒（落下）防止措置	
	11		36.7%		10	33.3%	8	26.7%	7	23.3%
集合住宅（分譲）（n=132）	３日分以上の食料・飲料水の備蓄		断水時に備えた携帯トイレの備蓄		住まいの耐震（免震）構造		タンスやテレビ、電子レンジ等の転倒（落下）防止措置		１、２以外の防災用品の備蓄	
	84	63.6%	68	51.5%	66	50.0%	57	43.2%	54	40.9%
集合住宅（賃貸）（n=241）	３日分以上の食料・飲料水の備蓄		断水時に備えた携帯トイレの備蓄		１、２以外の防災用品の備蓄		タンスやテレビ、電子レンジ等の転倒（落下）防止措置		何もしていない	
	110	45.6%	96	39.8%	71	29.5%	65	27.0%	54	22.4%
公営住宅（公社・県営・市営）（n=11）	何もしていない		３日分以上の食料・飲料水の備蓄		１、２以外の防災用品の備蓄		断水時に備えた携帯トイレの備蓄/タンスやテレビ、電子レンジ等の転倒（落下）防止措置			
	7	63.6%	3	27.3%	2	18.2%	1		9.1%	
社宅・官舎（n=16）	３日分以上の食料・飲料水の備蓄		タンスやテレビ、電子レンジ等の転倒（落下）防止措置		何もしていない		断水時に備えた携帯トイレの備蓄		１、２以外の防災用品の備蓄	
	8	50.0%	7	43.8%	6	37.5%	5	31.3%	3	18.8%
その他（n=13）	３日分以上の食料・飲料水の備蓄/１、２以外の防災用品の備蓄/何もしていない						断水時に備えた携帯トイレの備蓄		住まいの耐震（免震）構造	
	5				38.5%		4	30.8%	2	15.4%

問 30　あなたは、地域の住民が協力して行う防犯活動（防犯ボランティアなど）に参加していますか。＜○は１つ＞

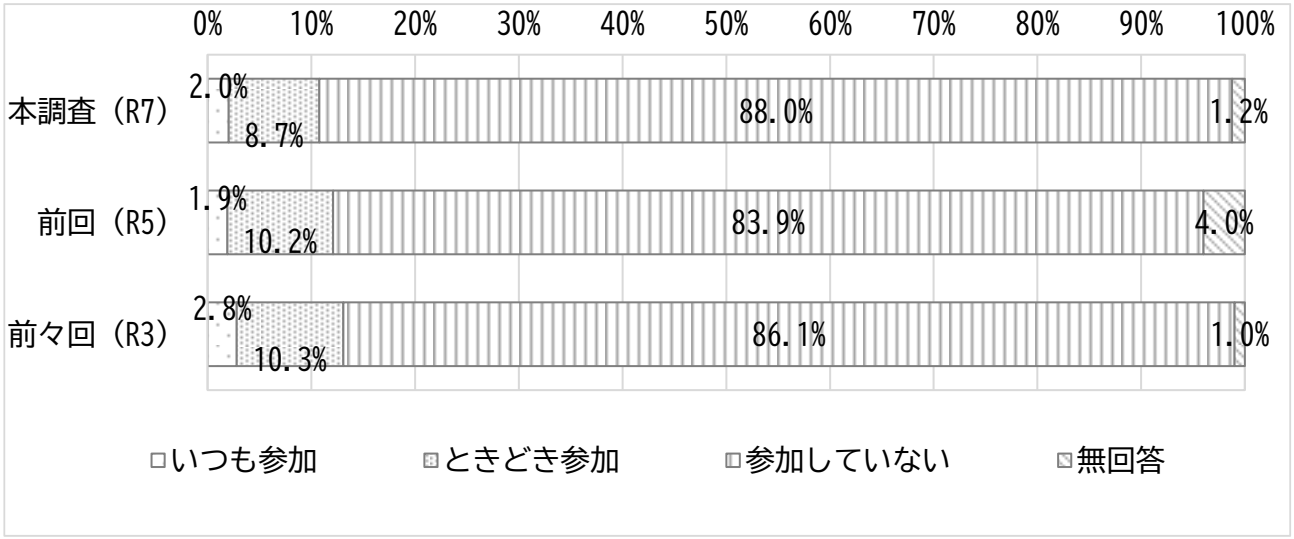
①　全体集計の結果

●防犯活動に「参加していない」が約８割

・防犯活動への参加については、「参加していない」が 1,210 人(88.0%)で最も多く、「ときどき参加」が 120 人(8.7%)、「いつも参加」が 28 人(2.0%)で続いている。

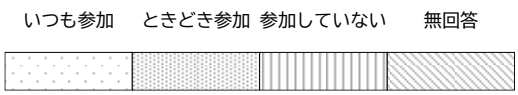
選択肢	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
いつも参加	28	2.0%	1.9%	2.8%
ときどき参加	120	8.7%	10.2%	10.3%
参加していない	1,210	88.0%	83.9%	86.1%
無回答	17	1.2%	4.0%	1.0%
全体	1,375	100.0%	100.0%	100.0%

＜過年度調査との比較＞



問 30　あなたは、地域の住民が協力して行う防犯活動（防犯ボランティアなど）に参加していますか。＜○は１つ＞

②　クロス集計の結果



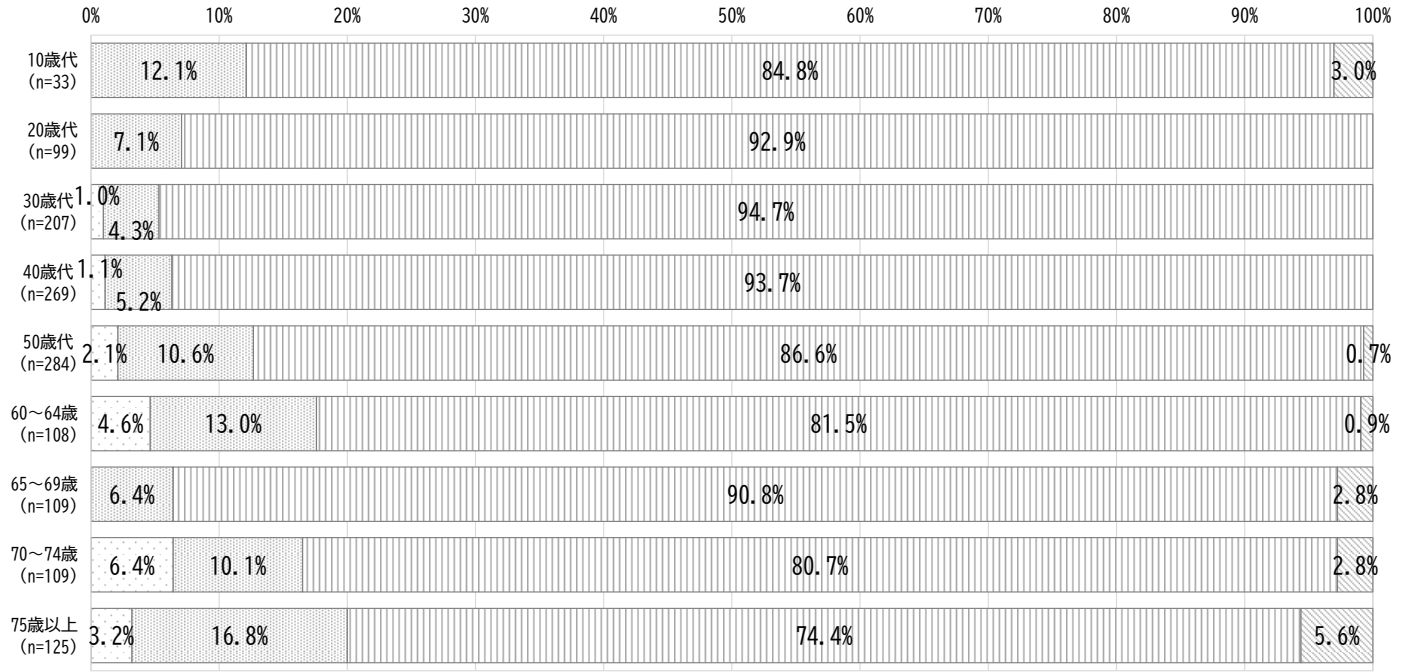
【地区別】

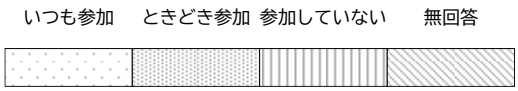
・全地区で「参加していない」の割合が 75%を超えている。
・「いつも参加/ときどき参加」の割合が 10%を上回っているのは豊里地区、谷田部地区、桜地区、茎崎地区である。



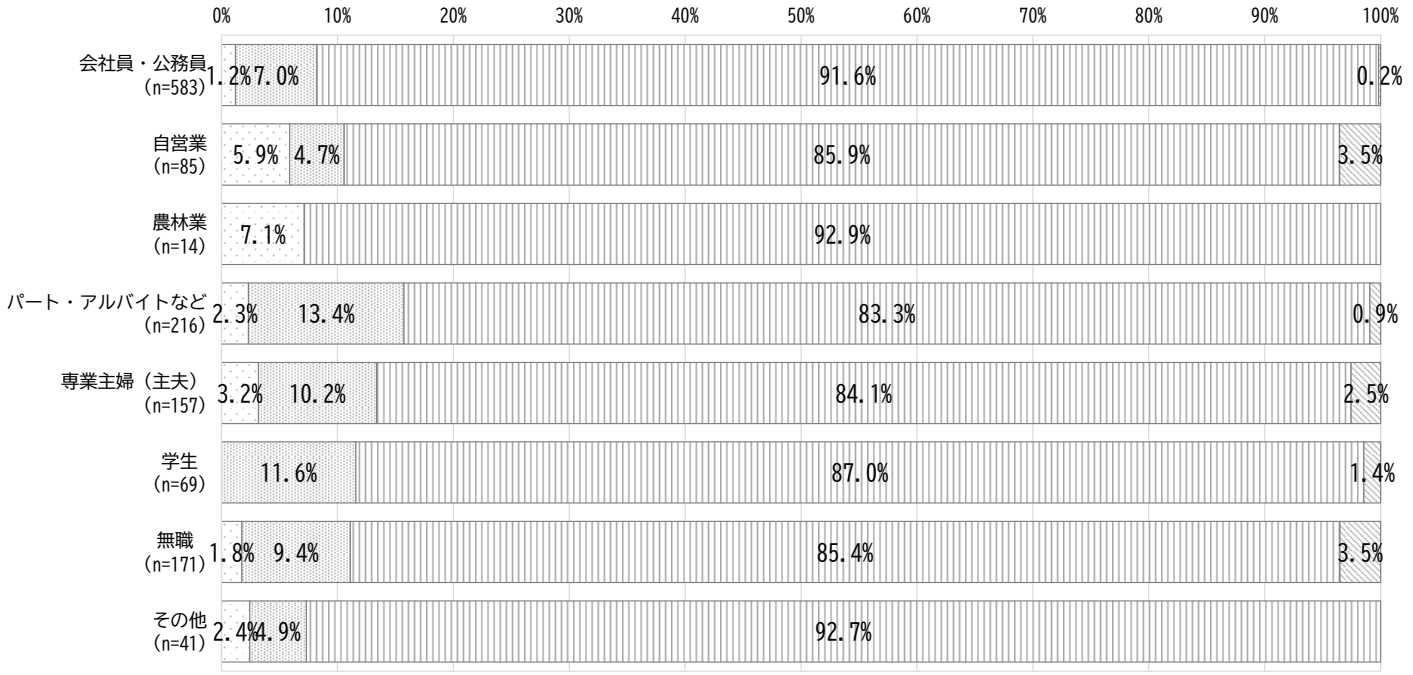
【年齢別】

・全ての年齢で「参加していない」の割合が最も多くなっている。
・75 歳以上では「いつも参加/ときどき参加」の割合が 20%である。
・20～40 歳代、65～69 歳では「いつも参加/ときどき参加」の割合が 10%を下回っている。

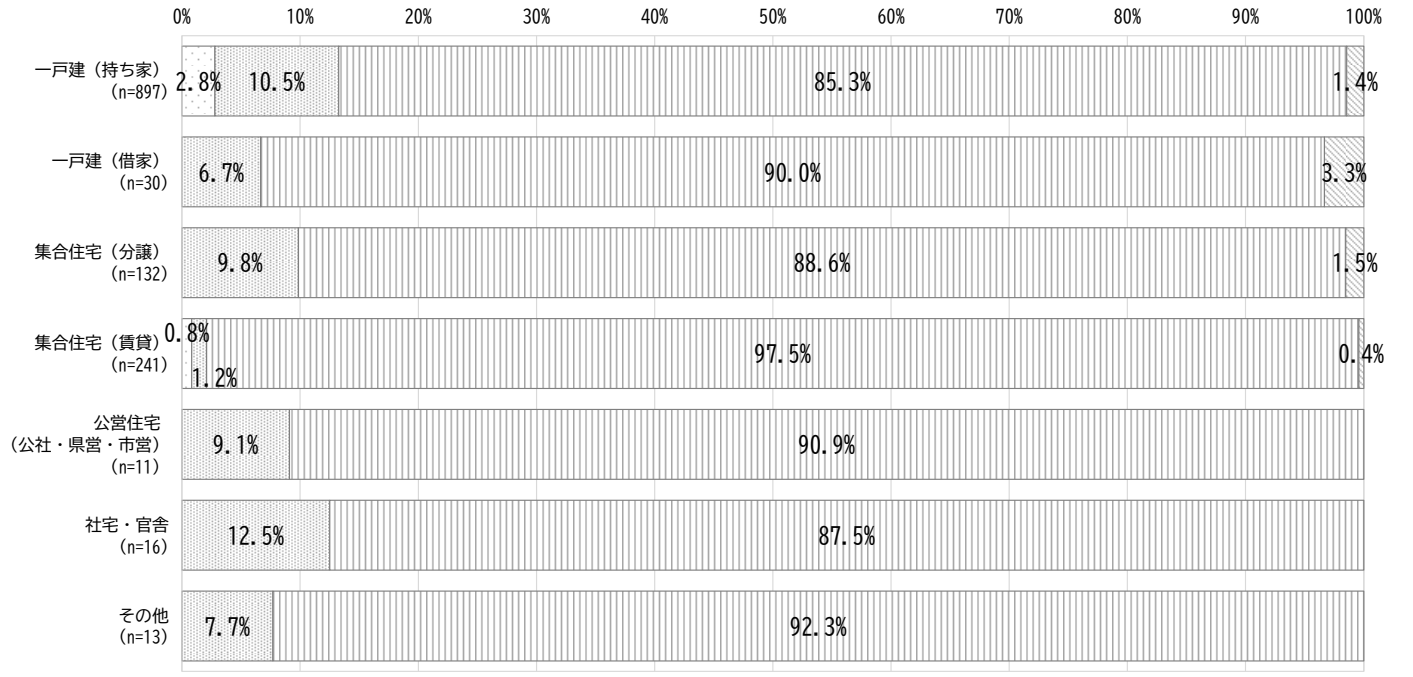




【職業別】
・いずれの職業でも「参加していない」の割合が 80%を超えている。
・「いつも参加」の割合が最も多いのは農林業であり、次いで自営業である。



【住まい別】
・一戸建（借家）、集合住宅（賃貸）、公営住宅、その他では「参加していない」の割合が 90%以上である。
・一戸建（持ち家）では「いつも参加/ときどき参加」の割合が 13.3%で最も多い。



【問 30 で「３　参加していない」とお答えの方にお聞きします】
問 31　防犯活動に参加しない理由は何ですか。　＜○は１つ＞

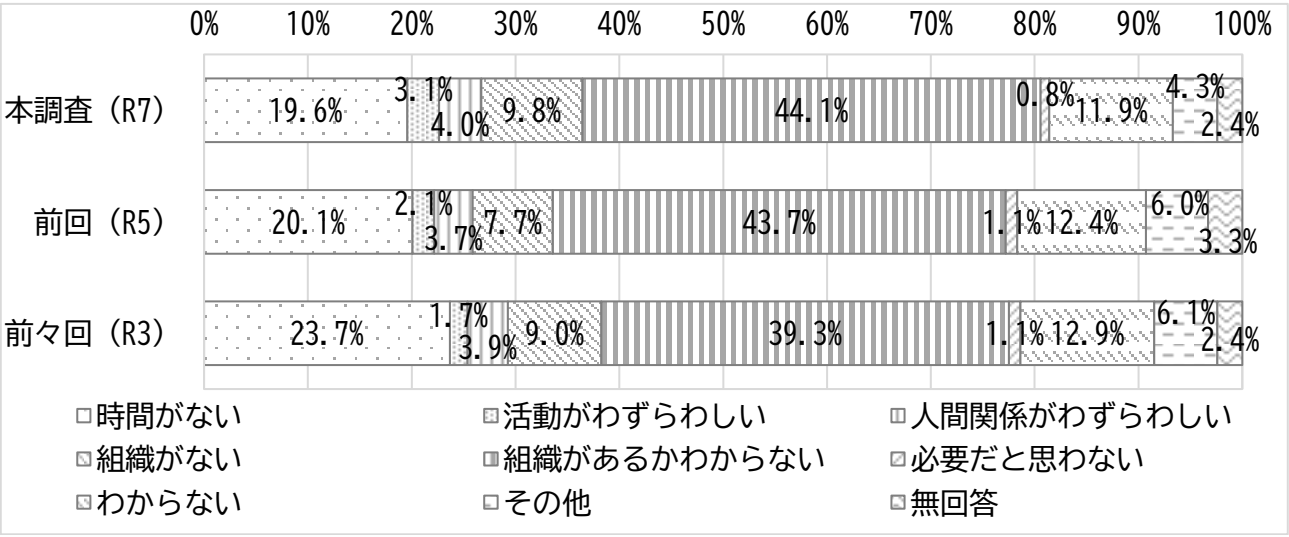
①　全体集計の結果

●防犯活動に参加しない理由は、「組織があるかわからない」が約４割

・防犯活動に参加しない理由は、「組織があるかわからない」が 534 人(44.1%)で最も多く、「時間がない」が 237 人(19.6%)、「わからない」が 144 人(11.9%)で続いている。

選択肢	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
時間がない	237	19.6%	20.1%	23.6%
活動がわずらわしい	37	3.1%	2.1%	1.7%
人間関係がわずらわしい	49	4.0%	3.7%	3.8%
組織がない	118	9.8%	7.7%	9.0%
組織があるかわからない	534	44.1%	43.7%	39.3%
必要だと思わない	10	0.8%	1.1%	1.1%
わからない	144	11.9%	12.4%	12.9%
その他	52	4.3%	6.0%	6.2%
無回答	29	2.4%	3.3%	2.4%
全体	1,210	100.0%	100.0%	100.0%

＜過年度調査との比較＞



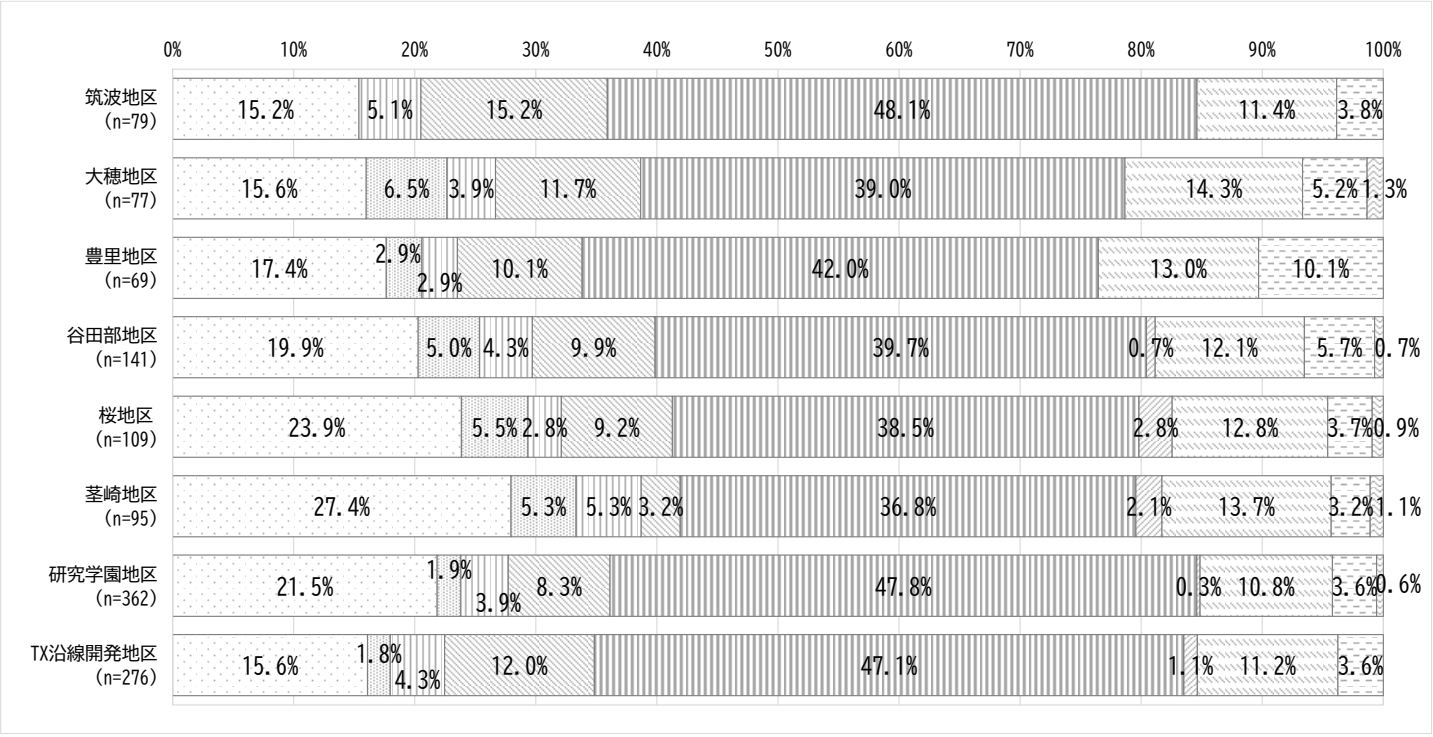
【問 30 で「３　参加していない」とお答えの方にお聞きします】
問 31　防犯活動に参加しない理由は何ですか。　＜○は１つ＞

② クロス集計

時間がない / 活動がわずらわしい / 人間関係がわずらわしい / 組織がない / 組織があるかわからない / 必要だと思わない / わからない / その他 / 無回答

【地区別】

・全ての地区で「組織があるかわからない」の割合が最も多く、35％を超えている。

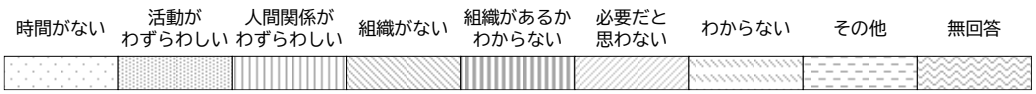


【年齢別】

・全ての年齢で「組織があるかわからない」の割合が最も多く、35％を超えている。

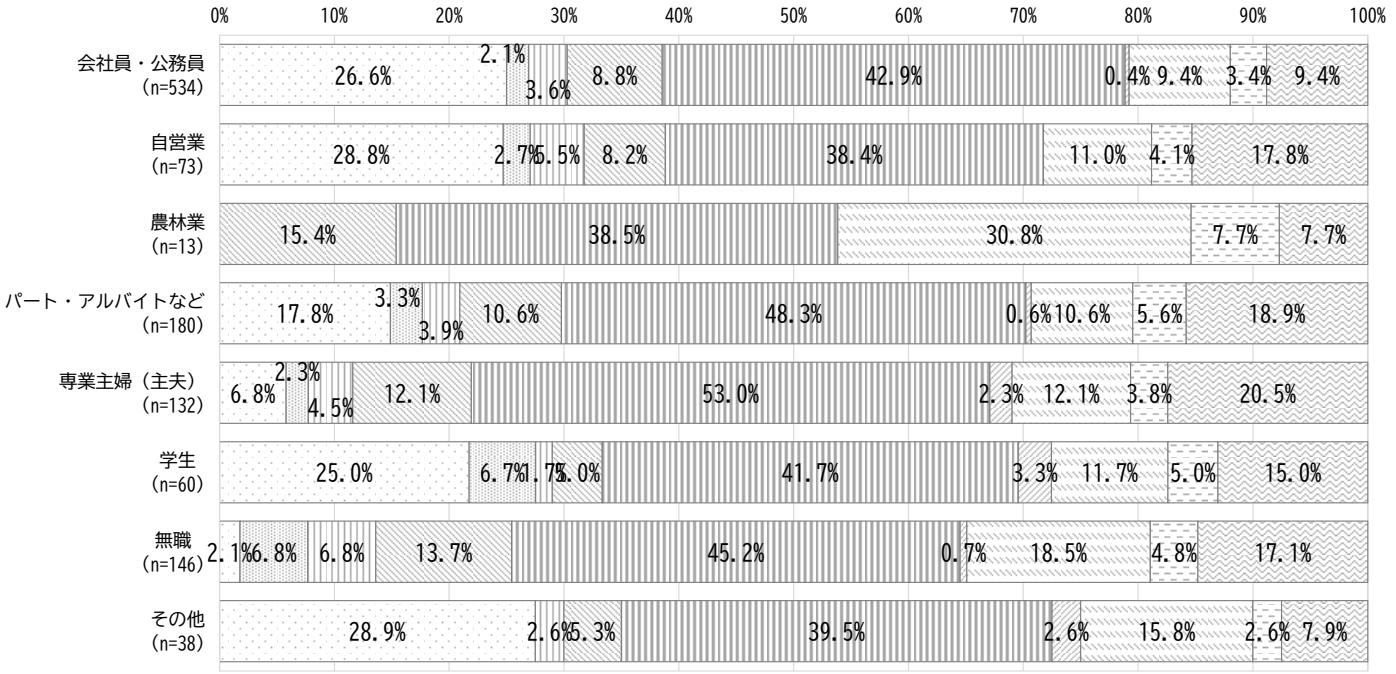
・50 歳代以下では、「時間がない」の割合が 20％を超えている。





【職業別】

・全ての職業で「組織があるかわからない」の割合が最も多く、30％を超えている。



【住まい別】

・一戸建（借家）と社宅・官舎を除いた全ての住まいで「組織があるかわからない」の割合が 40％以上である。



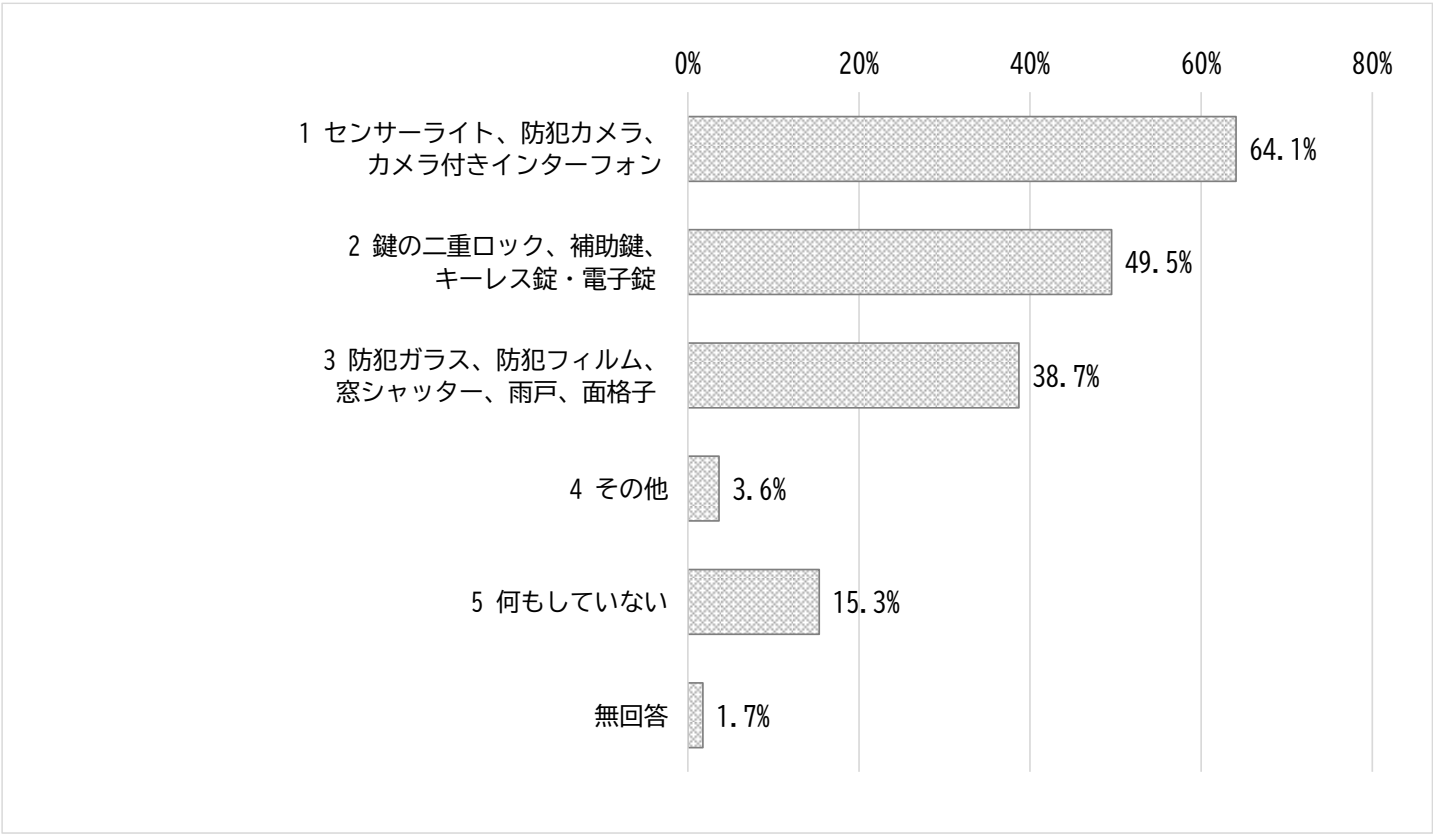
問 32　あなたが、住居の防犯対策として実践しているものはありますか。　＜○は当てはまるものすべて＞

①　全体集計の結果

●防犯対策の実践として、「センサーライト、防犯カメラ、カメラ付きインターフォン」が約６割

・「センサーライト、防犯カメラ、カメラ付きインターフォン」が 881 人（64.1%）と最も多く、「鍵の二重ロック、補助鍵、キーレス錠・電子錠」が 681 人（49.5%）、「防犯ガラス、防犯フィルム、窓シャッター、雨戸、面格子」が 532 人（38.7%）と続いている。

選択肢	本調査（R7）	
	回答数（人）	構成比
1 センサーライト、防犯カメラ、カメラ付きインターフォン	881	64.1%
2 鍵の二重ロック、補助鍵、キーレス錠・電子錠	681	49.5%
3 防犯ガラス、防犯フィルム、窓シャッター、雨戸、面格子	532	38.7%
4 その他	50	3.6%
5 何もしていない	211	15.3%
無回答	24	1.7%
全体（有効回答数）	1,375	



問 32　あなたが、住居の防犯対策として実践しているものはありますか。　　＜○は当てはまるものすべて＞

② クロス集計の結果

【地区別】

・いずれの地区でも「センサーライト、防犯カメラ、カメラ付きインターフォン」が最も多い。

回答順	1位		2位		3位	
筑波地区（n=87）	センサーライト、防犯カメラ、カメラ付きインターフォン		鍵の二重ロック、補助鍵、キーレス錠・電子錠/防犯ガラス、防犯フィルム、窓シャッター、雨戸、面格子			
	58	66.7%	25		28.7%	
大穂地区（n=83）	センサーライト、防犯カメラ、カメラ付きインターフォン		防犯ガラス、防犯フィルム、窓シャッター、雨戸、面格子		鍵の二重ロック、補助鍵、キーレス錠・電子錠	
	59	71.1%	31	37.3%	29	34.9%
豊里地区（n=82）	センサーライト、防犯カメラ、カメラ付きインターフォン		鍵の二重ロック、補助鍵、キーレス錠・電子錠		防犯ガラス、防犯フィルム、窓シャッター、雨戸、面格子	
	54	65.9%	38	46.3%	26	31.7%
谷田部地区（n=167）	センサーライト、防犯カメラ、カメラ付きインターフォン		鍵の二重ロック、補助鍵、キーレス錠・電子錠		防犯ガラス、防犯フィルム、窓シャッター、雨戸、面格子	
	110	65.9%	74	44.3%	58	34.7%
桜地区（n=128）	センサーライト、防犯カメラ、カメラ付きインターフォン		鍵の二重ロック、補助鍵、キーレス錠・電子錠		防犯ガラス、防犯フィルム、窓シャッター、雨戸、面格子	
	89	69.5%	61	47.7%	58	45.3%
茎崎地区（n=126）	センサーライト、防犯カメラ、カメラ付きインターフォン		防犯ガラス、防犯フィルム、窓シャッター、雨戸、面格子		鍵の二重ロック、補助鍵、キーレス錠・電子錠	
	82	65.1%	56	44.4%	53	42.1%
研究学園地区（n=402）	センサーライト、防犯カメラ、カメラ付きインターフォン		鍵の二重ロック、補助鍵、キーレス錠・電子錠		防犯ガラス、防犯フィルム、窓シャッター、雨戸、面格子	
	233	58.0%	210	52.2%	130	32.3%
ＴＸ沿線開発地区（n=298）	センサーライト、防犯カメラ、カメラ付きインターフォン		鍵の二重ロック、補助鍵、キーレス錠・電子錠		防犯ガラス、防犯フィルム、窓シャッター、雨戸、面格子	
	195	65.4%	190	63.8%	146	49.0%

【年齢別】

・20 歳代以上では「センサーライト、防犯カメラ、カメラ付きインターフォン」が最も多く、10 歳代では「鍵の二重ロック、補助鍵、キーレス錠・電子錠」が最も多い。

回答順	1位		2位		3位	
10歳代（n=33）	鍵の二重ロック、補助鍵、キーレス錠・電子錠		センサーライト、防犯カメラ、カメラ付きインターフォン		防犯ガラス、防犯フィルム、窓シャッター、雨戸、面格子	
	15	45.5%	14	42.4%	13	39.4%
20歳代（n=99）	センサーライト、防犯カメラ、カメラ付きインターフォン		鍵の二重ロック、補助鍵、キーレス錠・電子錠		防犯ガラス、防犯フィルム、窓シャッター、雨戸、面格子	
	52	52.5%	35	35.4%	29	29.3%
30歳代（n=207）	センサーライト、防犯カメラ、カメラ付きインターフォン		鍵の二重ロック、補助鍵、キーレス錠・電子錠		防犯ガラス、防犯フィルム、窓シャッター、雨戸、面格子	
	129	62.3%	121	58.5%	92	44.4%
40歳代（n=269）	センサーライト、防犯カメラ、カメラ付きインターフォン		鍵の二重ロック、補助鍵、キーレス錠・電子錠		防犯ガラス、防犯フィルム、窓シャッター、雨戸、面格子	
	168	62.5%	143	53.2%	111	41.3%
50歳代（n=284）	センサーライト、防犯カメラ、カメラ付きインターフォン		鍵の二重ロック、補助鍵、キーレス錠・電子錠		防犯ガラス、防犯フィルム、窓シャッター、雨戸、面格子	
	197	69.4%	155	54.6%	101	35.6%
60～64歳（n=108）	センサーライト、防犯カメラ、カメラ付きインターフォン		鍵の二重ロック、補助鍵、キーレス錠・電子錠		防犯ガラス、防犯フィルム、窓シャッター、雨戸、面格子	
	80	74.1%	54	50.0%	46	42.6%
65～69歳（n=109）	センサーライト、防犯カメラ、カメラ付きインターフォン		鍵の二重ロック、補助鍵、キーレス錠・電子錠		防犯ガラス、防犯フィルム、窓シャッター、雨戸、面格子	
	72	66.1%	44	40.4%	36	33.0%
70～74歳（n=109）	センサーライト、防犯カメラ、カメラ付きインターフォン		鍵の二重ロック、補助鍵、キーレス錠・電子錠		防犯ガラス、防犯フィルム、窓シャッター、雨戸、面格子	
	76	69.7%	49	45.0%	41	37.6%
75歳以上（n=125）	センサーライト、防犯カメラ、カメラ付きインターフォン		鍵の二重ロック、補助鍵、キーレス錠・電子錠		防犯ガラス、防犯フィルム、窓シャッター、雨戸、面格子	
	72	57.6%	54	43.2%	47	37.6%

【世帯別】
・いずれの世帯でも「センサーライト、防犯カメラ、カメラ付きインターフォン」が最も多い。
・ひとり暮らしの３位には「何もしていない」が入っている。

回答順	１位		２位		３位	
ひとり暮らし（n=168）	センサーライト、防犯カメラ、カメラ付きインターフォン		鍵の二重ロック、補助鍵、キーレス錠・電子錠		何もしていない	
	77	45.8%	63	37.5%	50	29.8%
夫婦のみ（n=353）	センサーライト、防犯カメラ、カメラ付きインターフォン		鍵の二重ロック、補助鍵、キーレス錠・電子錠		防犯ガラス、防犯フィルム、窓シャッター、雨戸、面格子	
	236	66.9%	197	55.8%	147	41.6%
親子（n=676）	センサーライト、防犯カメラ、カメラ付きインターフォン		鍵の二重ロック、補助鍵、キーレス錠・電子錠		防犯ガラス、防犯フィルム、窓シャッター、雨戸、面格子	
	444	65.7%	361	53.4%	297	43.9%
三世代同居（n=80）	センサーライト、防犯カメラ、カメラ付きインターフォン		防犯ガラス、防犯フィルム、窓シャッター、雨戸、面格子		鍵の二重ロック、補助鍵、キーレス錠・電子錠	
	56	70.0%	27	33.8%	25	31.3%
その他（n=59）	センサーライト、防犯カメラ、カメラ付きインターフォン		鍵の二重ロック、補助鍵、キーレス錠・電子錠		防犯ガラス、防犯フィルム、窓シャッター、雨戸、面格子	
	44	74.6%	22	37.3%	17	28.8%

【住まい別】
・一戸建（持ち家）、集合住宅（分譲）、集合住宅（賃貸）では防犯対策がなされていることが多い。
・一戸建（借家）、公営住宅、社宅・官舎では「何もしていない」が最も多い。

回答順	１位		２位		３位	
一戸建（持ち家）（n=897）	センサーライト、防犯カメラ、カメラ付きインターフォン		鍵の二重ロック、補助鍵、キーレス錠・電子錠		防犯ガラス、防犯フィルム、窓シャッター、雨戸、面格子	
	641	71.5%	477	53.2%	439	48.9%
一戸建（借家）（n=30）	何もしていない		センサーライト、防犯カメラ、カメラ付きインターフォン		鍵の二重ロック、補助鍵、キーレス錠・電子錠	
	12	40.0%	10	33.3%	7	23.3%
集合住宅（分譲）（n=132）	鍵の二重ロック、補助鍵、キーレス錠・電子錠		センサーライト、防犯カメラ、カメラ付きインターフォン		防犯ガラス、防犯フィルム、窓シャッター、雨戸、面格子	
	88	66.7%	86	65.2%	29	22.0%
集合住宅（賃貸）（n=241）	センサーライト、防犯カメラ、カメラ付きインターフォン		鍵の二重ロック、補助鍵、キーレス錠・電子錠		何もしていない	
	109	45.2%	84	34.9%	79	32.8%
公営住宅（公社・県営・市営）（n=11）	何もしていない		防犯ガラス、防犯フィルム、窓シャッター、雨戸、面格子/その他			
	8	72.7%	1		1	9.1%
社宅・官舎（n=16）	何もしていない		鍵の二重ロック、補助鍵、キーレス錠・電子錠		センサーライト、防犯カメラ、カメラ付きインターフォン	
	7	43.8%	6	37.5%	3	18.8%
その他（n=13）	センサーライト、防犯カメラ、カメラ付きインターフォン		鍵の二重ロック、補助鍵、キーレス錠・電子錠		防犯ガラス、防犯フィルム、窓シャッター、雨戸、面格子	
	9	69.2%	6	46.2%	2	15.4%

6　交通環境について

問 33　あなたが、日常利用する交通手段は何ですか。　＜○は当てはまるものすべて＞

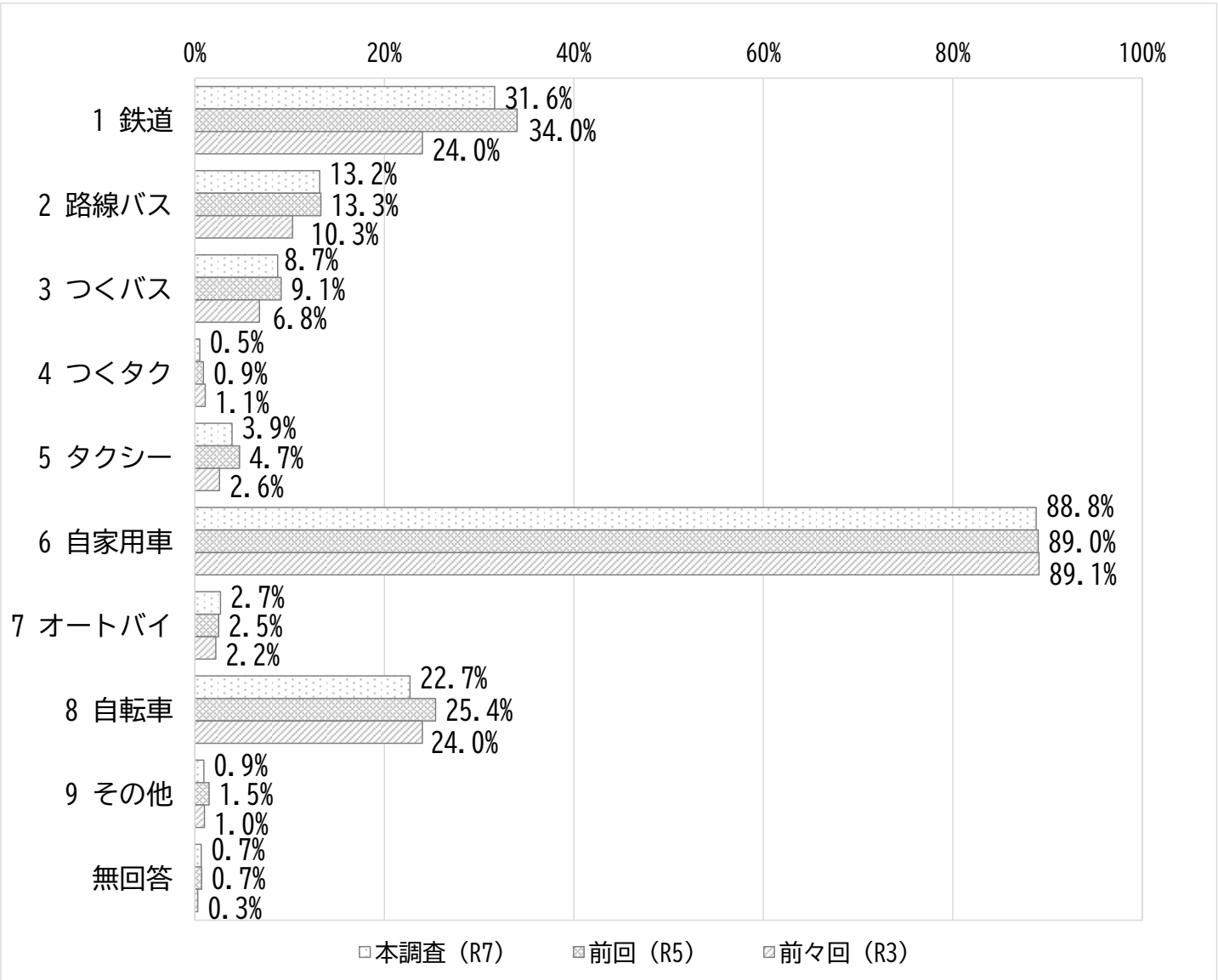
①　全体集計の結果

●日常利用する交通手段は、「自家用車」が約 9 割

・日常利用する交通手段は、「自家用車」が 1,221 人(88.8%)で最も多く、「鉄道」が 435 人(31.6%)、「自転車」が 312 人(22.7%)で続いている。

選択肢	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
1 鉄道	435	31.6%	34.0%	24.0%
2 路線バス	181	13.2%	13.3%	10.3%
3 つくバス	120	8.7%	9.1%	6.8%
4 つくタク	7	0.5%	0.9%	1.1%
5 タクシー	54	3.9%	4.7%	2.6%
6 自家用車	1,221	88.8%	89.0%	89.1%
7 オートバイ	37	2.7%	2.5%	2.2%
8 自転車	312	22.7%	25.4%	24.0%
9 その他	13	0.9%	1.5%	1.0%
無回答	9	0.7%	0.7%	0.3%
全体（有効回答数）	1,375			

＜過年度調査との比較＞



問 33　あなたが、日常利用する交通手段は何ですか。　＜○は当てはまるものすべて＞

② クロス集計の結果

【地区別】

・全ての地区で「自家用車」が最も多く、筑波地区、大穂地区、豊里地区、谷田部地区では、２位以下の交通手段の選択率が 20%を下回っている。

回答順	１位		２位		３位		４位		５位	
筑波地区（n=87）	自家用車		鉄道		自転車		つくバス		オートバイ	
	84	96.6%	7	8.0%	6	6.9%	5	5.7%	3	3.4%
大穂地区（n=83）	自家用車		自転車		鉄道		つくバス		オートバイ	
	77	92.8%	11	13.3%	10	12.0%	7	8.4%	3	3.6%
豊里地区（n=82）	自家用車		鉄道		自転車		つくバス		オートバイ	
	79	96.3%	10	12.2%	9	11.0%	7	8.5%	2	2.4%
谷田部地区（n=167）	自家用車		鉄道		自転車		つくバス		路線バス	
	152	91.0%	32	19.2%	22	13.2%	17	10.2%	14	8.4%
桜地区（n=128）	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス	
	118	92.2%	35	27.3%	34	26.6%	15	11.7%	10	7.8%
茎崎地区（n=126）	自家用車		鉄道		路線バス		自転車		つくバス	
	113	89.7%	32	25.4%	16	12.7%	14	11.1%	13	10.3%
研究学園地区（n=402）	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス	
	329	81.8%	172	42.8%	140	34.8%	112	27.9%	41	10.2%
ＴＸ沿線開発地区（n=298）	自家用車		鉄道		自転車		路線バス/つくバス			
	267	89.6%	137	46.0%	75	25.2%	20	6.7%		

【年齢別】

・全ての年齢で「自家用車」が最も多く、「自転車」「鉄道」が上位に入っている。

回答順	１位		２位		３位		４位		５位	
10歳代（n=33）	自家用車		自転車		鉄道		路線バス		つくバス	
	20	60.6%	16	48.5%	13	39.4%	9	27.3%	7	21.2%
20歳代（n=99）	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス	
	86	86.9%	59	59.6%	38	38.4%	19	19.2%	9	9.1%
30歳代（n=207）	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス	
	186	89.9%	76	36.7%	34	16.4%	25	12.1%	13	6.3%
40歳代（n=269）	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス	
	245	91.1%	92	34.2%	83	30.9%	29	10.8%	25	9.3%
50歳代（n=284）	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス	
	250	88.0%	96	33.8%	62	21.8%	42	14.8%	23	8.1%
60～64歳（n=108）	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス	
	95	88.0%	32	29.6%	24	22.2%	15	13.9%	7	6.5%
65～69歳（n=109）	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス	
	104	95.4%	27	24.8%	20	18.3%	16	14.7%	11	10.1%
70～74歳（n=109）	自家用車		自転車		鉄道		路線バス		つくバス	
	100	91.7%	15	13.8%	10	9.2%	7	6.4%	6	5.5%
75歳以上（n=125）	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス	
	106	84.8%	21	16.8%	18	14.4%	15	12.0%	14	11.2%

【職業別】
・全ての職業で「自家用車」が最も多くなっており、「自転車」「鉄道」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
会社員・公務員（n=583）	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス	
	521	89.4%	232	39.8%	130	22.3%	76	13.0%	50	8.6%
自営業（n=85）	自家用車		鉄道		自転車		つくバス		オートバイ	
	78	91.8%	21	24.7%	12	14.1%	6	7.1%	5	5.9%
農林業（n=14）	自家用車		自転車		鉄道		－		－	
	13	92.9%	3	21.4%	1	7.1%	－	－	－	－
パート・アルバイトなど（n=216）	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス	
	203	94.0%	49	22.7%	44	20.4%	24	11.1%	13	6.0%
専業主婦（主夫）（n=157）	自家用車		自転車		鉄道		路線バス		つくバス	
	141	89.8%	36	22.9%	35	22.3%	24	15.3%	11	7.0%
学生（n=69）	自家用車		自転車		鉄道		路線バス		つくバス	
	47	68.1%	41	59.4%	38	55.1%	17	24.6%	13	18.8%
無職（n=171）	自家用車		鉄道/自転車				路線バス		つくバス	
	146	85.4%	33		19.3%		21	12.3%	17	9.9%
その他（n=41）	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス	
	37	90.2%	17	41.5%	11	26.8%	10	24.4%	5	12.2%

【住まい別】
・全ての住まいで「自家用車」が最も多く、「自転車」「鉄道」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
一戸建（持ち家）（n=897）	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス	
	829	92.4%	224	25.0%	177	19.7%	88	9.8%	68	7.6%
一戸建（借家）（n=30）	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		オートバイ	
	26	86.7%	9	30.0%	5	16.7%	4	13.3%	3	10.0%
集合住宅（分譲）（n=132）	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス	
	108	81.8%	76	57.6%	45	34.1%	34	25.8%	12	9.1%
集合住宅（賃貸）（n=241）	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス	
	193	80.1%	103	42.7%	69	28.6%	45	18.7%	29	12.0%
公営住宅（公社・県営・市営）（n=11）	自家用車		自転車		鉄道/その他				路線バス	
	7	63.6%	3	27.3%	2		18.2%		1	9.1%
社宅・官舎（n=16）	自家用車		鉄道/自転車				路線バス		つくバス	
	14	87.5%	7		43.8%		3	18.8%	1	6.3%
その他（n=13）	自家用車		鉄道/自転車				路線バス/つくバス			
	12	92.3%	4		30.8%		2		15.4%	

問 34　あなたは、現在のつくば市において、歩行者と自転車と自動車が共に安全で快適に通行できていると思いますか。　＜○は１つ＞

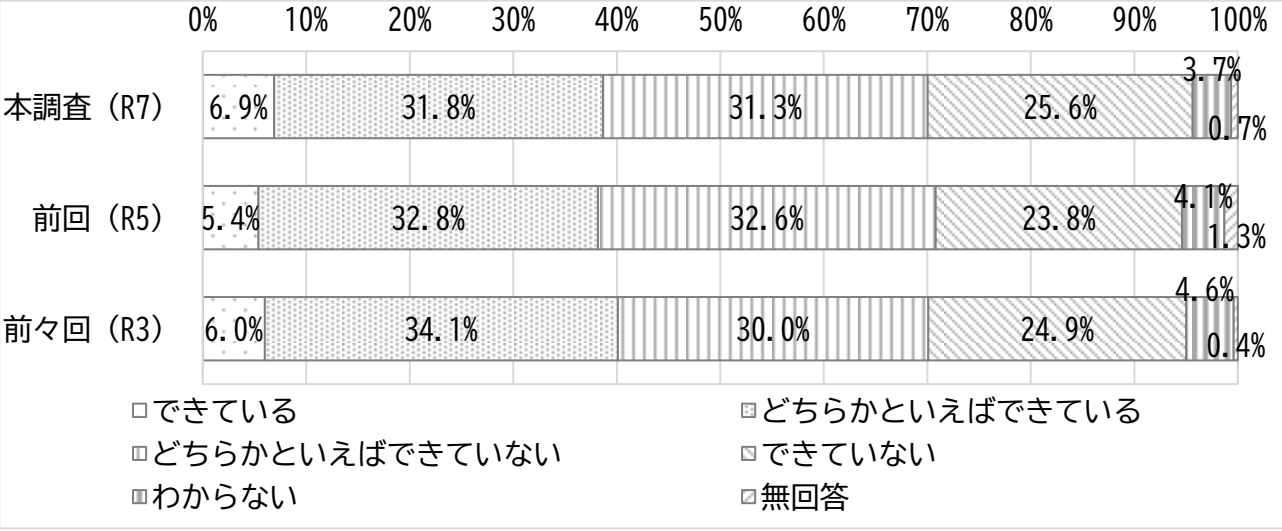
①　全体集計の結果

●歩行者と自転車と自動車が共に安全で快適に通行できているかについては、「どちらかといえばできていない/できていない」が５割半ば

・安全で快適に通行できているかについては、「どちらかといえばできている」が 437 人(31.8%)で最も多く、「どちらかといえばできていない」が 431 人(31.3%)、「できていない」が 352 人(25.6%)、「できている」が 95 人(6.9%)で続いている。

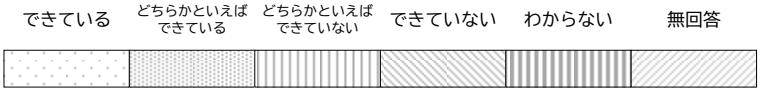
選択肢	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
できている	95	6.9%	5.4%	6.0%
どちらかといえばできている	437	31.8%	32.8%	34.1%
どちらかといえばできていない	431	31.3%	32.6%	30.0%
できていない	352	25.6%	23.8%	24.9%
わからない	51	3.7%	4.1%	4.6%
無回答	9	0.7%	1.3%	0.4%
全体	1,375	100.0%	100.0%	100.0%

＜過年度調査との比較＞



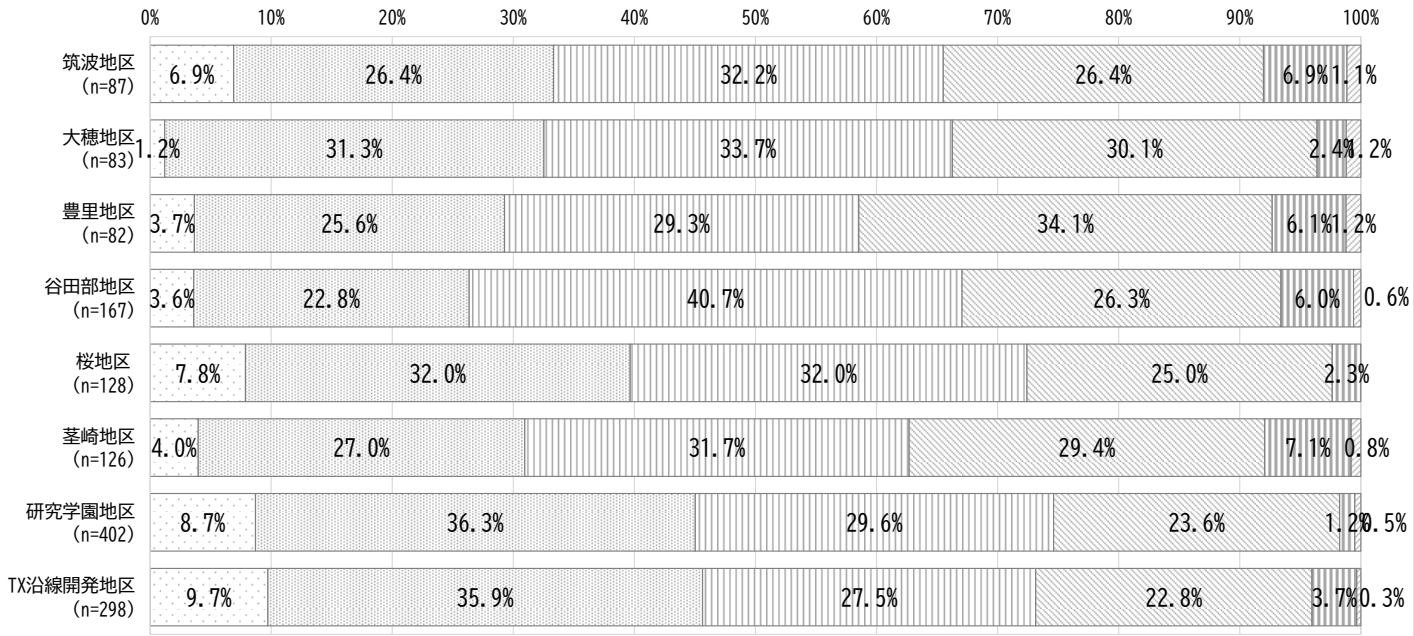
問 34　あなたは、現在のつくば市において、歩行者と自転車と自動車が共に安全で快適に通行できていると思いますか。　＜○は１つ＞

② クロス集計



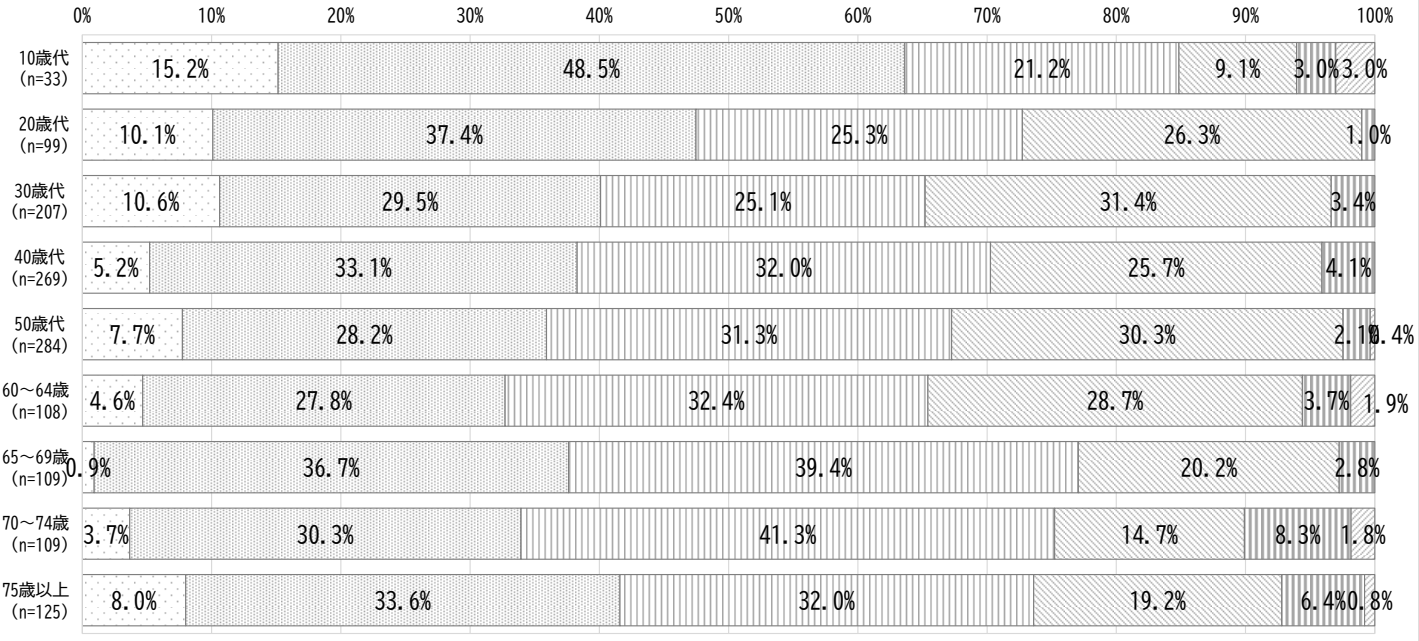
【地区別】

・大穂地区、豊里地区、谷田部地区、茎崎地区では「どちらかといえばできていない/できていない」の割合が 60%を超えている。
・研究学園地区、ＴＸ沿線開発地区では「できている/どちらかといえばできている」の割合が 40%を超えている。



【年齢別】

・10 歳代では、「できている/どちらかといえばできている」の割合が 63.7%で最も多く、20 歳代が 47.5%で続いている。
・50 歳代と 60～64 歳では、「どちらかといえばできていない/できていない」の割合が 60%を超えている。



問 35　あなたは、つくば市の交通環境がどのようになっていることが望ましいですか。　＜○は１つ＞

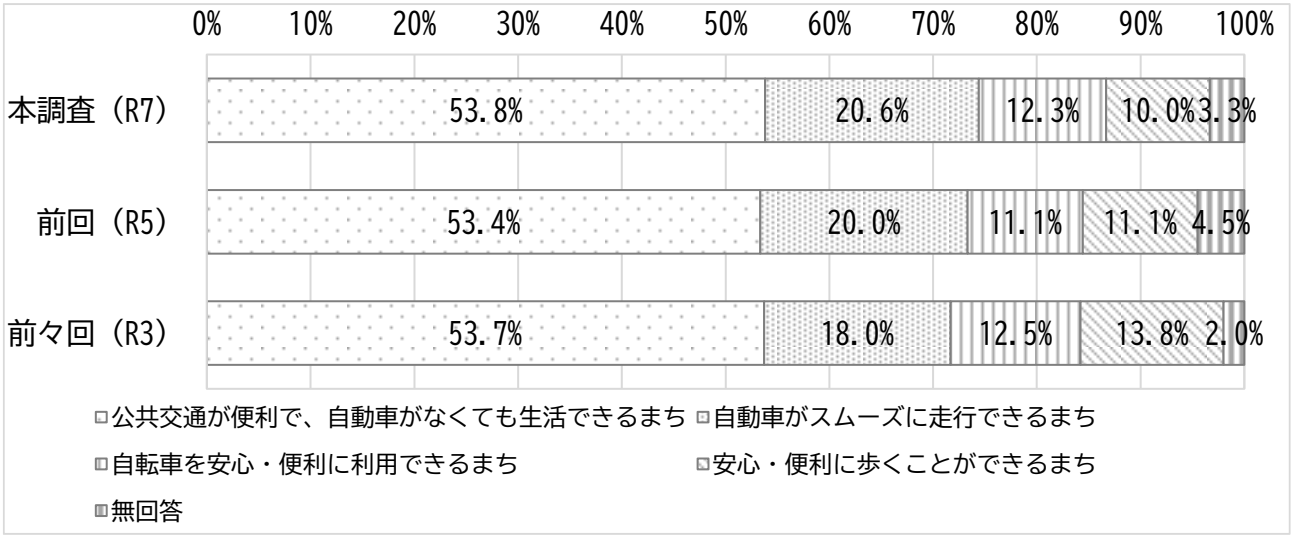
①　全体集計の結果

●つくば市の交通環境で望まれていることについて、「公共交通が便利で、自動車がなくても生活できるまち」が約５割

・つくば市の交通環境に望むものついて、「公共交通が便利で、自動車がなくても生活できるまち」が 740 人(53.8%)で最も多く、「自動車がスムーズに走行できるまち」が 283 人(20.6%)、「自転車を安心・便利に利用できるまち」が 169 人(12.3%)、「安心・便利に歩くことができるまち」が 137 人(10.0%)で続いている。

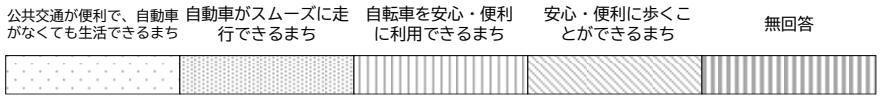
選択肢	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
1 公共交通が便利で、自動車がなくても生活できるまち	740	53.8%	53.4%	53.7%
2 自動車がスムーズに走行できるまち	283	20.6%	20.0%	18.0%
3 自転車を安心・便利に利用できるまち	169	12.3%	11.1%	12.5%
4 安心・便利に歩くことができるまち	137	10.0%	11.1%	13.8%
無回答	46	3.3%	4.5%	2.0%
全体	1,375	100.0%	100.0%	100.0%

＜過年度調査との比較＞



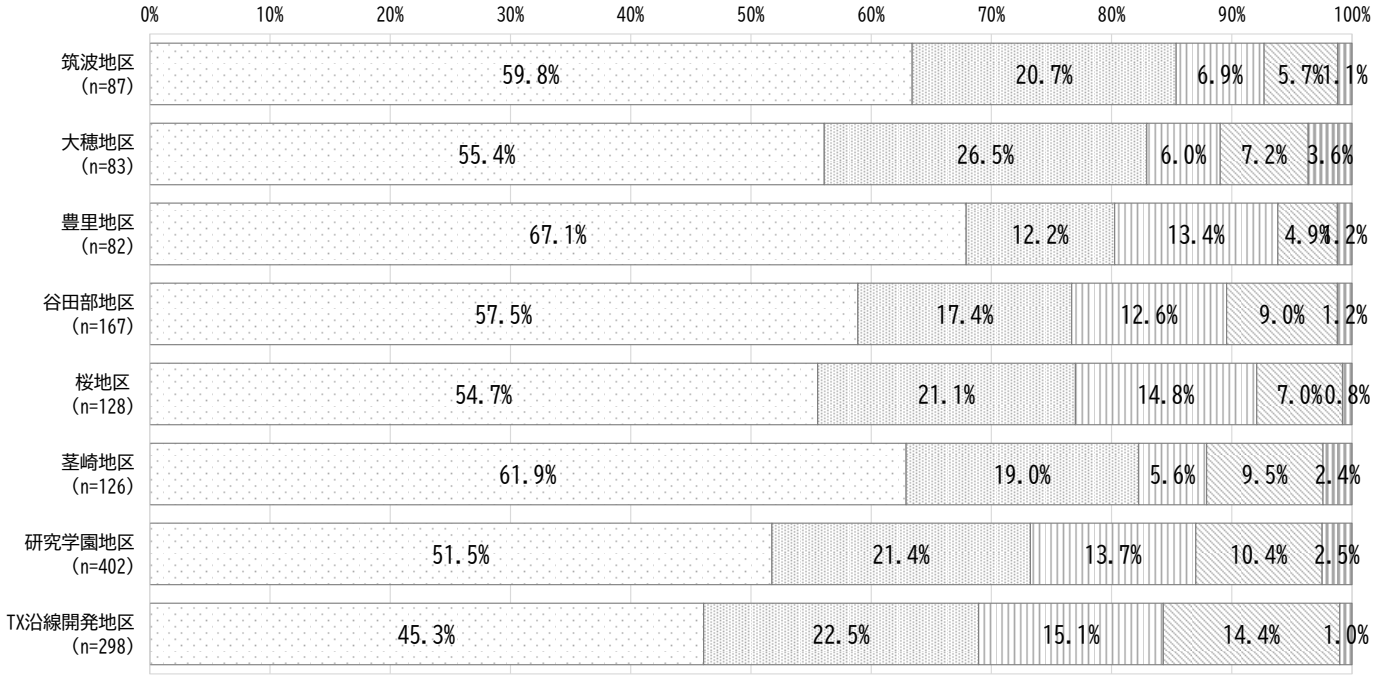
問 35　あなたは、つくば市の交通環境がどのようになっていることが望ましいですか。　＜○は１つ＞

② クロス集計



【地区別】

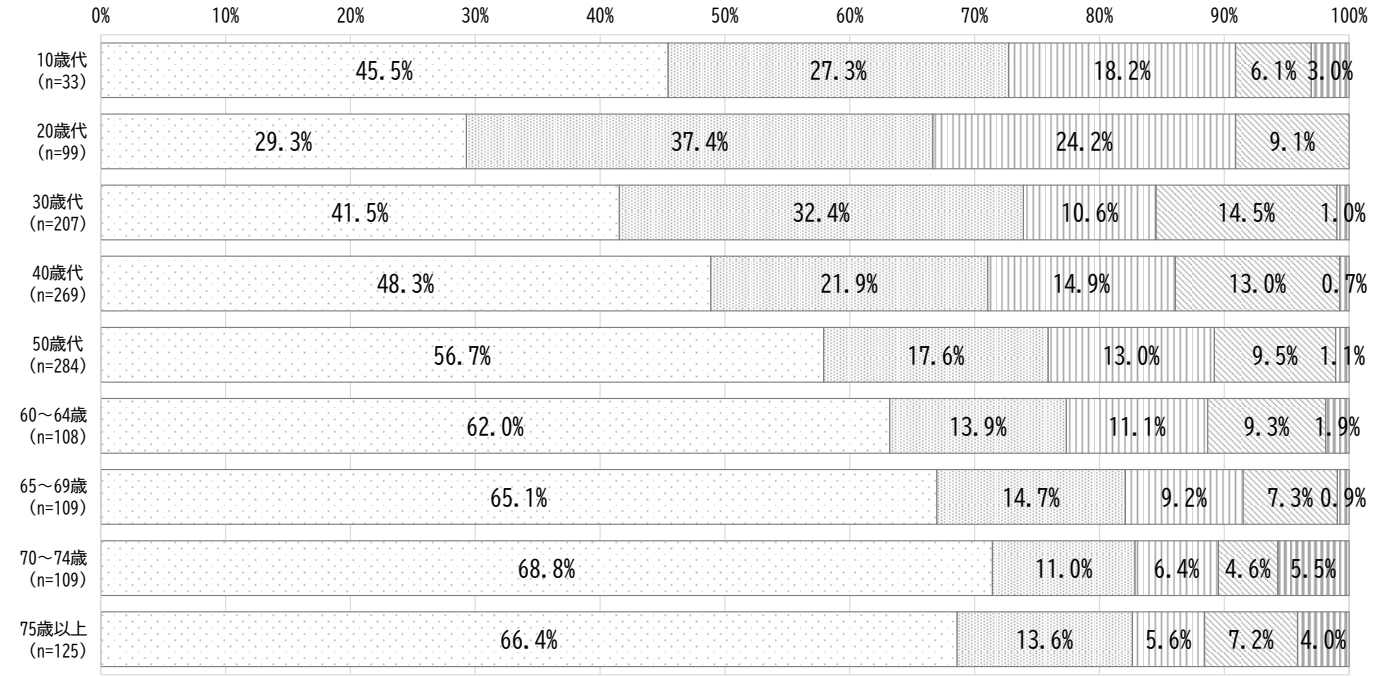
・全ての地区で「公共交通が便利で、自動車がなくても生活できるまち」の割合が最も多く、豊里地区、茎崎地区では60%を超えている。

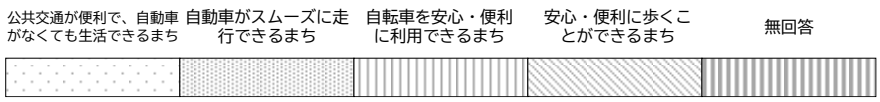


【年齢別】

・20 歳代を除き、全ての年齢で「公共交通が便利で、自動車がなくても生活できるまち」の割合が最も多い。

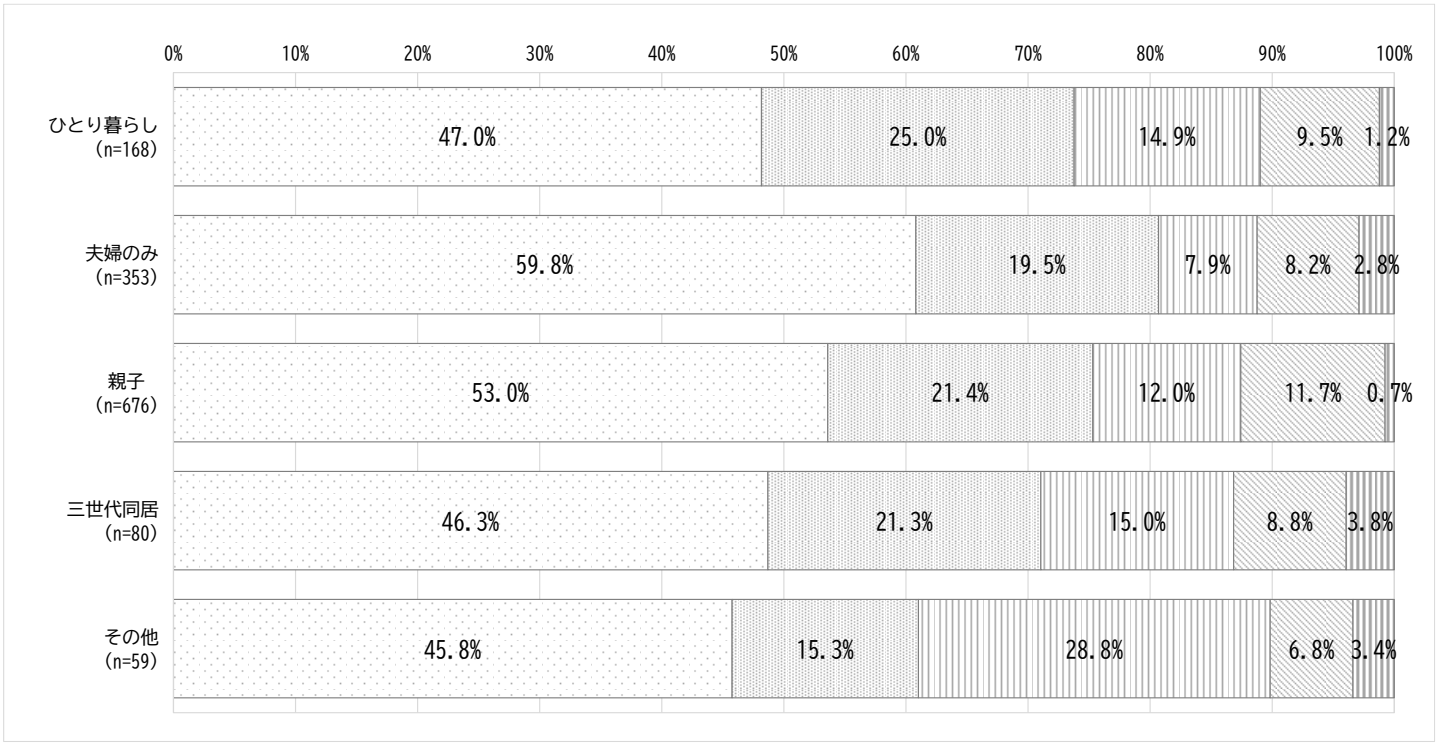
・20 歳代は、「自動車がスムーズに走行できるまち」の割合が最も多い。





【世帯構成別】

・全ての世帯構成で「公共交通が便利で、自動車がなくても生活できるまち」の割合が最も多い。
・ひとり暮らしでは「自動車がスムーズに走行できるまち」の割合が 25%と他の世帯構成よりも多い。



【世帯に含む人別】

・全ての世帯で「公共交通が便利で、自動車がなくても生活できるまち」の割合が最も多く、65～74 歳の方、75 歳以上の方を含む世帯では 60%を超えている。
・６歳未満の乳幼児を含む世帯では「安心・便利に歩くことができるまち」の割合が 15%を超えている。



7　運動習慣について

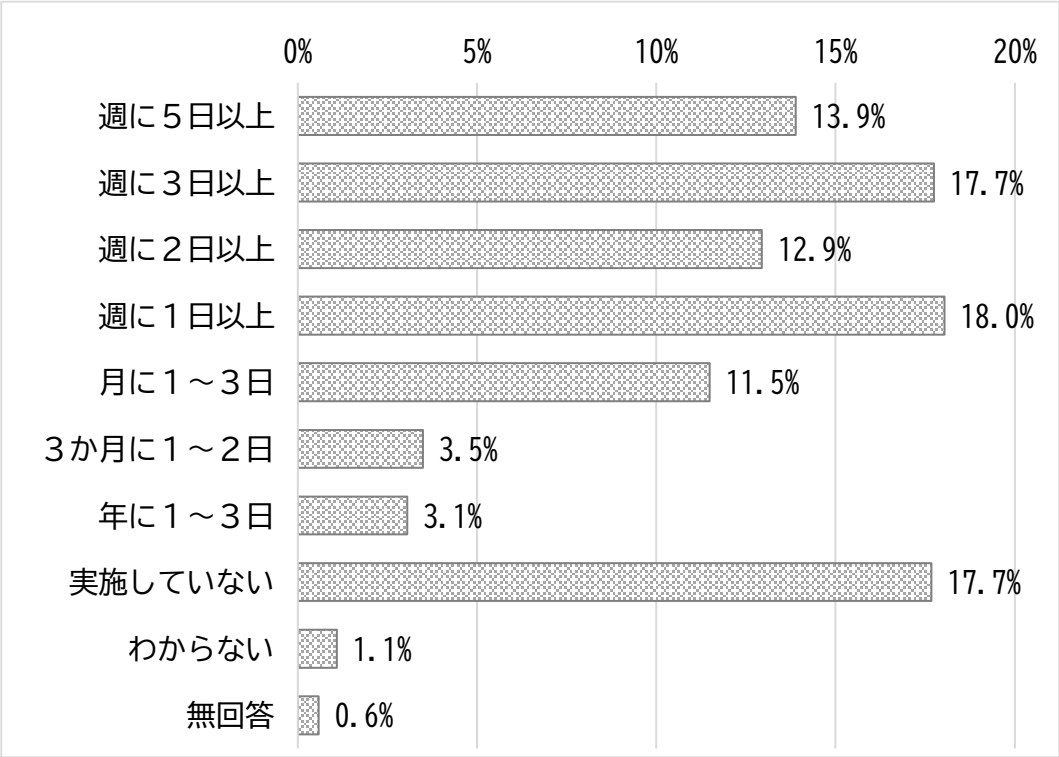
問 36　あなたは、この一年間に運動やスポーツをどのくらいしましたか。なお、運動やスポーツには、散歩や軽い体操なども含みます。　＜○は１つ＞

①　全体集計の結果

●年間のスポーツ頻度は、週に１日以上が 6 割超

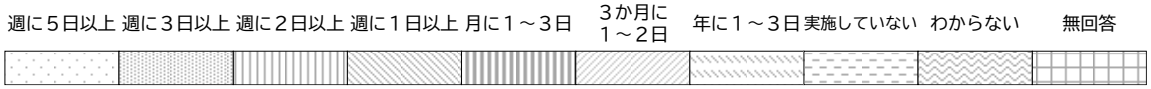
・一年間の運動やスポーツの頻度については、「週に１日以上」が 248 人(18.0%)で最も多く、「週に３日以上」が 244 人(17.7%)、「実施していない」が 243 人(17.7%)、「週に５日以上」が 191 人(13.9%)で続いている。
・前回と比べると、週に 1 日以上の割合が 6.9 ポイント上昇している。
・前回と選択肢が異なるため、経年での比較は行わない。

選択肢	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
週に５日以上	191	13.9%	－	－
週に３日以上	244	17.7%	28.5%	28.1%
週に２日以上	178	12.9%	27.2%	28.6%
週に１日以上	248	18.0%		
月に１～３日	158	11.5%	16.2%	16.7%
３か月に１～２日	48	3.5%	5.6%	5.0%
年に１～３日	42	3.1%	4.4%	4.8%
実施していない	243	17.7%	16.8%	16.3%
わからない	15	1.1%	－	－
無回答	8	0.6%	1.2%	0.6%
全体	1,375	100.0%	100.0%	100.0%



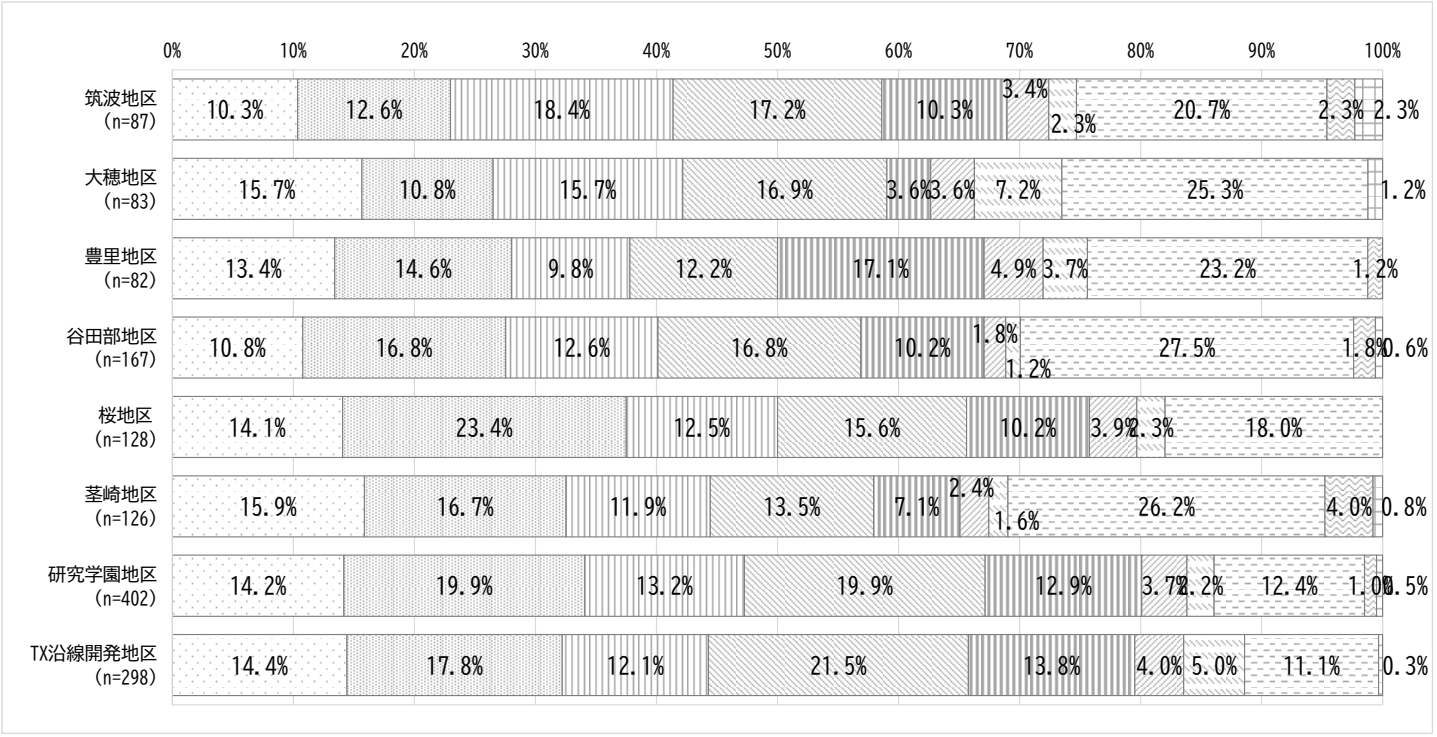
問 36　あなたは、この一年間に運動やスポーツをどのくらいしましたか。なお、運動やスポーツには、散歩や軽い体操なども含みます。　＜○は１つ＞

② クロス集計



【地区別】

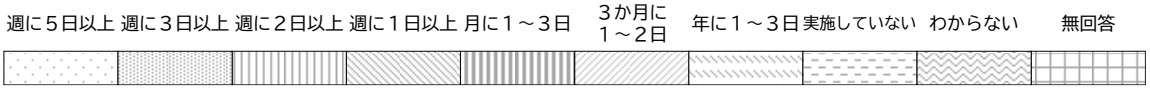
・週に 3 日以上の割合が最も多いのは桜地区の 37.5%である。
・「実施していない」が最も多いのは谷田部地区の 27.5%である。



【年齢別】

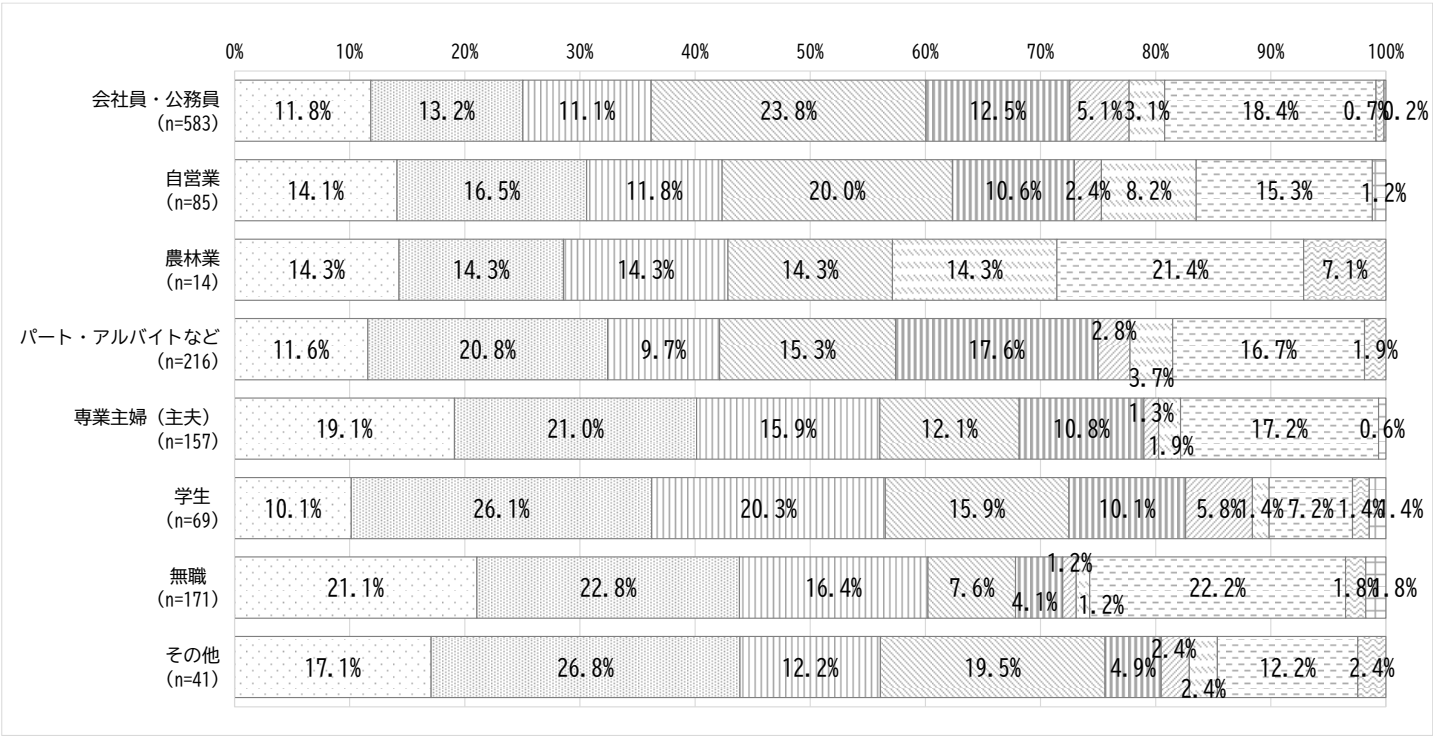
・70～74 歳、75 歳以上では週に 3 日以上の割合が 40%を超えている。
・週に 3 日以上の割合が最も低いのは 30 歳代の 20.2%である。





【職業別】

・専業主婦（主夫）、無職、その他では週に 3 日以上の割合が 40%を超えている。
・農林業では「年に 1～3 日」と「実施していない」の合計割合が 35%を超えている。



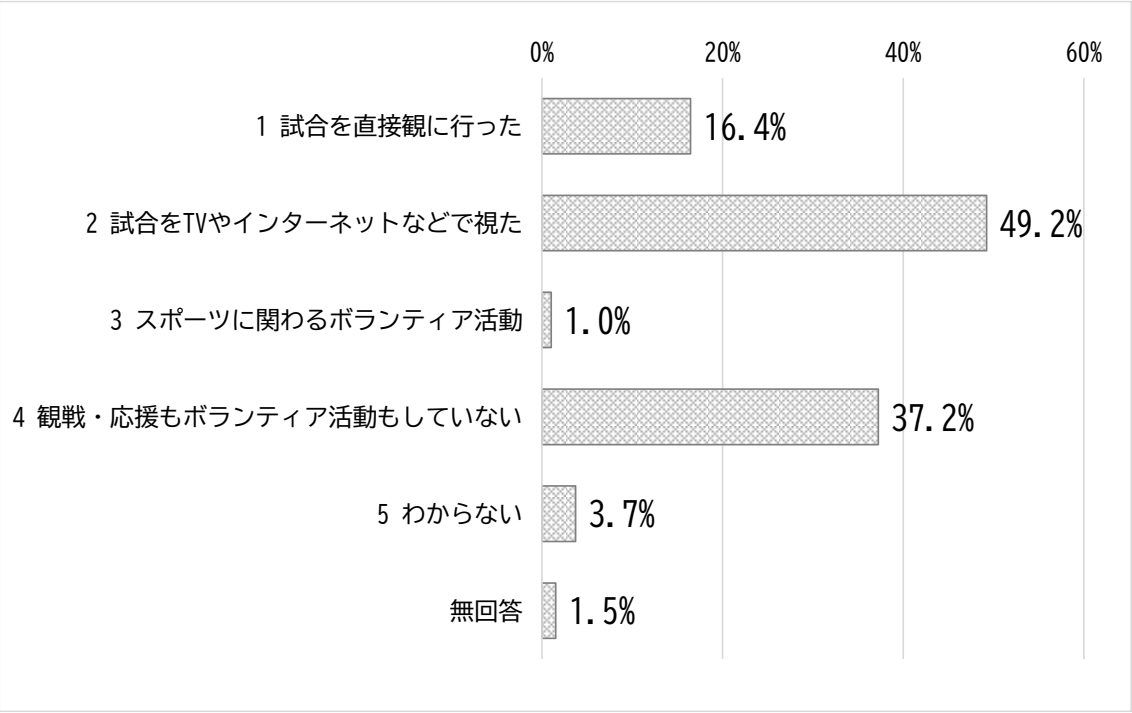
問 37　あなたは、この一年間にスポーツの試合の観戦・応援をしましたか。　＜○は当てはまるものすべて＞

①　全体集計の結果

●年間のスポーツイベント参加は、「試合を TV やインターネットなどで視た」が約 5 割

・一年間のスポーツイベントの参加については、「試合を TV やインターネットなどで視た」が 677 人(49.2%)で最も多く、「観戦・応援もボランティア活動もしていない」が 512 人(37.2%)、「試合を直接観に行った」が 226 人(16.4%)、「わからない」が 51 人(3.7%)で続いている。

選択肢	本調査（R7）	
	回答数（人）	構成比
1 試合を直接観に行った	226	16.4%
2 試合をTVやインターネットなどで視た	677	49.2%
3 スポーツに関わるボランティア活動	14	1.0%
4 観戦・応援もボランティア活動もしていない	512	37.2%
5 わからない	51	3.7%
無回答	21	1.5%
全体（有効回答数）	1,375	



問 37　あなたは、この一年間にスポーツの試合の観戦・応援をしましたか。　＜○は当てはまるものすべて＞

② クロス集計の結果

【地区別】
・すべての地区で「試合を TV やインターネットなどで視た」が最も多い。

回答順	1位		2位		3位	
筑波地区（n=87）	試合をTVやインターネットなどで視た		観戦・応援もボランティア活動もしていない		試合を直接観に行った	
	47	54.0%	28	32.2%	11	12.6%
大穂地区（n=83）	試合をTVやインターネットなどで視た		観戦・応援もボランティア活動もしていない		試合を直接観に行った	
	42	50.6%	27	32.5%	13	15.7%
豊里地区（n=82）	試合をTVやインターネットなどで視た		観戦・応援もボランティア活動もしていない		試合を直接観に行った	
	37	45.1%	30	36.6%	14	17.1%
谷田部地区（n=167）	試合をTVやインターネットなどで視た		観戦・応援もボランティア活動もしていない		試合を直接観に行った	
	75	44.9%	68	40.7%	25	15.0%
桜地区（n=128）	試合をTVやインターネットなどで視た		観戦・応援もボランティア活動もしていない		試合を直接観に行った	
	62	48.4%	50	39.1%	18	14.1%
茎崎地区（n=126）	試合をTVやインターネットなどで視た		観戦・応援もボランティア活動もしていない		試合を直接観に行った	
	61	48.4%	48	38.1%	15	11.9%
研究学園地区（n=402）	試合をTVやインターネットなどで視た		観戦・応援もボランティア活動もしていない		試合を直接観に行った	
	196	48.8%	157	39.1%	71	17.7%
ＴＸ沿線開発地区（n=298）	試合をTVやインターネットなどで視た		観戦・応援もボランティア活動もしていない		試合を直接観に行った	
	156	52.3%	103	34.6%	59	19.8%

【年齢別】
・30 歳代を除くすべての年齢で「試合を TV やインターネットなどで視た」が最も多い。
・30 歳代では「観戦・応援もボランティア活動もしていない」が最も多い。

回答順	1位		2位		3位	
10歳代（n=33）	試合をTVやインターネットなどで視た		観戦・応援もボランティア活動もしていない		試合を直接観に行った	
	15	45.5%	13	39.4%	5	15.2%
20歳代（n=99）	試合をTVやインターネットなどで視た		観戦・応援もボランティア活動もしていない		試合を直接観に行った	
	43	43.4%	35	35.4%	22	22.2%
30歳代（n=207）	観戦・応援もボランティア活動もしていない		試合をTVやインターネットなどで視た		試合を直接観に行った	
	92	44.4%	80	38.6%	39	18.8%
40歳代（n=269）	試合をTVやインターネットなどで視た		観戦・応援もボランティア活動もしていない		試合を直接観に行った	
	131	48.7%	101	37.5%	60	22.3%
50歳代（n=284）	試合をTVやインターネットなどで視た		観戦・応援もボランティア活動もしていない		試合を直接観に行った	
	152	53.5%	99	34.9%	48	16.9%
60～64歳（n=108）	試合をTVやインターネットなどで視た		観戦・応援もボランティア活動もしていない		試合を直接観に行った	
	63	58.3%	29	26.9%	21	19.4%
65～69歳（n=109）	試合をTVやインターネットなどで視た		観戦・応援もボランティア活動もしていない		試合を直接観に行った	
	58	53.2%	40	36.7%	17	15.6%
70～74歳（n=109）	試合をTVやインターネットなどで視た		観戦・応援もボランティア活動もしていない		試合を直接観に行った	
	55	50.5%	45	41.3%	5	4.6%
75歳以上（n=125）	試合をTVやインターネットなどで視た		観戦・応援もボランティア活動もしていない		試合を直接観に行った	
	64	51.2%	45	36.0%	8	6.4%

【職業別】
・農林業と自営業を除くすべての職業で「試合を TV やインターネットなどで視た」が最も多い。
・農林業では「観戦・応援もボランティア活動もしていない」が最も多く、自営業では、「試合を TV やインターネットなどで視た」と「観戦・応援もボランティア活動もしていない」が多い。

回答順	1位		2位		3位	
会社員・公務員（n=583）	試合をTVやインターネットなどで視た		観戦・応援もボランティア活動もしていない		試合を直接観に行った	
	298	51.1%	201	34.5%	119	20.4%
自営業（n=85）	試合をTVやインターネットなどで視た 観戦・応援もボランティア活動もしていない				試合を直接観に行った	
	35		41.2%		15	17.6%
農林業（n=14）	観戦・応援もボランティア活動もしていない		試合をTVやインターネットなどで視た		試合を直接観に行った	
	8	57.1%	5	35.7%	4	28.6%
パート・アルバイトなど（n=216）	試合をTVやインターネットなどで視た		観戦・応援もボランティア活動もしていない		試合を直接観に行った	
	103	47.7%	82	38.0%	37	17.1%
専業主婦（主夫）（n=157）	試合をTVやインターネットなどで視た		観戦・応援もボランティア活動もしていない		試合を直接観に行った	
	76	48.4%	65	41.4%	18	11.5%
学生（n=69）	試合をTVやインターネットなどで視た		観戦・応援もボランティア活動もしていない		試合を直接観に行った	
	34	49.3%	23	33.3%	16	23.2%
無職（n=171）	試合をTVやインターネットなどで視た		観戦・応援もボランティア活動もしていない		試合を直接観に行った	
	88	51.5%	66	38.6%	10	5.8%
その他（n=41）	試合をTVやインターネットなどで視た		観戦・応援もボランティア活動もしていない		試合を直接観に行った	
	19	46.3%	16	39.0%	5	12.2%

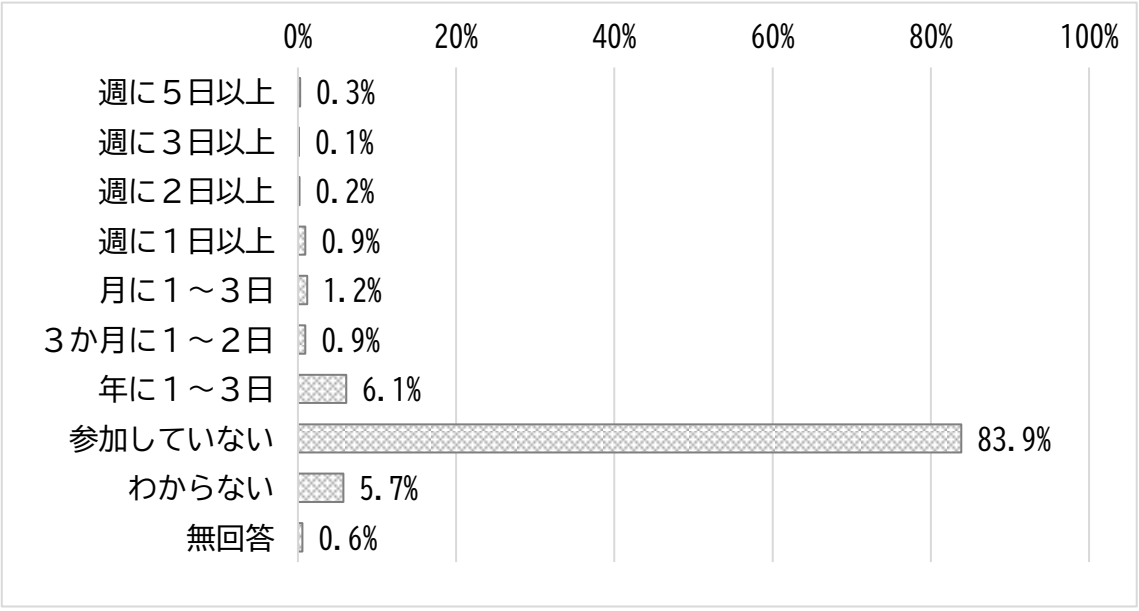
問 38　あなたは、この一年間につくば市や地域のスポーツ団体が開催するスポーツイベントにどのくらい参加しましたか。　＜○は１つ＞

①　全体集計の結果

●年間のスポーツイベント参加頻度は、「参加していない」が 8 割超

・一年間のスポーツイベントの参加頻度については、「参加していない」が 1,153 人(83.9%)で最も多く、「年に 1～3 日」が 84 人(6.1%)、「わからない」が 79 人(5.7%)と続き、他の選択肢は 5%未満となっている。

選択肢	本調査（R7）	
	回答数（人）	構成比
週に５日以上	4	0.3%
週に３日以上	2	0.1%
週に２日以上	3	0.2%
週に１日以上	13	0.9%
月に１～３日	16	1.2%
３か月に１～２日	13	0.9%
年に１～３日	84	6.1%
参加していない	1,153	83.9%
わからない	79	5.7%
無回答	8	0.6%
全体	1,375	100.0%



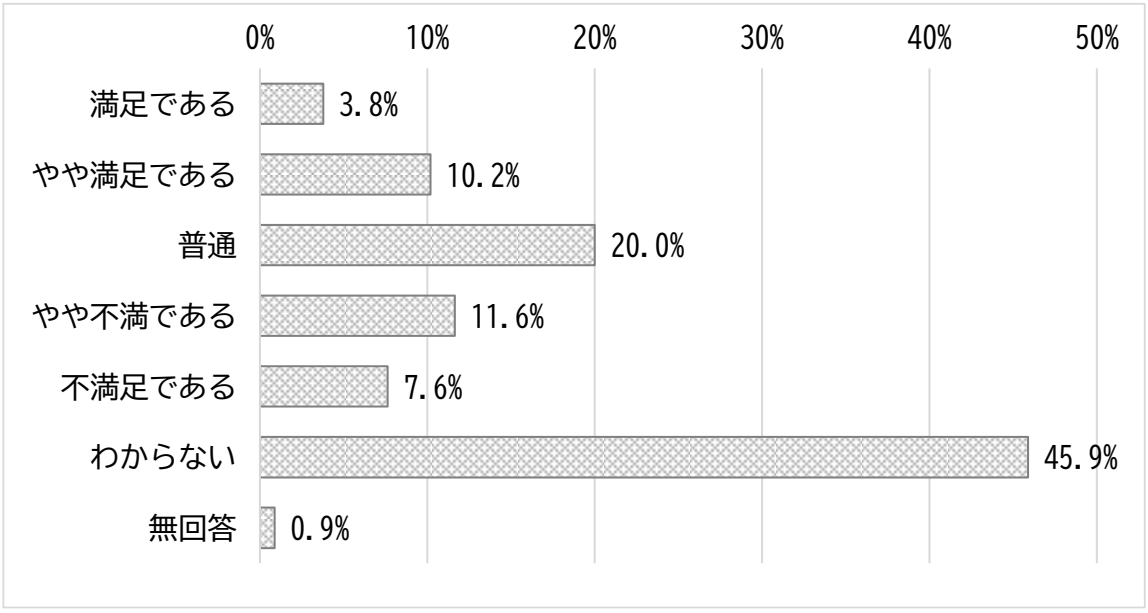
問 39　あなたは、市内の「公共スポーツ施設」に関する環境が充実していると思いますか。　＜○は１つ＞

①　全体集計の結果

●公共スポーツ施設についての充実度については、「わからない」が約半数

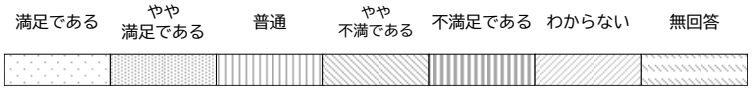
・公共スポーツ施設の充実度については、「わからない」が 631 人(45.9%)で最も多く、次いで、「普通」が 275 人(20.0%)、「やや不満である」が 160 人(11.6%)、「やや満足である」が 140 人（10.2%）、「不満足である」が 105 人（7.6%）、満足であるが 52 人（3.8%）と続く。

選択肢	本調査（R7）	
	回答数（人）	構成比
満足である	52	3.8%
やや満足である	140	10.2%
普通	275	20.0%
やや不満である	160	11.6%
不満足である	105	7.6%
わからない	631	45.9%
無回答	12	0.9%
全体	1,375	100.0%



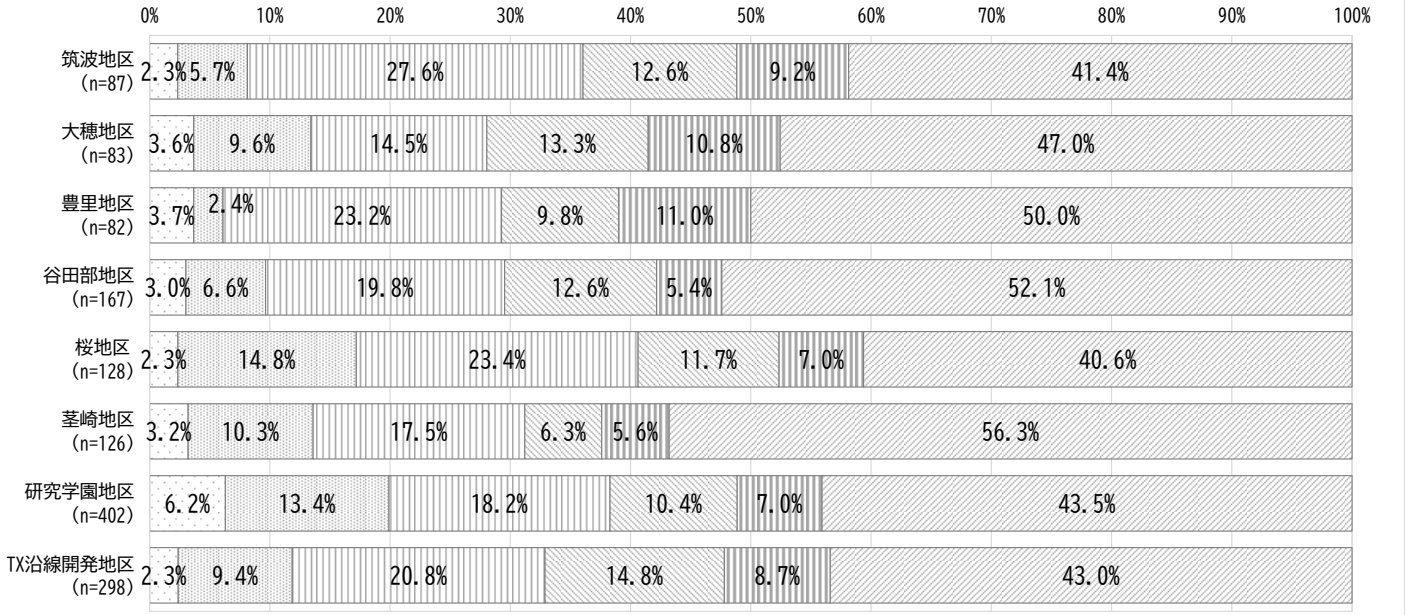
問 39　あなたは、市内の「公共スポーツ施設」に関する環境が充実していると思いますか。　＜○は１つ＞

② クロス集計の結果



【地区別】

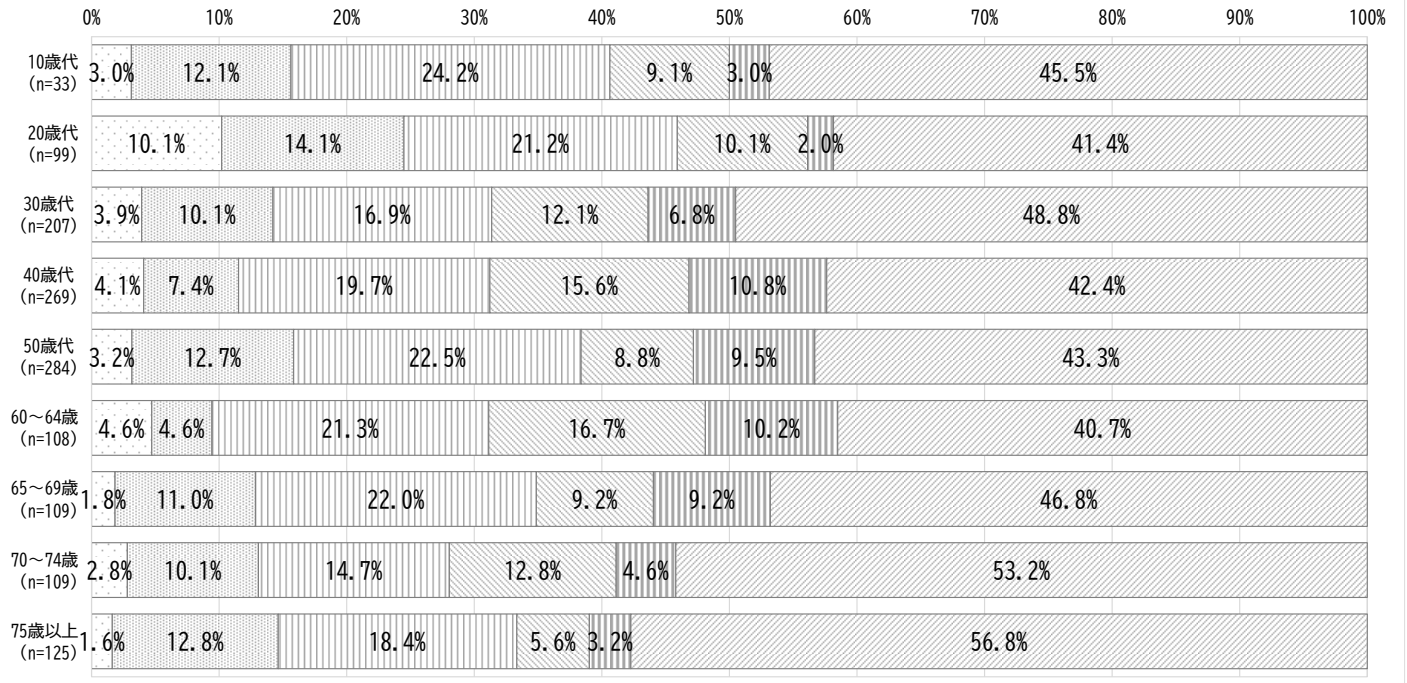
・すべての地区で「わからない」が最も多い。



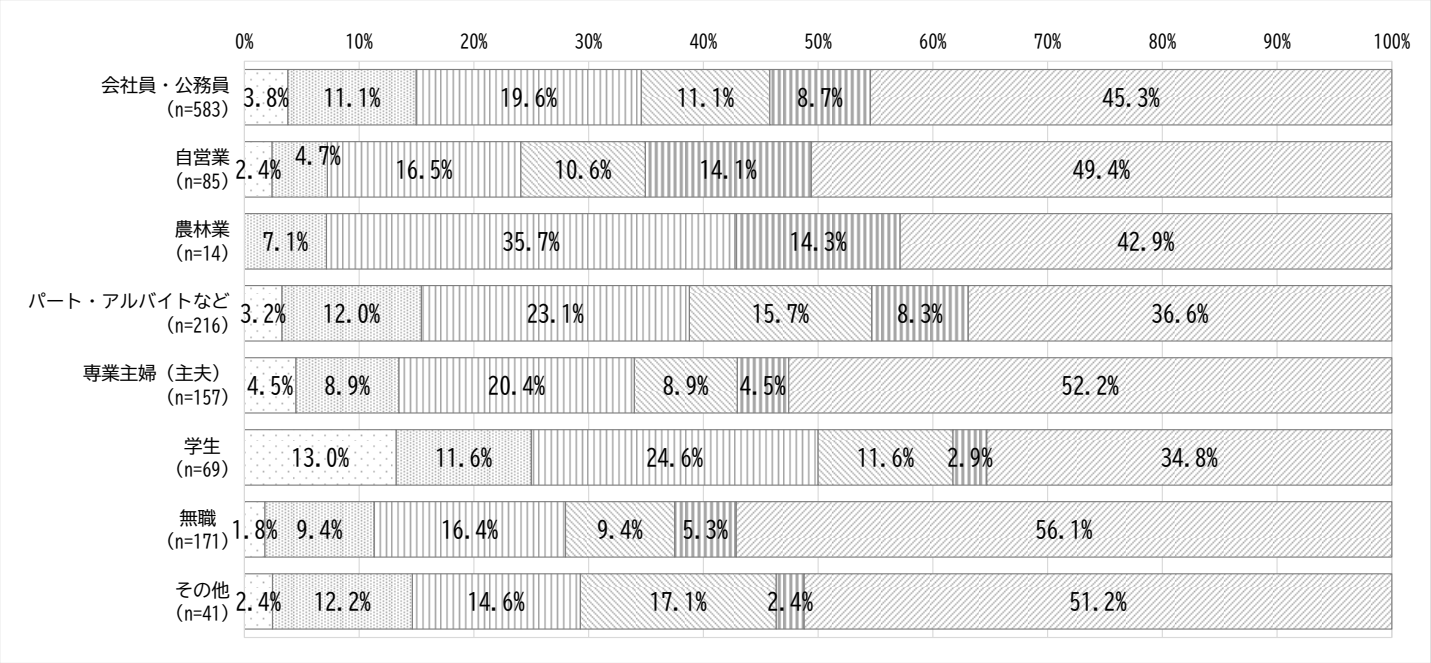
【年齢別】

・すべての年齢で「わからない」が最も多い。

・「満足である/やや満足である」の割合は、20 歳代では 25%近くあり、他の年齢と比して高い。



【職業別】
・すべての職業で「わからない」が最も多い。
・学生は「満足である/やや満足である」の割合が 25%近くあり、他の職業と比べて高い。



８　つくば駅周辺地区の活性化について

問 40　あなたは、どれぐらい、つくばセンター地区（つくば駅周辺）を訪れますか。　＜○は１つ＞

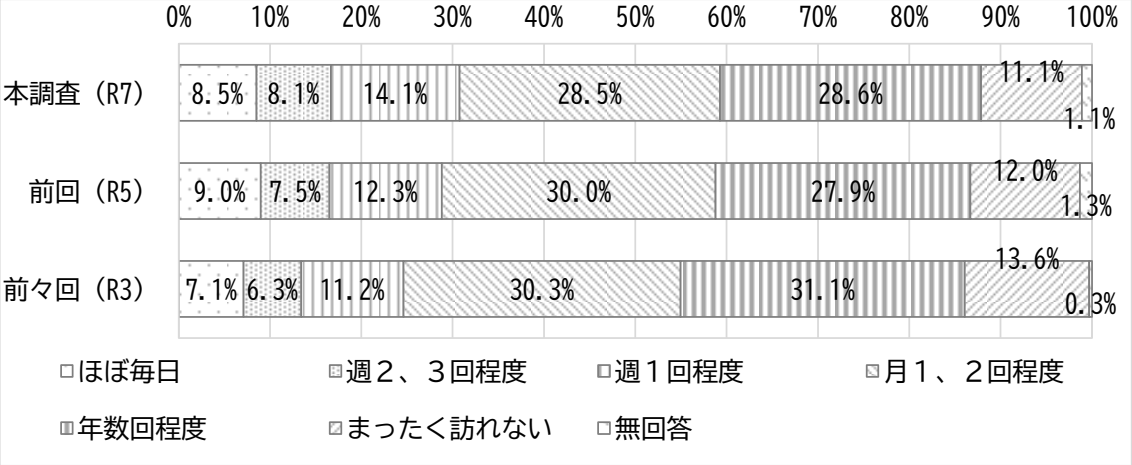
①　全体集計の結果

●つくばセンター地区(つくば駅周辺)を訪れる頻度は、「年数回程度」「月１、２回程度」が約３割

・つくばセンター地区(つくば駅周辺)を訪れる頻度については、「年数回程度」が 393 人（28.6%）で最も多く、「月１、２回程度」が 392 人(28.5%)、「週１回程度」が 194 人(14.1%)、「まったく訪れない」が 152 人(11.1%)で続いている。

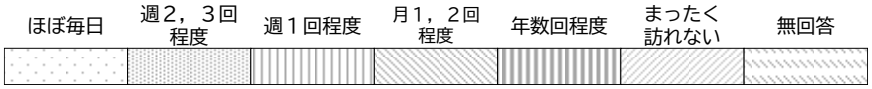
選択肢	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
ほぼ毎日	117	8.5%	9.0%	7.1%
週２、３回程度	112	8.1%	7.5%	6.3%
週１回程度	194	14.1%	12.3%	11.2%
月１、２回程度	392	28.5%	30.0%	30.3%
年数回程度	393	28.6%	27.9%	31.1%
まったく訪れない	152	11.1%	12.0%	13.6%
無回答	15	1.1%	1.3%	0.3%
全体	1,375	100.0%	100.0%	100.0%

＜過年度調査との比較＞



問 40　あなたは、どれぐらい、つくばセンター地区（つくば駅周辺）を訪れますか。　＜○は１つ＞

② クロス集計



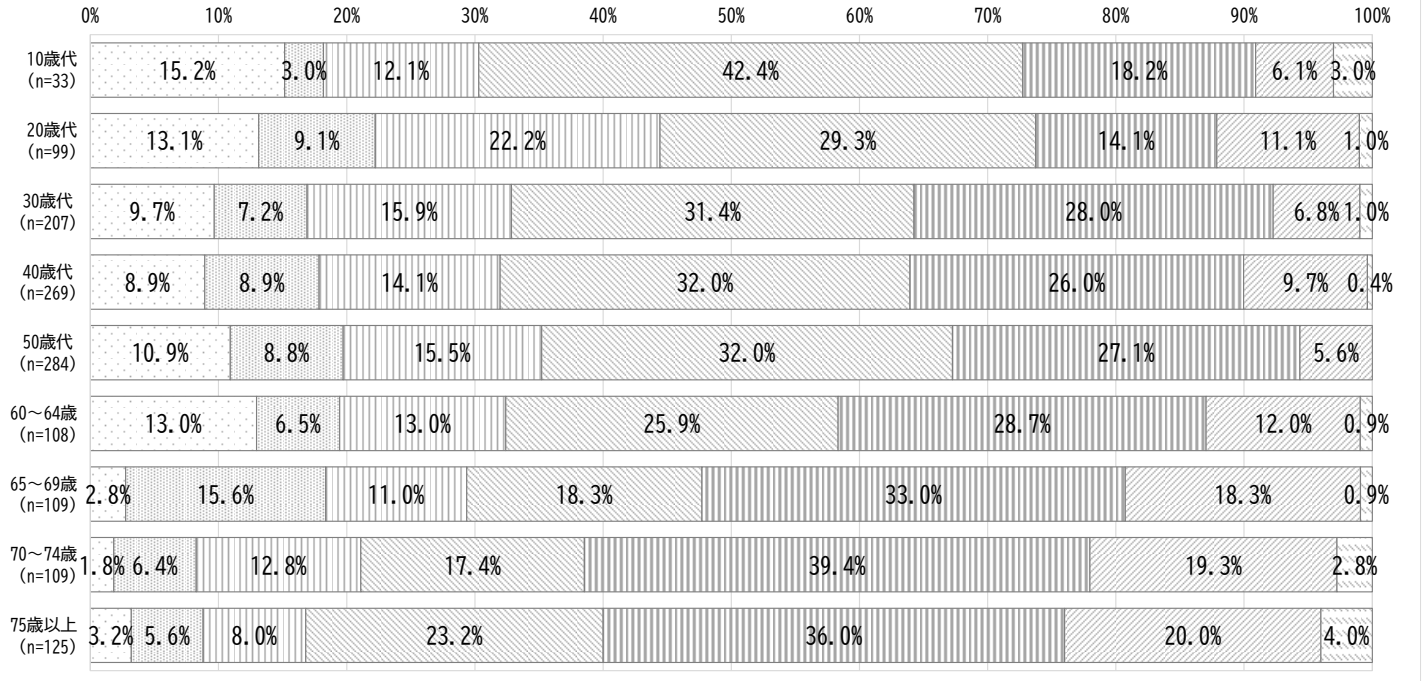
【地区別】

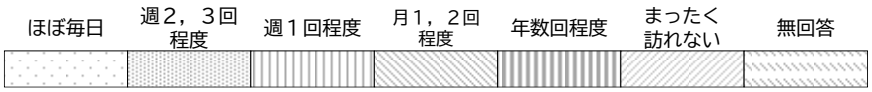
・研究学園地区では月 1、2 回以上訪れている割合が他の地区に比べて多く、80%を超えている。
・茎崎地区では「まったく訪れない」の割合が 31.7%と最も多い。



【年齢別】

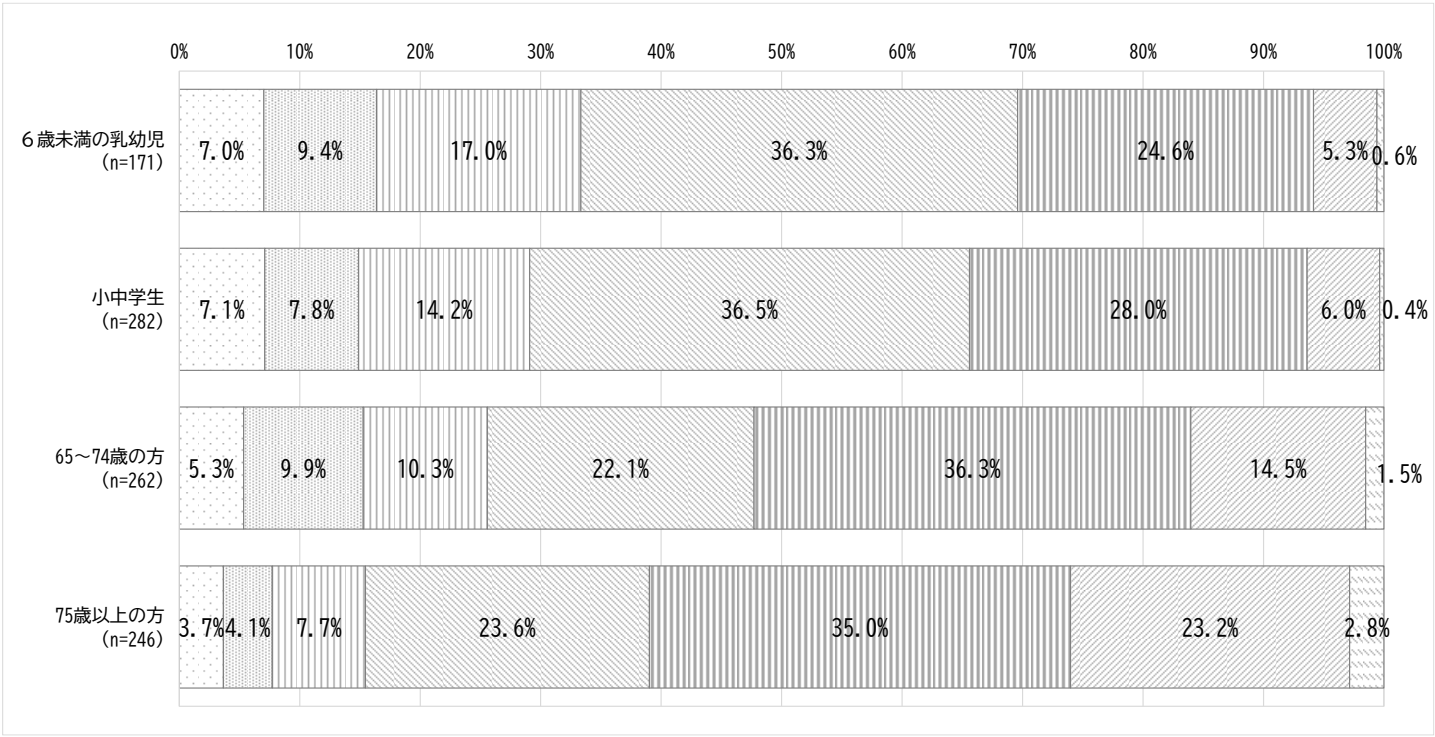
・20 歳代以下では月 1、2 以上訪れている割合が 70%以上であり、「ほぼ毎日」の割合も 10%を超えている。
・75 歳以上では「まったく訪れない」の割合が 20%である。





【世帯に含む人別】

・6 歳未満の乳幼児、小中学生を含む世帯では月 1、2 回以上訪れている割合が 60%を超えている。
・75 歳以上の方を含む世帯では「まったく訪れない」の割合が 20%を超えている。



【職業別】

・学生では「ほぼ毎日」訪れている割合が 15%を超えており、月 1、2 回以上訪れている割合も 75%を超えている。
・農林業では「まったく訪れない」が 35%を超え、他の職業と比して多い。



【問 40 で 1～5 を選択した方にお聞きします】
問 41　主にどのような目的でつくばセンター地区を訪れますか。　＜○は 1 つ＞

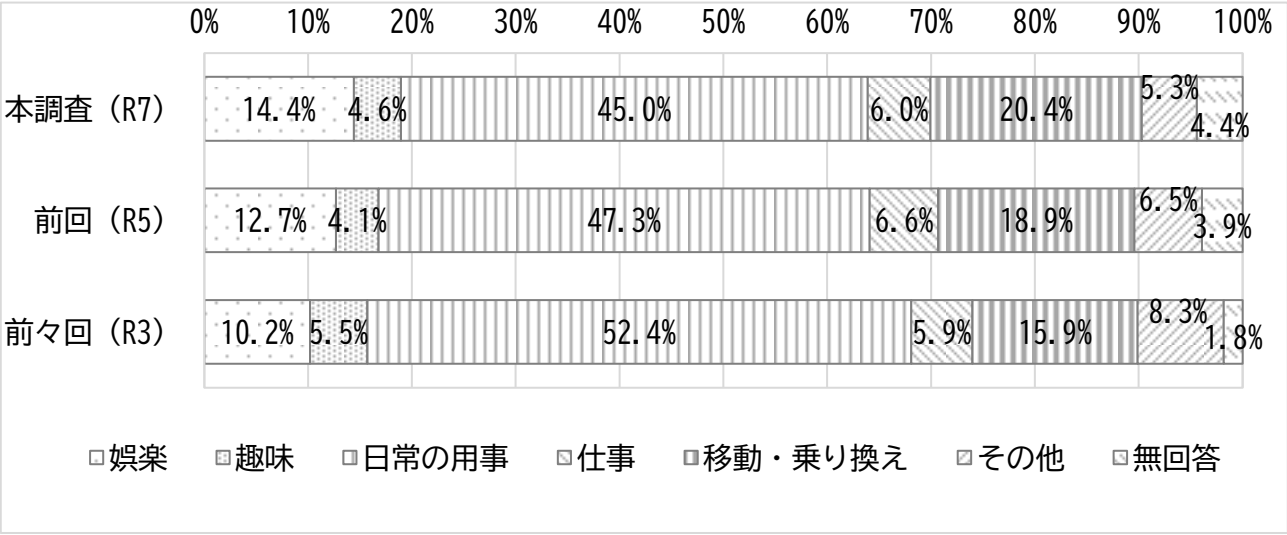
①　全体集計の結果

●つくばセンター地区を訪れる主な目的は、「日常の用事」が 4 割半ば

・つくばセンター地区を訪れる主な目的は、「日常の用事」が 543 人(45.0%)で最も多く、「移動・乗り換え」が 246 人(20.4%)、「娯楽」が 174 人(14.4%)と続いている。
・過年度と比較すると、年々「日常の用事」が減少し、「娯楽」と「移動・乗り換え」の割合が増加している。

選択肢	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
娯楽	174	14.4%	12.7%	10.2%
趣味	55	4.6%	4.1%	5.5%
日常の用事	543	45.0%	47.3%	52.4%
仕事	73	6.0%	6.6%	5.9%
移動・乗り換え	246	20.4%	18.9%	15.9%
その他	64	5.3%	6.5%	8.3%
無回答	53	4.4%	3.9%	1.8%
全体	1,208	100.0%	100.0%	100.0%

＜過年度調査との比較＞



【問 40 で 1～5 を選択した方にお聞きします】
問 41　主にどのような目的でつくばセンター地区を訪れますか。　＜○は 1 つ＞

② クロス集計の結果



【地区別】
・全ての地区で「日常の用事」の割合が最も多くなっている。
・ＴＸ沿線開発地区では、「娯楽」の割合が 30.2%と他地区よりも多くなっている。



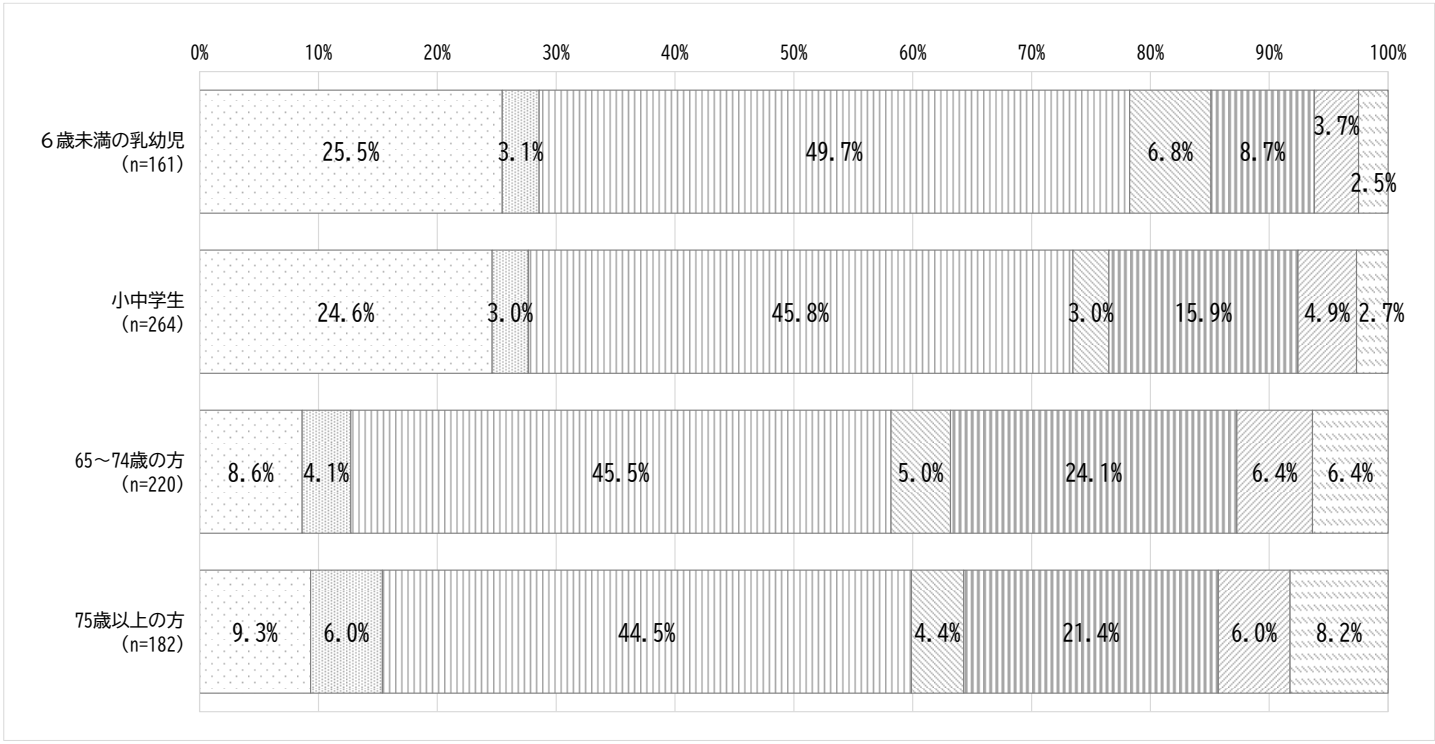
【年齢別】
・10 歳代を除き、全ての年齢で「日常の用事」が最も多く、10 歳代は「移動・乗り換え」が最も多い。





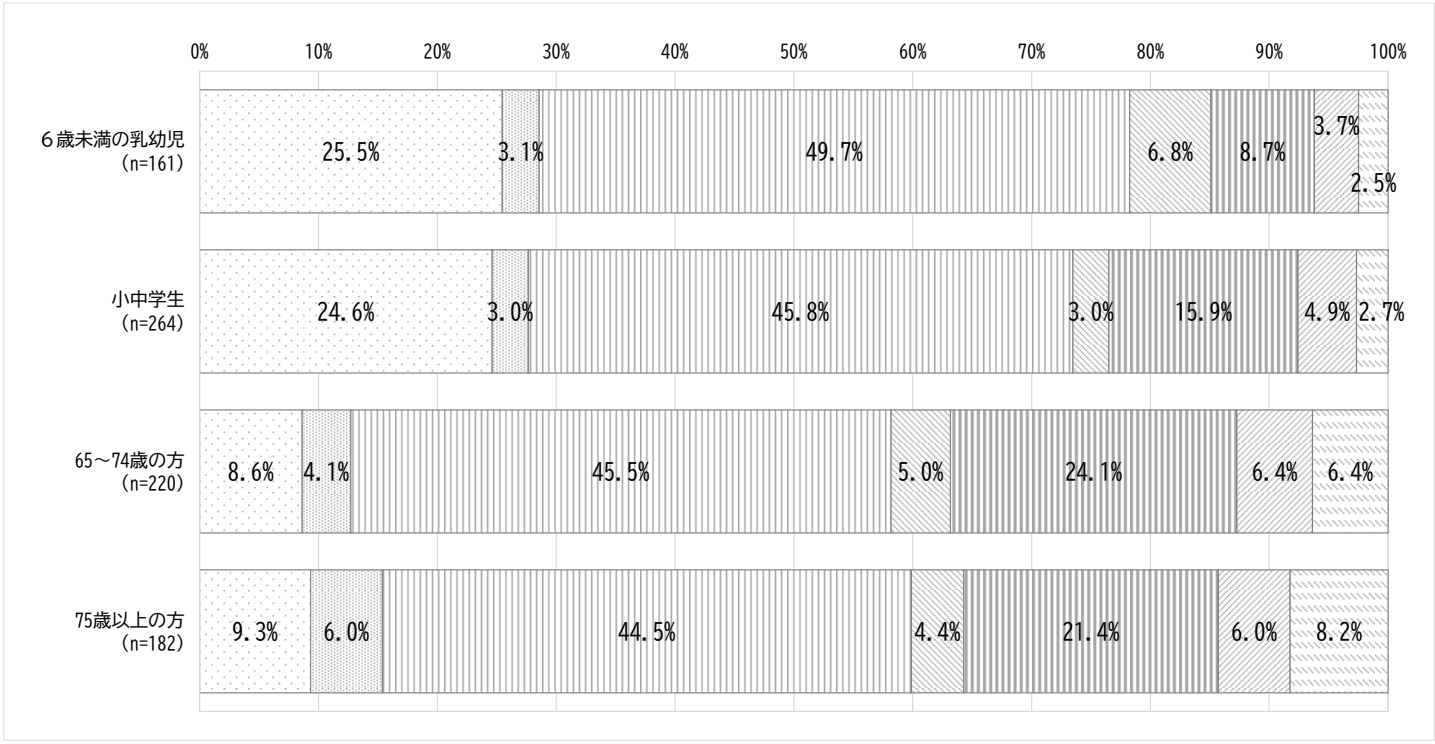
【世帯に含む人別】

・全ての世帯で「日常の用事」の割合が最も多くなっている。
・6 歳未満の乳幼児を含む世帯と小学生を含む世帯では「娯楽」の割合が 25%前後となっている。



【職業別】

・学生以外の全ての職業では「日常の用事」の割合が最も多くなっている。
・学生では「移動・乗り換え」の割合が最も多く、45%を超えている。



問 42　あなたは、にぎわいのあるつくばセンター地区（つくば駅周辺）にするためには、どのような取組が必要だと思いますか。当てはまる番号を右の回答欄に３つまで記入してください。

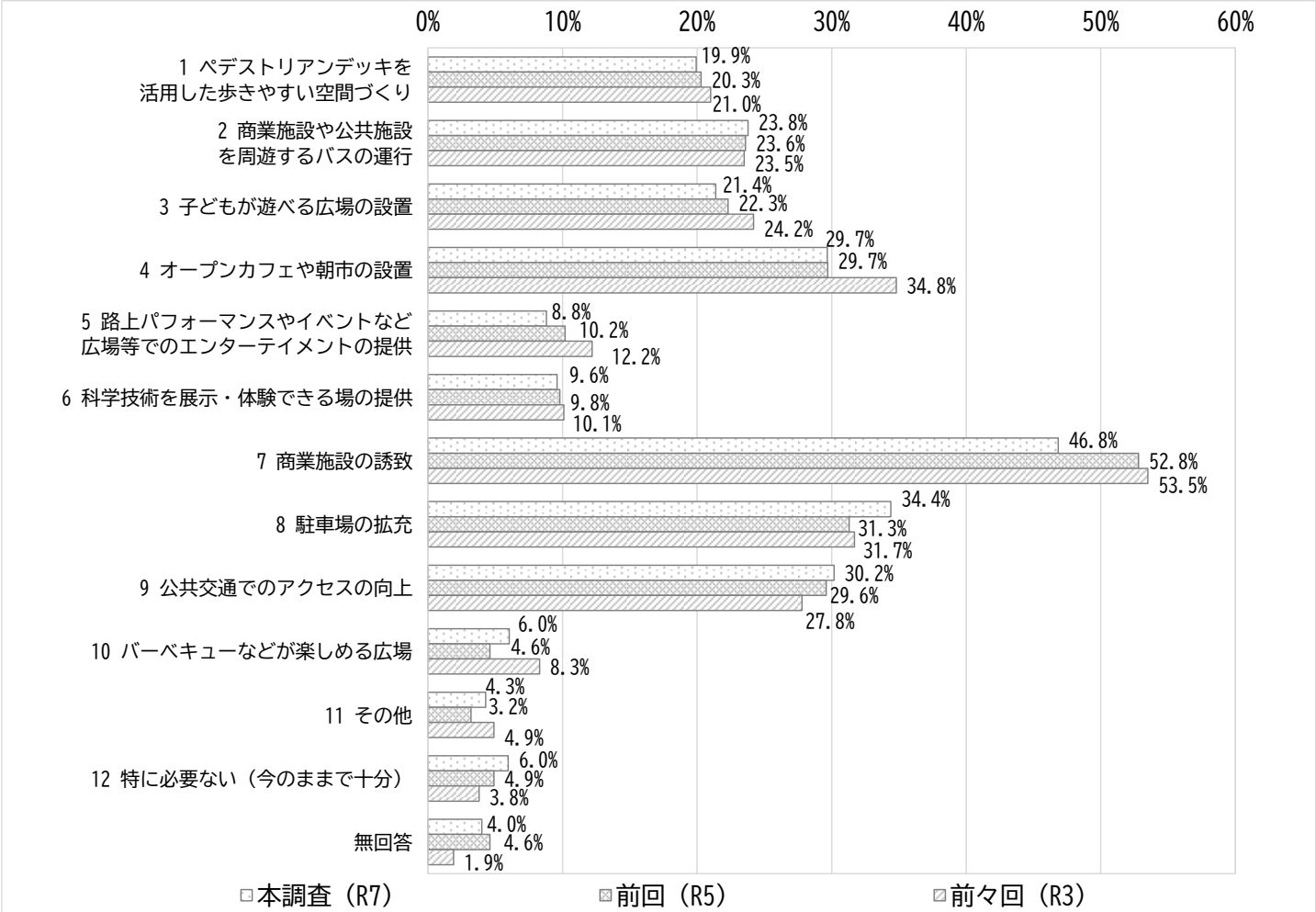
①　全体集計の結果

●にぎわいのあるつくばセンター地区にするために必要な取組は、「商業施設の誘致」が約 5 割

・にぎわいのあるつくばセンター地区にするために必要な取組については、「商業施設の誘致」が 644 人(46.8%)で最も多く、「駐車場の拡充」が 473 人(34.4%)、「公共交通でのアクセスの向上」が 415 人(30.2%)、「オープンカフェや朝市の設置」が 408 人(29.7%)で続いている。

選択肢	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
1 ペデストリアンデッキ（歩行者・自転車専用道路）を活用した歩きやすい空間づくり	274	19.9%	20.3%	21.0%
2 商業施設や公共施設を周遊するバスの運行	327	23.8%	23.6%	23.5%
3 子どもが遊べる広場の設置	294	21.4%	22.3%	24.2%
4 オープンカフェや朝市の設置	408	29.7%	29.7%	34.8%
5 路上パフォーマンスやイベントなど広場等でのエンターテイメントの提供	121	8.8%	10.2%	12.2%
6 科学技術を展示・体験できる場の提供	132	9.6%	9.8%	10.1%
7 商業施設の誘致	644	46.8%	52.8%	53.5%
8 駐車場の拡充	473	34.4%	31.3%	31.7%
9 公共交通でのアクセスの向上	415	30.2%	29.6%	27.8%
10 バーベキューなどが楽しめる広場	83	6.0%	4.6%	8.3%
11 その他	59	4.3%	3.2%	4.9%
12 特に必要ない（今のままで十分）	82	6.0%	4.9%	3.8%
無回答	55	4.0%	4.6%	1.9%
全体（有効回答数）	1,375			

＜過年度調査との比較＞



問 42　あなたは、にぎわいのあるつくばセンター地区（つくば駅周辺）にするためには、どのような取組が必要だと思いますか。当てはまる番号を右の回答欄に３つまで記入してください。

② クロス集計の結果

【地区別】

・谷田部地区、桜地区、研究学園地区、ＴＸ沿線開発地区では「商業施設の誘致」の割合が最も多く、それ以外では「駐車場の拡充」の割合が最も多い。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区（n=87）	駐車場の拡充		公共交通でのアクセスの向上		商業施設の誘致		オープンカフェや朝市の設置		商業施設や公共施設を周遊するバスの運行	
	41	47.7%	28	32.6%	26	30.2%	23	26.7%	19	22.1%
大穂地区（n=83）	駐車場の拡充		商業施設の誘致		公共交通でのアクセスの向上		商業施設や公共施設を周遊するバスの運行		子どもが遊べる広場の設置	
	42	50.6%	37	44.6%	26	31.3%	24	28.9%	19	22.9%
豊里地区（n=82）	駐車場の拡充		商業施設の誘致		商業施設や公共施設を周遊するバスの運行/公共交通でのアクセスの向上				オープンカフェや朝市の設置	
	37	45.7%	36	44.4%	21	25.9%			15	18.5%
谷田部地区（n=167）	商業施設の誘致		駐車場の拡充		公共交通でのアクセスの向上		オープンカフェや朝市の設置		商業施設や公共施設を周遊するバスの運行	
	74	44.6%	59	35.5%	50	30.1%	45	27.1%	44	26.5%
桜地区（n=128）	商業施設の誘致		駐車場の拡充		公共交通でのアクセスの向上		オープンカフェや朝市の設置		商業施設や公共施設を周遊するバスの運行	
	65	50.8%	43	33.6%	42	32.8%	38	29.7%	35	27.3%
茎崎地区（n=126）	駐車場の拡充		商業施設の誘致		公共交通でのアクセスの向上		オープンカフェや朝市の設置		商業施設や公共施設を周遊するバスの運行	
	60	48.0%	46	36.8%	41	32.8%	32	25.6%	31	24.8%
研究学園地区（n=402）	商業施設の誘致		オープンカフェや朝市の設置		公共交通でのアクセスの向上		ペデストリアンデッキを活用した歩きやすい空間づくり		駐車場の拡充	
	209	52.3%	137	34.3%	135	33.8%	107	26.8%	106	26.5%
ＴＸ沿線開発地区（n=298）	商業施設の誘致		オープンカフェや朝市の設置		子どもが遊べる広場の設置		駐車場の拡充		公共交通でのアクセスの向上	
	151	51.2%	101	34.2%	95	32.2%	85	28.8%	72	24.4%

【年齢別】

・10 歳代では「オープンカフェや朝市の設置」、20 歳代から 65～69 歳では「商業施設の誘致」、70 歳以上では「駐車場の拡充」の割合が最も多くなっている。

・30 歳代では「子どもが遊べる広場の設置」が２位となっている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
10歳代（n=33）	オープンカフェや朝市の設置		公共交通でのアクセスの向上		商業施設の誘致		駐車場の拡充		商業施設や公共施設を周遊するバスの運行	
	12	36.4%	11	33.3%	10	30.3%	9	27.3%	8	24.2%
20歳代（n=99）	商業施設の誘致		オープンカフェや朝市の設置		公共交通でのアクセスの向上		駐車場の拡充		子どもが遊べる広場の設置	
	45	45.5%	42	42.4%	31	31.3%	29	29.3%	21	21.2%
30歳代（n=207）	商業施設の誘致		子どもが遊べる広場の設置		オープンカフェや朝市の設置/駐車場の拡充				公共交通でのアクセスの向上	
	106	51.2%	91	44.0%	71	34.3%			45	21.7%
40歳代（n=269）	商業施設の誘致		駐車場の拡充		オープンカフェや朝市の設置		子どもが遊べる広場の設置		公共交通でのアクセスの向上	
	130	48.7%	91	34.1%	84	31.5%	77	28.8%	66	24.7%
50歳代（n=284）	商業施設の誘致		公共交通でのアクセスの向上		駐車場の拡充		オープンカフェや朝市の設置		商業施設や公共施設を周遊するバスの運行	
	133	47.5%	98	35.0%	84	30.0%	82	29.3%	78	27.9%
60～64歳（n=108）	商業施設の誘致		オープンカフェや朝市の設置/駐車場の拡充				公共交通でのアクセスの向上		商業施設や公共施設を周遊するバスの運行	
	65	60.2%	35	32.4%			33	30.6%	30	27.8%
65～69歳（n=109）	商業施設の誘致		駐車場の拡充		公共交通でのアクセスの向上		商業施設や公共施設を周遊するバスの運行		オープンカフェや朝市の設置	
	45	42.1%	41	38.3%	34	31.8%	31	29.0%	27	25.2%
70～74歳（n=109）	駐車場の拡充		商業施設の誘致		公共交通でのアクセスの向上		商業施設や公共施設を周遊するバスの運行		ペデストリアンデッキを活用した歩きやすい空間づくり	
	47	43.5%	44	40.7%	38	35.2%	29	26.9%	24	22.2%
75歳以上（n=125）	駐車場の拡充		商業施設の誘致		公共交通でのアクセスの向上		商業施設や公共施設を周遊するバスの運行		オープンカフェや朝市の設置	
	52	41.6%	47	37.6%	44	35.2%	43	34.4%	25	20.0%

９　科学のまちについて

問 43　あなたは、つくばが「科学のまち」であることの恩恵を感じることがありますか。　＜○は１つ＞

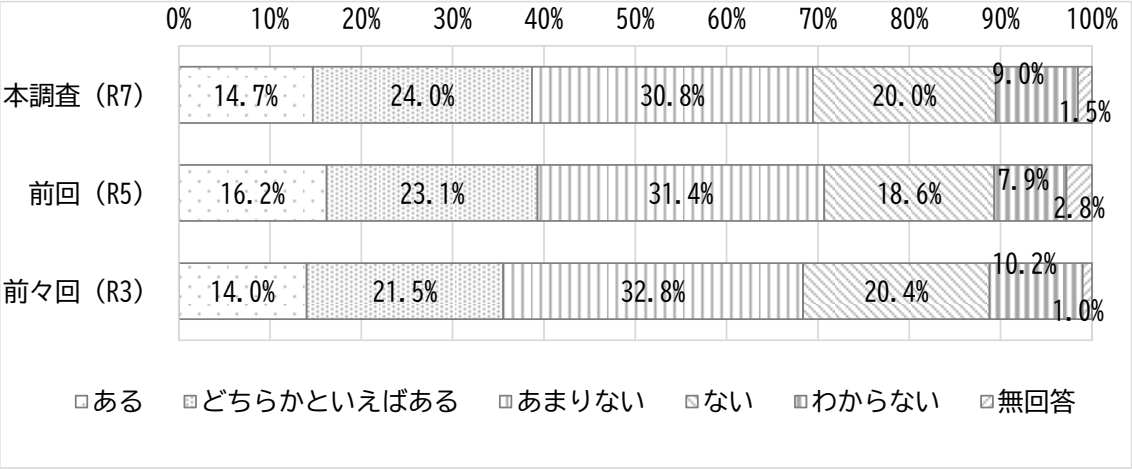
①　全体集計の結果

●つくばが「科学のまち」であることの恩恵を感じたことは、「あまりない/ない」が約５割

・「科学のまち」であることの恩恵を感じるかについては、「あまりない」が 423 人(30.8%)で最も多く、「どちらかといえばある」が 330 人(24.0%)、「ない」が 275 人(20.0%)、「ある」が 202 人(14.7%)で続いている。

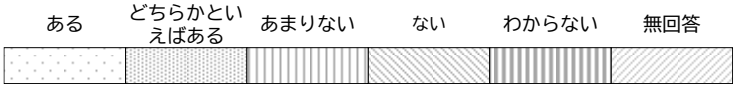
選択肢	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
ある	202	14.7%	16.2%	14.0%
どちらかといえばある	330	24.0%	23.1%	21.5%
あまりない	423	30.8%	31.4%	32.8%
ない	275	20.0%	18.6%	20.4%
わからない	124	9.0%	7.9%	10.2%
無回答	21	1.5%	2.8%	1.0%
全体	1,375	100.0%	100.0%	100.0%

＜過年度調査との比較＞



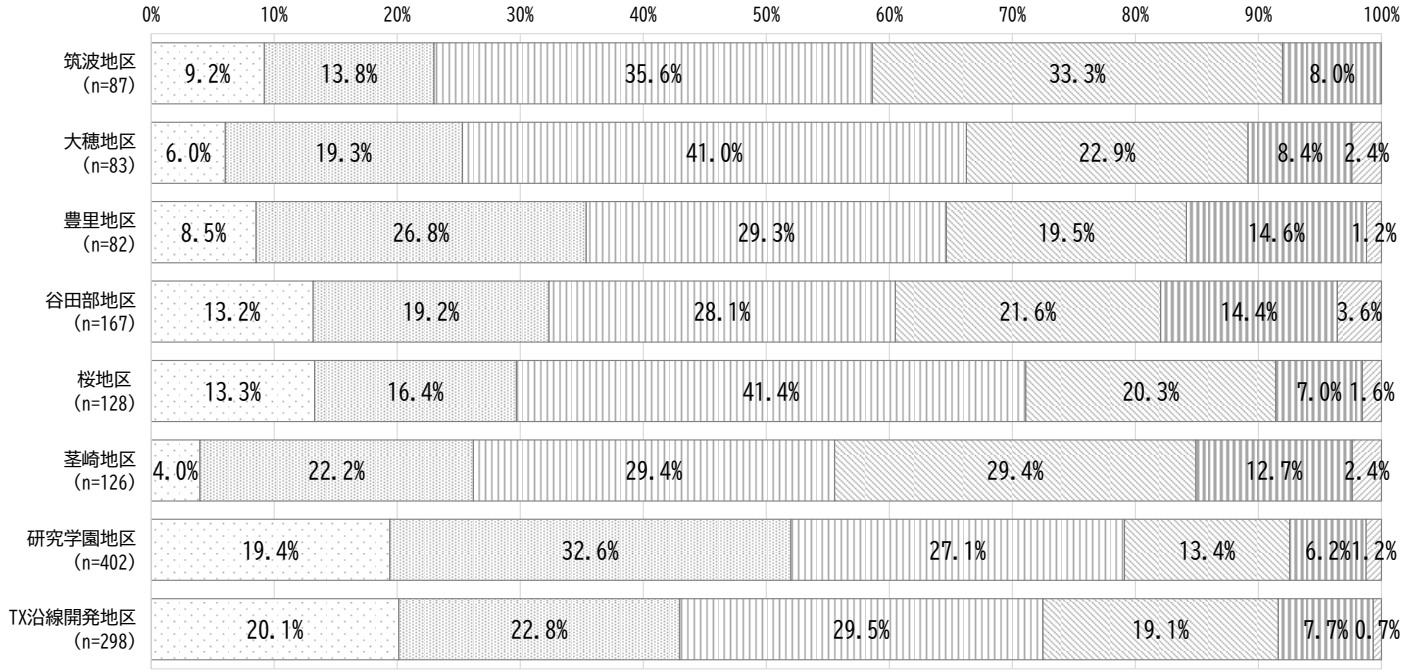
問 43　あなたは、つくばが「科学のまち」であることの恩恵を感じることがありますか。　＜○は１つ＞

② クロス集計の結果



【地区別】

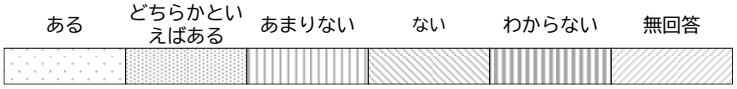
・筑波地区、大穂地区、桜地区では、「あまりない/ない」が６割を超えている。
・研究学園地区では「ある/どちらかといえばある」の割合が 52.0%となっている。



【年齢別】

・65～69 歳では「あまりない/ない」の割合が 65%を超えている。
・「ある/どちらかといえばある」の割合は 20 歳代が最も多く、56.3%である。





【世帯構成別】

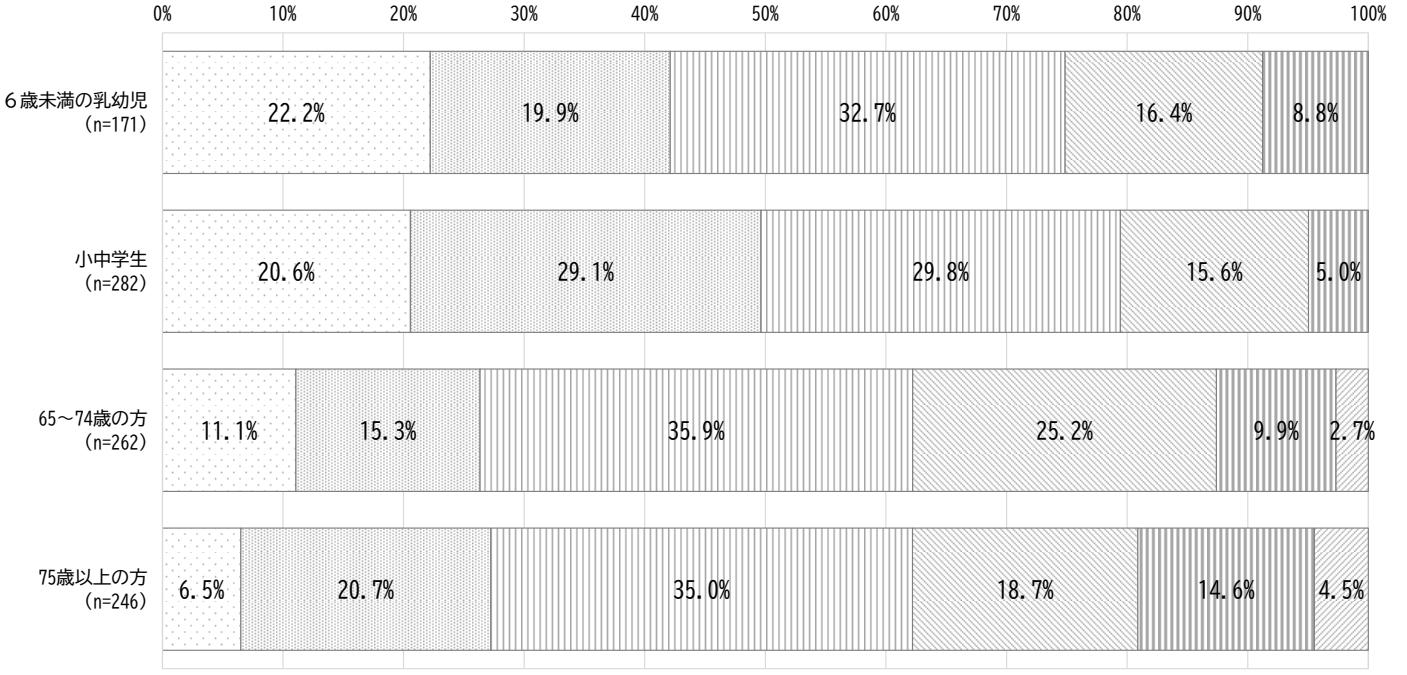
・「ある/どちらかといえばある」の割合は「ひとり暮らし」と「親子」で多く、どちらも 40%を超えている。



【世帯に含む人別】

・小中学生を含む世帯では「ある/どちらかといえばある」の割合が最も多く、約 50%である。

・65～74 歳の方を含む世帯と 75 歳以上の方を含む世帯では「あまりない/ない」の割合が 50%を超えている。



問 44　あなたにとって、つくばが「科学のまち」であることの恩恵とは何ですか。
＜○は当てはまるものすべて＞

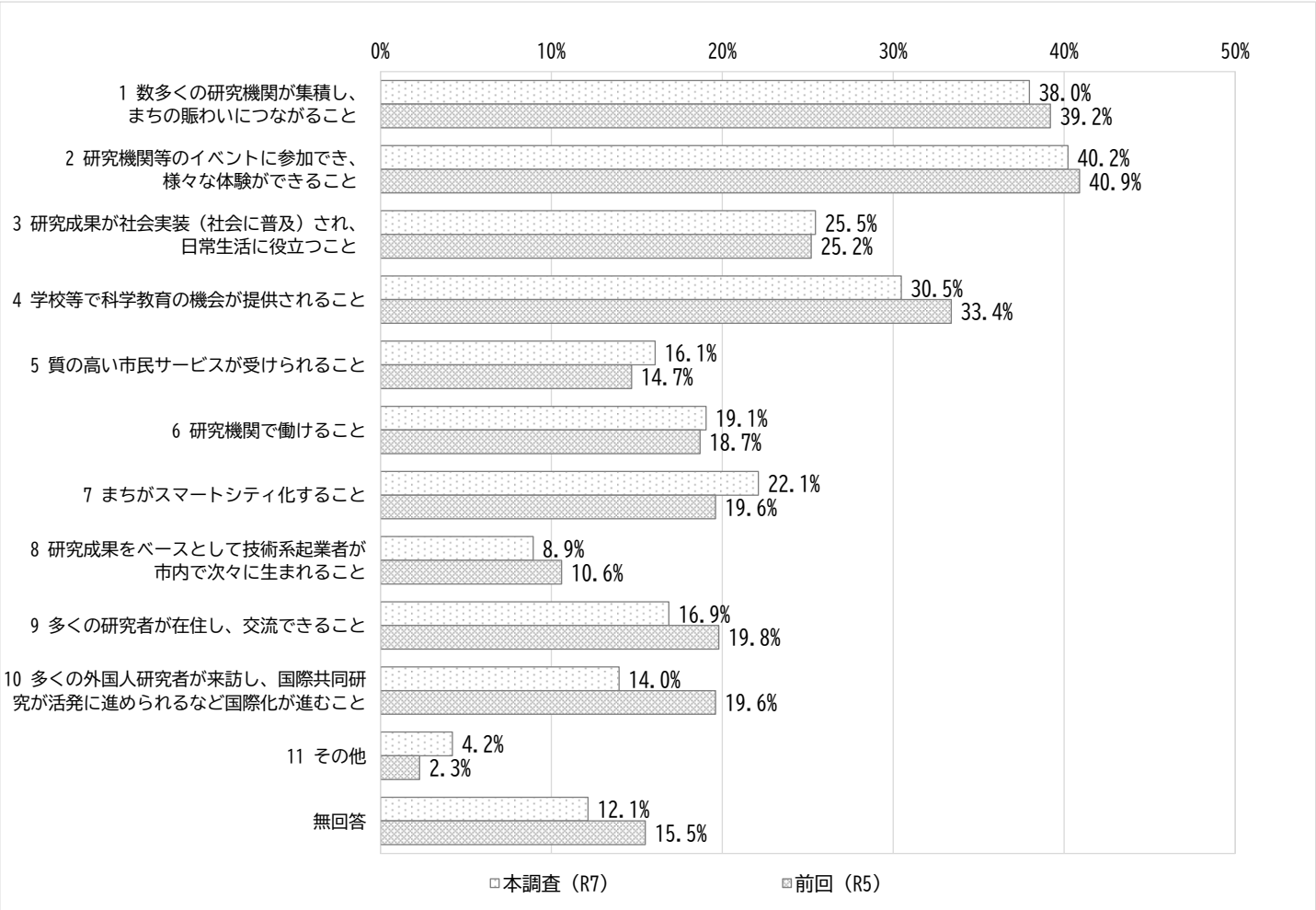
①　全体集計の結果

●「科学のまち」であることの恩恵については、「研究機関等のイベントに参加でき、様々な体験ができること」が約４割で最多

・つくばが「科学のまち」であることの恩恵については、「研究機関等のイベントに参加でき、様々な体験ができること」が 553 人(40.2%)で最も多く、「数多くの研究機関が集積し、まちの賑わいにつながること」が 522 人(38.0%)、「学校等で科学教育の機会が提供されること」が 419 人(30.5%)、「研究成果が社会実装（社会に普及）され、日常生活に役立つこと」が 350 人(25.5%)で続いている。

選択肢	本調査（R7）		前回（R5）
	回答数（人）	構成比	構成比
1 数多くの研究機関が集積し、まちの賑わいにつながること	522	38.0%	39.2%
2 研究機関等のイベントに参加でき、様々な体験ができること	553	40.2%	40.9%
3 研究成果が社会実装（社会に普及）され、日常生活に役立つこと	350	25.5%	25.2%
4 学校等で科学教育の機会が提供されること	419	30.5%	33.4%
5 質の高い市民サービスが受けられること	221	16.1%	14.7%
6 研究機関で働けること	262	19.1%	18.7%
7 まちがスマートシティ化（先端技術を活用して地域課題を解決し、利便性が高く暮らしやすい街をつくる取組）すること	304	22.1%	19.6%
8 研究成果をベースとして技術系起業者が市内で次々に生まれること	123	8.9%	10.6%
9 多くの研究者が在住し、交流できること	232	16.9%	19.8%
10 多くの外国人研究者が来訪し、国際共同研究が活発に進められるなど国際化が進むこと	192	14.0%	19.6%
11 その他	58	4.2%	2.3%
無回答	167	12.1%	15.5%
全体（有効回答数）	1375		

＜過年度調査との比較＞



問 44　あなたにとって、つくばが「科学のまち」であることの恩恵とは何ですか。＜○は当てはまるものすべて＞

② クロス集計の結果

【地区別】

・筑波地区、研究学園地区、ＴＸ沿線開発地区では、「研究機関等のイベントに参加でき、様々な体験ができること」が最も多い。
・大穂地区、豊里地区、谷田部地区、桜地区、茎崎地区では「数多くの研究機関が集積し、まちの賑わいにつながること」が最も多い。

回答順	1位		2位		3位					
筑波地区（n=87）	研究機関等のイベントに参加でき、様々な体験ができること		研究成果が社会実装され、日常生活に役立つこと		数多くの研究機関が集積し、まちの賑わいにつながること/学校等で科学教育の機会が提供されること				質の高い市民サービスが受けられること	
	29	33.3%	26	29.9%	24	27.6%			18	20.7%
大穂地区（n=83）	数多くの研究機関が集積し、まちの賑わいにつながること		研究機関等のイベントに参加でき、様々な体験ができること/研究成果が社会実装され、日常生活に役立つこと				学校等で科学教育の機会が提供されること		まちがスマートシティ化すること	
	25	30.1%	22	26.5%			21	25.3%	17	20.5%
豊里地区（n=82）	数多くの研究機関が集積し、まちの賑わいにつながること		研究機関等のイベントに参加でき、様々な体験ができること/学校等で科学教育の機会が提供されること				研究成果が社会実装され、日常生活に役立つこと		まちがスマートシティ化すること	
	32	39.0%	23	28.0%			18	22.0%	13	15.9%
谷田部地区（n=167）	数多くの研究機関が集積し、まちの賑わいにつながること		研究機関等のイベントに参加でき、様々な体験ができること		研究成果が社会実装され、日常生活に役立つこと		学校等で科学教育の機会が提供されること		まちがスマートシティ化すること	
	56	33.5%	54	32.3%	41	24.6%	39	23.4%	31	18.6%
桜地区（n=128）	数多くの研究機関が集積し、まちの賑わいにつながること		研究機関等のイベントに参加でき、様々な体験ができること		学校等で科学教育の機会が提供されること		研究成果が社会実装され、日常生活に役立つこと		質の高い市民サービスが受けられること	
	53	41.4%	46	35.9%	36	28.1%	27	21.1%	26	20.3%
茎崎地区（n=126）	数多くの研究機関が集積し、まちの賑わいにつながること		研究機関等のイベントに参加でき、様々な体験ができること		研究成果が社会実装され、日常生活に役立つこと		質の高い市民サービスが受けられること		まちがスマートシティ化すること	
	44	34.9%	33	26.2%	32	25.4%	24	19.0%	21	16.7%
研究学園地区（n=402）	研究機関等のイベントに参加でき、様々な体験ができること		数多くの研究機関が集積し、まちの賑わいにつながること		学校等で科学教育の機会が提供されること		研究成果が社会実装され、日常生活に役立つこと		研究機関で働けること	
	209	52.0%	175	43.5%	152	37.8%	109	27.1%	108	26.9%
ＴＸ沿線開発地区（n=298）	研究機関等のイベントに参加でき、様々な体験ができること		数多くの研究機関が集積し、まちの賑わいにつながること		学校等で科学教育の機会が提供されること		まちがスマートシティ化すること		研究成果が社会実装され、日常生活に役立つこと	
	137	46.0%	112	37.6%	104	34.9%	83	27.9%	75	25.2%

【年齢別】

・10 歳代、30 歳代、40 歳代、60～64 歳では「研究機関等のイベントに参加でき、様々な体験ができること」が最も多い。
・20 歳代、50 歳代、65 歳以上では「数多くの研究機関が集積し、まちの賑わいにつながること」が最も多い。
・10 歳代から 50 歳代では、「学校等で科学教育の機会が提供されること」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
10歳代（n=33）	研究機関等のイベントに参加でき、様々な体験ができること		数多くの研究機関が集積し、まちの賑わいにつながること		学校等で科学教育の機会が提供されること		研究成果が社会実装され、日常生活に役立つこと		まちがスマートシティ化すること	
	14	42.4%	13	39.4%	10	30.3%	9	27.3%	7	21.2%
20歳代（n=99）	数多くの研究機関が集積し、まちの賑わいにつながること		学校等で科学教育の機会が提供されること		研究機関等のイベントに参加でき、様々な体験ができること		研究成果が社会実装され、日常生活に役立つこと		研究機関で働けること	
	48	48.5%	41	41.4%	38	38.4%	30	30.3%	26	26.3%
30歳代（n=207）	研究機関等のイベントに参加でき、様々な体験ができること		数多くの研究機関が集積し、まちの賑わいにつながること		学校等で科学教育の機会が提供されること		まちがスマートシティ化すること		研究成果が社会実装され、日常生活に役立つこと	
	92	44.4%	76	36.7%	72	34.8%	59	28.5%	49	23.7%
40歳代（n=269）	研究機関等のイベントに参加でき、様々な体験ができること		学校等で科学教育の機会が提供されること		数多くの研究機関が集積し、まちの賑わいにつながること		研究成果が社会実装され、日常生活に役立つこと		研究機関で働けること	
	141	52.4%	101	37.5%	93	34.6%	65	24.2%	54	20.1%
50歳代（n=284）	数多くの研究機関が集積し、まちの賑わいにつながること		研究機関等のイベントに参加でき、様々な体験ができること		学校等で科学教育の機会が提供されること		研究成果が社会実装され、日常生活に役立つこと		研究機関で働けること	
	133	46.8%	121	42.6%	95	33.5%	67	23.6%	62	21.8%
60～64歳（n=108）	研究機関等のイベントに参加でき、様々な体験ができること		数多くの研究機関が集積し、まちの賑わいにつながること		研究成果が社会実装され、日常生活に役立つこと		質の高い市民サービスが受けられること/研究機関で働けること/まちがスマートシティ化すること			
	51	47.2%	35	32.4%	34	31.5%	27		25.0%	
65～69歳（n=109）	数多くの研究機関が集積し、まちの賑わいにつながること		研究機関等のイベントに参加でき、様々な体験ができること/研究成果が社会実装され、日常生活に役立つこと				学校等で科学教育の機会が提供されること		まちがスマートシティ化すること	
	38	34.9%	29	26.6%			28	25.7%	22	20.2%
70～74歳（n=109）	数多くの研究機関が集積し、まちの賑わいにつながること		研究機関等のイベントに参加でき、様々な体験ができること		研究成果が社会実装され、日常生活に役立つこと		まちがスマートシティ化すること		学校等で科学教育の機会が提供されること	
	39	35.8%	31	28.4%	30	27.5%	21	19.3%	19	17.4%
75歳以上（n=125）	数多くの研究機関が集積し、まちの賑わいにつながること		研究成果が社会実装され、日常生活に役立つこと		まちがスマートシティ化すること		研究機関等のイベントに参加でき、様々な体験ができること		学校等で科学教育の機会が提供されること	
	38	30.4%	30	24.0%	24	19.2%	21	16.8%	20	16.0%

【世帯構成別】
・ひとり暮らし、夫婦のみ、三世代同居では、「数多くの研究機関が集積し、まちの賑わいにつながること」が最も多い。
・親子、その他では、「研究機関等のイベントに参加でき、様々な体験ができること」が最も多い。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
ひとり暮らし（n=168）	数多くの研究機関が集積し、まちの賑わいにつながること		研究機関等のイベントに参加でき、様々な体験ができること		研究機関で働けること		研究成果が社会実装され、日常生活に役立つこと		まちがスマートシティ化すること	
	74	44.0%	58	34.5%	51	30.4%	48	28.6%	41	24.4%
夫婦のみ（n=353）	数多くの研究機関が集積し、まちの賑わいにつながること		研究機関等のイベントに参加でき、様々な体験ができること		研究成果が社会実装され、日常生活に役立つこと		まちがスマートシティ化すること		学校等で科学教育の機会が提供されること	
	132	37.4%	115	32.6%	93	26.3%	81	22.9%	72	20.4%
親子（n=676）	研究機関等のイベントに参加でき、様々な体験ができること		学校等で科学教育の機会が提供されること		数多くの研究機関が集積し、まちの賑わいにつながること		研究成果が社会実装され、日常生活に役立つこと		まちがスマートシティ化すること	
	313	46.3%	268	39.6%	255	37.7%	161	23.8%	148	21.9%
三世代同居（n=80）	数多くの研究機関が集積し、まちの賑わいにつながること		研究機関等のイベントに参加でき、様々な体験ができること		研究成果が社会実装され、日常生活に役立つこと/学校等で科学教育の機会が提供されること				まちがスマートシティ化すること	
	29	36.3%	26	32.5%	20		20	25.0%	15	18.8%
その他（n=59）	研究機関等のイベントに参加でき、様々な体験ができること		数多くの研究機関が集積し、まちの賑わいにつながること		研究成果が社会実装され、日常生活に役立つこと		質の高い市民サービスが受けられること		学校等で科学教育の機会が提供されること	
	24	40.7%	22	37.3%	19	32.2%	16	27.1%	15	25.4%

【世帯に含む人別】
・６歳未満の乳幼児を含む世帯と小中学生を含む世帯では、「研究機関等のイベントに参加でき、様々な体験ができること」が最も多く、次点として「学校等で科学教育の機会が提供されること」が続いている。
・65～74 歳の方を含む世帯と 75 歳以上の方を含む世帯では、「数多くの研究機関が集積し、まちの賑わいにつながること」が最も多い。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
６歳未満の乳幼児（n=171）	研究機関等のイベントに参加でき、様々な体験ができること		学校等で科学教育の機会が提供されること		数多くの研究機関が集積し、まちの賑わいにつながること		まちがスマートシティ化すること		多くの研究者が在住し、交流できること	
	89	52.0%	72	42.1%	62	36.3%	43	25.1%	38	22.2%
小中学生（n=282）	研究機関等のイベントに参加でき、様々な体験ができること		学校等で科学教育の機会が提供されること		数多くの研究機関が集積し、まちの賑わいにつながること		研究成果が社会実装され、日常生活に役立つこと		多くの研究者が在住し、交流できること	
	153	54.3%	135	47.9%	104	36.9%	61	21.6%	59	20.9%
65～74歳の方（n=262）	数多くの研究機関が集積し、まちの賑わいにつながること		研究機関等のイベントに参加でき、様々な体験ができること		研究成果が社会実装され、日常生活に役立つこと		学校等で科学教育の機会が提供されること		まちがスマートシティ化すること	
	99	37.8%	80	30.5%	69	26.3%	62	23.7%	47	17.9%
75歳以上の方（n=246）	数多くの研究機関が集積し、まちの賑わいにつながること		研究機関等のイベントに参加でき、様々な体験ができること		研究成果が社会実装され、日常生活に役立つこと		学校等で科学教育の機会が提供されること		まちがスマートシティ化すること	
	79	32.1%	66	26.8%	61	24.8%	46	18.7%	45	18.3%

問 45　あなたは、つくば市は科学のまちならではの先端的な製品・サービスが、いち早く暮らしの中に活かされていると思いますか。　＜○は１つ＞

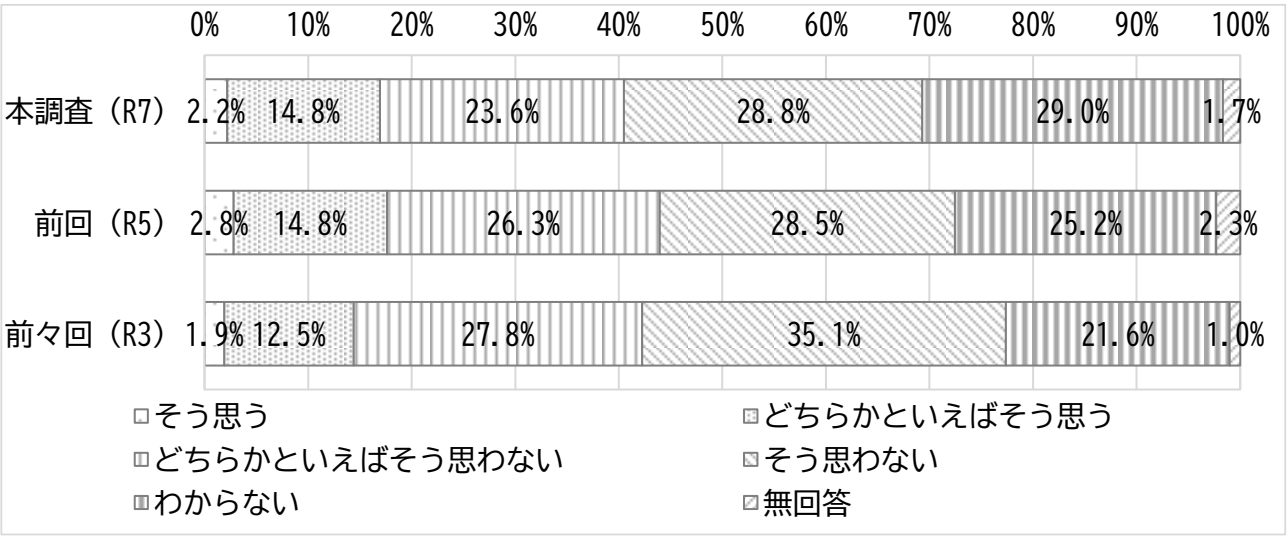
①　全体集計の結果

●先端的な製品・サービスが暮らしの中に活かされていると思うかについては、「どちらかといえばそう思わない/そう思わない」が約５割

・先端的な製品・サービスが暮らしの中に活かされていると思うかについては、「わからない」が 399 人（29.0%）で最も多く、「そう思わない」が 396 人(28.8%)、「どちらかといえばそう思わない」が 324 人(23.6%)、「どちらかといえばそう思う」が 203 人(14.8%)で続いている。

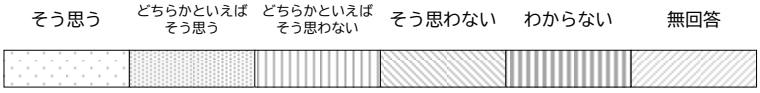
選択肢	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
そう思う	30	2.2%	2.8%	1.9%
どちらかといえばそう思う	203	14.8%	14.8%	12.5%
どちらかといえばそう思わない	324	23.6%	26.3%	27.8%
そう思わない	396	28.8%	28.5%	35.1%
わからない	399	29.0%	25.2%	21.6%
無回答	23	1.7%	2.3%	1.0%
全体	1,375	100.0%	100.0%	100.0%

＜過年度調査との比較＞



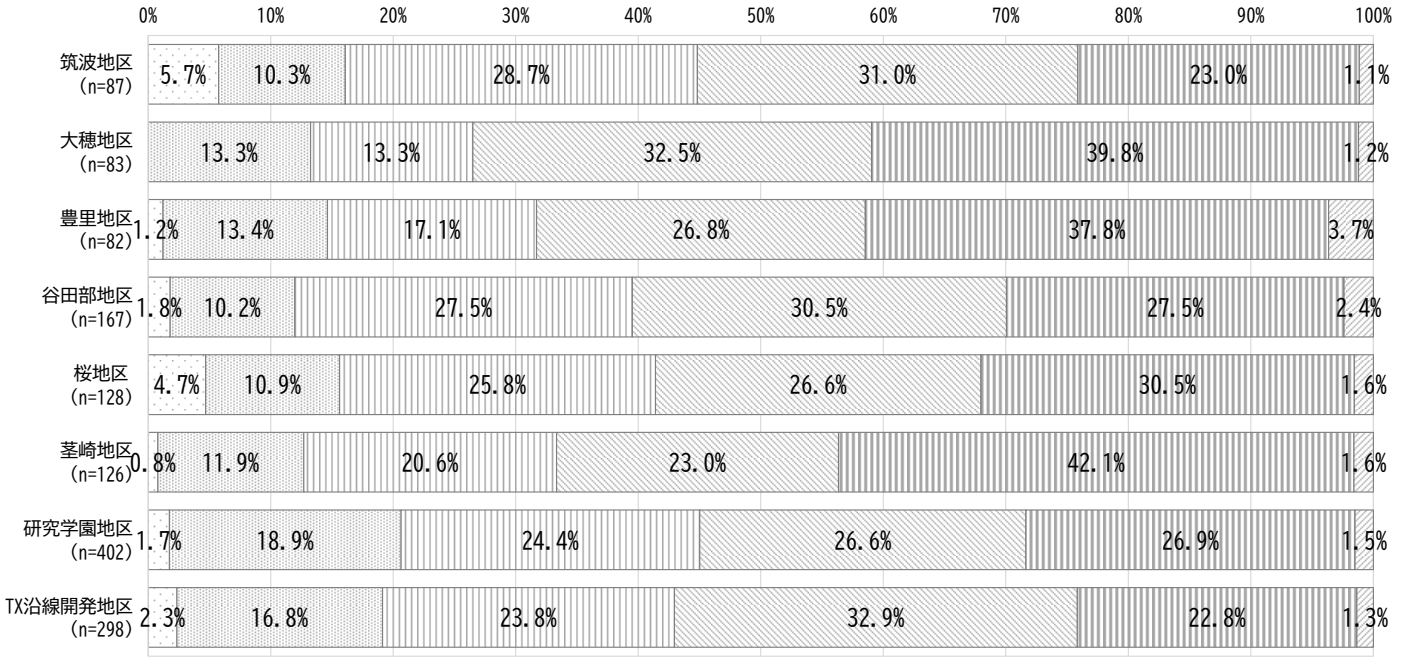
問 45　あなたは、つくば市は科学のまちならではの先端的な製品・サービスが、いち早く暮らしの中に活かされていると思いますか。　＜○は１つ＞

② クロス集計の結果



【地区別】

・大穂地区、豊里地区、茎崎地区以外の地区では「どちらかといえばそう思わない/そう思わない」の割合が 50%を超えている。

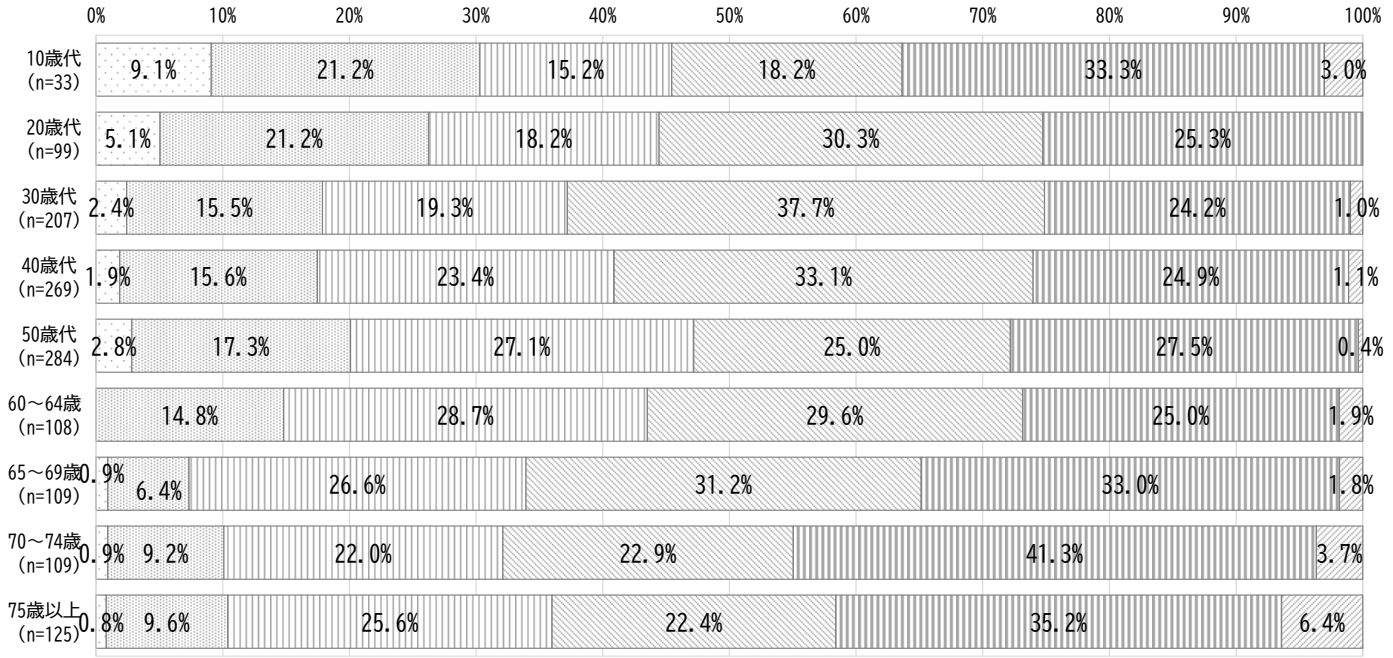


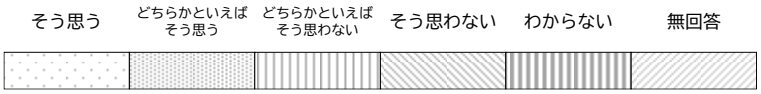
【年齢別】

・全体として年齢が上がるにつれて「そう思う/どちらかといえばそう思う」の割合が減少していく傾向にある。

・10 歳代では「そう思う/どちらかといえばそう思う」の割合が 30%を超えている。

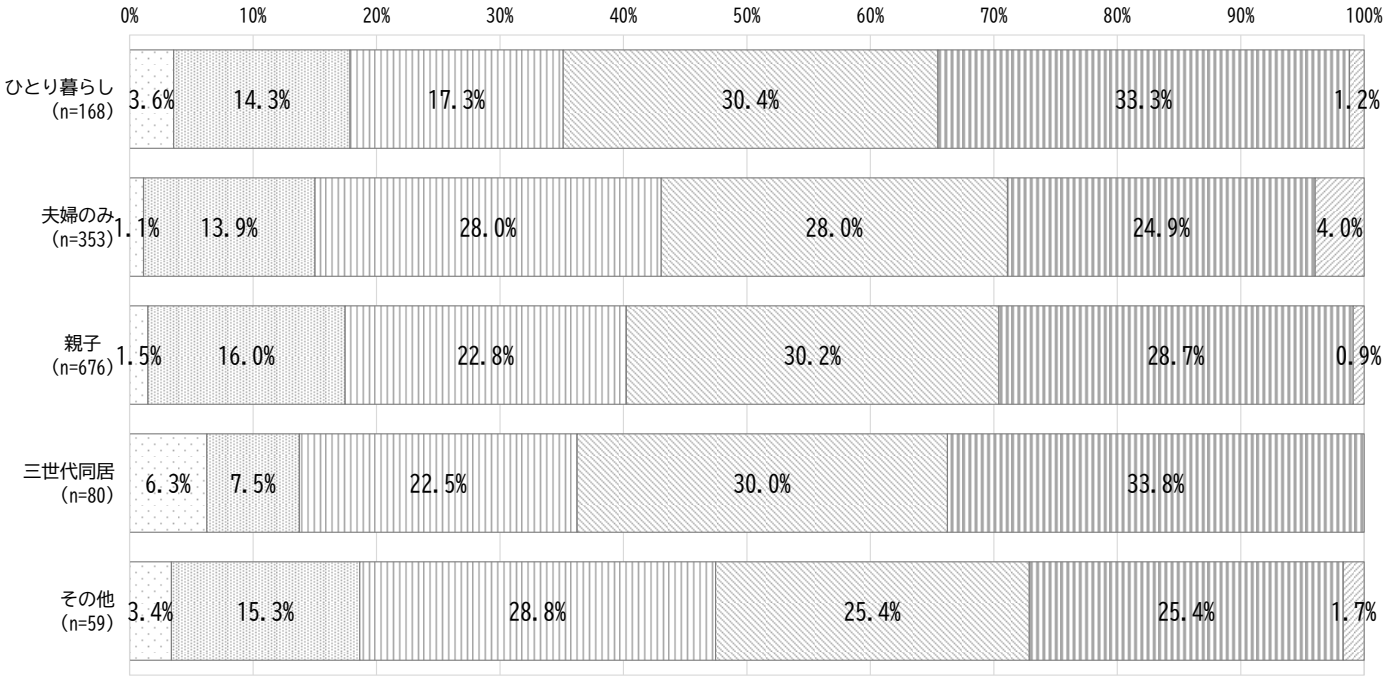
・30 歳代から 69 歳までは「どちらかといえばそう思わない/そう思わない」の割合が 50%を超えており、70 歳以上では「わからない」が 35%を超えている。





【世帯構成別】

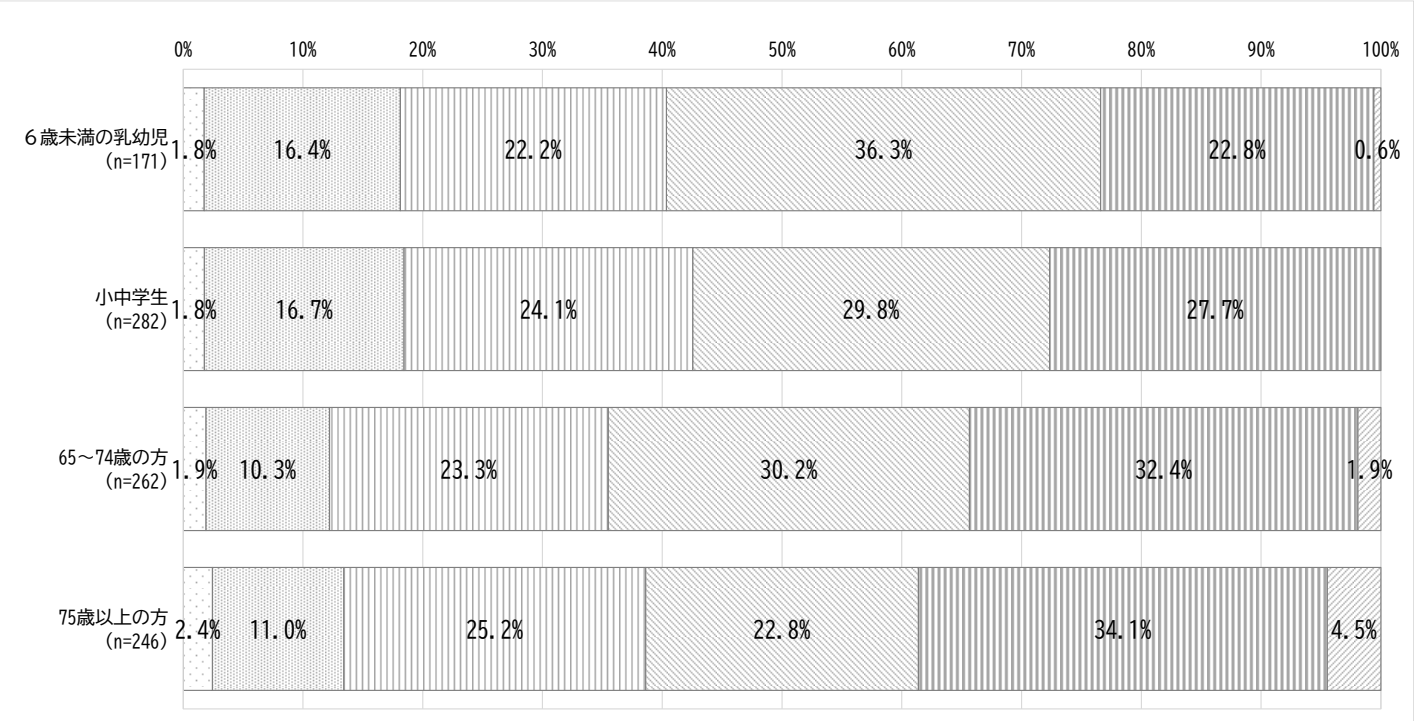
・ひとり暮らしを除く全ての世帯構成で「どちらかといえばそう思わない/そう思わない」の割合が 50%を超えている。



【世帯に含む人別】

・75 歳以上の方を含む世帯以外では、「どちらかといえばそう思わない/そう思わない」の割合が 50%を超えている。

・6 歳未満の乳幼児を含む世帯と小中学生を含む世帯は「そう思う/どちらかといえばそう思う」の割合が 15%を超えている。



問 46　あなたは以下のモバイル機器を保有していますか。　＜○は当てはまるものすべて＞

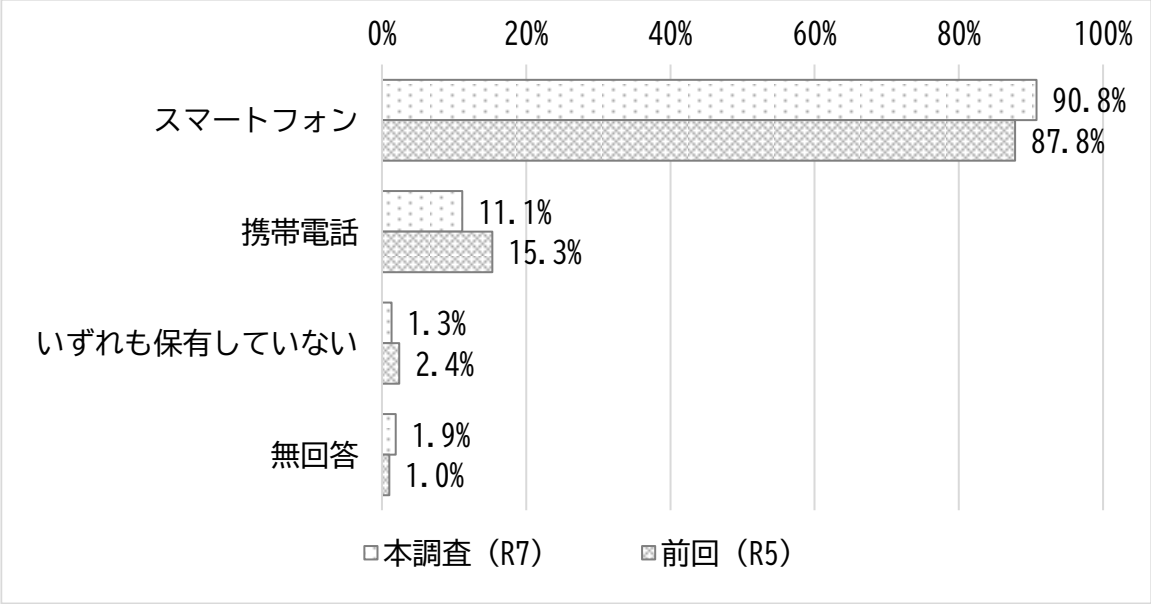
①　全体集計の結果

●モバイル機器の保有状況については、「スマートフォン」が 9 割超

・モバイル機器の保有状況については、「スマートフォン」が 1,248 人(90.8%)で最も多く、「携帯電話」が 153 人(11.1%)、「いずれも保有していない」が 18 人(1.3%)となっている。

選択肢	本調査（R7）		前回（R5）
	回答数（人）	構成比	構成比
スマートフォン	1,248	90.8%	87.8%
携帯電話	153	11.1%	15.3%
いずれも保有していない	18	1.3%	2.4%
無回答	26	1.9%	1.0%
全体（有効回答数）	1,375		

＜過年度調査との比較＞



問 46　あなたは以下のモバイル機器を保有していますか。　＜○は当てはまるものすべて＞

② クロス集計の結果

【地区別】
・全ての地区で「スマートフォン」の割合が最も多くなっている。

回答順	1位		2位		3位	
筑波地区（n=87）	スマートフォン		携帯電話		いずれも保有していない	
	73	83.9%	12	13.8%	1	1.1%
大穂地区（n=83）	スマートフォン		携帯電話		いずれも保有していない	
	66	79.5%	9	10.8%	1	1.2%
豊里地区（n=82）	スマートフォン		携帯電話		いずれも保有していない	
	62	75.6%	13	15.9%	2	2.4%
谷田部地区（n=167）	スマートフォン		携帯電話		いずれも保有していない	
	135	80.8%	14	8.4%	5	3.0%
桜地区（n=128）	スマートフォン		携帯電話		いずれも保有していない	
	112	87.5%	8	6.3%	1	0.8%
茎崎地区（n=126）	スマートフォン		携帯電話		いずれも保有していない	
	101	80.2%	14	11.1%	3	2.4%
研究学園地区（n=402）	スマートフォン		携帯電話		いずれも保有していない	
	351	87.3%	7	1.7%	4	1.0%
ＴＸ沿線開発地区（n=298）	スマートフォン		携帯電話		いずれも保有していない	
	277	93.0%	5	1.7%	1	0.3%

【年齢別】
・全ての年齢で「スマートフォン」の割合が最も多くなっている。

回答順	1位		2位		3位	
10歳代（n=33）	スマートフォン		-		-	
	31	93.9%	-	-	-	-
20歳代（n=99）	スマートフォン		携帯電話		-	
	94	94.9%	2	2.0%	-	-
30歳代（n=207）	スマートフォン		携帯電話		-	
	198	95.7%	1	0.5%	-	-
40歳代（n=269）	スマートフォン		携帯電話		いずれも保有していない	
	249	92.6%	4	1.5%	1	0.4%
50歳代（n=284）	スマートフォン		携帯電話		いずれも保有していない	
	251	88.4%	10	3.5%	2	0.7%
60～64歳（n=108）	スマートフォン		携帯電話		いずれも保有していない	
	96	88.9%	5	4.6%	1	0.9%
65～69歳（n=109）	スマートフォン		携帯電話		いずれも保有していない	
	85	78.0%	12	11.0%	2	1.8%
70～74歳（n=109）	スマートフォン		携帯電話		いずれも保有していない	
	69	63.3%	20	18.3%	7	6.4%
75歳以上（n=125）	スマートフォン		携帯電話		いずれも保有していない	
	78	62.4%	25	20.0%	4	3.2%

１０　国際都市つくばについて

問 47　あなたは、「国際都市」として、つくば市が今後、強化すべき取組は何だと思いますか。
当てはまる番号を、右の回答欄に 3 つまで記入してください。

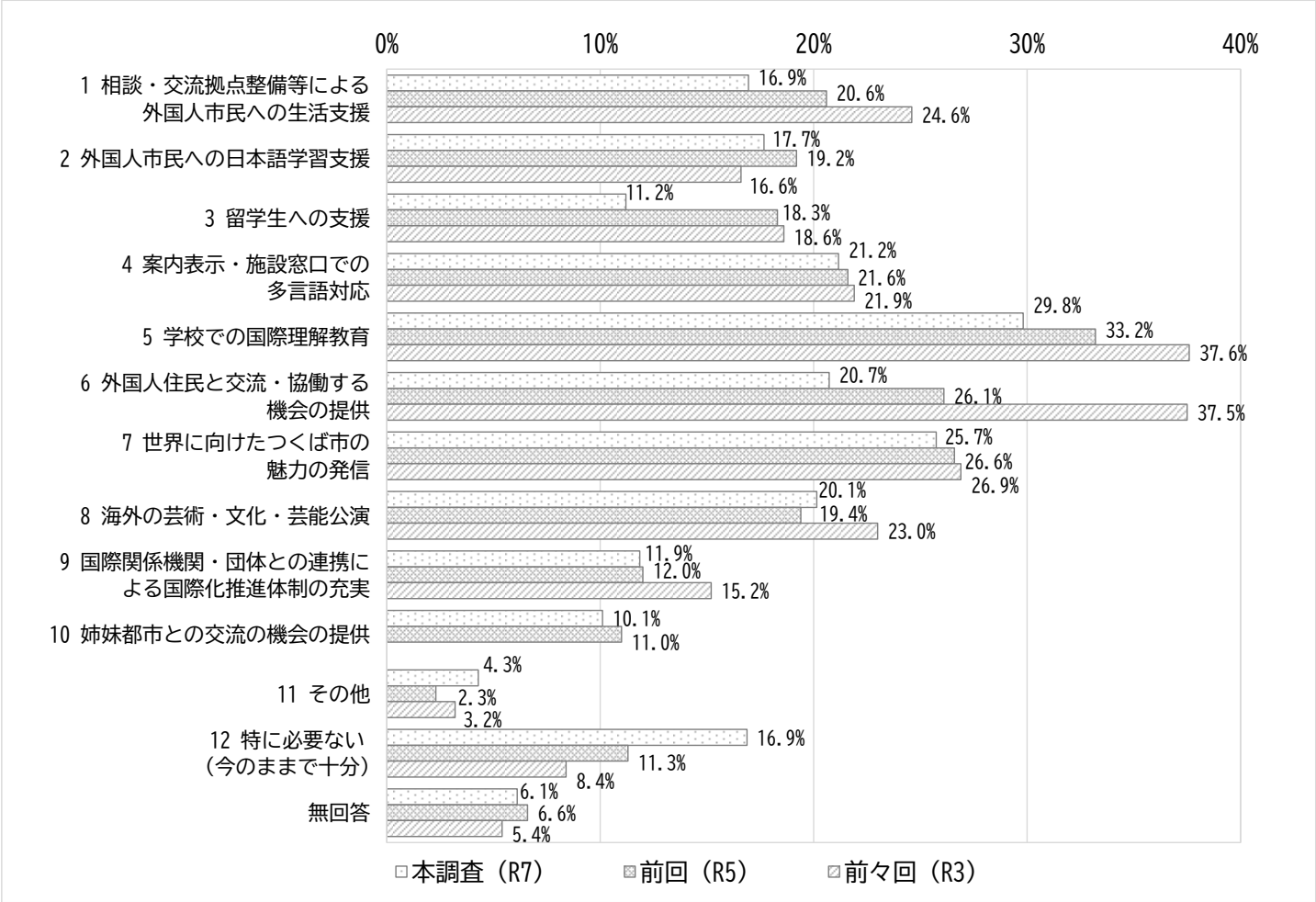
①　全体集計の結果

●国際都市として取り組むべきことは、「学校での国際理解教育」が約 3 割

・つくば市が国際都市として取り組むべきことについては、「学校での国際理解教育」が 410 人(29.8%)で最も多く、「世界に向けたつくば市の魅力の発信」が 354 人(25.7%)、「案内表示・施設窓口での多言語対応」が 291 人(21.2%)、「外国人住民と交流・協働する機会の提供」が 285 人(20.7%)で続いている。
・過年度比較すると、多くの項目が減少しているが、「特に必要ない（今のままで十分）」が年々増加している。

選択肢	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
1 相談・交流拠点整備等による外国人市民への生活支援	233	16.9%	20.6%	24.6%
2 外国人市民への日本語学習支援	243	17.7%	19.2%	16.6%
3 留学生への支援	154	11.2%	18.3%	18.6%
4 案内表示・施設窓口での多言語対応	291	21.2%	21.6%	21.9%
5 学校での国際理解教育	410	29.8%	33.2%	37.6%
6 外国人住民と交流・協働する機会の提供	285	20.7%	26.1%	37.5%
7 世界に向けたつくば市の魅力の発信	354	25.7%	26.6%	26.9%
8 海外の芸術・文化・芸能公演	277	20.1%	19.4%	23.0%
9 国際関係機関・団体との連携による国際化推進体制の充実	163	11.9%	12.0%	15.2%
10 姉妹都市との交流の機会の提供	139	10.1%	11.0%	-
11 その他	59	4.3%	2.3%	3.2%
12 特に必要ない（今のままで十分）	232	16.9%	11.3%	8.4%
無回答	84	6.1%	6.6%	5.4%
全体（有効回答数）	1,375			

＜過年度調査との比較＞



問 47　あなたは、「国際都市」として、つくば市が今後、強化すべき取組は何だと思いますか。
当てはまる番号を、右の回答欄に 3 つまで記入してください。

② クロス集計の結果

【地区別】
・筑波地区、茎崎地区を除いた全ての地区で「学校での国際理解教育」が最も多い。
・筑波地区と茎崎地区では「世界に向けたつくば市の魅力の発信」が最も多くなっている。
・桜地区は、「学校での国際理解教育」と同率で「海外の芸術・文化・芸能公演」で最多となっている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区（n=87）	世界に向けたつくば市の魅力の発信		学校での国際理解教育		案内表示・施設窓口での多言語対応/外国人住民と交流・協働する機会の提供				海外の芸術・文化・芸能公演	
	29	33.3%	24	27.6%	19		21.8%		15	17.2%
大穂地区（n=83）	学校での国際理解教育		世界に向けたつくば市の魅力の発信		海外の芸術・文化・芸能公演		外国人住民と交流・協働する機会の提供		相談・交流拠点整備等による外国人市民への生活支援	
	29	34.9%	24	28.9%	18	21.7%	17	20.5%	16	19.3%
豊里地区（n=82）	学校での国際理解教育		世界に向けたつくば市の魅力の発信		案内表示・施設窓口での多言語対応		外国人市民への日本語学習支援/特に必要ない			
	26	31.7%	19	23.2%	18	22.0%	16		19.5%	
谷田部地区（n=167）	学校での国際理解教育		世界に向けたつくば市の魅力の発信		案内表示・施設窓口での多言語対応		相談・交流拠点整備等による外国人市民への生活支援/特に必要ない			
	50	29.9%	47	28.1%	37	22.2%	32		19.2%	
桜地区（n=128）	学校での国際理解教育/海外の芸術・文化・芸能公演				案内表示・施設窓口での多言語対応		世界に向けたつくば市の魅力の発信		特に必要ない	
	35		27.3%		33	25.8%	30	23.4%	27	21.1%
茎崎地区（n=126）	世界に向けたつくば市の魅力の発信		学校での国際理解教育		案内表示・施設窓口での多言語対応/海外の芸術・文化・芸能公演				特に必要ない	
	38	30.2%	30	23.8%	26		20.6%		25	19.8%
研究学園地区（n=402）	学校での国際理解教育		外国人住民と交流・協働する機会の提供		案内表示・施設窓口での多言語対応		海外の芸術・文化・芸能公演		世界に向けたつくば市の魅力の発信	
	117	29.1%	107	26.6%	96	23.9%	93	23.1%	92	22.9%
ＴＸ沿線開発地区（n=298）	学校での国際理解教育		世界に向けたつくば市の魅力の発信		外国人住民と交流・協働する機会の提供		外国人市民への日本語学習支援		海外の芸術・文化・芸能公演	
	99	33.2%	75	25.2%	65	21.8%	59	19.8%	55	18.5%

【年齢別】
・10 歳代から 50 歳代、65～74 歳では「学校での国際理解教育」が最も多く、65～74 歳では「世界に向けたつくば市の魅力の発信」が同率で最も多くなっている。
・60～64 歳では「案内表示・施設窓口での多言語対応」、75 歳以上では「世界に向けたつくば市の魅力の発信」が最も多くなっている。
・10～30 歳代では「特に必要ない（今のままで十分）」が 2 位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
10歳代（n=33）	学校での国際理解教育		特に必要ない		世界に向けたつくば市の魅力の発信		海外の芸術・文化・芸能公演		相談・交流拠点整備等による外国人市民への生活支援	
	13	39.4%	9	27.3%	7	21.2%	6	18.2%	5	15.2%
20歳代（n=99）	学校での国際理解教育		特に必要ない		海外の芸術・文化・芸能公演		案内表示・施設窓口での多言語対応/世界に向けたつくば市の魅力の発信			
	27	27.3%	26	26.3%	20	20.2%	18		18.2%	
30歳代（n=207）	学校での国際理解教育		特に必要ない		海外の芸術・文化・芸能公演		外国人住民と交流・協働する機会の提供		世界に向けたつくば市の魅力の発信	
	60	29.0%	50	24.2%	48	23.2%	47	22.7%	45	21.7%
40歳代（n=269）	学校での国際理解教育		世界に向けたつくば市の魅力の発信		外国人住民と交流・協働する機会の提供		特に必要ない		外国人市民への日本語学習支援	
	86	32.0%	56	20.8%	52	19.3%	50	18.6%	49	18.2%
50歳代（n=284）	学校での国際理解教育		世界に向けたつくば市の魅力の発信		案内表示・施設窓口での多言語対応		外国人住民と交流・協働する機会の提供		相談・交流拠点整備等による外国人市民への生活支援	
	80	28.2%	77	27.1%	71	25.0%	69	24.3%	61	21.5%
60～64歳（n=108）	案内表示・施設窓口での多言語対応		外国人市民への日本語学習支援		学校での国際理解教育/外国人住民と交流・協働する機会の提供				海外の芸術・文化・芸能公演	
	30	27.8%	29	26.9%	28		25.9%		24	22.2%
65～69歳（n=109）	学校での国際理解教育/世界に向けたつくば市の魅力の発信				相談・交流拠点整備等による外国人市民への生活支援/案内表示・施設窓口での多言語対応				外国人住民と交流・協働する機会の提供	
	35		32.1%		26		23.9%		24	22.0%
70～74歳（n=109）	学校での国際理解教育/世界に向けたつくば市の魅力の発信				案内表示・施設窓口での多言語対応/海外の芸術・文化・芸能公演				外国人市民への日本語学習支援	
	34		31.2%		25		22.9%		22	20.2%
75歳以上（n=125）	世界に向けたつくば市の魅力の発信		学校での国際理解教育		案内表示・施設窓口での多言語対応		外国人市民への日本語学習支援		外国人住民と交流・協働する機会の提供	
	46	36.8%	31	24.8%	25	20.0%	22	17.6%	20	16.0%

【世帯に含む人別】

・６歳未満の乳幼児を含む世帯と小中学生を含む世帯では「学校での国際理解教育」が最も多く、次点で「外国人住民と交流・協働する機会の提供」が続いている。
・65～74 歳の方を含む世帯と 75 歳以上の方を含む世帯で「世界に向けたつくば市の魅力の発信」が最も多くなっている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
６歳未満の乳幼児（n=171）	学校での国際理解教育		外国人住民と交流・協働する機会の提供		世界に向けたつくば市の魅力の発信		海外の芸術・文化・芸能公演		外国人市民への日本語学習支援	
	66	38.6%	42	24.6%	38	22.2%	33	19.3%	31	18.1%
小中学生（n=282）	学校での国際理解教育		外国人住民と交流・協働する機会の提供		世界に向けたつくば市の魅力の発信		相談・交流拠点整備等による外国人市民への生活支援		海外の芸術・文化・芸能公演	
	121	42.9%	65	23.0%	61	21.6%	57	20.2%	51	18.1%
65～74歳の方（n=262）	世界に向けたつくば市の魅力の発信		学校での国際理解教育		案内表示・施設窓口での多言語対応		海外の芸術・文化・芸能公演		外国人住民と交流・協働する機会の提供	
	76	29.0%	70	26.7%	69	26.3%	51	19.5%	50	19.1%
75歳以上の方（n=246）	世界に向けたつくば市の魅力の発信		学校での国際理解教育		案内表示・施設窓口での多言語対応		相談・交流拠点整備等による外国人市民への生活支援		外国人市民への日本語学習支援	
	80	32.5%	61	24.8%	57	23.2%	44	17.9%	42	17.1%

【職業別】

・全ての職業で「学校での国際理解教育」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
会社員・公務員（n=583）	世界に向けたつくば市の魅力の発信		学校での国際理解教育		案内表示・施設窓口での多言語対応		外国人住民と交流・協働する機会の提供		海外の芸術・文化・芸能公演	
	150	25.7%	149	25.6%	140	24.0%	123	21.1%	121	20.8%
自営業（n=85）	外国人住民と交流・協働する機会の提供/世界に向けたつくば市の魅力の発信				学校での国際理解教育/海外の芸術・文化・芸能公演				相談・交流拠点整備等による外国人市民への生活支援	
	26	30.6%			22	25.9%			14	16.5%
農林業（n=14）	外国人住民と交流・協働する機会の提供/特に必要ない				相談・交流拠点整備等による外国人市民への生活支援/学校での国際理解教育/海外の芸術・文化・芸能公演					
	4	28.6%			3	21.4%				
パート・アルバイトなど（n=216）	学校での国際理解教育		世界に向けたつくば市の魅力の発信		外国人市民への日本語学習支援		案内表示・施設窓口での多言語対応		外国人住民と交流・協働する機会の提供	
	77	35.6%	47	21.8%	43	19.9%	42	19.4%	41	19.0%
専業主婦（主夫）（n=157）	学校での国際理解教育		世界に向けたつくば市の魅力の発信		案内表示・施設窓口での多言語対応		海外の芸術・文化・芸能公演		外国人住民と交流・協働する機会の提供	
	60	38.2%	44	28.0%	36	22.9%	34	21.7%	32	20.4%
学生（n=69）	学校での国際理解教育		海外の芸術・文化・芸能公演		世界に向けたつくば市の魅力の発信/特に必要ない				外国人市民への日本語学習支援	
	31	44.9%	15	21.7%	14	20.3%			13	18.8%
無職（n=171）	世界に向けたつくば市の魅力の発信		案内表示・施設窓口での多言語対応/学校での国際理解教育				外国人住民と交流・協働する機会の提供		外国人市民への日本語学習支援	
	55	32.2%	39	22.8%			33	19.3%	32	18.7%
その他（n=41）	相談・交流拠点整備等による外国人市民への生活支援/学校での国際理解教育				海外の芸術・文化・芸能公演		外国人市民への日本語学習支援		外国人住民と交流・協働する機会の提供	
	12	29.3%			10	24.4%	9	22.0%	8	19.5%

問 48　あなたは、世界中から多様な国籍の人が集まっているまちに住んでいる良さを感じていますか。＜○は１つ＞

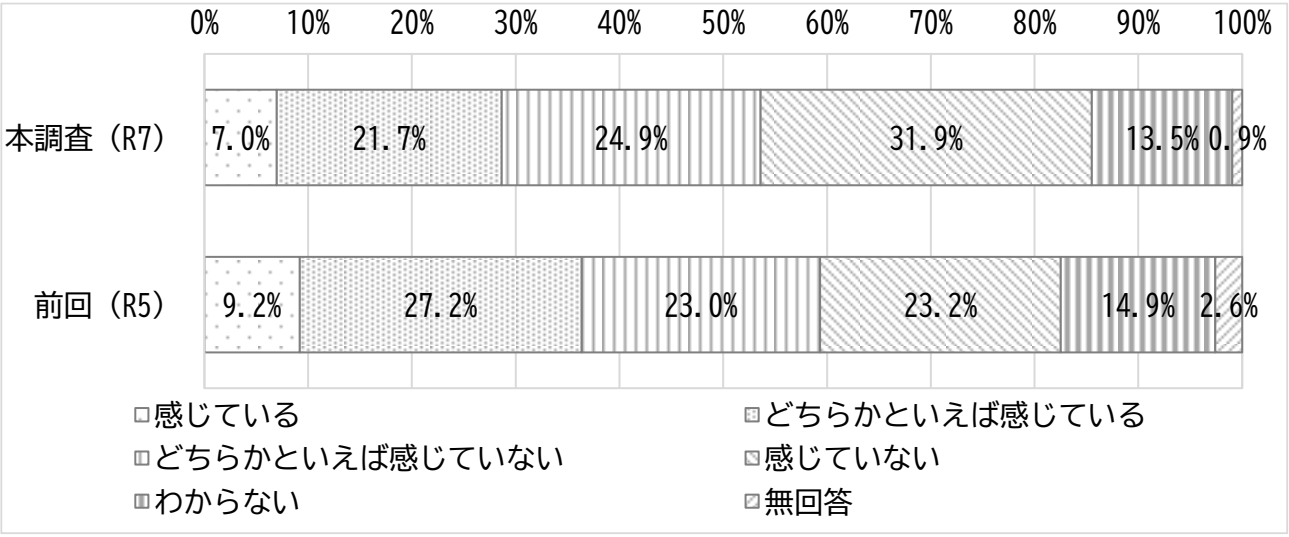
①　全体集計の結果

●世界中から多様な国籍の人が集まっているまちに住んでいる良さを、「感じていない/どちらかといえば感じていない」が５割半ば

・世界中から多様な国籍の人が集まっているまちに住んでいる良さについて、「感じていない」が 439 人(31.9%)で最も多く、次いで、「どちらかといえば感じていない」が 343 人(24.9%)、「どちらかといえば感じている」が 298 人(21.7%)、「わからない」が 186 人(13.5%)、「感じている」が 96 人（7.0%）で続いている。

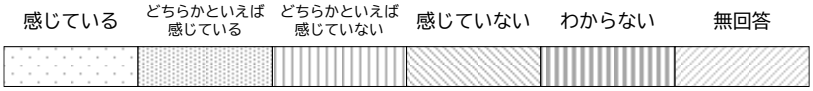
選択肢	本調査（R7）		前回（R5）
	回答数（人）	構成比	構成比
感じている	96	7.0%	9.2%
どちらかといえば感じている	298	21.7%	27.2%
どちらかといえば感じていない	343	24.9%	23.0%
感じていない	439	31.9%	23.2%
わからない	186	13.5%	14.9%
無回答	13	0.9%	2.6%
全体	1,375	100.0%	100.0%

＜過年度調査との比較＞



問 48　あなたは、世界中から多様な国籍の人が集まっているまちに住んでいる良さを感じていますか。＜○は１つ＞

② クロス集計の結果



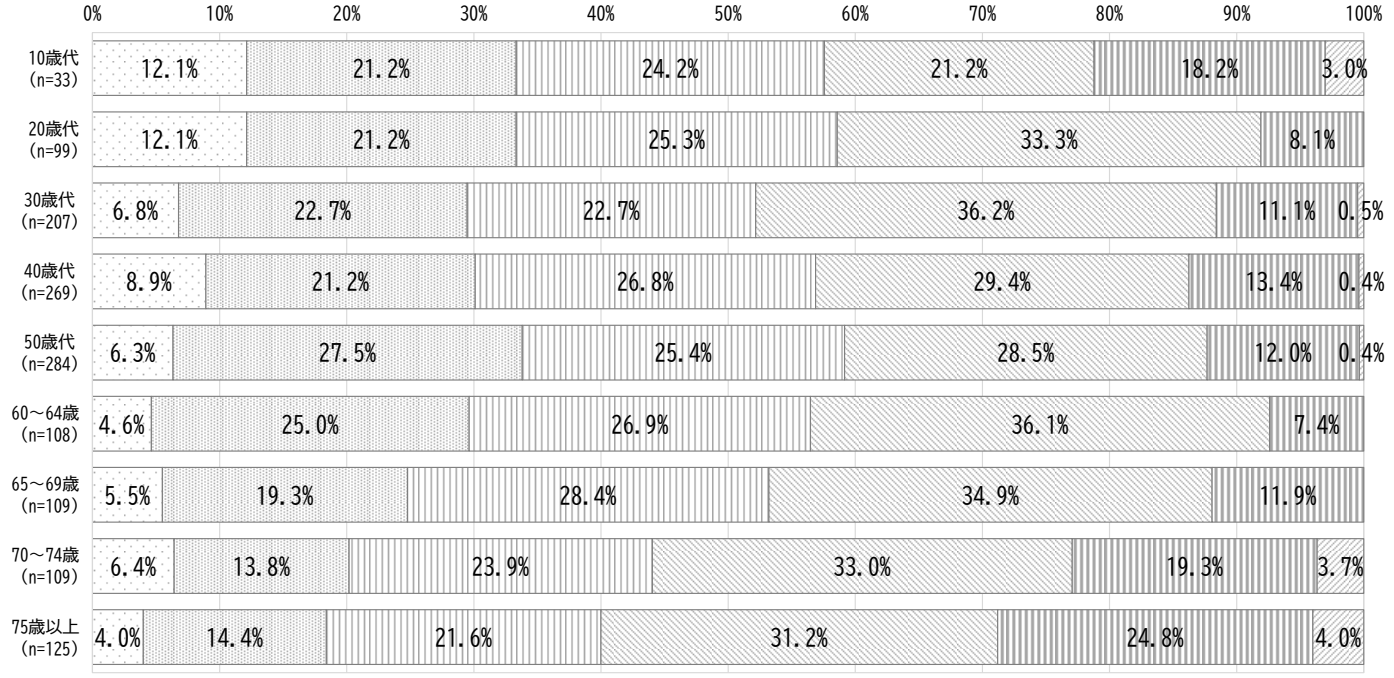
【地区別】

・「感じている/どちらかといえば感じている」は研究学園地区が 40%を超えている。
・「感じていない/どちらかといえば感じていない」は、筑波地区、大穂地区、谷田部地区、茎崎地区、ＴＸ沿線開発地区で 60%を超えている。



【年齢別】

・「感じている/どちらかといえば感じている」は 10 歳代、20 歳代、40 歳代、50 歳代で 30%を超えている。
・「感じていない/どちらかといえば感じていない」は 10 歳代を除いたすべての年齢で 50%を超えており、特に 60～69 歳では 60%を超えている。



１１　ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）について

問 49　あなたのＳＤＧｓに関する認知度について、以下の選択肢の中から最も近いものを選んでください。
＜○は１つ＞

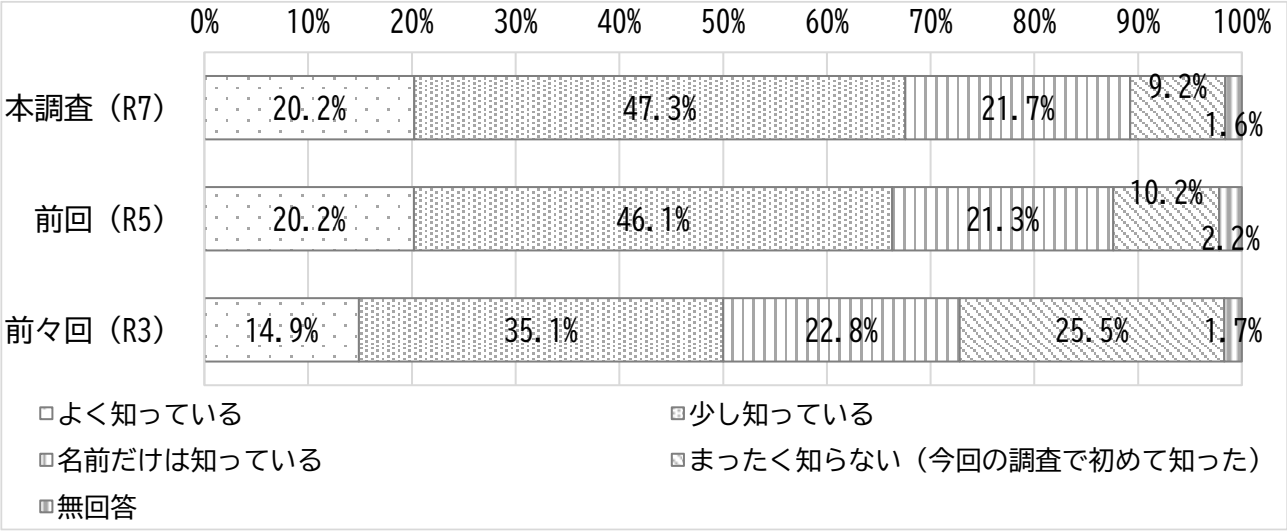
①　全体集計の結果

●ＳＤＧｓに関する認知度は、「少し知っている」が約５割

・ＳＤＧｓに関する認知度については、「少し知っている」が 651 人(47.3%)で最も多く、「名前だけは知っている」が 298 人(21.7%)、「よく知っている」が 278 人(20.2%)、「まったく知らない（今回の調査で初めて知った）」が 126 人(9.2%)で続いている。

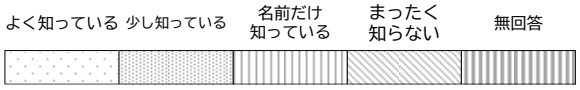
選択肢	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
よく知っている	278	20.2%	20.2%	14.9%
少し知っている	651	47.3%	46.1%	35.1%
名前だけは知っている	298	21.7%	21.3%	22.8%
まったく知らない（今回の調査で初めて知った）	126	9.2%	10.2%	25.5%
無回答	22	1.6%	2.2%	1.7%
全体	1,375	100.0%	100.0%	100.0%

＜過年度調査との比較＞



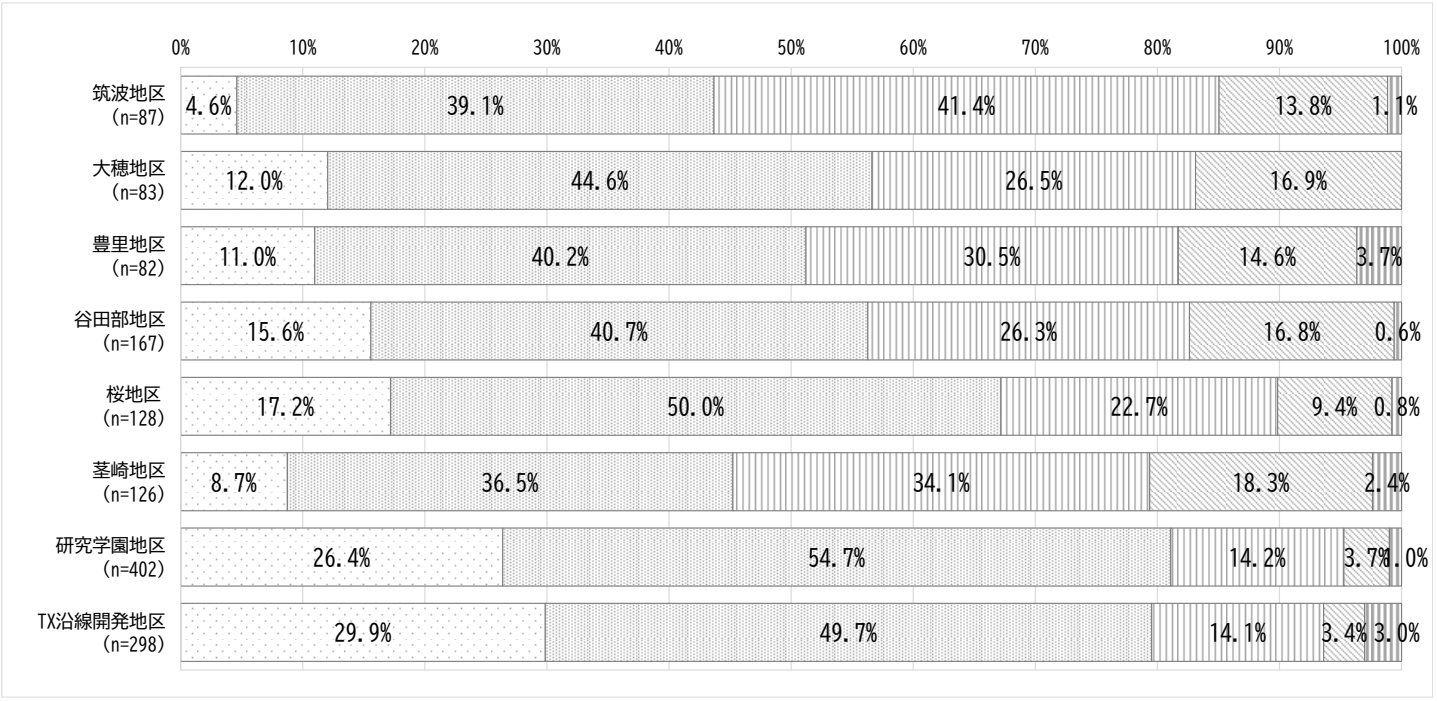
問 49　あなたのＳＤＧｓに関する認知度について、以下の選択肢の中から最も近いものを選んでください。
＜○は１つ＞

② クロス集計



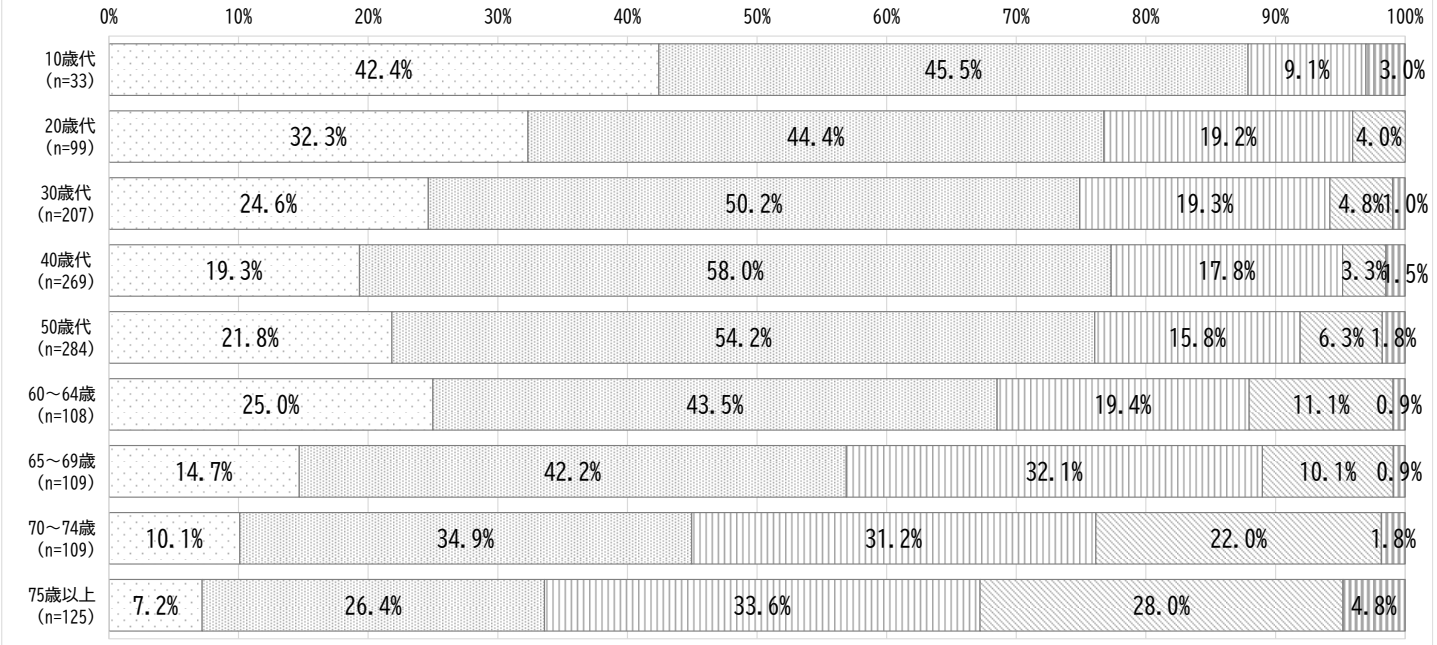
【地区別】

・筑波地区を除いて、全ての地区で「少し知っている」の割合が最も多く、特に桜地区と研究学園地区では 50%以上となっている。
・筑波地区では「名前だけは知っている」の割合が 41.4%で最も多くなっている。



【年齢別】

・年齢が高くなるにつれて「よく知っている/少し知っている」が減少する傾向がある。
・10 歳代から 50 歳代では「よく知っている/少し知っている」の割合が 70%を超えており、10 歳代では 87.9%と最も多くなっている。
・75 歳以上では「まったく知らない(今回の調査で初めて知った)」の割合が 25%を超えている。



問 50　ＳＤＧｓや持続可能都市に関することで、関心が高いものを選び、番号を以下の回答欄に３つまで記入してください。

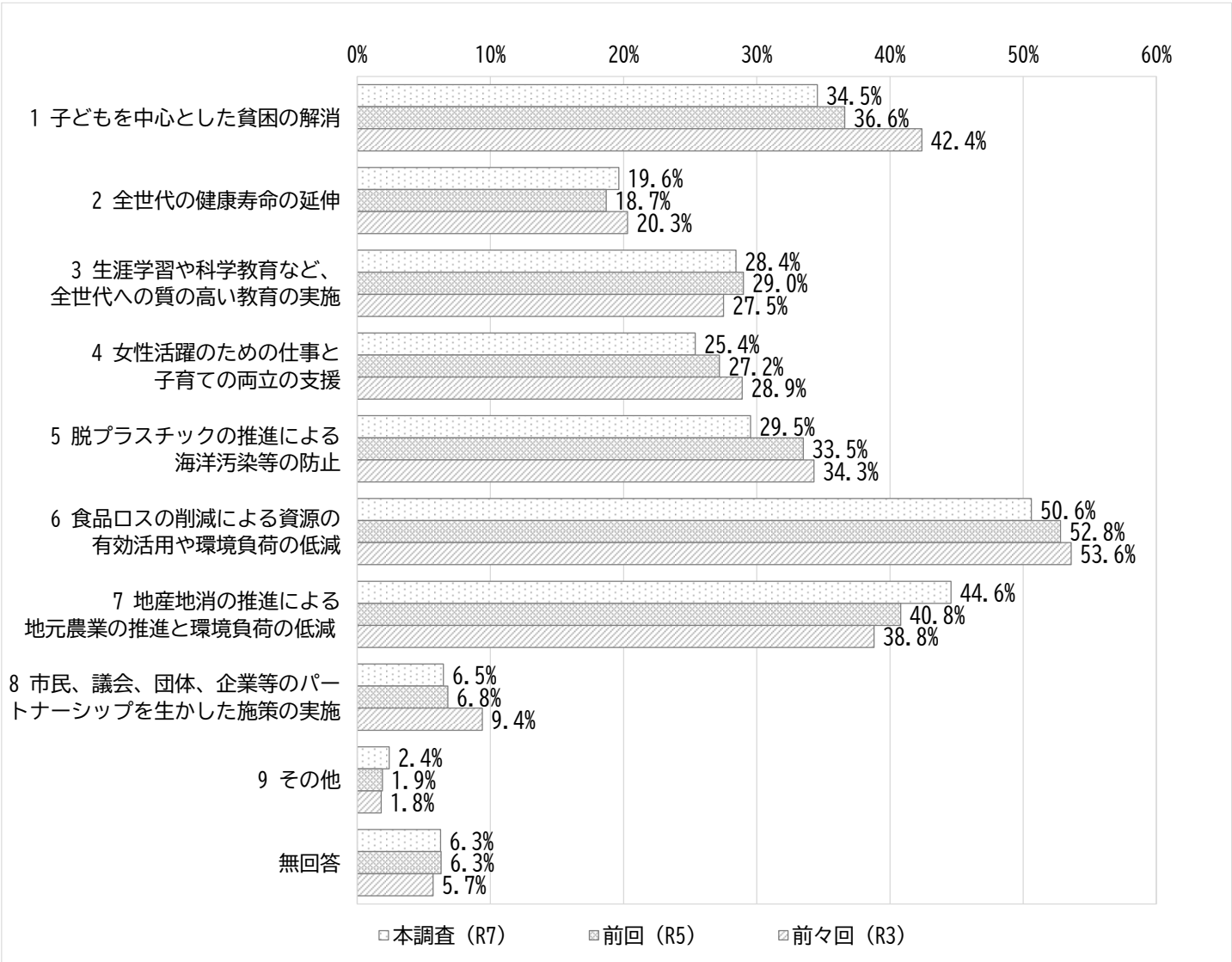
①　全体集計の結果

●ＳＤＧｓや持続可能都市に関することで関心が高いものは、「食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負荷の低減」が約５割

・ＳＤＧｓや持続可能都市に関することで関心が高いものは、「食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負荷の低減」が 696 人(50.6%)で最も多く、「地産地消の推進による地元農業の推進と環境負荷の低減」が 613 人(44.6%)、「子どもを中心とした貧困の解消」が 475 人(34.5%)、「脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止」が 406 人(29.5%)で続いている。

選択肢	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
1 子どもを中心とした貧困の解消	475	34.5%	36.6%	42.4%
2 全世代の健康寿命の延伸	270	19.6%	18.7%	20.3%
3 生涯学習や科学教育など、全世代への質の高い教育の実施	391	28.4%	29.0%	27.5%
4 女性活躍のための仕事と子育ての両立の支援	349	25.4%	27.2%	28.9%
5 脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止	406	29.5%	33.5%	34.3%
6 食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負荷の低減	696	50.6%	52.8%	53.6%
7 地産地消の推進による地元農業の推進と環境負荷の低減	613	44.6%	40.8%	38.8%
8 市民、議会、団体、企業等のパートナーシップを生かした施策の実施	89	6.5%	6.8%	9.4%
9 その他	33	2.4%	1.9%	1.8%
無回答	86	6.3%	6.3%	5.7%
全体（有効回答数）	1,375			

＜過年度調査との比較＞



問 50　ＳＤＧｓや持続可能都市に関することで、関心が高いものを選び、番号を以下の回答欄に３つまで記入してください。

② クロス集計

【地区別】

・全ての地区で「食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負担の低減」と「地産地消の推進による地元農業の推進と環境負荷の低減」が１位ないし２位になっている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区（n=87）	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負荷の低減		地産地消の推進による地元農業の推進と環境負荷の低減		子どもを中心とした貧困の解消/脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止				女性活躍のための仕事と子育ての両立の支援	
	42	48.3%	39	44.8%	27	31.0%			21	24.1%
大穂地区（n=83）	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負荷の低減/地産地消の推進による地元農業の推進と環境負荷の低減				脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止		子どもを中心とした貧困の解消		女性活躍のための仕事と子育ての両立の支援	
	39	47.0%			28	33.7%	27	32.5%	19	22.9%
豊里地区（n=82）	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負荷の低減		地産地消の推進による地元農業の推進と環境負荷の低減		脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止		子どもを中心とした貧困の解消/生涯学習や科学教育など、全世代への質の高い教育の実施			
	43	52.4%	27	32.9%	26	31.7%	24	29.3%		
谷田部地区（n=167）	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負荷の低減		地産地消の推進による地元農業の推進と環境負荷の低減		子どもを中心とした貧困の解消		脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止		女性活躍のための仕事と子育ての両立の支援	
	81	48.8%	74	44.6%	60	36.1%	47	28.3%	44	26.5%
桜地区（n=128）	地産地消の推進による地元農業の推進と環境負荷の低減		食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負荷の低減		脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止		子どもを中心とした貧困の解消		生涯学習や科学教育など、全世代への質の高い教育の実施	
	64	50.4%	62	48.8%	49	38.6%	43	33.9%	29	22.8%
茎崎地区（n=126）	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負荷の低減		地産地消の推進による地元農業の推進と環境負荷の低減		子どもを中心とした貧困の解消		脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止		全世代の健康寿命の延伸	
	58	46.4%	55	44.0%	41	32.8%	35	28.0%	25	20.0%
研究学園地区（n=402）	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負荷の低減		地産地消の推進による地元農業の推進と環境負荷の低減		子どもを中心とした貧困の解消		生涯学習や科学教育など、全世代への質の高い教育の実施		女性活躍のための仕事と子育ての両立の支援	
	200	49.9%	191	47.6%	149	37.2%	147	36.7%	118	29.4%
ＴＸ沿線開発地区（n=298）	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負荷の低減		地産地消の推進による地元農業の推進と環境負荷の低減		子どもを中心とした貧困の解消		生涯学習や科学教育など、全世代への質の高い教育の実施		脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止	
	170	57.2%	123	41.4%	103	34.7%	98	33.0%	91	30.6%

【年齢別】

・10 歳代では「食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負荷の低減」と「地産地消の推進による地元農業の推進と環境負荷の低減」が同率で１位である。

・20 歳代と 30 歳代では「地産地消の推進による地元農業の推進と環境負荷の低減」が最も多くなっている。

・40 歳代以上では「食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負荷の低減」が最も多くなっている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
10歳代（n=33）	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負荷の低減/地産地消の推進による地元農業の推進と環境負荷の低減				子どもを中心とした貧困の解消		女性活躍のための仕事と子育ての両立の支援/脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止			
	12	36.4%			11	33.3%	9	27.3%		
20歳代（n=99）	地産地消の推進による地元農業の推進と環境負荷の低減		女性活躍のための仕事と子育ての両立の支援		食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負荷の低減		子どもを中心とした貧困の解消		生涯学習や科学教育など、全世代への質の高い教育の実施	
	43	43.4%	41	41.4%	40	40.4%	39	39.4%	36	36.4%
30歳代（n=207）	地産地消の推進による地元農業の推進と環境負荷の低減		食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負荷の低減		子どもを中心とした貧困の解消		生涯学習や科学教育など、全世代への質の高い教育の実施		女性活躍のための仕事と子育ての両立の支援	
	91	44.0%	90	43.5%	85	41.1%	73	35.3%	60	29.0%
40歳代（n=269）	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負荷の低減		地産地消の推進による地元農業の推進と環境負荷の低減		子どもを中心とした貧困の解消		生涯学習や科学教育など、全世代への質の高い教育の実施		女性活躍のための仕事と子育ての両立の支援	
	152	56.7%	123	45.9%	96	35.8%	85	31.7%	72	26.9%
50歳代（n=284）	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負荷の低減		地産地消の推進による地元農業の推進と環境負荷の低減		子どもを中心とした貧困の解消		脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止		生涯学習や科学教育など、全世代への質の高い教育の実施	
	156	54.9%	135	47.5%	95	33.5%	90	31.7%	81	28.5%
60～64歳（n=108）	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負荷の低減		地産地消の推進による地元農業の推進と環境負荷の低減		脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止		子どもを中心とした貧困の解消		生涯学習や科学教育など、全世代への質の高い教育の実施	
	62	57.4%	58	53.7%	39	36.1%	31	28.7%	27	25.0%
65～69歳（n=109）	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負荷の低減		地産地消の推進による地元農業の推進と環境負荷の低減		子どもを中心とした貧困の解消		脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止		女性活躍のための仕事と子育ての両立の支援	
	59	55.7%	48	45.3%	38	35.8%	33	31.1%	30	28.3%
70～74歳（n=109）	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負荷の低減		地産地消の推進による地元農業の推進と環境負荷の低減		脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止		子どもを中心とした貧困の解消		全世代の健康寿命の延伸	
	52	48.1%	42	38.9%	39	36.1%	32	29.6%	28	25.9%
75歳以上（n=125）	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負荷の低減		脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止		地産地消の推進による地元農業の推進と環境負荷の低減		子どもを中心とした貧困の解消		全世代の健康寿命の延伸	
	56	44.8%	48	38.4%	45	36.0%	40	32.0%	31	24.8%

１２　幸福度について

問 51　あなたは、「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点とすると、現在どの程度幸せだと思いますか。
あてはまる数字（点数）を選んでください。　＜○は１つ＞

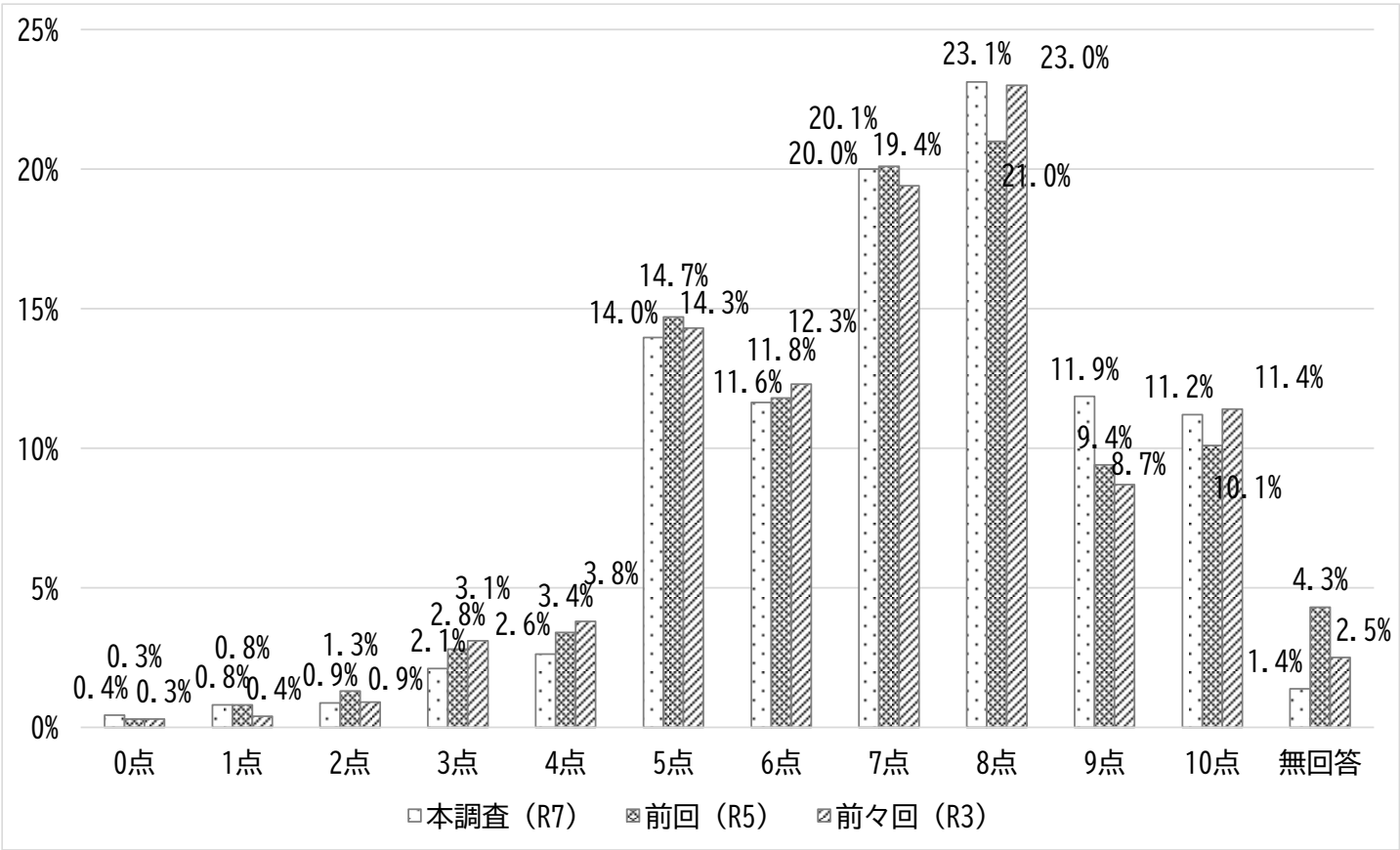
①　全体集計の結果

●現在の幸福度は、全体の平均点は「7.13 点」

・幸福度については、「8 点」が 318 人(23.1%)で最も多く、「7 点」が 275 人(20.0%)、「5 点」が 192 人(14.0%)、「9 点」が 163 人(11.9%)で続いている。

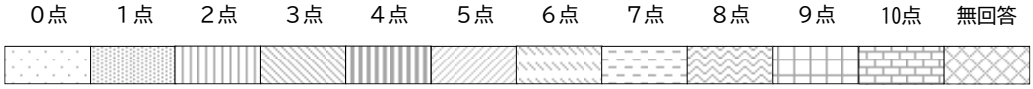
選択肢		とても不幸										とても幸せ	無回答	全体
		0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点		
本調査（R7）	回答数（人）	6	11	12	29	36	192	160	275	318	163	154	19	1,375
	構成比	0.4%	0.8%	0.9%	2.1%	2.6%	14.0%	11.6%	20.0%	23.1%	11.9%	11.2%	1.4%	100.0%
前回（R5）	構成比	0.3%	0.8%	1.3%	2.8%	3.4%	14.7%	11.8%	20.1%	21.0%	9.4%	10.1%	4.3%	100.0%
前々回（R3）	構成比	0.3%	0.4%	0.9%	3.1%	3.8%	14.3%	12.3%	19.4%	23.0%	8.7%	11.4%	2.5%	100.0%

＜過年度調査との比較＞



問 51　あなたは、「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点とすると、現在どの程度幸せだと思いますか。
あてはまる数字（点数）を選んでください。　＜○は１つ＞

② クロス集計

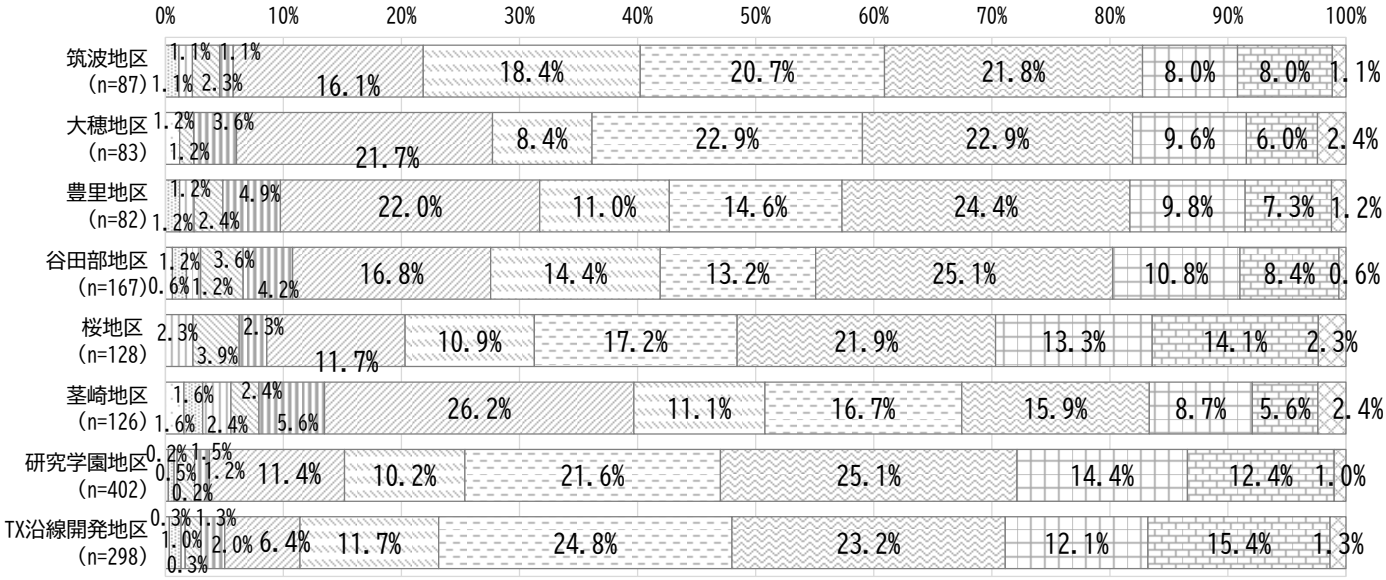


【地区別】

・平均点

筑波地区	大穂地区	豊里地区	谷田部地区	桜地区	茎崎地区	研究学園地区	TX沿線開発地区
6.86	6.84	6.73	6.80	7.22	6.26	7.43	7.48

・茎崎地区を除く全ての地区で 6 点以上の割合が 60%を超えており、特に、研究学園地区とＴＸ沿線開発地区では 80%を超えている。

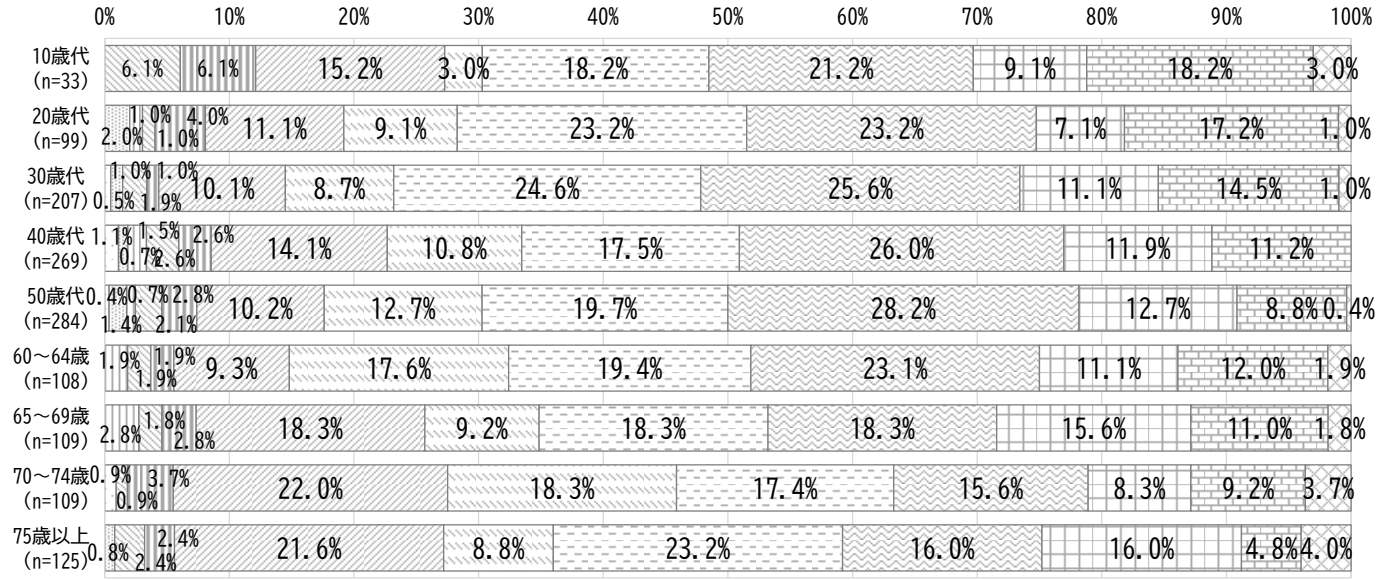


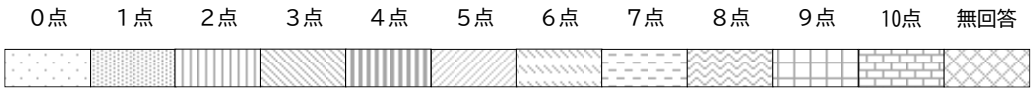
【年齢別】

・平均点

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
7.19	7.24	7.43	7.06	7.16	7.24	7.07	6.75	6.88

・全ての年齢で 6 点以上の割合が 60%を超えている。
・70～74 歳を除き、すべての年齢で「9 点/10 点」の割合が 20%を超えている。特に 10 歳代は 27.3%と最も多い。



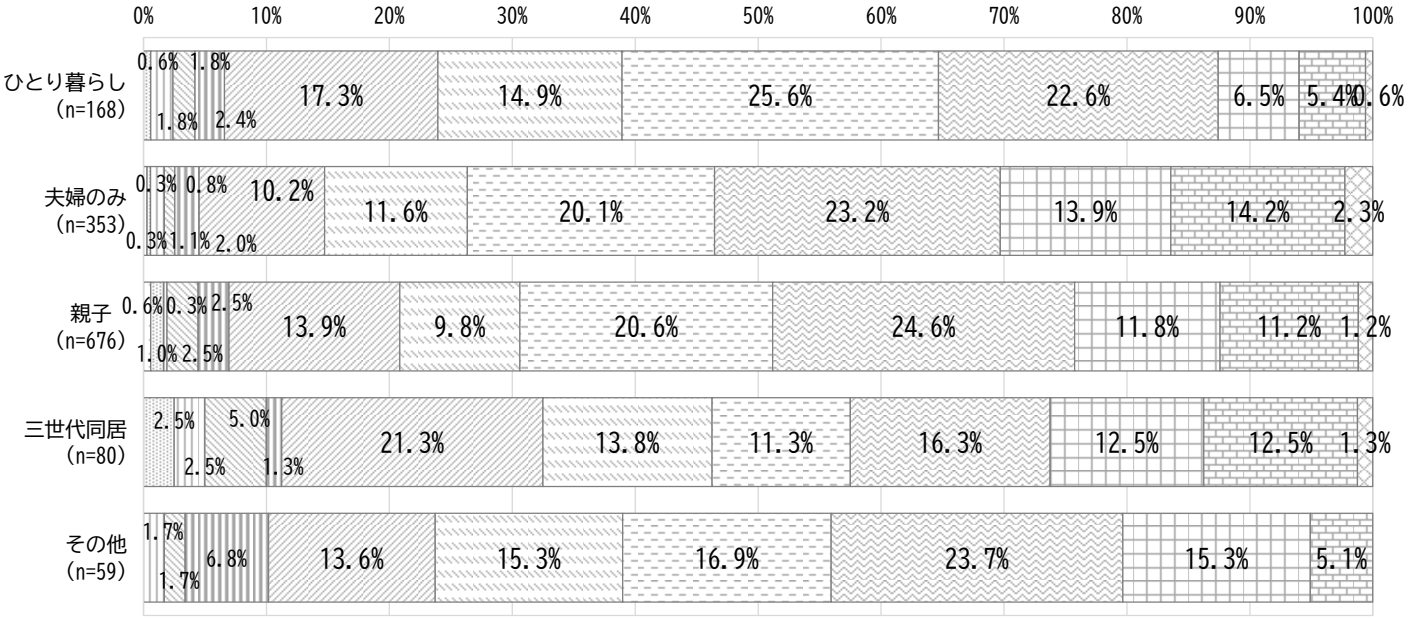


【世帯構成別】

・平均点

6歳未満の乳幼児	小中学生	65～74歳の方	75歳以上の方
7.66	7.24	6.83	6.77

・三世代同居を除き、すべての世帯構成で 6 点以上の割合が 70%を超えている。
・夫婦のみ、親子、三世代同居では 10 点の割合が 10%を超えている。

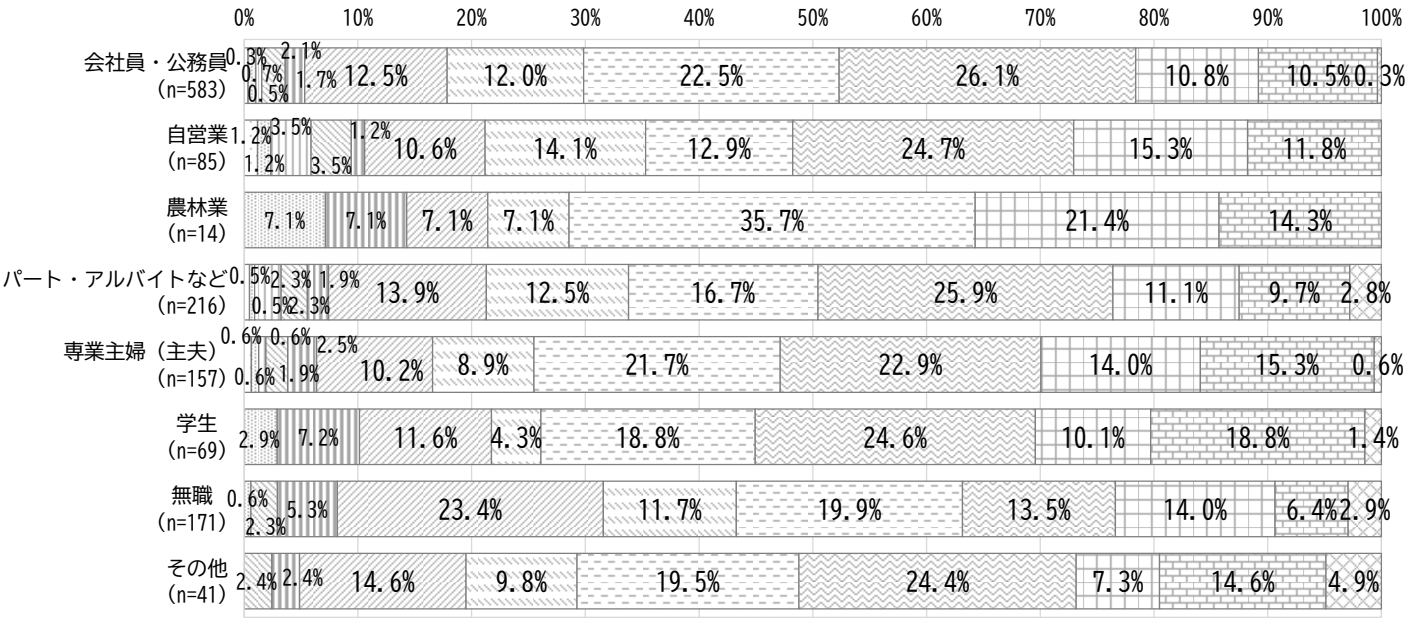


【職業別】

・平均点

会社員・公務員	自営業	農林業	パート・アルバイトなど	専業主婦（主夫）	学生	無職	その他
7.20	7.05	7.00	7.05	7.41	7.35	6.73	7.28

・会社員・公務員、専業主婦（主夫）は、6 点以上の割合が 80%を超えている。
・学生では 10 点の割合が 18.8%で最も多くなっている。



問 52　あなたが、自分の幸福感を判断する際に特に重視することは何ですか。
当てはまる番号を、右の回答欄に 3 つまで記入して下さい。

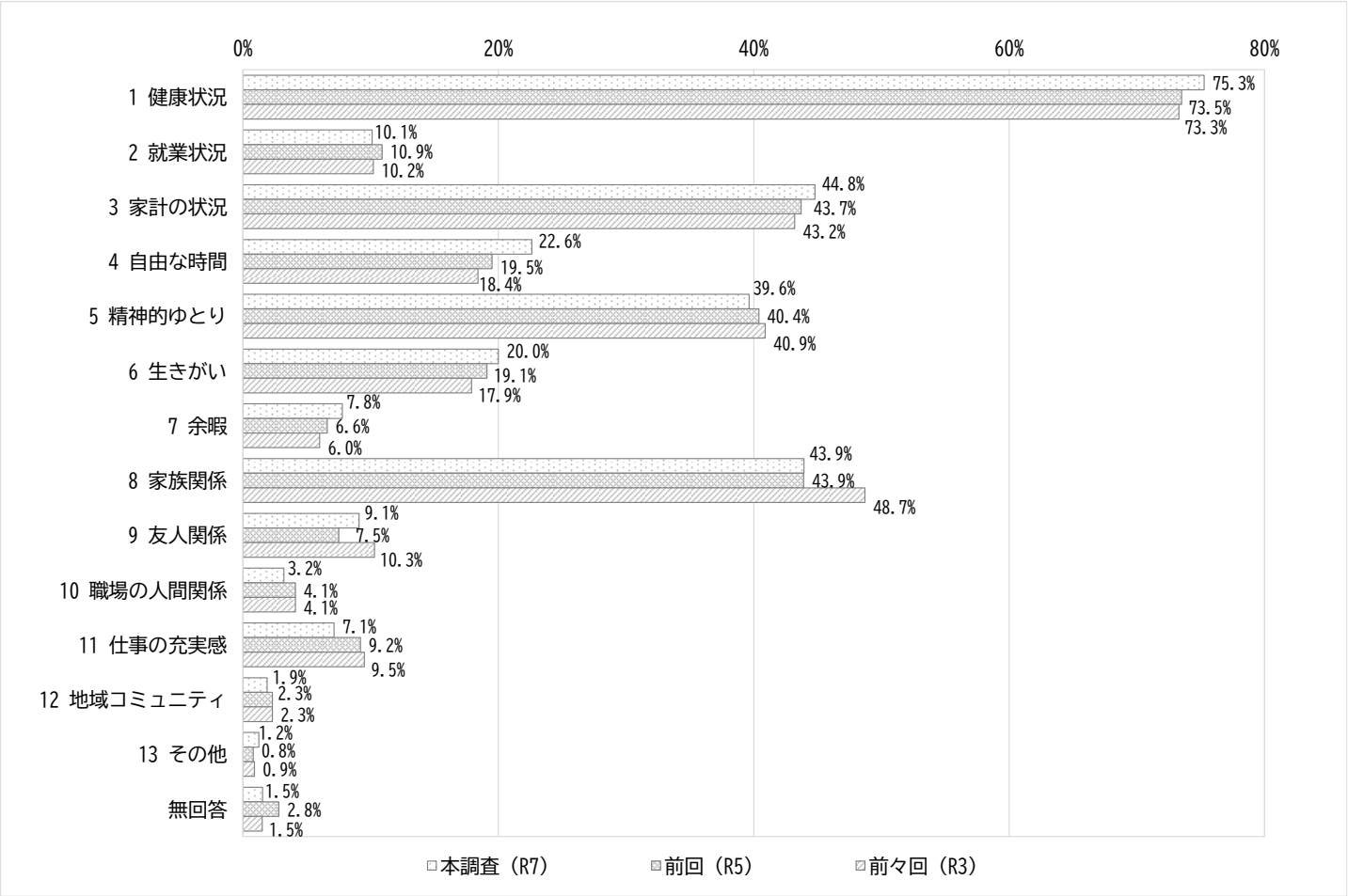
①　全体集計の結果

●幸福度を判断する際に特に重視することは、「健康状況」が 7 割半ば

・幸福度を判断する際に特に重視することについては、「健康状況」が 1,035 人(75.3%)で最も多く、「家計の状況」が 616 人(44.8%)、「家族関係」が 604 人(43.9%)、「精神的ゆとり」が 545 人(39.6%)で続いている。

選択肢	本調査（R7）		前回（R5）	前々回（R3）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
1 健康状況	1,035	75.3%	73.5%	73.3%
2 就業状況	139	10.1%	10.9%	10.2%
3 家計の状況	616	44.8%	43.7%	43.2%
4 自由な時間	311	22.6%	19.5%	18.4%
5 精神的ゆとり	545	39.6%	40.4%	40.9%
6 生きがい	275	20.0%	19.1%	17.9%
7 余暇	107	7.8%	6.6%	6.0%
8 家族関係	604	43.9%	43.9%	48.7%
9 友人関係	125	9.1%	7.5%	10.3%
10 職場の人間関係	44	3.2%	4.1%	4.1%
11 仕事の充実感	98	7.1%	9.2%	9.5%
12 地域コミュニティ	26	1.9%	2.3%	2.3%
13 その他	17	1.2%	0.8%	0.9%
無回答	21	1.5%	2.8%	1.5%
全体（有効回答数）	1,375			

＜過年度調査との比較＞



問 52　あなたが、自分の幸福感を判断する際に特に重視することは何ですか。
当てはまる番号を、右の回答欄に 3 つまで記入して下さい。

② クロス集計

【地区別】

・全ての地区で「健康状況」が最も多く、「家計の状況」、「精神的ゆとり」、「家族関係」が 2 位から 4 位を占めている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区（n=87）	健康状況		家族関係		精神的ゆとり		家計の状況		自由な時間	
	69	80.2%	40	46.5%	37	43.0%	30	34.9%	22	25.6%
大穂地区（n=83）	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		生きがい	
	65	78.3%	36	43.4%	33	39.8%	31	37.3%	24	28.9%
豊里地区（n=82）	健康状況		家計の状況		家族関係		精神的ゆとり		自由な時間	
	66	80.5%	44	53.7%	36	43.9%	23	28.0%	21	25.6%
谷田部地区（n=167）	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		自由な時間	
	130	78.3%	77	46.4%	67	40.4%	53	31.9%	43	25.9%
桜地区（n=128）	健康状況		家計の状況		精神的ゆとり		家族関係		生きがい	
	98	76.6%	62	48.4%	54	42.2%	38	29.7%	34	26.6%
茎崎地区（n=126）	健康状況		家計の状況		家族関係		精神的ゆとり		自由な時間	
	94	74.6%	62	49.2%	49	38.9%	40	31.7%	34	27.0%
研究学園地区（n=402）	健康状況		家族関係		精神的ゆとり		家計の状況		生きがい	
	302	75.1%	186	46.3%	182	45.3%	166	41.3%	88	21.9%
ＴＸ沿線開発地区（n=298）	健康状況		家計の状況		家族関係		精神的ゆとり		自由な時間	
	210	70.7%	152	51.2%	142	47.8%	123	41.4%	57	19.2%

【年齢別】

・20 歳以上では「健康状況」が最も多くなっている。10 歳代では「精神的ゆとり」が最も多くなっている。
・10 歳代では「自由な時間」と「友人関係」が同率で 2 位になっている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
10歳代（n=33）	精神的ゆとり		自由な時間/友人関係				健康状況		生きがい	
	16	48.5%	15		45.5%		13	39.4%	11	33.3%
20歳代（n=99）	健康状況		精神的ゆとり		自由な時間		家計の状況		家族関係	
	53	53.5%	45	45.5%	40	40.4%	39	39.4%	26	26.3%
30歳代（n=207）	健康状況		家計の状況		家族関係		精神的ゆとり		自由な時間	
	133	64.3%	106	51.2%	92	44.4%	84	40.6%	49	23.7%
40歳代（n=269）	健康状況		家族関係		精神的ゆとり		家計の状況		自由な時間	
	186	69.1%	129	48.0%	122	45.4%	116	43.1%	61	22.7%
50歳代（n=284）	健康状況		家計の状況		家族関係		精神的ゆとり		就業状況	
	223	79.1%	139	49.3%	122	43.3%	120	42.6%	52	18.4%
60～64歳（n=108）	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		生きがい	
	97	89.8%	46	42.6%	43	39.8%	41	38.0%	30	27.8%
65～69歳（n=109）	健康状況		家計の状況		家族関係		精神的ゆとり		生きがい	
	94	86.2%	51	46.8%	50	45.9%	36	33.0%	25	22.9%
70～74歳（n=109）	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		生きがい	
	97	89.8%	53	49.1%	40	37.0%	36	33.3%	31	28.7%
75歳以上（n=125）	健康状況		家計の状況		家族関係		精神的ゆとり		生きがい	
	113	90.4%	58	46.4%	56	44.8%	41	32.8%	30	24.0%

【世帯構成別】
・全ての世帯構成で「健康状況」が最も多くなっている。
・ひとり暮らしでは、「精神的ゆとり」が第２位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
ひとり暮らし（n=168）	健康状況		精神的ゆとり		家計の状況		自由な時間		生きがい	
	124	74.3%	76	45.5%	73	43.7%	51	30.5%	39	23.4%
夫婦のみ（n=353）	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		生きがい	
	285	81.2%	172	49.0%	147	41.9%	134	38.2%	81	23.1%
親子（n=676）	健康状況		家計の状況		家族関係		精神的ゆとり		自由な時間	
	498	73.7%	319	47.2%	312	46.2%	282	41.7%	143	21.2%
三世代同居（n=80）	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		自由な時間	
	53	66.3%	45	56.3%	30	37.5%	26	32.5%	15	18.8%
その他（n=59）	健康状況		家計の状況		精神的ゆとり/家族関係				自由な時間	
	43	72.9%	26	44.1%	22		37.3%		18	30.5%

【職業別】
・学生を除く、全ての職業で「健康状態」が最も多く、学生では「精神的ゆとり」が最も多い。
・学生とその他を除いた全ての職業で「家計の状況」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
会社員・公務員（n=583）	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		自由な時間	
	425	72.9%	262	44.9%	254	43.6%	234	40.1%	135	23.2%
自営業（n=85）	健康状況		家計の状況		精神的ゆとり		家族関係		生きがい	
	61	71.8%	39	45.9%	35	41.2%	30	35.3%	21	24.7%
農林業（n=14）	健康状況		家計の状況		家族関係		精神的ゆとり		生きがい	
	12	85.7%	9	64.3%	6	42.9%	4	28.6%	2	14.3%
パート・アルバイトなど（n=216）	健康状況		家計の状況		家族関係		精神的ゆとり		自由な時間	
	171	79.2%	105	48.6%	91	42.1%	86	39.8%	41	19.0%
専業主婦（主夫）（n=157）	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		生きがい	
	126	80.3%	86	54.8%	76	48.4%	65	41.4%	33	21.0%
学生（n=69）	精神的ゆとり		健康状況		自由な時間		友人関係		生きがい	
	37	53.6%	31	44.9%	25	36.2%	24	34.8%	22	31.9%
無職（n=171）	健康状況		家計の状況		家族関係		精神的ゆとり		自由な時間	
	149	87.1%	83	48.5%	68	39.8%	61	35.7%	51	29.8%
その他（n=41）	健康状況		精神的ゆとり/家族関係				家計の状況		生きがい	
	31	75.6%	19		46.3%		16	39.0%	7	17.1%

問 53　つくば市で生活する中で、日ごろ感じている不安や困りごとがあれば、自由に記入してください。
例えば、健康や老後のこと、仕事のこと、結婚のこと、お金のこと、子どもの保育や教育のこと、近所づきあいのこと、住宅のこと、交通手段のこと、災害や犯罪のことなど、どんなことでも構いません。

（１）記入者数と意見数

全回答者 1,375 人のうち、496 人（36.1%）から 737 件の意見があった。

※1 人で複数の意見を記入している場合は、内容ごとに分けて集計した。

（２）内容分析

意見を分析し、その内容ごとに分類を行った。

その結果、「①高齢者や障害者等の生活環境について」、「②交通インフラについて」、「③育児・教育環境について」、「④地域における生活環境について」、「⑤土地や住宅について」、「⑥防犯・防災について」、「⑦外国人について」、「⑧市政全般について」及び「⑨その他」に分類できた。

①高齢者や障害者等の生活環境について

※（　）は意見数

項目	主な意見（要約）
老後の移動・交通手段(61)	・免許を返納した瞬間に買い物、通院、市役所利用すら困難になる ・高齢者でも使いやすい、もっと便利な公共交通がほしい
老後の生活・経済不安(41)	・年金だけでは生活が成り立たず、我慢しないといけないという不安がある ・老後を支える十分な年金や貯蓄を形成できない ・障害や病気があった場合の支援の見通しが立たない
介護・施設(22)	・在宅介護は限界があり、誰もが利用できる低価格の施設が不足している ・老人ホームを増やしてほしい ・介護に関する相談、手続き、支援拠点が身近にないため、困る
高齢者・障害者福祉(21)	・病気や障害で働けなくなった場合の生活保障・制度が見えにくい ・高齢者、障害者向け制度が分かりにくく、相談・申請の負担が大きい ・高齢者、家族介護者への生活支援が全体的に不足している
暮らしやすさ・孤立(23)	・免許返納後に行動範囲が極端に狭まり、人とのつながりが失われる ・マンションや住宅は増えているが、コミュニティができにくく、将来孤立するのではと不安に思う ・情報取得・制度利用がデジタル前提で、高齢者が取り残されている

②交通インフラについて

項目	主な意見（要約）
公共交通の不足(88)	・つくバスは本数が少なく、つくタクは急な用事では使えないなど不便 ・市税は高いのに市の周辺部ではバスが通らない ・交通費（バス代、TX運賃、定期代、駐車場代）が高く、負担になっている
駐車場・駐輪場の整備(5)	・駐車場が足りない ・公園の駐車場が有料であることに納得できない ・駐輪場の料金が高い
道路・歩道の状態の悪さ(102)	・歩道の凹凸、段差、未舗装、街灯不足 ・渋滞の深刻化や、交通ルールを守らない人や運転マナーの悪い人への不満 ・歩道や道路沿いの雑草や樹木が放置され、通行幅が狭まり、見通しも悪い

③育児・教育環境について

項目	主な意見（要約）
教育機会・教育の質の格差(18)	・学校数や教育資源が地域ごとにことなっている ・障害児や障害者に対する教育が不足しているように思う
高校不足・進路選択の問題(17)	・市内に高校が足りず、他市への通学を余儀なくされている ・高校不足は昔から言われているのに改善されない ・高校不足ゆえに一貫校などへ中学受験をしないといけない
子育て支援・経済的負担(19)	・子育て支援を拡充してほしい ・給食費、医療費、通学費を無料にしてほしい
子どもが安全・安心に暮らせる環境整備(19)	・遊ぶための公園や屋内施設が不足している ・登下校中の熱中症対策をしてほしい ・近くに小学校がなく、遠方になると通学が不安

④地域における生活環境について

項目	主な意見（要約）
地域格差(37)	・研究学園駅、つくば駅周辺以外の地域は開発や整備が遅れ、道路がガタガタ、街灯が少ない ・公共交通や防災・防犯、情報伝達手段なども中心部と周辺部で差があるように思う
交流・コミュニティの欠如(17)	・旧住民と新住民の間で意識や生活習慣の違いがあり、交流がほとんどない ・PTAや子ども会への不参加家族が増え、子どもや親のコミュニティが喪失しているように感じる ・近隣住民同士の交流を深めたい
公共・生活施設の不足(15)	・北部・南部・旧集落などでは公共施設などが不十分で不便 ・ウェルネスパークの休みが多い ・ジムなど運動できる施設がほしい
水道(5)	・上下水道をもっと整備してほしい
公共料金等が高い(16)	・住民税が高い ・ＴＸの料金が高い
虫害・獣害(7)	・虫害や獣害に対応してほしい
騒音について(10)	・改造車やバイクの空ぶかしなどがうるさい ・こうした騒音問題に市として対応してほしい
ゴミ出し・ごみの処分(4)	・ゴミ出しルールを守らない人への対処方法を教えてほしい ・プラスチックごみの回収は意味があるのか

⑤土地や住宅について

項目	主な意見（要約）
空き家・未利用地・放置地の管理・活用(25)	・放置された空き家や公務員宿舎、古いアパートが荒廃し、雑草や樹木が道路や歩道に覆いかぶさっている ・古い建物をすべてマンションに建て替える傾向が強く、文化的施設にもしてほしい ・所有者任せになっている空き家や放置地に対して、行政の支援や指導をしてほしい
土地や住宅の価格・規制(5)	・TX沿線を中心とした土地価格が高騰している ・若者や一般市民が住宅を購入しにくい状況にある ・宅地供給が不足している

⑥防犯・防災について

項目	主な意見（要約）
防犯対策の強化と情報公開(31)	・盗難被害に対するパトロールを強化してほしい ・特殊詐欺や不審者に関する迅速な情報公開 ・治安が悪いと感じる
災害対策の具体化と情報提供(8)	・避難所の環境整備として、女性への配慮、要配慮者支援、ペット対策の要望 ・緊急時のマニュアルや防災グッズの配布 ・防災カメラの設置

⑦外国人について

項目	主な意見（要約）
治安への懸念(10)	・外国人が増加することで、他の自治体のように治安が悪化するのではないかと不安
マナー・ルール・生活文化の指導(8)	・ゴミ出し、騒音、公共空間での行動等、日本の生活ルールやマナーが守られていない ・自転車や自動車の運転マナー、歩行者との接触防止など、交通安全に関する教育や指導を行うべき ・言語や文化の違いによる生活トラブルに対応する窓口を設置するなどして欲しい
外国人政策の優先順位と日本人への影響(7)	・外国人への支援や受け入れの是非、税金の使途など、日本人市民の利益や文化保護とのバランスをとってほしい
情報提供と支援の不足(2)	・外国人への情報提供やサポートをしてほしい ・交流の機会が不足しているように感じる

⑧市政全般について

項目	主な意見（要約）
職員の対応と行政サービス(6)	・窓口対応や行政サービスにおいて、職員のやる気や対応レベルのばらつきがあるように感じる ・市民の安全・生活に関わる事案に対応してほしい
市政運営の計画性と透明性(9)	・つくば市の将来像や街づくりの具体的な目標が見えない ・公園や道の駅、建築物の開発などで住民の意向が十分に反映されていないと感じる ・アンケート結果や事業の成果、予算配分、効果検証などの情報が示されていない
新技術と最先端の活用姿勢(2)	・科学のまちとして、AI、自動運転などの新技術を導入してほしい
情報発信と広報活動(8)	・情報が特定の人（自治会、議員など）に偏っていることへの不満。 ・単身者や障害者などに必要な行政情報を届けるようにしてほしい
政策の方向性(24)	・人口増加等に伴い、各種公共サービスの整備をバランスよく進めてほしい ・市民の生活にとっての重要度合いに沿った政策の優先順位づけをしてほしい ・市民が協力して街づくりに参加できる仕組みを整備し、多様な意見や価値観を政策に反映してほしい

⑨その他

項目	主な意見（要約）
意見なし等(12)	・特にありません ・ありすぎて記入できない
つくば市への期待(8)	・住みやすいつくばが好きです ・期待しています ・つくば市に期待することはありません
その他(25)	・のんびり暮らしたい ・アンケートの項目が多すぎ ・アンケートが途中保存されなくて不便だった

１３　自由意見

（１）記入者数と意見数

自由意見として、全回答者 1,375 人のうち、273 人（19.9%）から 416 件の意見があった。

※1 人で複数の意見を記入している場合は、内容ごとに分けて集計した。

（２）つくば市未来構想に基づく意見の集計

「つくば市未来構想」の４つのまちづくりの理念ごとに集計し、いずれにも入らないものは「⑤その他」として集計している。代表的な意見を「主な意見」として記載した。

理念ごとに見ると、「誰もが自分らしく生きるまち」に関する意見が最も多く、次いで「魅力をみんなで創るまち」に関する意見が多くなっている。

「その他」を除く項目ごとに見ると、「魅力をみんなで創るまち」の「行政運営」に関する意見が最も多く、次いで「誰もが自分らしく生きるまち」の「都市計画」、「誰もが自分らしく生きるまち」の「公共交通」に関する意見が多くなっている。

①魅力をみんなで創るまち

※（　）は意見数

項目		主な意見（要約）
行政運営　(47)	行政サービス　(32)	・市政が「外向き・新規重視」に偏っており、既存市民や周辺・農村部への配慮が不足している ・行政サービスの姿勢・運用が形式的で、市民目線・柔軟性が足りない
	行財政改革　(15)	・税負担や物価高に対する「市民への直接的な還元」が不足している ・税金の使い道や行政運営に対して、無駄の削減と公平性を求める意見 ・将来投資と、地域全体を見据えた持続的なまちづくりを望む
地域コミュニティ（24）		・車を使わなくても参加・利用できる「身近な居場所・文化拠点」が不足している ・30～40代や賃貸世帯など、既存の枠に入りにくい人が地域から孤立しやすい ・図書館サービスの充実と拡充
農業振興（6）		・環境配慮のルールが農家の負担になっている。行政による支援や介入により、負担を軽減してほしい
観光振興（5）		・観光スポットの不足
地域活性化（23）		・市の施策が中心部に偏り、北部・西部・旧町村地域との格差が拡大している ・中心市街地の商業が不足し、まちとしての魅力も低下している
情報発信（14）		・市の取組や市政情報が十分に伝わっておらず、理解・関心につながっていない ・デジタルと紙、それぞれの強みを活かした情報発信が必要である ・つくば市の魅力は何なのかをわかりやすく発信してほしい

②誰もが自分らしく生きるまち

項目		主な意見（要約）
高齢者福祉(14)	高齢者の生活環境支援(11)	・行政手続きや生活サービスがデジタル前提になり、高齢者が取り残されつつある ・高齢期を見据えた「住まい・移動・ごみ・地域活動」の仕組みが不安である ・高齢者が役割を持って働ける場を創ってほしい
	介護(3)	・介護をすることの難しさ ・介護・看取りに関する倫理的議論の提起
スポーツ・レクリエーション・イベント（17）		・プロスポーツや大規模施設を活用し、市民の一体感を育ててほしい ・子どもの遊び場、全天候型施設の不足 ・イベントやにぎわい施策は評価するが、もう一度やりたいとは思えない
医療(3)		・医療機関の混雑解消 ・サービスの利便性向上
障害・福祉(5)		・個別のニーズに対応した障害福祉・就労支援の強化
防犯（5）		・防犯対策の強化
都市計画（28）	景観　(7)	・緑地や沿道管理が雑になり、景観と快適性の両面で質が低下している ・街路樹や河川敷の緑が減り、つくば市らしい自然豊かな景観が失われている
	公園・緑地　(1)	・公園の遊具が少ないことへの不満
	都市計画全般　(20)	・マンション乱立や急激な人口増加により、安心して暮らせる環境が損なわれている ・緑と農地の保全 ・都市計画の全体像が見えず、地域間の偏りや将来への不安が大きい
上下水道（5）	上下水道整備　(4)	・上下水道の整備と市民負担の軽減
	上下水道料金　(1)	・水道料金が高く感じる
道路整備・維持管理（24）	道路整備（18）	・雑草や植栽の管理不足が、交通事故や通行の危険につながっている ・子どもや自転車利用者にとって危険な歩道環境を早急に改善してほしい
	街灯路整備(6)	・夜間の安全確保のための街灯の設置、故障した街灯の修理
公共交通（25）	バス・タクシー（5）	・公共交通（特につくバス）が生活実態に合っておらず、移動の選択肢として機能していない
	つくばエクスプレス　(6)	・つくばエクスプレスの運行サービスと利便性への要望
	公共交通網（14）	・車がないと生活できない構造が強く、将来（老後）への不安が大きい ・学園都市と旧市街・農村部との格差が大きく、地方部の交通や生活環境の整備が後回しにされていると感じる
自動車・自転車交通（12）	自動車交通（6）	・交通渋滞の深刻化と駐車場整備の不足 ・交通マナーの欠如と安全対策の強化
	自転車交通（6）	・自転車利用環境の整備と安全性の向上 ・自転車のマナー問題と歩行者の安全確保
生活環境（3）		・とても生活しやすい
自然環境（7）		・自然豊かな都市であることへの肯定的な評価 ・開発による自然の減少への危機感

③未来をつくる人が育つまち

項目		主な意見（要約）
子育て（14）		・移住者が増えているのに低額・無料で子供が遊べる場所が増えず、不足している ・安全・安心な生活環境の整備 ・ちびっ子博士の取組や乳幼児のこまめな計測等を継続してほしい
教育（21）	学校施設　（12）	・つくば市は高校の数・定員が明らかに不足しており、選択肢が極端に限られている ・小中一貫校の整備が先行する一方で、高校教育が後回しにされているように感じる ・高校教育も含めた一貫した教育政策を検討してほしい
	教育環境　（9）	・つくば市の強み（人材・知的資源）を、子どもの学びに十分活かしきれていない ・教育現場が荒れているのではないか、子どもそれぞれに本当に目が向いているのか ・給食、部活動、通学等の整備や支援が不十分に思う
少子化対策　（4）		・未来を見据えた「子ども中心の街づくり」への転換
国際化の推進（14）	国際交流　（3）	・地域社会における多文化交流の促進
	国際化への不安　（11）	・外国人増加による治安への不安 ・日本文化を尊重してほしい ・外国人だけでなく、日本人市民への支援を優先してほしい

④市民のために科学技術をいかすまち

項目	主な意見（要約）
科学技術振興　（12）	・科学技術の活用とスマートシティの推進 ・ロボットのまちを標榜しているが、実現していない ・スマートシティの推進等はエネルギー消費を増加させているのではないか
雇用対策　（3）	・企業の誘致

⑤その他

項目	主な意見（要約）
アンケート　（28）	・アンケートが長い ・アンケートを実施しても施策に結びついていない ・アンケート結果のフィードバックをしっかりしてほしい。
つくば市について等　（53）	・つくば市民の強い「地元愛」と感謝 ・がんばれつくば ・よろしくお願いいたします

Ⅲ　調査票

令和７年(2025 年)度つくば市民意識調査

《アンケートご協力のお願い》

つくば市では、市の現状やまちづくりの取組に対するご意見をお伺いするために、市民意識調査を実施いたします。

この調査の集計結果は、今後の市政を進める基礎資料とし、「住んでいて本当によかった、これからも住み続けたい」と思えるまちづくりを、皆様と実現していきたいと考えております。

調査の趣旨をご理解いただき、本調査にご協力をお願いいたします。



令和７年（2025 年）８月

つくば市長　五　十　嵐　立　青

８月 31 日（日）までに、ご回答をお願いします。

スマホや**パソコン**で答えたい方	**紙の調査票**で答えたい方
↓	↓
インターネット回答	この用紙に記入して回答
アクセスはこちら ◀◀ ※こちらからアクセスした場合、ID は自動で入力されます。 <専用ウェブサイト URL>	**次のページへ**
ログイン ID： （この ID を入力して回答してください。）	

あなたご自身のことについて

お答えは、当てはまる番号に○印をつけてください。

1　あなたの性別を教えてください。いずれにもあてはまらないと考える場合は○印をつけなくても差し支えありません。　<○は1つ>

1　男性	2　女性

2　あなたの年齢を教えてください。　<○は1つ>

1　10歳代	4　40歳代	7　65～69歳
2　20歳代	5　50歳代	8　70～74歳
3　30歳代	6　60～64歳	9　75歳以上

3　あなたの世帯構成を教えてください。　<○は1つ>

1　ひとり暮らし	4　三世代同居
2　夫婦のみ	5　その他
3　親子	

4　あなたの世帯（あなた自身も含めて）には、次に当てはまる方はいますか。　<○は当てはまるものすべて>

1　6歳未満の乳幼児	3　65～74歳の方
2　小中学生	4　75歳以上の方

5　あなたの職業（兼業の方は主たる職業）を教えてください。　<○は1つ>

1　会社員・公務員	5　専業主婦（主夫）
2　自営業	6　学生
3　農林業	7　無職
4　パート・アルバイトなど	8　その他（具体的に：＿＿＿＿＿＿）

6　あなたの現在のお住まいを教えてください。　<○は1つ>

1　一戸建（持ち家）	5　公営住宅（公社・県営・市営）
2　一戸建（借家）	6　社宅・官舎
3　集合住宅（分譲）	7　その他
4　集合住宅（賃貸）	

現在の住環境について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけてください。

問1　あなたは、つくば市にお住まいになって何年ぐらいになりますか。
※合併前の旧市町村も含めてお答えください。

<○は1つ>

1　1年未満
2　1年以上5年未満
3　5年以上10年未満
4　10年以上20年未満
5　20年以上30年未満
6　30年以上

問2　あなたは、つくば市以外に住んでいたことがありますか。

<○は1つ>

1　ある　　2　ない

問3　あなたは、これからもつくば市に住み続けたいと思いますか。

<○は1つ>

1　住み続けたい
2　どちらかといえば住み続けたい
3　どちらかといえば住み続けたくない
4　住み続けたくない
5　どちらともいえない

問4　あなたは、つくば市の「住み心地」についてどう感じていますか。

＜○は1つ＞

1　住みやすい	3　どちらかといえば住みにくい
2　どちらかといえば住みやすい	4　住みにくい
	5　どちらともいえない

【問4で「1　住みやすい」「2　どちらかといえば住みやすい」とお答えの方にお聞きします】

問5　住みやすいと感じる主な理由は何ですか。

＜○は当てはまるものすべて＞

1　豊かな自然
2　日常生活が便利
3　通勤・通学先が近い
4　交通の便が良い
5　教育・文化環境が良い
6　居住環境が良い
7　充実した医療機関・福祉サービス
8　充実した公共施設
9　暮らしていて安全・安心
10　家族が近くにいる
11　住み慣れている
12　その他（具体的に：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

【問4で「3　どちらかといえば住みにくい」「4　住みにくい」とお答えの方にお聞きします】

問6　住みにくいと感じる主な理由は何ですか。

＜○は当てはまるものすべて＞

1　自然が少ない
2　日常生活が不便
3　通勤・通学先が遠い
4　交通の便が悪い
5　教育・文化環境が悪い
6　居住環境が悪い
7　医療機関・福祉サービスが不足
8　公共施設が不足
9　暮らしていて不安
10　家族が遠くにいる
11　住み慣れていない
12　その他（具体的に：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

問7　あなたは、移住を検討している親しい友人や知人に、つくば市をどの程度勧めたいと思いますか？
（「とても勧めたい」を 10 点、「まったく勧めたくない」を０点とし、当てはまる数字（点数）に１つ○をつけてください。）

＜○は１つ＞

とても勧めたい										まったく勧めたくない
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

問8　あなたは、つくば市の景観をどう思いますか。

＜○は１つ＞

1	優れている	3	どちらかといえば優れていない
2	どちらかといえば優れている	4	優れていない
		5	わからない

問9　つくば市の景観として、次の項目について、どう思いますか。

＜1～5のいずれか1つに○＞

項目	優れている	どちらかといえば優れている	どちらかといえば優れていない	優れていない	わからない
1　筑波山・宝篋山	1	2	3	4	5
2　牛久沼	1	2	3	4	5
3　田園風景	1	2	3	4	5
4　里山・平地林	1	2	3	4	5
5　研究学園都市の街並み	1	2	3	4	5
6　つくばエクスプレス駅周辺の街並み	1	2	3	4	5
7　農村集落の街並み	1	2	3	4	5
8　筑波山麓の街並み	1	2	3	4	5
9　西部・北部工業団地の街並み	1	2	3	4	5
10　ペデストリアンデッキ（歩行者・自転車専用道路）	1	2	3	4	5
11　公園	1	2	3	4	5
12　街路樹	1	2	3	4	5
13　電線・電柱が地中化されている風景	1	2	3	4	5
14　その他（具体的に：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）	1	2	3	4	5

問10　あなたは、つくば市に愛着を持っていますか。

＜○は1つ＞

1　愛着がある	3　どちらかといえば愛着がない
2　どちらかといえば愛着がある	4　愛着がない
	5　どちらともいえない

つくば市の現状やまちづくりへの取組について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけるか、または番号をお選びください。

問11　あなたは、ふだんの生活の中で、次の 1)～43)の項目について、どの程度満足していますか。

＜1～5のいずれか1つに○＞

項目＼満足度		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	わからない
健康・福祉	1）高齢者の福祉	1	2	3	4	5
	2）子育て環境	1	2	3	4	5
	3）障害者の福祉	1	2	3	4	5
	4）生活困窮者の福祉	1	2	3	4	5
	5）健康づくりの支援	1	2	3	4	5
	6）病院・診療所などの医療機関	1	2	3	4	5
生活環境・防犯・防災	7）生活環境（騒音・悪臭・ごみなど）対策	1	2	3	4	5
	8）防犯対策	1	2	3	4	5
	9）防災対策	1	2	3	4	5
	10）交通安全環境（通学路の安全など）	1	2	3	4	5
	11）住宅環境	1	2	3	4	5
教育・スポーツ・文化	12）小中一貫教育の充実	1	2	3	4	5
	13）ICT（※）教育や科学教育の充実	1	2	3	4	5
	14）教育環境の整備（施設の老朽化対策、設備の充実など）	1	2	3	4	5
	15）児童生徒の支援体制整備	1	2	3	4	5
	16）スポーツ・レクリエーション	1	2	3	4	5
	17）文化・芸術の振興	1	2	3	4	5
	18）文化財の保護	1	2	3	4	5
	19）男女共同参画	1	2	3	4	5
	20）国際化の推進	1	2	3	4	5
	21）生涯学習の推進	1	2	3	4	5
	22）地域交流センターの充実	1	2	3	4	5
	23）図書館・図書室等の充実	1	2	3	4	5

項目 ＼ 満足度		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	わからない
まちづくり	24）つくば駅周辺のにぎわい	1	2	3	4	5
	25）地球温暖化防止の推進（温室効果ガスの削減など）	1	2	3	4	5
	26）環境意識の啓発	1	2	3	4	5
	27）自然環境や資源の保全・活用	1	2	3	4	5
	28）公園・広場・遊び場の数	1	2	3	4	5
	29）公共交通	1	2	3	4	5
	30）道路整備	1	2	3	4	5
産業・観光	31）上水道整備	1	2	3	4	5
	32）下水道整備	1	2	3	4	5
	33）農業の振興	1	2	3	4	5
	34）商工業の振興	1	2	3	4	5
	35）観光の振興	1	2	3	4	5
	36）筑波山地域ジオパークの取組	1	2	3	4	5
地域・行政	37）広報紙（かわら版含む）による情報発信	1	2	3	4	5
	38）ホームページ・SNS 等による情報発信	1	2	3	4	5
	39）行政改革	1	2	3	4	5
	40）区会・ボランティアなどの地域活動	1	2	3	4	5
	41）科学技術の振興（研究開発支援、成果普及など）	1	2	3	4	5
	42）ロボットの街つくばの取組	1	2	3	4	5
	43）ICT（※）を活用した行政サービス	1	2	3	4	5

※ICT：情報(information)や通信(communication)に関する技術の総称のことを指します

【問 11 で「3　どちらかといえば不満」または「4　不満」とお答えの方にお聞きします】

問 12　特に不満と感じる項目番号 1)～43)と、その理由を教えてください。

＜3つまで＞

	項目番号	理　由
1		
2		
3		

問13　あなたは、つくば市は自分らしく、自分のやりたいことができるまちであると思いますか。

＜○は１つ＞

1　そう思う	3　どちらかといえばそう思わない
2　どちらかといえばそう思う	4　そう思わない
	5　わからない

問14　あなたが、市外の友人に紹介したい（自慢したい）と思うつくば市の魅力は何ですか。

＜１～５のいずれか１つに○＞

項目	紹介したい、自慢である	どちらかといえば、紹介したい	あまり紹介したいとは思わない	紹介したいと思わない	知らない
1　自然（筑波山、宝篋山、牛久沼など）	1	2	3	4	5
2　科学（研究学園都市、研究機関の見学施設など）	1	2	3	4	5
3　自然体験施設（豊里ゆかりの森、筑波ふれあいの里、こもれび六斗の森、フォレストアドベンチャー・つくばなど）	1	2	3	4	5
4　筑波山地域ジオパーク	1	2	3	4	5
5　史跡（平沢官衙遺跡、小田城跡など）	1	2	3	4	5
6　学校教育	1	2	3	4	5
7　子育て環境	1	2	3	4	5
8　公園	1	2	3	4	5
9　農産物	1	2	3	4	5
10　特産品（北条米、ブルーベリー、福来みかんなど）	1	2	3	4	5
11　物産品（つくば産品を使った菓子や酒などの加工食品）	1	2	3	4	5
12　まつり（まつりつくば、筑波山梅まつり、つくばフェスティバルなど）	1	2	3	4	5
13　自転車の街（つくば霞ヶ浦りんりんロードなど）	1	2	3	4	5
14　ロボットの街	1	2	3	4	5
15　つくばエクスプレス	1	2	3	4	5
16　その他（具体的に：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）					

問15　あなたは、つくば市には、市政に市民が参加できる環境が整っていると思いますか。

＜○は１つ＞

1	そう思う	3	どちらかといえばそう思わない
2	どちらかといえばそう思う	4	そう思わない
		5	わからない

問16　あなたは、市政に対する自分の意見等を、以下の方法で市に伝えたことがありますか。

＜○は当てはまるものすべて＞

1　「市長へのたより」等の手紙
2　「市長へのメール」等の電子メール
3　要望書や意見書等
4　電話
5　窓口での会話・筆談等
6　市が実施したアンケートの回答
7　「タウンミーティング」や「意見交換会」、「ワークショップ」等市が主催する会合での発言
8　PTA を経由した意見表明
9　区会・自治会を経由した意見表明
10　市が開催する委員会・審議会などでの市民委員としての発言
11　パブリックコメント
12　その他（具体的に：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
13　市に伝えたい意見がない

問17　あなたは、つくば市の市政には、市民の声が生かされていると思いますか。

＜○は１つ＞

1	そう思う	3	どちらかといえばそう思わない
2	どちらかといえばそう思う	4	そう思わない
		5	わからない

問18　あなたが家族や近しい友人と、休日おでかけをする場所で、最も多いのはどれですか。

（日用品の買い出し、宿泊を含む旅行等は除くおでかけをイメージしてください。）

＜○は１つ＞

1	家の近所（車で５分未満）	3	つくば市外（茨城県内）
2	つくば市内（車で５分以上）	4	茨城県外

問 19　「筑波山地域ジオパーク」の取組内容について、どの程度ご存じですか。
※自然や文化など地域資源の保存活動、地域内周遊ツアー、講演会、体験イベント、出前授業、生涯学習講座、認定商品などの取組を実施しています。

＜○は１つ＞

1	よく知っている	3	名前は聞いたことがあるが、内容は知らない
2	ある程度知っている	4	全く知らない

【問 19 で「1　よく知っている」または「2　ある程度知っている」とお答えの方にお聞きします。】

問 20　「筑波山地域ジオパーク」の取組内容について、どこで情報を得ましたか。

＜○は当てはまるものすべて＞

1　広報紙、新聞、パンフレットなど
2　筑波山地域ジオパークホームページ
3　筑波山地域ジオパーク SNS（facebook、instagram、X）
4　イベントブース（つくばフェスティバル、まつりつくば、筑波山梅まつりなど）
5　講演会、ツアーなど
6　つくばジオミュージアム
7　その他（具体的に：　　）

問 21　筑波山地域ジオパークの取組のうち、参加したい取組を教えてください。

＜○は当てはまるものすべて＞

1	自然や文化など地域資源の保全活動	4	体験イベント
2	地域内周遊ツアー	5	その他（具体的に：　　）
3	講演会	6	参加したくない

問22　地域福祉（※）を推進するためには、どのような取組が必要であると思いますか。
当てはまる番号を、右の回答欄に３つまで記入してください
※誰もが自分らしく、住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちづくりのことを指します。

1　ボランティアの育成と活動の促進
2　区会・自治会、ボランティア団体等への支援
3　身近な相談窓口の充実
4　地域福祉に関する活動の中心となる人材の育成
5　福祉サービスに関する情報提供や案内の充実
6　誰もが気軽に集まれる居場所づくり
7　利用者のニーズに対応した福祉サービスメニューの多様化
8　地域福祉への理解を深め、参加を促す福祉教育の充実
9　支援を必要とする人に支援が行き届く仕組みづくり
10　その他（具体的に：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

問23　地域における助け合い、支え合い活動を活発にするためには、どのような取組が必要であると思いますか。
当てはまる番号を、右の回答欄に３つまで記入してください

1　近隣の住民同士の日常の付き合い
2　地域の行事等を通じた人のつながりの拡充
3　地域活動の積極的な情報発信と参加の促進
4　ボランティアや地域活動に関わる人材の育成
5　ボランティアや地域活動に関わる団体相互の連携
6　共通した悩み、問題を抱える人同士の交流の場の充実
7　区会・自治会への加入促進
8　地域活動、ボランティア活動に対する財政的支援
9　子どもたちへの福祉教育の充実
10　その他（具体的に：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

少子高齢化への取組について

お答えは、当てはまる番号や欄に○印をつけてください。

問24　あなたは、つくば市には安心して子どもを生み育てられる環境が整っていると思いますか。

<○は１つ>

1　そう思う	3　どちらかといえばそう思わない
2　どちらかといえばそう思う	4　そう思わない
	5　わからない

問25　安心して子どもを生み育てられる環境として、つくば市で充実していると思うものと不足していると思うものは何ですか。

<○は１つずつ>

項目		充実している	不足している	わからない
1)	子育て世帯への経済的支援 （予防接種への支援、医療福祉費支給制度 等）			
2)	保育施設			
3)	一時預かり			
4)	病児の保育			
5)	子育て支援施設			
6)	放課後児童クラブ			
7)	産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談＃8000			
8)	子育てに関する相談体制 （保健師訪問、メール案内、チャットボット 等）			
9)	地域で子育てを支える仕組み			
10) その他	充実	（具体的に：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）		
	不足	（具体的に：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）		

問 26　あなたは、つくば市には高齢者が安心して住み続けられる環境が整っていると思いますか。

<○は１つ>

1　そう思う	3　どちらかといえばそう思わない
2　どちらかといえばそう思う	4　そう思わない
	5　わからない

問 27　高齢者が安心して住み続けられる環境として、つくば市で充実していると思うものと不足していると思うものは何ですか。

<○は１つずつ>

項目			充実している	不足している	わからない
1)	健康づくりや介護予防事業				
2)	高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）				
3)	日常生活支援（移動・送迎、買い物等）				
4)	地域で高齢者を支える仕組み（シルバークラブや民生委員等）				
5)	利用できる介護保険サービス				
6)	在宅で介護する家族への支援				
7)	クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業＃7119				
8)	緊急時や災害時の対策（認知症見守り訓練等を通した見守り支援等）				
9)	情報提供（チャットボットによるよくある質問への回答等）				
10) その他	充実	（具体的に：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）			
	不足	（具体的に：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）			

問 28　あなたが、地域包括支援センターの次の取組のうち知っているものをお答えください。

＜○は当てはまるものすべて＞

1　高齢者の生活や介護等の困り事相談
2　高齢者虐待の対応や成年後見制度の活用等の支援
3　在宅医療と在宅介護の普及啓発
4　地域での支え合いや高齢者の社会参加支援
5　認知症の人とその家族を支える相談
6　介護予防教室の開催や家庭訪問
7　上記は知らないが、地域包括支援センターの名前だけは知っている
8　全く知らない

防災対策・防犯活動について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけてください。

問 29　あなたが、防災対策として実践しているものはありますか。

＜○は当てはまるものすべて＞

1　３日分以上の食料・飲料水の備蓄
2　断水時に備えた携帯トイレの備蓄
3　１、２以外の防災用品の備蓄
4　タンスやテレビ、電子レンジ等の転倒（落下）防止措置
5　住まいの耐震（免震）構造
6　その他（具体的に：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
7　何もしていない

問 30　あなたは、地域の住民が協力して行う防犯活動（防犯ボランティアなど）に参加していますか。

＜○は１つ＞

1　いつも参加
2　ときどき参加
3　参加していない

▶【問 30 で「3　参加していない」とお答えの方にお聞きします】

問 31　防犯活動に参加しない理由は何ですか。

＜○は１つ＞

1　時間がない
2　活動がわずらわしい
3　人間関係がわずらわしい
4　組織がない
5　組織があるかわからない
6　必要だと思わない
7　わからない
8　その他（具体的に：＿＿＿＿＿＿＿＿）

問 32　あなたが、住居の防犯対策として実践しているものはありますか。

＜○は当てはまるものすべて＞

1　センサーライト、防犯カメラ、カメラ付きインターフォン
2　鍵の二重ロック、補助鍵、キーレス錠・電子錠
3　防犯ガラス、防犯フィルム、窓シャッター、雨戸、面格子
4　その他（具体的に：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
5　何もしていない

交通環境について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけてください。

問 33　あなたが、日常利用する交通手段は何ですか。

＜○は当てはまるものすべて＞

1　鉄道	6　自家用車
2　路線バス	7　オートバイ
3　つくバス	8　自転車
4　つくタク	9　その他（具体的に：＿＿＿＿＿＿＿＿）
5　タクシー	

問 34　あなたは、現在のつくば市において、歩行者と自転車と自動車が共に安全で快適に通行できていると思いますか。

＜○は１つ＞

1　できている	3　どちらかといえばできていない
2　どちらかといえばできている	4　できていない
	5　わからない

問 35　あなたは、つくば市の交通環境がどのようになっていることが望ましいですか。

＜○は１つ＞

1　公共交通が便利で、自動車がなくても生活できるまち
2　自動車がスムーズに走行できるまち
3　自転車を安心・便利に利用できるまち
4　安心・便利に歩くことができるまち

運動習慣について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけてください。

問 36　あなたは、この一年間に運動やスポーツをどのくらいしましたか。なお、運動やスポーツには、散歩や軽い体操なども含みます。

<○は１つ>

1　週に５日以上	5　月に１～３日
2　週に３日以上	6　３か月に１～２日
3　週に２日以上	7　年に１～３日
4　週に１日以上	8　実施していない
	9　わからない

問 37　あなたは、この一年間にスポーツ試合の観戦・応援をしましたか。

<○は当てはまるものすべて>

1　試合を直接観に行った	4　観戦・応援もボランティア活動もしていない
2　試合を TV やインターネットなどで視た	5　わからない
3　スポーツに関わるボランティア活動	

問 38　あなたは、この一年間につくば市や地域のスポーツ団体が開催するスポーツイベントにどのくらい参加しましたか。

<○は１つ>

1　週に５日以上	5　月に１～３日
2　週に３日以上	6　３か月に１～２日
3　週に２日以上	7　年に１～３日
4　週に１日以上	8　参加していない
	9　わからない

問 39　あなたは、市内の「公共スポーツ施設」に関する環境が充実していると思いますか。

<○は１つ>

1　満足である	4　やや不満である
2　やや満足である	5　不満足である
3　普通	6　わからない

つくば駅周辺地区の活性化について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけるか、または番号をお選びください。

問40　あなたは、どれぐらい、つくばセンター地区（つくば駅周辺）を訪れますか。

<○は１つ>

1　ほぼ毎日	4　月１、２回程度
2　週２、３回程度	5　年数回程度
3　週１回程度	6　まったく訪れない

【問４０で１～５を選択した方にお聞きします】

問41　主にどのような目的でつくばセンター地区を訪れますか。

<○は１つ>

1　娯楽
2　趣味
3　日常の用事
4　仕事
5　移動・乗り換え
6　その他（具体的に：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

問42　あなたは、にぎわいのあるつくばセンター地区（つくば駅周辺）にするためには、どのような取組が必要だと思いますか。
当てはまる番号を、右の回答欄に３つまで記入してください。

□ □ □

1　ペデストリアンデッキ（歩行者・自転車専用道路）を活用した歩きやすい空間づくり
2　商業施設や公共施設を周遊するバスの運行
3　子どもが遊べる広場の設置
4　オープンカフェや朝市の設置
5　路上パフォーマンスやイベントなど広場等でのエンターテイメントの提供
6　科学技術を展示・体験できる場の提供
7　商業施設の誘致
8　駐車場の拡充
9　公共交通でのアクセスの向上
10　バーベキューなどが楽しめる広場
11　その他（具体的に：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
12　特に必要ない（今のままで十分）

科学のまちについて

お答えは、当てはまる番号に○印をつけてください。

問43　あなたは、つくばが「科学のまち」であることの恩恵を感じることがありますか。

＜○は１つ＞

1　ある	3　あまりない
2　どちらかといえばある	4　ない
	5　わからない

問44　あなたにとって、つくばが「科学のまち」であることの恩恵とは何ですか。

＜○は当てはまるものすべて＞

1　数多くの研究機関が集積し、まちの賑わいにつながること
2　研究機関等のイベントに参加でき、様々な体験ができること
3　研究成果が社会実装（社会に普及）され、日常生活に役立つこと
4　学校等で科学教育の機会が提供されること
5　質の高い市民サービスが受けられること
6　研究機関で働けること
7　まちがスマートシティ化（先端技術を活用して地域課題を解決し、利便性が高く暮らしやすい街をつくる取組）すること
8　研究成果をベースとして技術系起業者が市内で次々に生まれること
9　多くの研究者が在住し、交流できること
10　多くの外国人研究者が来訪し、国際共同研究が活発に進められるなど国際化が進むこと
11　その他（具体的に：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

問45　あなたは、つくば市は科学のまちならではの先端的な製品・サービスが、いち早く暮らしの中に活かされていると思いますか。

＜○は１つ＞

1　そう思う	3　どちらかといえばそう思わない
2　どちらかといえばそう思う	4　そう思わない
	5　わからない

問46　あなたは以下のモバイル機器を保有していますか。

＜○は当てはまるものすべて＞

1　スマートフォン
2　携帯電話
3　いずれも保有していない

国際都市つくばについて

お答えは、当てはまる番号をお選びください。

問 47　あなたは、「国際都市」として、つくば市が今後、強化すべき取組は何だと思いますか。当てはまる番号を、右の回答欄に３つまで記入してください。

1　相談・交流拠点整備等による外国人市民への生活支援
2　外国人市民への日本語学習支援
3　留学生への支援
4　案内表示・施設窓口での多言語対応
5　学校での国際理解教育
6　外国人住民と交流・協働する機会の提供
7　世界に向けたつくば市の魅力の発信
8　海外の芸術・文化・芸能公演
9　国際関係機関・団体との連携による国際化推進体制の充実
10　姉妹都市との交流の機会の提供
11　その他（具体的に：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
12　特に必要ない（今のままで十分）

問 48　あなたは、世界中から多様な国籍の人が集まっているまちに住んでいる良さを感じていますか。

＜○は１つ＞

1　感じている
2　どちらかといえば感じている
3　どちらかといえば感じていない
4　感じていない
5　わからない

SDGs(持続可能な開発目標)について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけるか、または番号をお選びください。

問 49　あなたの SDGs（※）に関する認知度について、以下の選択肢の中から最も近いものを選んでください。

＜○は１つ＞

1　よく知っている
2　少し知っている
3　名前だけは知っている
4　まったく知らない（今回の調査で初めて知った）

※　SDGs とは
Sustainable Development Goals の略。2015 年の国連サミットで採択された 2030 年までに達成するための「持続可能な開発目標」です。持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。つくば市は、ＳＤＧｓの理念を「持続可能都市ヴィジョン」として反映し、取組を進めています。

問 50　SDGs や持続可能都市に関することで、関心が高いものを選び、番号を以下の回答欄に３つまで記入してください。

1　子どもを中心とした貧困の解消
2　全世代の健康寿命の延伸
3　生涯学習や科学教育など、全世代への質の高い教育の実施
4　女性活躍のための仕事と子育ての両立の支援
5　脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止
6　食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負荷の低減
7　地産地消の推進による地元農業の推進と環境負荷の低減
8　市民、議会、団体、企業等のパートナーシップを生かした施策の実施
9　その他（具体的に：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

幸福度について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけるか、または当てはまる番号をお選びください。

問51　あなたは、「とても幸せ」を１０点、「とても不幸」を０点とすると、現在どの程度幸せだと思いますか。あてはまる数字（点数）を選んでください。

<○は１つ>

とても幸せ										とても不幸
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

問52　あなたが、自分の幸福感を判断する際に特に重視することは何ですか。
当てはまる番号を、右の回答欄に３つまで記入してください。

□ □ □

1　健康状況
2　就業状況
3　家計の状況
4　自由な時間
5　精神的ゆとり
6　生きがい
7　余暇
8　家族関係
9　友人関係
10　職場の人間関係
11　仕事の充実感
12　地域コミュニティ
13　その他（具体的に：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

問53　つくば市で生活する中で、日ごろ感じている不安や困りごとがあれば、自由に記入してください。
例えば、健康や老後のこと、仕事のこと、結婚のこと、お金のこと、子どもの保育や教育のこと、近所づきあいのこと、住宅のこと、交通手段のこと、災害や犯罪のことなど、どんなことでも構いません。
※いただいたご意見を参考に、より良いつくば市にしていきます。

最後に、自由にご意見をお聞かせください。

質問は以上です。
お忙しいところ、ご協力いただきましてありがとうございました。

令和７年度（2025 年度）つくば市民意識調査報告書

令和７年（2025 年）12 月
発行　　つくば市
調査・編集　つくば市　政策イノベーション部　企画経営課

〒305-8555　茨城県つくば市研究学園一丁目１番地１
電話　　029-883-1111（代表）